

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称	図面番号		図面名称
A-00	00	表紙・図面リスト			(屋内運動場)			(構造図)			
A-1-01	01	案内図・配置図・面積表	A-3-01	33	屋内運動場－仕上表	S-01	64	構造設計標準仕様	M-06	98	消火設備 普通教室3、R、PH階平面図（既設）
		(普通教室棟)	A-3-02	34	屋内運動場－1、2階平面図、屋根伏図	S-02	65	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	M-07	99	空調設備 普通教室1～3階平面図
A-1-02	02	普通教室棟－外部、内部 仕上表	A-3-03	35	屋内運動場－既存 立面図	S-03	66	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	M-08	100	給水設備・機器表・凡例・ポンプ室詳細図（撤去）
A-1-03	03	普通教室棟－既存 1、2階 平面図	A-3-04	36	屋内運動場－改修 断面詳細図	S-04	67	鉄骨構造標準図	M-09	101	給水設備・機器表・凡例・ポンプ室詳細図（改修）
A-1-04	04	普通教室棟－既存 3、R、PH階 平面図	A-3-05	37	屋内運動場－既存 天井伏図	S-05	68	Q L デッキスラブ施工標準図（参考図）	EV-01	102	エレベータ設備図（1）
A-1-05	05	普通教室棟－既存 東側、西側 立面図	A-3-06	38	屋内運動場－雑詳細図（1）	S-06	69	ベースパック柱脚工法 標準図（参考図）	EV-02	103	エレベータ設備図（2）（参考図）
A-1-06	06	普通教室棟－既存 南側、北側 立面図	A-3-07	39	屋内運動場－雑詳細図（2）	S-07	70	伏図、軸組図、リスト	EV-03	104	エレベータ設備図（3）（参考図）
A-1-07	07	普通教室棟－既存 断面詳細図（1）	A-3-08	40	屋内運動場－雑詳細図（3）	S-08	71	鉄骨詳細図	EV-04	105	エレベータ設備図（4）（参考図）
A-1-08	08	普通教室棟－既存 断面詳細図（2）	A-3-09	41	屋内運動場－雑詳細図（4）			(電気設備図)	EV-05	106	エレベータ設備図（5）（参考図）
A-1-09	09	普通教室棟－既存 1、2階 天井伏図	A-3-10	42	屋内運動場－雑詳細図（5）	E-01	72	案内図 配置図	EV-06	107	エレベータ設備図（6）（参考図）
A-1-10	10	普通教室棟－既存 3、R階 天井伏図	A-3-11	43	屋内運動場－建具表	E-02	73	普通教室棟 動力設備1階平面図（改修前）	EV-07	108	エレベータ設備図（7）（参考図）
A-1-11	11	普通教室棟－改修 1、2階 平面図			(特別教室棟)	E-03	74	普通教室棟 動力設備1階平面図（改修後）			
A-1-12	12	普通教室棟－改修 3、R、PH階 平面図	A-4-01	44	特別教室棟－仕上表	E-04	75	受変電設備単線結線図（改修前・改修後）			
A-1-13	13	普通教室棟－改修 東側、西側 立面図	A-4-02	45	特別教室棟－平面図、屋根伏図、天井伏図	E-05	76	欠番			
A-1-14	14	普通教室棟－改修 南側、北側 立面図	A-4-03	46	特別教室棟－立面図、断面図、建具表	E-06	77	分電盤図・照明器具姿図			
A-1-15	15	普通教室棟－改修 断面詳細図（1）			(武道場)	E-07	78	普通教室棟 電灯設備1階平面図（改修後）			
A-1-16	16	普通教室棟－改修 断面詳細図（2）	A-5-01	47	武道場－仕上表	E-08	79	普通教室棟 電灯設備2階平面図（改修後）			
A-1-17	17	普通教室棟－改修 1、2階 天井伏図	A-5-02	48	武道場－平面図、屋根伏図、天井伏図、建具表	E-09	80	普通教室棟 電灯設備3階平面図（改修後）			
A-1-18	18	普通教室棟－改修 3、R階 天井伏図	A-5-03	49	武道場－立面図、詳細図	E-10	81	普通教室棟 弱電設備1階平面図（改修後）			
A-1-19	19	普通教室棟－建具キープラン			(プール附属屋)	E-11	82	普通教室棟 自動火災報知設備1、2階平面図（改修後）			
A-1-20	20	普通教室棟－建具表（1）	A-6-01	50	プール附属屋－仕上表	E-12	83	普通教室棟 自動火災報知設備3、R階平面図（改修後）			
A-1-21	21	普通教室棟－建具表（2）	A-6-02	51	プール附属屋－平面図、屋根伏図、天井伏図、立面図、断面図、建具表	E-13	84	普通教室棟 内壁改修1、2階平面図（改修後）			
A-1-22	22	普通教室棟－建具表（3）			(その他)	E-14	85	普通教室棟 内壁改修3階平面図（改修後）			
A-1-23	23	普通教室棟－建具表（4）	A-7-01	52	部 室－仕上表、平面図、屋根伏図、立面図、断面図、建具表	E-15	86	ポンプ室電気設備図（撤去・改修）			
A-1-24	24	普通教室棟－建具表（5）	A-7-02	53	体育倉庫－仕上表、平面図、屋根伏図、立面図、詳細図、建具表	E-16	87	普通教室棟 外壁改修1階平面図(1)（改修前・改修後）			
A-1-25	25	普通教室棟－雑詳細図	A-7-03	54	受変電室－仕上表、平面図、屋根伏図、天井伏図、立面図、建具表	E-17	88	普通教室棟 外壁改修1階平面図(2)（改修前・改修後）			
A-1-26	26	現況屋外倉庫配置図	A-7-04	55	渡り通路（参考図）－ 既存 立面図、屋根伏図、断面図	E-18	89	普通教室棟 外壁改修2階平面図(1)（改修前・改修後）			
			A-7-05	56	渡り通路－改修 平面図、断面図	E-19	90	普通教室棟 外壁改修2階平面図(2)（改修前・改修後）			
		(普通教室棟－E V 新設)	A-7-06	57	スロープ改修図 改修キープラン	E-20	91	普通教室棟 外壁改修3階平面図(1)（改修前・改修後）			
A-2-01	27	普通教室棟－E V 新設 外部、内部 仕上表	A-7-07	58	スロープ改修図 改修図（1）	E-21	92	普通教室棟 外壁改修3階平面図(2)（改修前・改修後）			
A-2-02	28	普通教室棟－E V 新設 撤去平面図、断面図	A-7-08	59	スロープ改修図 改修図（2）			(機械設備図)			
A-2-03	29	普通教室棟－E V 新設 改修平面詳細図	A-7-09	60	スロープ改修図 改修図（3）	M-01	93	案内図・配置図			
A-2-04	30	普通教室棟－E V 新設 改修断面詳細図	A-7-10	61	スロープ改修図 改修図（4）	M-02	94	消火設備 機器表・凡例・系統図			
A-2-05	31	普通教室棟－E V 新設 雑詳細図（1）	A-9-01	62	屋外－仮設計画図（参考図）	M-03	95	消火設備 普通教室1、2階平面図（改修）			
A-2-06	32	普通教室棟－E V 新設 雑詳細図（2）	A-9-02	63	屋内－仮設計画図（参考図）	M-04	96	消火設備 普通教室3、R、PH階平面図（改修）			
						M-05	97	消火設備 普通教室1、2階平面図（既設）			

建 物 概 要	
施 設 名 称	千葉市立千城台西中学校
工 事 場 所	千葉市若葉区千城台西2丁目20-3、20-5
敷 地 面 積	25,992.00 m ²
地域・地区・区域 その他	第一種低層住居専用地域（10m）
	法第22条指定区域 ・防火指定無し
	容積率 100% ・建蔽率 50%（角地緩和 +10%）
建 物 用 途	中学校
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建（耐火建築物）

※2：確認済証 平成7年11月7日 第 H07 適建千市 000033 号

※3：検査済証 平成8年3月29日 第 H07 検建千市 000025 号

申請番号	棟番号	名 称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	軒高	高さ	屋根	外壁	竣工年	確認の履歴等
1	①-1	普通教室棟	R C 造	3 階	1,645.36	4,389.98	11.37	11.70	シート防水 ・ 塗膜防水	防水形外装薄塗材 E	昭和 45 年	
	①-2		R C 造	3 階							昭和 45 年	
	①-3		R C 造	3 階							昭和 45 年	
	①-4		R C 造	1 階							昭和 45 年	
	①-5	給食受取室	R C 造	1 階							昭和 45 年	
2	②①	給食受取室	S 造	1 階					シート防水	防水形外装薄塗材 E A L C 板	平成 8 年	※2：確認済証 ※3：検査済証
	⑥	特別教室棟	R C 造	1 階	320.60	310.00	4.25	4.65	シート防水	防水形外装薄塗材 E	昭和 49 年	確認済証 昭和49年7月3日 第 計40 号
3	③-1	屋内運動場	S 造	1 階	887.07	875.54	7.00	10.50	カラー鉄板瓦葺き	防水形外装薄塗材 E	昭和 47 年	
	③-2		S 造	1 階							昭和 57 年	
	③-3		S 造	2 階							昭和 61 年	
4	⑱	武道場	S 造	1 階	177.74	177.74	4.85	5.10	折板屋根	防水形外装薄塗材 E サイディング	昭和 63 年	
5	⑳	プール付属室	S 造	1 階	84.64	84.64	3.60	3.80	塗膜防水	防水形外装薄塗材 E	平成 10 年	
6	㉑	受電室	S 造	1 階	32.91	32.91	3.50	3.68	塗膜防水	防水形外装薄塗材 E C B 造	昭和 54 年	
7	㉒	体育倉庫	S 造	1 階	45.90	45.90	3.10	3.20	折板屋根	防水形外装薄塗材 E サイディング	平成 元年	
8	㉓	部室	S 造	1 階	101.05	101.05	3.00	3.30	折板屋根	防水形外装薄塗材 E サイディング	平成 3 年	
9	a	渡り廊下	S 造	1 階	59.61	0	4.22	4.57	AL 押出し型材	AL 製柱 ・ 梁 電解着色	不明	
	b	渡り廊下	S 造	1 階	20.47	0	2.25	2.97	ポリカーボネート板	AL 製柱 ・ 梁 電解着色	不明	
① ～ ㉓ の合計 建築面積					3,375.35							
① ～ ㉓ の合計 延べ面積						6,017.76						

申請番号	棟番号	名 称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	軒高	高さ	屋根	外壁	備考欄	W×D×H
1 1	101	可燃ゴミ倉庫	S 造	平屋	1.45	1.45	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	1.53 × 0.95 × 2.10
1 2	102	危険物倉庫	S 造	平屋	4.78	4.78	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	2.52 × 1.90 × 2.10
103 農機具置場												
1 3	104	プレハブ倉庫	S 造	平屋	1.19	1.19	1.50	1.58	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	1.53 × 0.78 × 1.58
1 4	105	粗大ゴミ倉庫	S 造	平屋	6.71	6.71	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	3.05 × 2.20 × 2.10
1 5	106	粗大ゴミ倉庫	S 造	平屋	6.82	6.82	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	2.93 × 2.33 × 1.85
1 6	107	段ボール置場	S 造	平屋	6.71	6.71	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	3.05 × 2.20 × 2.10
1 7	108	農機具置場	S 造	平屋	10.56	10.56	2.25	2.30	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	5.50 × 1.92 × 2.30
1 8	109	防災備蓄倉庫	S 造	平屋	4.73	4.73	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.63 × 1.80 × 2.10
1 9	110	防災備蓄倉庫	S 造	平屋	7.92	7.92	2.25	2.30	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	3.60 × 2.20 × 2.30
2 0	111	防災備蓄倉庫	S 造	平屋	4.73	4.73	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.63 × 1.80 × 2.10
2 1	112	倉 庫	S 造	平屋	2.84	2.84	2.05	2.10	鋼板張り	塩ビ波板張り	基礎固定無し	1.52 × 1.87 × 2.10
2 2	113	倉 庫	S 造	平屋	3.33	3.33	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.21 × 1.51 × 2.10
2 3	114	倉 庫	S 造	平屋	0.99	0.99	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	1.10 × 0.90 × 2.10
101 ～ 114 の合計 建築面積					62.76						面積 m2 (3以捨)	
101 ～ 114 の合計 延べ面積						62.76					面積 m2 (3以捨)	

① ～ ㉓ の合計 建築面積	3,438.11
① ～ ㉓ の合計 延べ面積	6,080.52

1	【増築】エレベーター 建築面積	13.26	軒高	高さ	—
	【増築】エレベーター 延べ面積	39.78	11.15	11.82	容積対象外 22.89

既存+増築 の合計 建築面積	3,451.37	—	建ぺい率	13.28 %
既存+増築 の合計 延べ面積	6,120.30	容積対象外 22.89	6,097.41	容積率 23.46 %

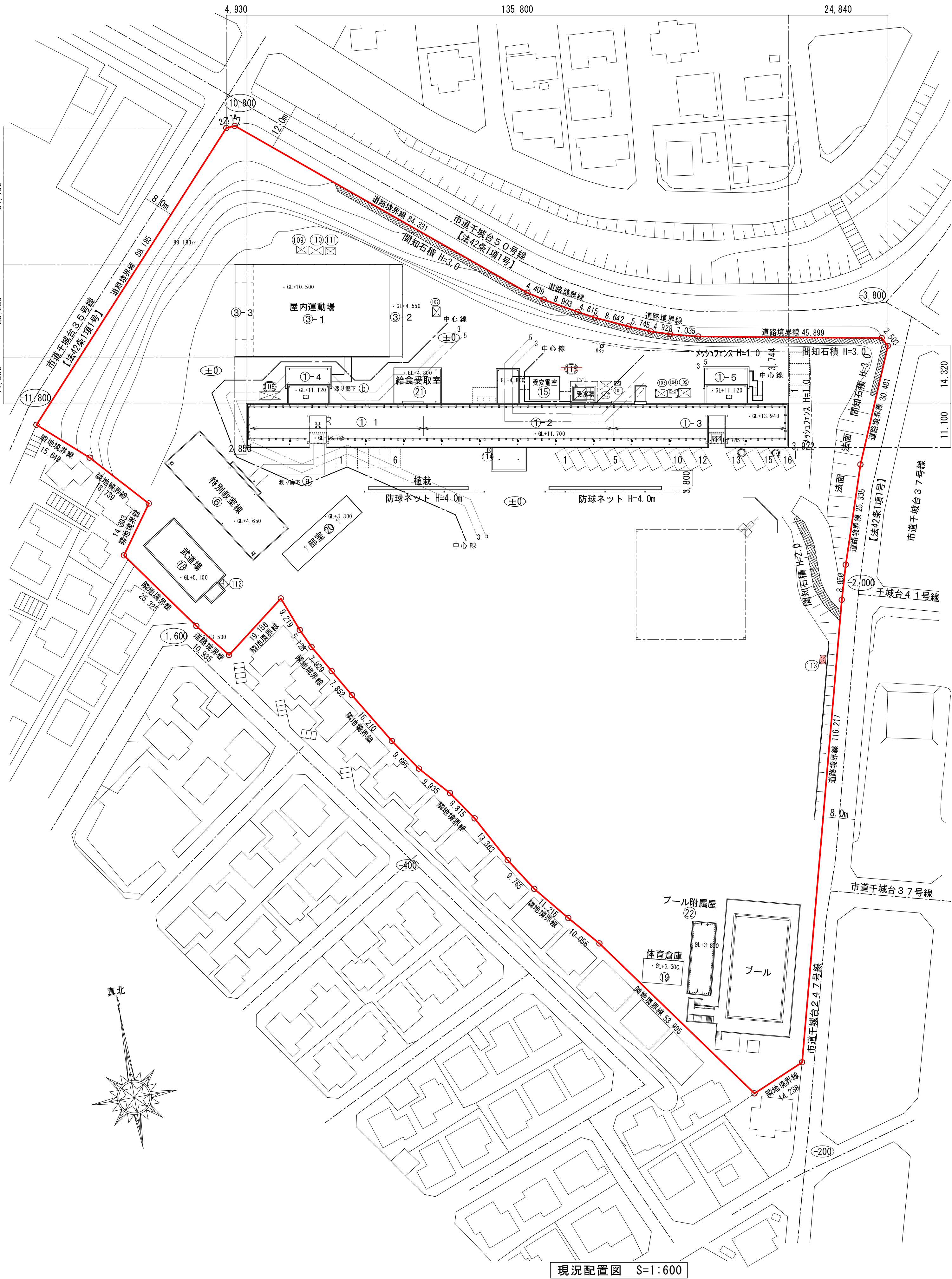
凡例

- 敷地境界線
- 3 m 延焼ライン
- 5 m 延焼ライン

案内図



※3：検査済証 平成8年3月29日 第 H07 検建千市 000025 号



千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

変更年月日

令和 年 月 日

変更年月日

令和 年 月 日

図

面

案内図・配置図・面積表

縮

尺

S=1:600 (A1)
S=1:1,200 (A3)

図

面

番号

A-1-01

特記事項-1：防水工事			
1、既存防水撤去は、仕上表を参照とするが、新設防水の性能に支障する場合、			
監督員と協議の上、撤去する。 部分劣化箇所についても同様とする。			
撤去箇所は、下地補修をした後、洗浄+仮防水（下地処理）を施工する事。			
2、北面アルミサッシ窓台、バラベツト天端、笠木（防水アゴ）等の、			
既存外壁同材塗装箇所は、必要に応じて撤去の上、塗膜防水（X-2）とする。			
3、塗膜防水下地は下記による			
既存防水下地：高圧水洗＋シーラー処理			
モルタル下地：高圧水洗＋シーラー処理			

特記事項-2：電気設備、給排水設備			
1、既存給水管・機器・弁類は既存のまま、防水施工時、配管基礎移設は本工事。			
2、給水管-振止め金物：鉄部-D P 塗装。			
3、既存電気配管・機器は既存のまま、防水施工時、配管基礎移設は本工事。			
4、電線管-振止め金物：鉄部-D P 塗装。			

特記事項－3：ソーラーパネル関係は別途工事、詳細は監督員の指示による。			
1、ソーラーパネルで使用するコンクリート基礎の移設は、別途工事。			
2、既存ソーラーパネル、配線共 移設は別途工事。			

特記事項－塗装改修工事			
1、塗装改修下地は下記による			
外壁：高圧水洗＋シーラー処理			
鉄部：ケレン清掃＋錆止め塗装			

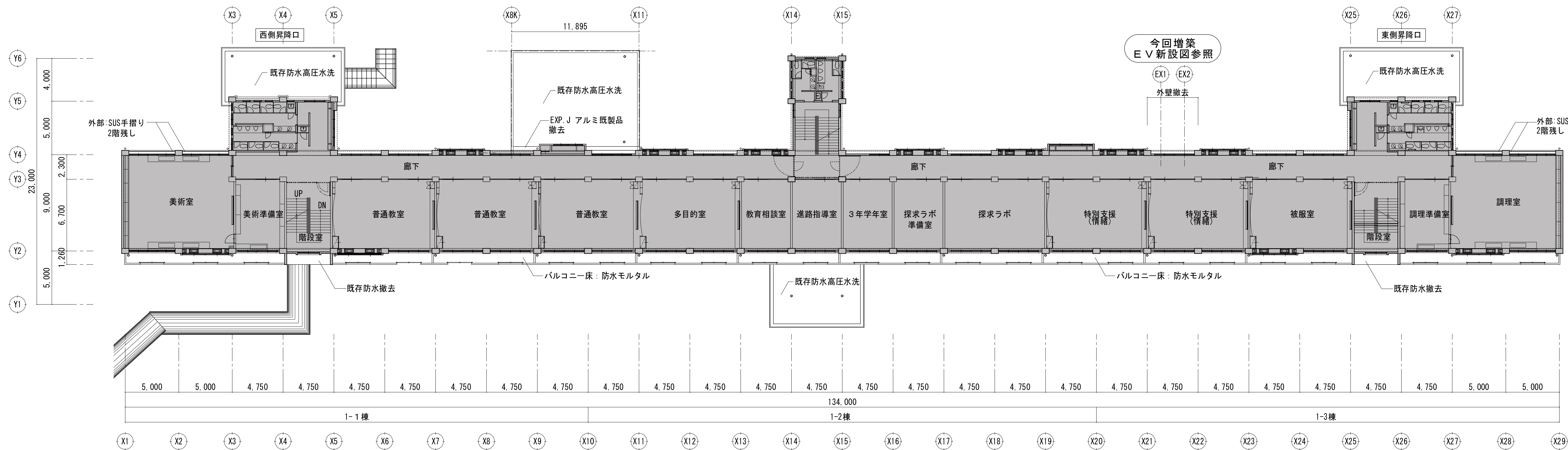
普通教室棟－外部仕上表																								
記号		部 位		項 目		仕 上		備 考		記号		部 位		項 目		仕 上		備 考						
A1a 平場残し A1b 平場撤去		屋根	平 場	既存	下地	R C		防水押え：アルミ製、撤去・新設	D-1	軒天（コンクリト面）	既存	下地	R C											
					仕上	ゴム系ルーフィング シート防水						撤去	下地			下地	リシン吹付け							
				撤去	下地						仕上		既存のまま				改修	下地						
				改修	下地						仕上	塩ビ系シート防水-機械的固定工法 仕上げ材：屋根用高日反射率塗料		仕上		高圧水洗＋下地調整＋外装薄塗材 E								
			立上り	既存	下地	R C					D-2	軒天（ボード面）	既存	下地		LGS下地 ケイ酸カルシウム板 t=5.0		撤去	下地					
					仕上	ゴム系ルーフィング シート防水								仕上		E P 塗装								
				撤去	下地								仕上	全数 既存撤去、水洗＋撤去後下地補修＋仮防水		改修	下地			撤去	下地			
				改修	仕上	塩ビ系シート防水-接着工法 仕上げ材：屋根用高日反射率塗料							撤去	高圧水洗＋下地調整			仕上	E P 塗装						
		A2a 既存撤去 A2b モルタル下地	屋根 X-1	平場 バルコニー床	既存	下地	R C			防水押え：アルミ製、撤去・新設			E	壁 樋		既存	下地							
						仕上	既存：防水モルタル、塗膜防水仕上げ										撤去	下地			改修	下地	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ	
撤去	下地						仕上	既存撤去（脆弱部）、下地調整							仕上	既存撤去								
改修	下地						仕上	高圧水洗＋下地調整＋ウレタン塗膜防水							下地			高圧水洗＋下地調整	下地					
	仕上				高圧水洗＋下地調整＋ウレタン塗膜防水		仕上	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共			仕上	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共												
	仕上				高圧水洗＋下地調整＋ウレタン塗膜防水		仕上	シリコン系シーリング（MS-2）			仕上	シリコン系シーリング（MS-2）												
	仕上	高圧水洗＋下地調整＋ウレタン塗膜防水		仕上	シリコン系シーリング（MS-2）		仕上	シリコン系シーリング（MS-2）																
B1		外壁 （コンクリト、モルタル面）	既存	下地	R C		防水押え：アルミ製、撤去・新設	G	鉄 部 （既存中継ドレイン） （錆鉄製ルーフドレイン）	既存	下地	錆鉄												
				仕上	コンクリト打放し アクリルリシン吹付け						仕上	樹脂系塗装												
			撤去	下地						撤去	下地				改修	下地								
				改修	下地						仕上	一部既存塗材撤去（1F東面、PH西面）				仕上	既存のまま							
			改修	下地						仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E		下地		下地調整									
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E					仕上	変性エポキシ樹脂塗料塗		仕上		変性エポキシ樹脂塗料塗									
仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E			仕上	変性エポキシ樹脂塗料塗		仕上	変性エポキシ樹脂塗料塗																
仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E			仕上	変性エポキシ樹脂塗料塗		仕上	変性エポキシ樹脂塗料塗																
B2		外壁 （ALC面）	既存	下地	A L C t=100			H1	外壁（RC 打継目地） 外壁（ALC 打継目地） 防水端部	既存	下地													
				仕上	単層弾性 E ローラー						仕上	ウレタン系シーリング												
			撤去	下地						撤去	下地				改修	下地								
				改修	下地						仕上	既存撤去				仕上	既存撤去							
			改修	下地						仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E		下地				仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）						
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E					仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）		仕上		ウレタン系シーリング（PU-2）									
仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E			仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）		仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）																
仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E			仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）		仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）																
C		外巾木	既存	下地	R C		防水押え：アルミ製、撤去・新設	H2	外壁 換気フード ベンドキャップ その他雑シール	既存	下地													
				仕上	モルタル金ゴテ						仕上	シリコン系シーリング												
			撤去	下地						撤去	下地				改修	下地								
				改修	下地						仕上	既存撤去				仕上	既存撤去							
			改修	下地						仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）		下地				仕上	シリコン系シーリング（MS-2）						
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）					仕上	シリコン系シーリング（MS-2）		仕上		シリコン系シーリング（MS-2）									
仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）			仕上	シリコン系シーリング（MS-2）		仕上	シリコン系シーリング（MS-2）																
仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）			仕上	シリコン系シーリング（MS-2）		仕上	シリコン系シーリング（MS-2）																

普通教室棟－内部仕上表														
階	室 名		項 目		床	巾 木	壁	天 井		回り縁	天井高	備 考		
各階共通	廊 下	既 存		耐震改修部	モルタル金コテ 長尺塩ビシート t=2.0	ソフト巾木 H=100	耐水石膏ボード t=9.5下地、化粧ケイカル板 t=6.0張り	LGS下地 化粧石膏ボード t=9.5張り		塩ビ製	FL±0 CH=3.000		防火シャッター	
				既存部	モルタル金コテ 長尺塩ビシート t=2.0	EP塗装 H=150	モルタル金コテ EP塗装		消火器					
							アルミパーティション 掲示板部：合板下地							
		改 修	撤去	既存部	モルタル金コテ 長尺塩ビシート t=2.0	EP塗装 H=150	モルタル金コテ EP塗装	LGS下地 化粧石膏ボード t=9.5張り 一部撤去		塩ビ製	FL±0 CH=3.000			
							アルミパーティション 掲示板部：合板下地							
			仕上	既存部	モルタル金コテ 長尺塩ビシート t=2.0	ソフト巾木 H=100	モルタル金コテ補修 EP塗装	LGS下地 化粧石膏ボード t=9.5張り 新設					天井点検口 450角新設	防火シャッター
							EV廻り：LGS下地 石膏ボード 12.5 EP塗装						消火器新設（本工事）	消火器
									アルミパーティション 掲示板部：LGS下地新設、掲示クロス張り（不燃）					

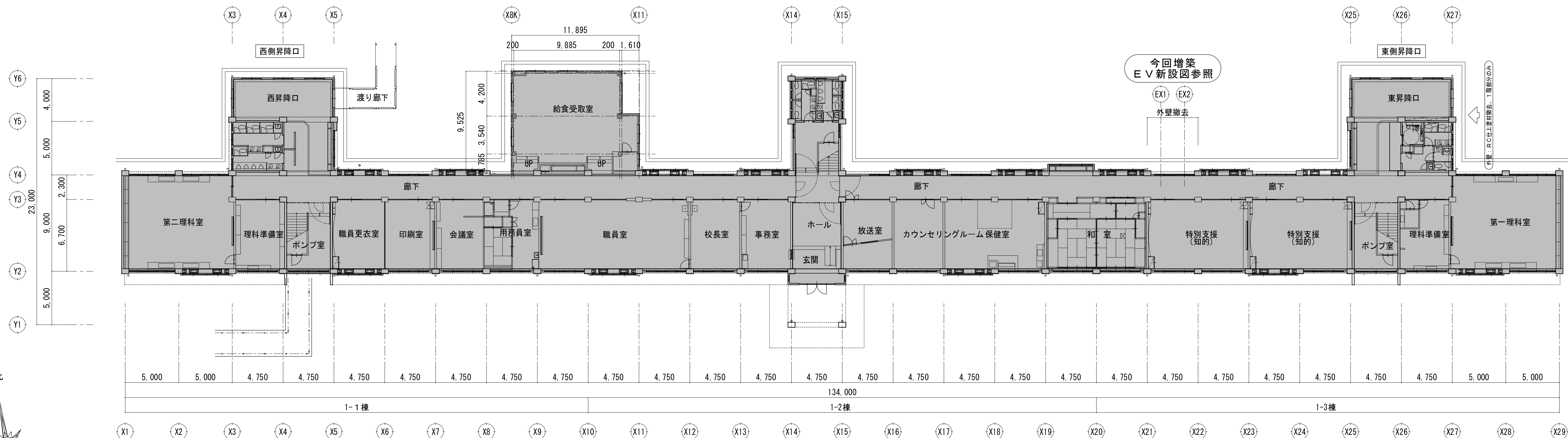
■ 特記事項	1. ホルムアルデヒド対策 天井裏等を含む内装材に使用する材料（下地ボード・合板類・接着剤・塗装剤・断熱材等含む）は、すべて告示対象外またはF☆☆☆☆（規制対象外）を使用する。	※仕上材料の防火認定番号 石膏ボード厚12. 5：不燃 NM-8619 石膏ボード厚9. 5：準不燃 QM-9828 化粧石膏ボード厚9. 5：準不燃 QM-0524 E P-G 塗装：不燃 NM-8585
	2. クロルピリホスの規制 建築材料にクロルピリホスを添加しない。クロルピリホスをあらかじめ添加した建築材料を使用しない。	
	3. 石綿含有建材の規制 建築材料に石綿を添加しない。石綿をあらかじめ添加した建築材料を使用しない。	

■ 耐火構造リスト ■	柱 耐火被覆（1時間耐火）：半乾式吹付ロックウール厚25／F P O 6 0 C N—9 4 0 8
	梁 耐火被覆（1時間耐火）：半乾式吹付ロックウール厚25／F P O 6 0 B M—9 4 0 6、 F P O 6 0 B M—9 4 0 8
	屋根 （3 0分 耐火）デッキコンクリート：QLデッキの上コンクリート厚80以上（FP060FL-9101）、塩ビシート防水、遮熱塗料塗（H12建告1399号第1三）
	外壁 （1時間 耐火）A L C厚125：H12建告1399号第1九（第1ート）
	内壁 （1時間 耐火）A L C厚100：H12建告1399号第1四（第1ート）
	床 （1時間 耐火）デッキコンクリート：QLデッキの上コンクリート厚80以上（FP060FL-9101）
	E X P. J カバー （1時間遮炎性能）：耐火帯厚12. 5mm（EAJ-防災-3013）
	デッキプレートの認定番号：Q L デッキ F P 0 6 0 F L-9101
	アルミ庇：不燃材料／平成1 2 年建設省告示第 1400 号

千葉市都市局建築部営繕課				工事名称		千葉市立千城台西中学校外部改修外工事		設計年月日	令和7年11月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	普通教室棟 外部、内部 仕上表		縮尺	S=1:NON SCALE(A1) S=1:NON SCALE(A3)	図面番号	A-1-02
				特記事項		特記事項		特記事項		特記事項								



既存 2 階平面図 S=1:200



既存 1 階平面図 S=1:200

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称
千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和7年11月 日

変更年月日
令和 年 月 日

変更年月日
令和 年 月 日

図
面
名

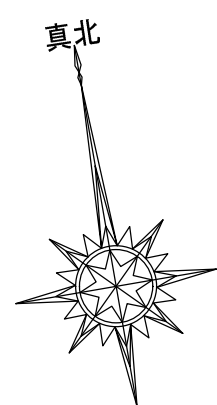
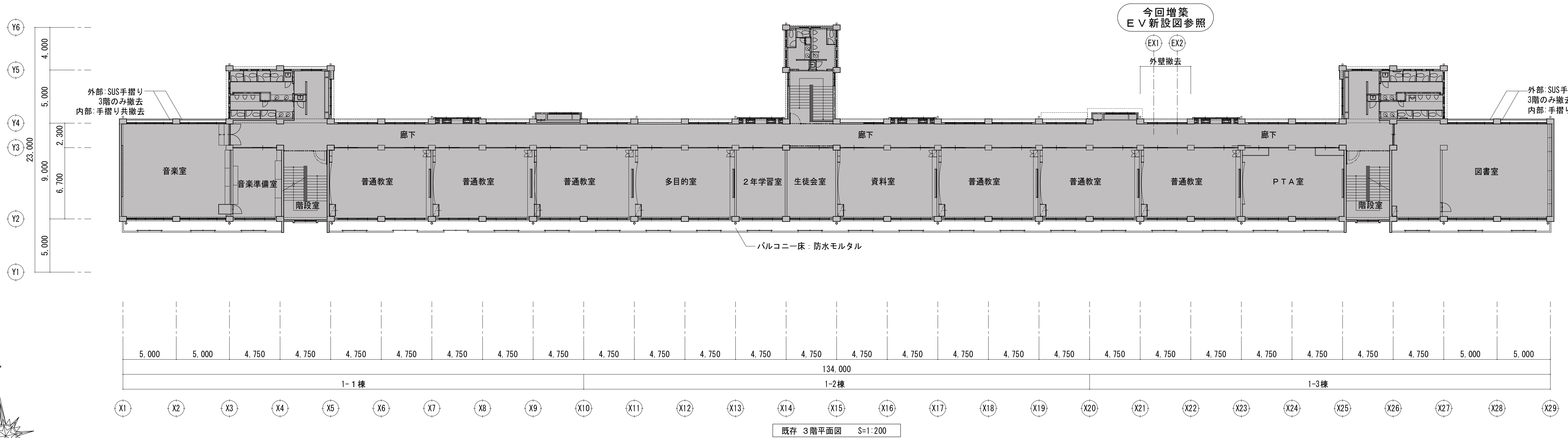
普通教室棟
既存 1, 2 階 平面図

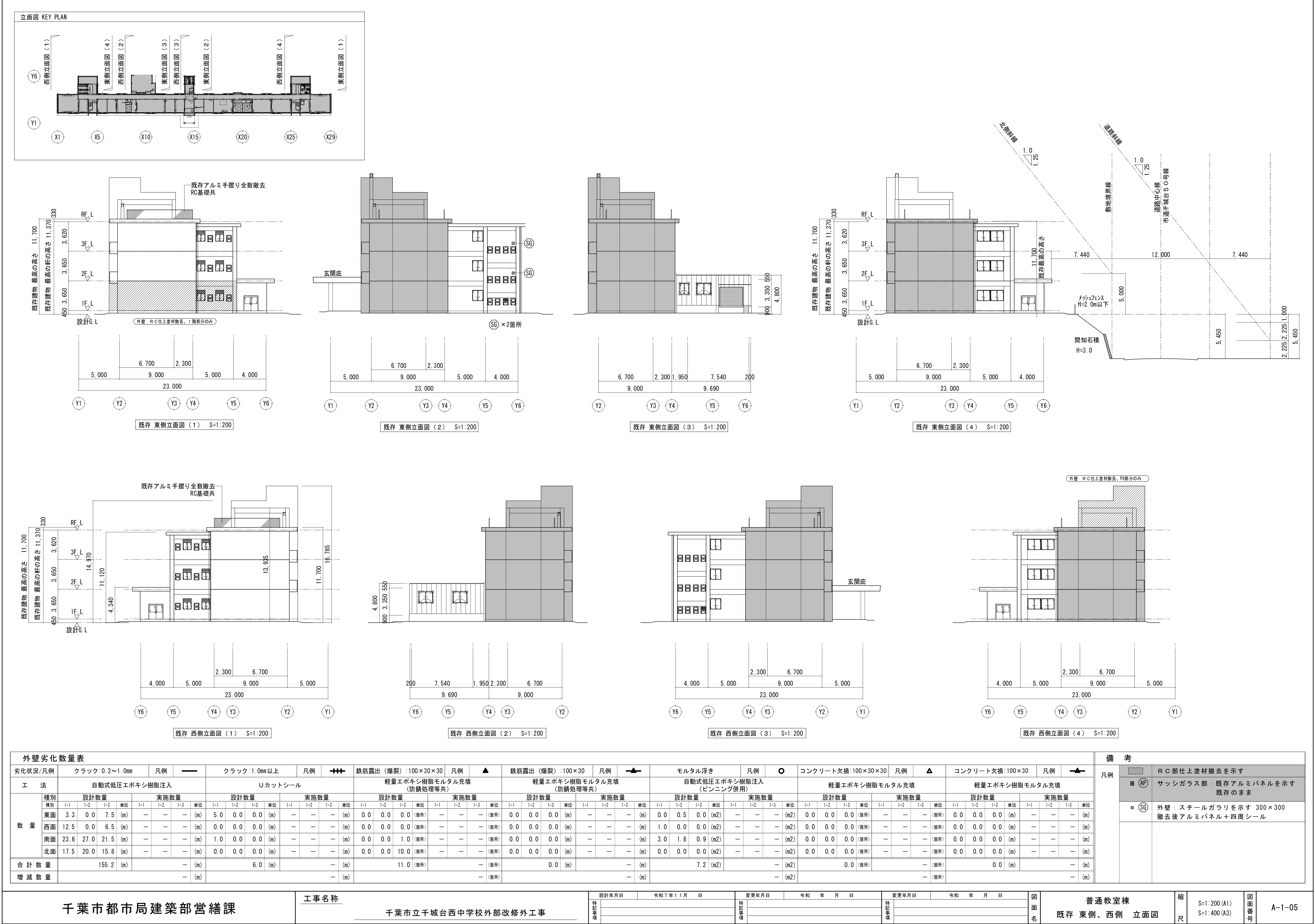
縮
尺

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

図
面
番
号

A-1-03





既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

既存アルミ手摺り全数撤去

RC基礎共

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

4,000

5,000

2,300

6,700

5,000

23,000

Y6

Y5

Y4

Y3

Y2

Y1

既存 西側立面図 (1) S=1:200

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

既存アルミ手摺り全数撤去

RC基礎共

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

4,000

5,000

2,300

6,700

5,000

23,000

Y6

Y5

Y4

Y3

Y2

Y1

既存 西側立面図 (2) S=1:200

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

既存アルミ手摺り全数撤去

RC基礎共

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

4,000

5,000

2,300

6,700

5,000

23,000

Y6

Y5

Y4

Y3

Y2

Y1

既存 西側立面図 (3) S=1:200

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

既存アルミ手摺り全数撤去

RC基礎共

既存建物 最高の高さ 11,700

既存建物 最高の軒の高さ 11,370

3F_L

2F_L

1F_L

設計G.L

4,000

5,000

2,300

6,700

5,000

23,000

Y6

Y5

Y4

Y3

Y2

Y1

既存 西側立面図 (4) S=1:200

外壁劣化数量表

劣化状況/凡例	クラック:0.2~1.0mm	凡例	—	クラック:1.0mm以上	凡例	+++	鉄筋露出(爆裂):100×30×30	凡例	▲	鉄筋露出(爆裂):100×30	凡例	▲	モルタル浮き	凡例	○	コンクリート欠損:100×30×30	凡例	▲	コンクリート欠損:100×30	凡例	▲																							
工 法	自動式低圧エポキシ樹脂注入				リカットシール				軽量エポキシ樹脂モルタル充填 (防錆処理等共)				軽量エポキシ樹脂モルタル充填 (防錆処理等共)				自動式低圧エポキシ樹脂注入 (ピンニング併用)				軽量エポキシ樹脂モルタル充填				軽量エポキシ樹脂モルタル充填																			
数 量	種別	設計数量			実施数量			設計数量			実施数量			設計数量			実施数量			設計数量			実施数量			設計数量			実施数量			設計数量			実施数量									
	種別	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位											
	東面	3.3	0.0	7.5	(m)	—	—	—	(m)	5.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.5	0.0	(m2)	—	—	—	(m2)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)			
	西面	12.5	0.0	6.5	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	1.0	0.0	0.0	(m2)	—	—	—	(m2)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)			
	南面	23.6	27.0	21.5	(m)	—	—	—	(m)	1.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	1.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m2)	—	—	—	(m2)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)			
北面	17.5	20.0	15.8	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	10.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m2)	—	—	—	(m2)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)				
合 計 数 量	155.2			(m)	—			(m)	6.0			(m)	—			(m)	11.0			(m)	—			(m)	0.0			(m2)	—			(m2)	—			(m2)	0.0			(m)	—			(m)
増 減 数 量	—			(m)	—			(m)	—			(m)	—			(m)	11.0			(m)	—			(m)	—			(m2)	—			(m2)	—			(m2)	—			(m)				

備 考

凡例	AP	R C 部仕上塗材撤去を示す
	SG	サッシガラス部：既存アルミパネルを充填 撤去後アルミパネル+四周シール

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称
千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和7年11月 日

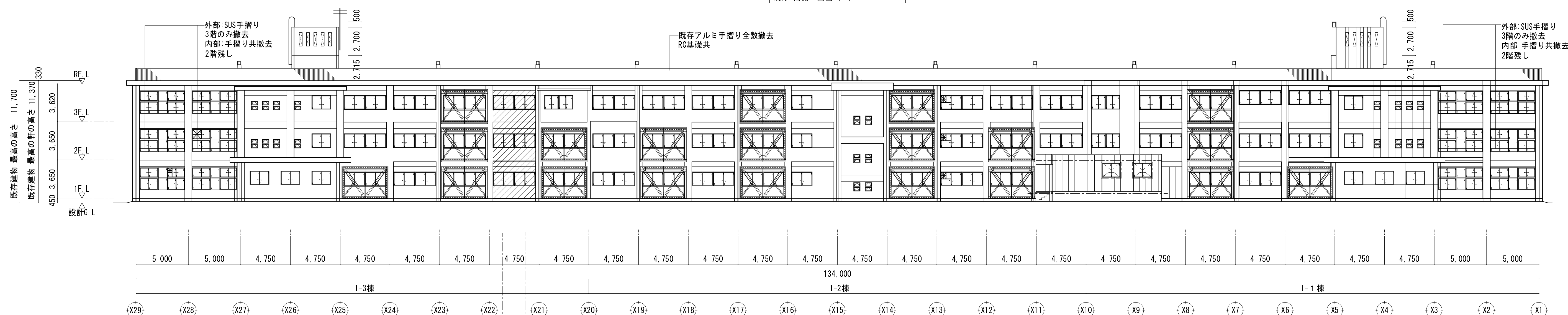
実更年月日
令和 年 月 日

実更年月日
令和 年 月 日

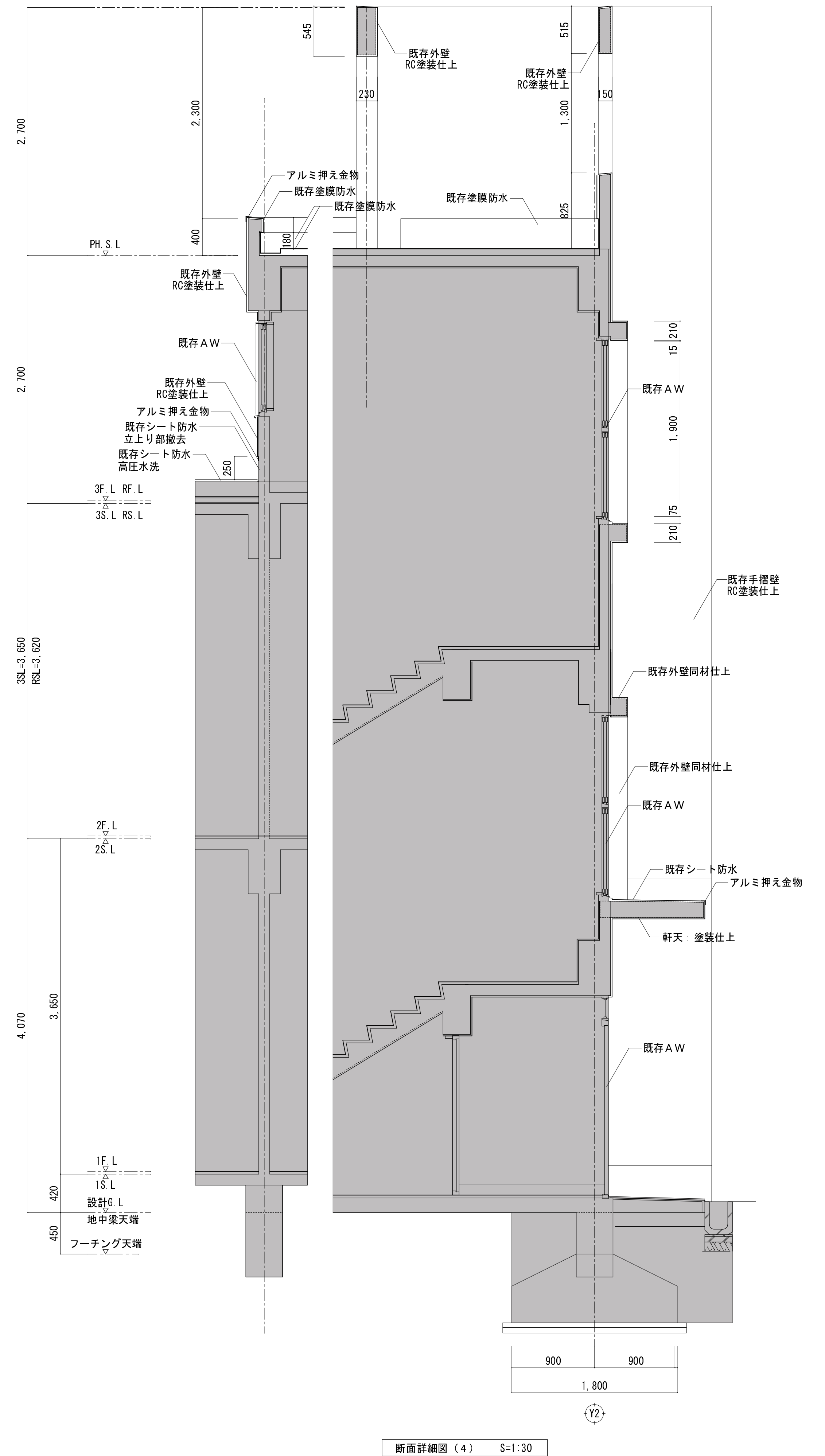
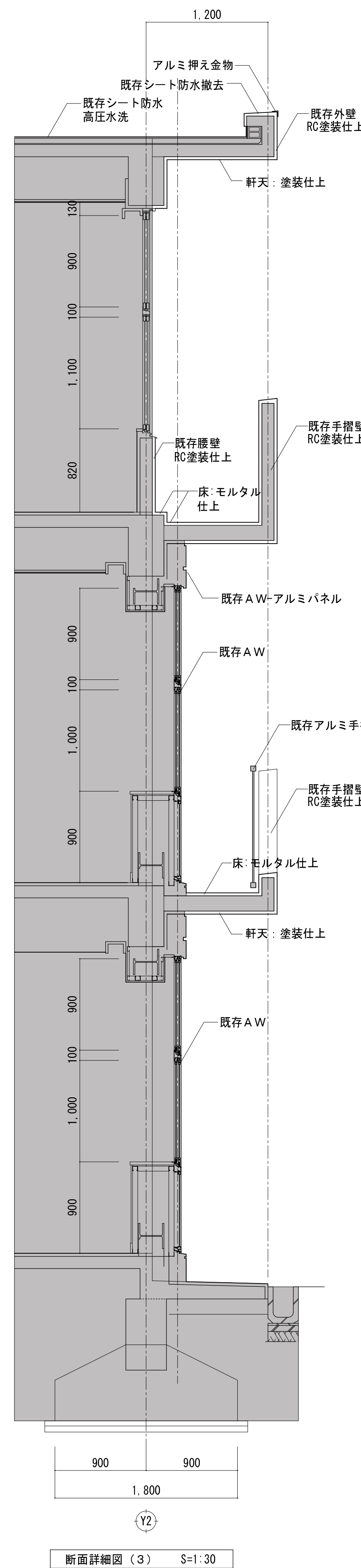
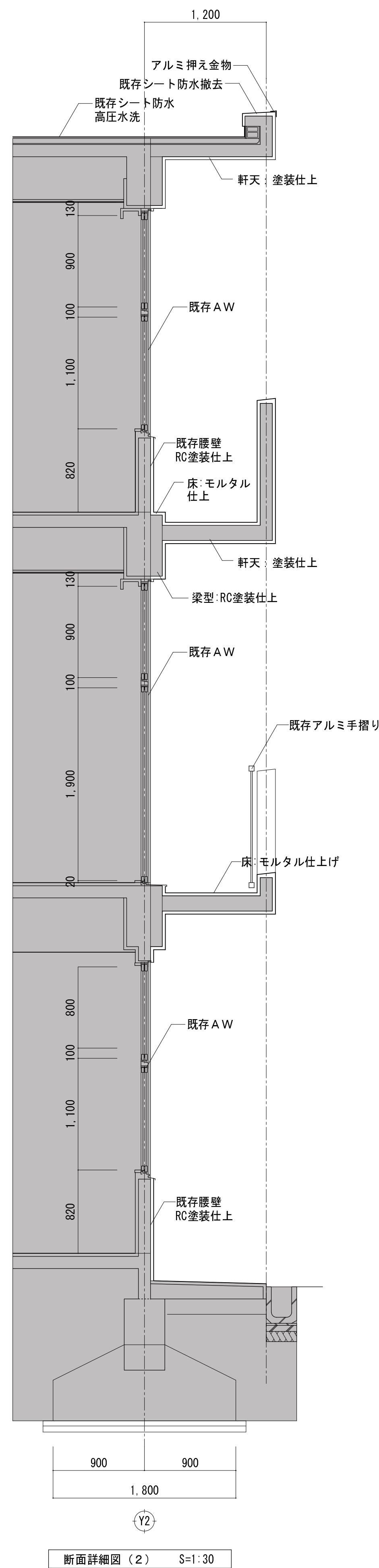
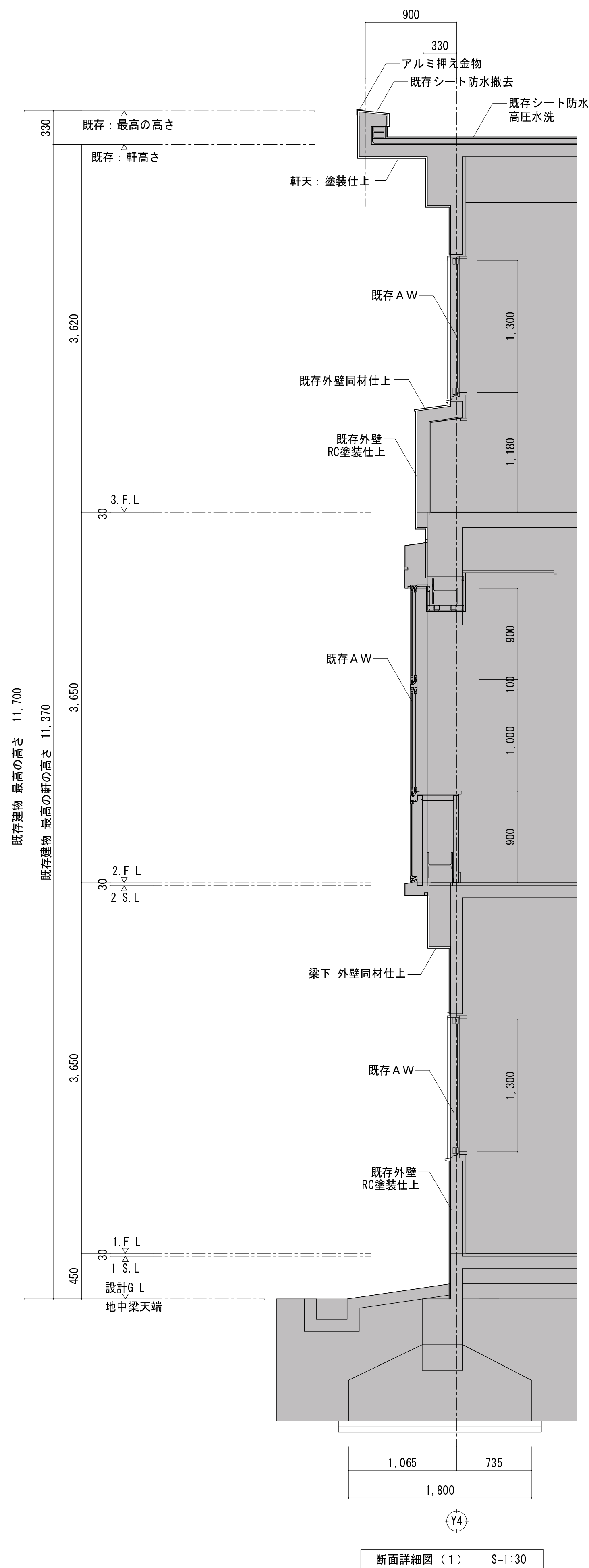
図 面 名
普通教室棟
既存 東側、西側 立面図

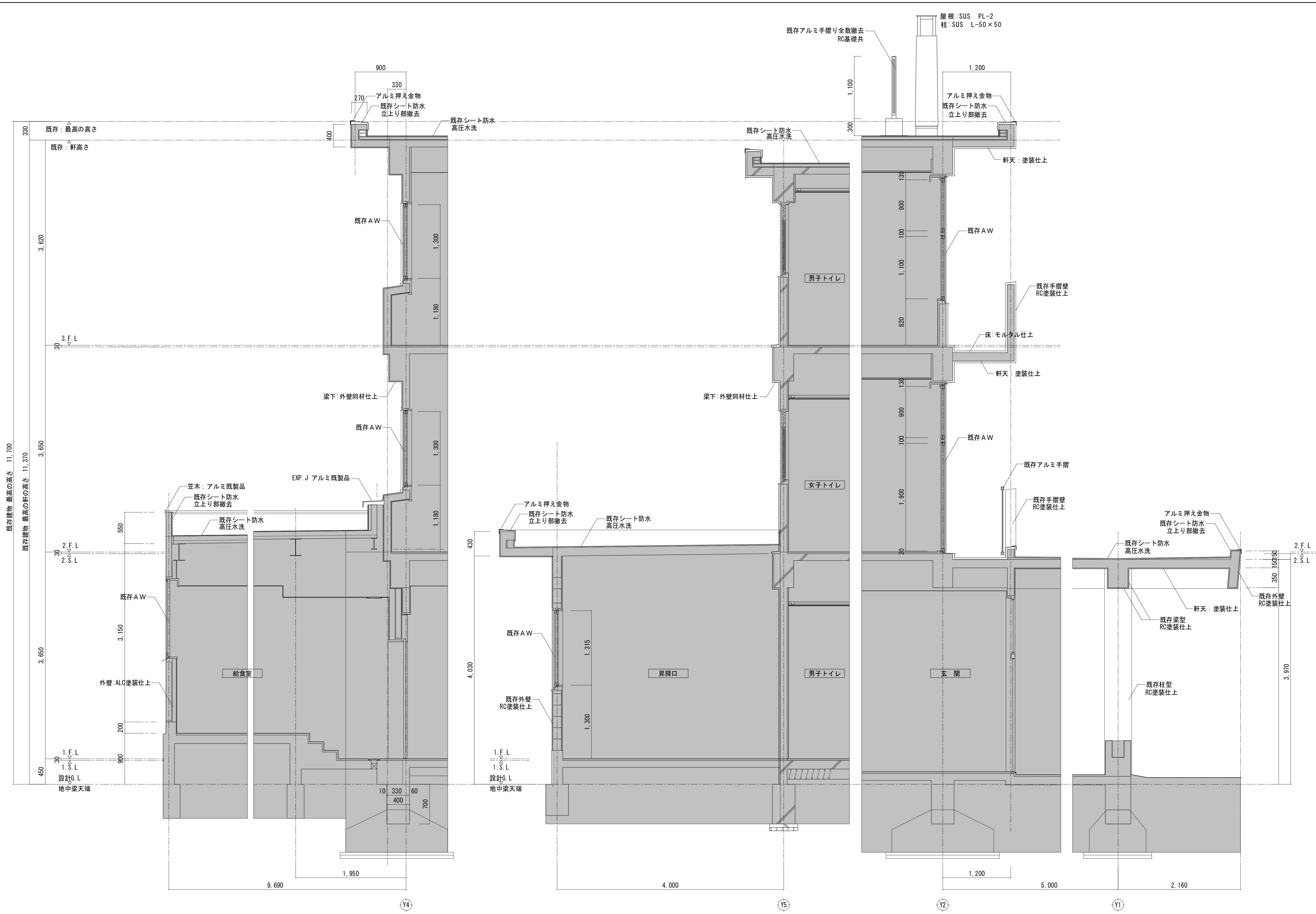
縮 尺
S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)

図 面 番 号
A-1-05



千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	設計年月日	令和7年1月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図 面 名	普通教室棟 既存 南側、北側 立面図	縮 尺	S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)	図 面 番 号	A-1-06
	千葉市立千城台西中学校外部改修外工事	特記事項		特記事項		特記事項							





断面詳細図 (5) S=1:30

断面詳細図 (6) S=1:30

断面詳細図 (7) S=1:30

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日	令和7年11月 日
特記事項	

変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

図面名

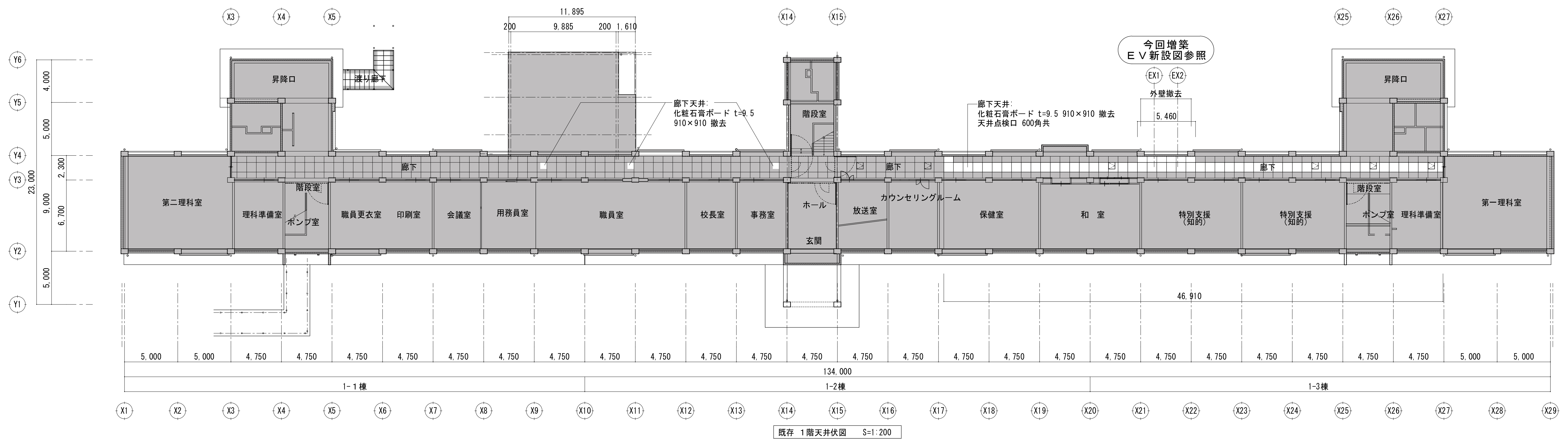
普通教室棟
既存 断面詳細図 (2)

縮尺

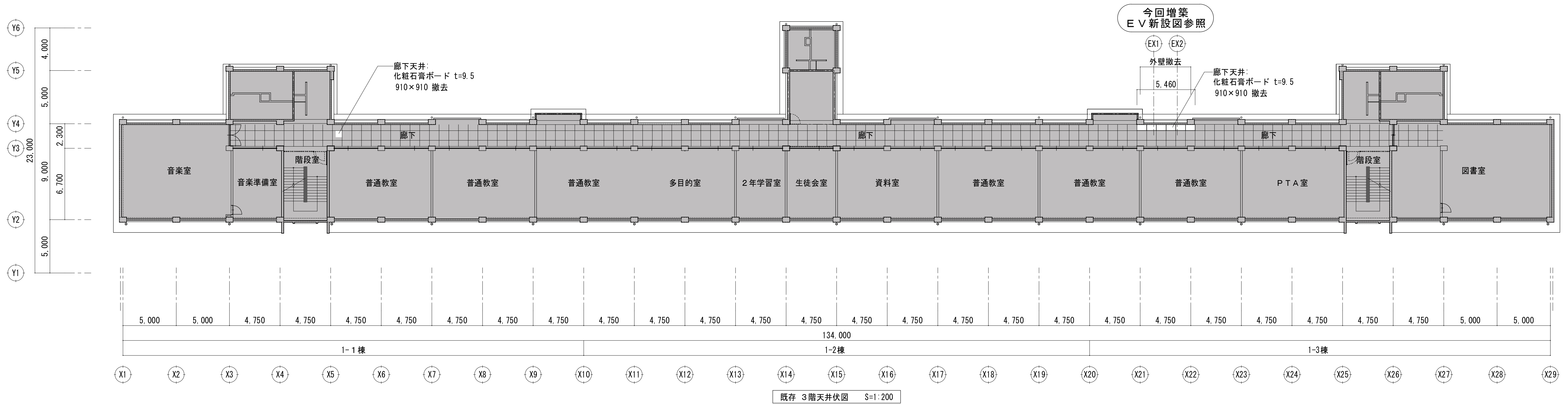
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

図面番号

A-1-08

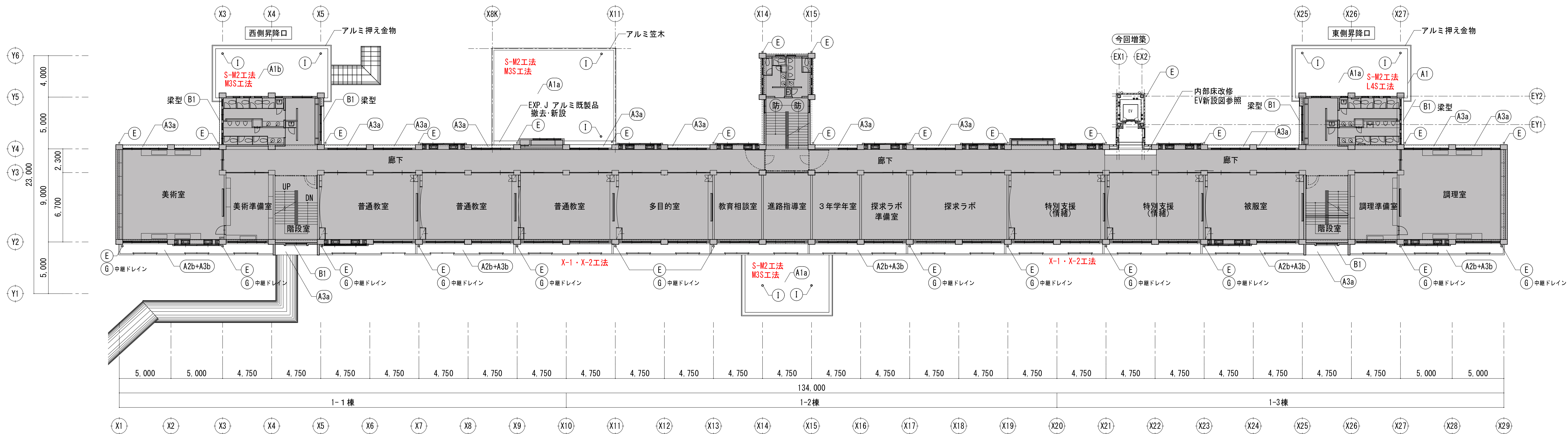


軒裏劣化数量表																																																		備 考																					
劣化状況/凡例		クラック:0.2~1.0mm			凡例		クラック:1.0mm以上			凡例		鉄筋露出(爆裂):100×30×30			凡例		鉄筋露出(爆裂):100×30			凡例		モルタル浮き			凡例		コンクリート欠損:100×30×30			凡例		コンクリート欠損:100×30			凡例		凡例		R C 部仕上塗材撤去を示す																																
工 法		自動式低圧エポキシ樹脂注入										Uカットシール										軽量エポキシ樹脂モルタル充填 (防錆処理等共)										軽量エポキシ樹脂モルタル充填 (防錆処理等共)										自動式低圧エポキシ樹脂注入 (ピンニング併用)										軽量エポキシ樹脂モルタル充填										軽量エポキシ樹脂モルタル充填									
数 量	種別	設計数量				実施数量				設計数量				実施数量				設計数量				実施数量				設計数量				実施数量				設計数量				実施数量				設計数量				実施数量																									
	種別	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位	1-1	1-2	1-3	単位																														
	東面	1.5	1.0	2.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	3.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m ²)	—	—	—	(m ²)	0.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)														
	西面	0.0	1.0	3.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	4.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m ²)	—	—	—	(m ²)	0.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)														
	南面	7.0	24.0	1.0	(m)	—	—	—	(m)	0.5	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	5.0	11.0	7.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	1.2	0.0	(m)	—	—	—	(m)	3.0	0.0	0.0	(m ²)	—	—	—	(m ²)	1.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)														
	北面	1.0	2.0	3.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)	0.0	0.0	0.0	(m ²)	—	—	—	(m ²)	0.0	0.0	0.0	(箇所)	—	—	—	(箇所)	0.0	0.0	0.0	(m)	—	—	—	(m)														
合 計 数 量		46.5 (m)				— (m)				0.5 (m)				— (m)				30.0 (箇所)				— (箇所)				1.2 (m)				— (m)				3.0 (m ²)				— (m ²)				1.0 (箇所)				— (箇所)				0.0 (m)				— (m)																	
増 減 数 量		—				— (m)				— (m)				— (箇所)				— (m)				— (箇所)				— (m)				— (m ²)				— (m ²)				— (箇所)				— (箇所)				— (m)																									

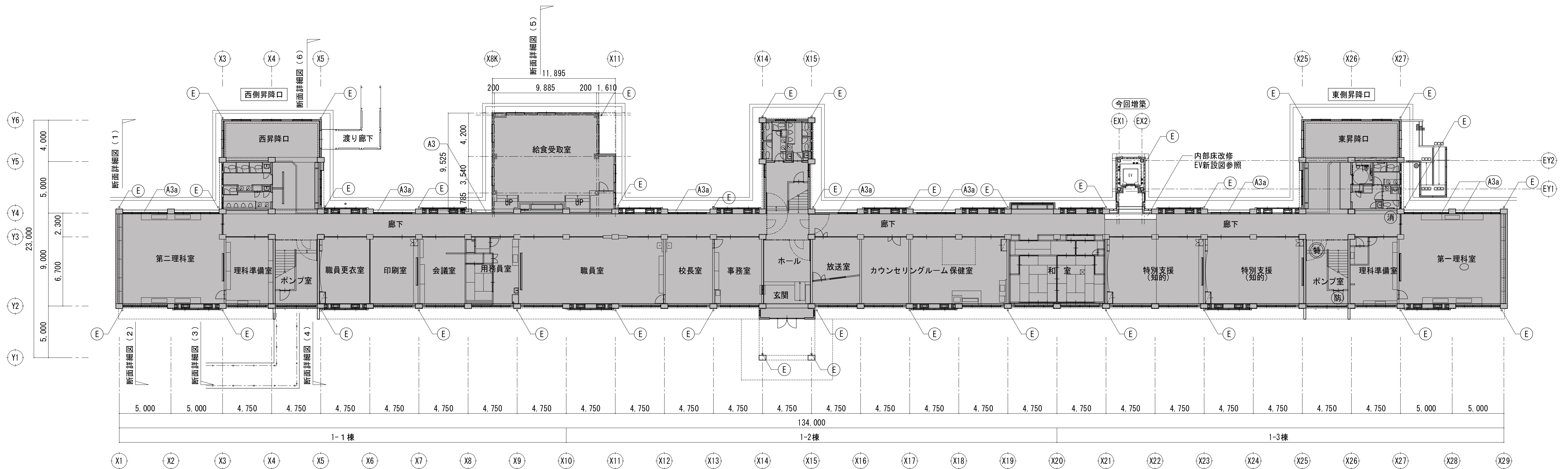


軒裏劣化表																			備 考					
劣化状況/凡例	クラック:0.2~1.0mm	凡例	—	クラック:1.0mm以上	凡例	++	鉄筋露出（燬裂）:100×30×30	凡例	▲	鉄筋露出（燬裂）:100×30	凡例	—▲	モルタル浮き	凡例	○	コンクリート欠損:100×30×30	凡例	△	コンクリート欠損:100×30	凡例	—▲	凡例		R C 部仕上塗材撤去を示す
工 法	自動式低圧エポキシ樹脂注入			Uカットシール			軽量エポキシ樹脂モルタル充填 （防錆処理等共）			軽量エポキシ樹脂モルタル充填 （防錆処理等共）			自動式低圧エポキシ樹脂注入 （ピンニング併用）			軽量エポキシ樹脂モルタル充填			軽量エポキシ樹脂モルタル充填					

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称 千葉市立千城台西中学校校外部改修外工事	設計年月日	令和 7 年 1 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名 普通教室棟 既存 3、R階 天井伏図	縮尺 S=1:200 (A1) S=1:400 (A3)	図面番号 A-1-10
		特記事項		特記事項		特記事項				

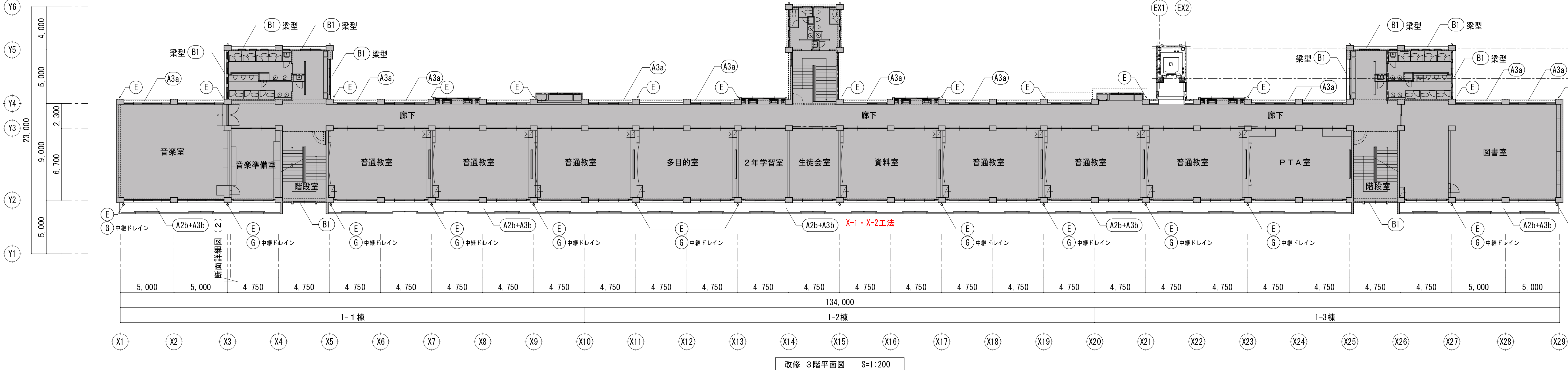
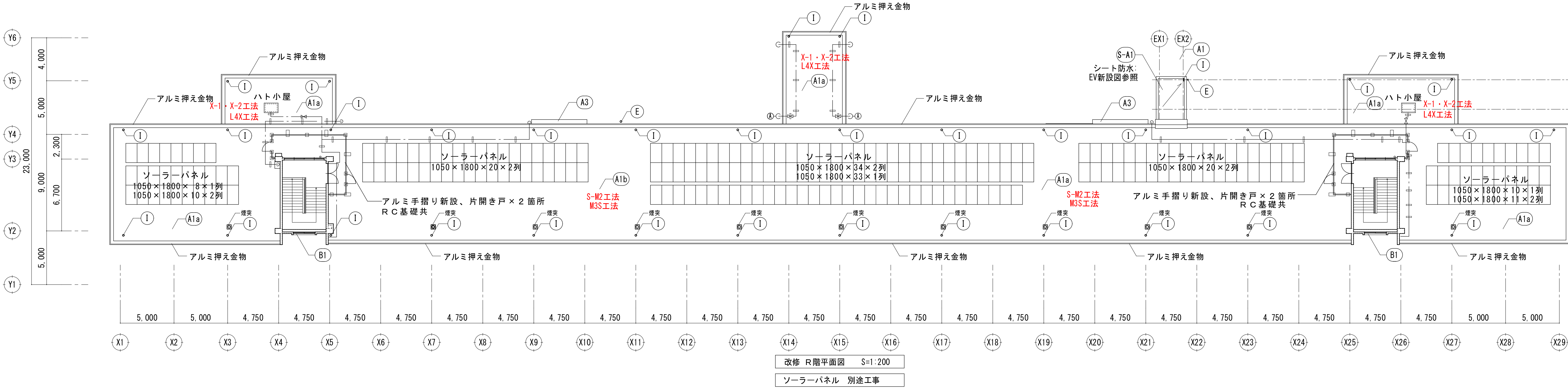
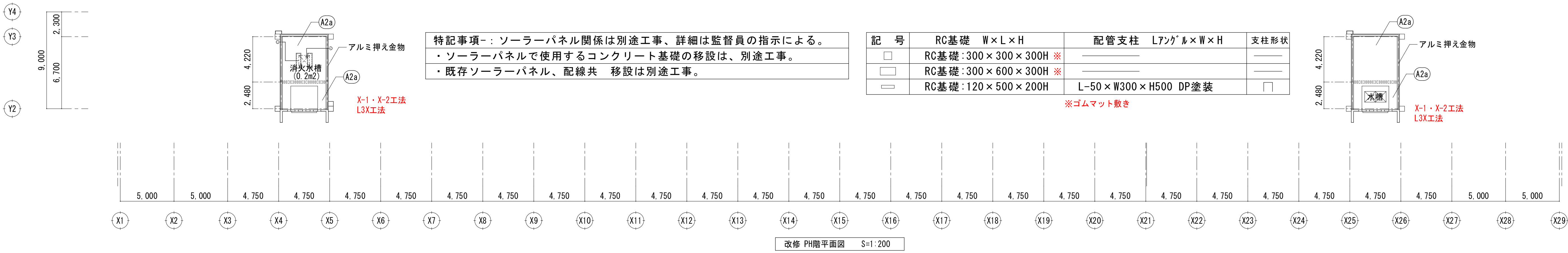


改修 2階平面図 S=1:200

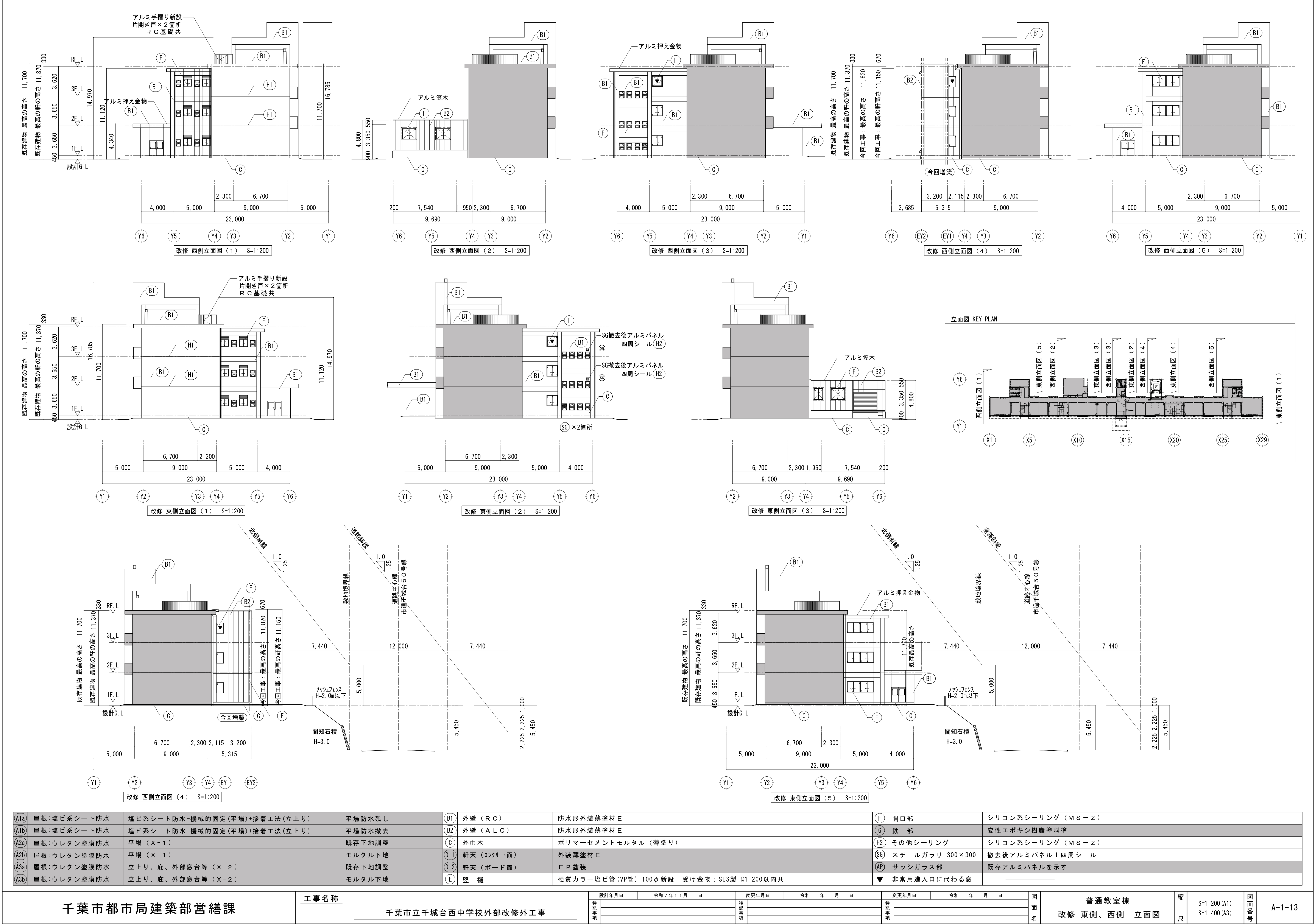


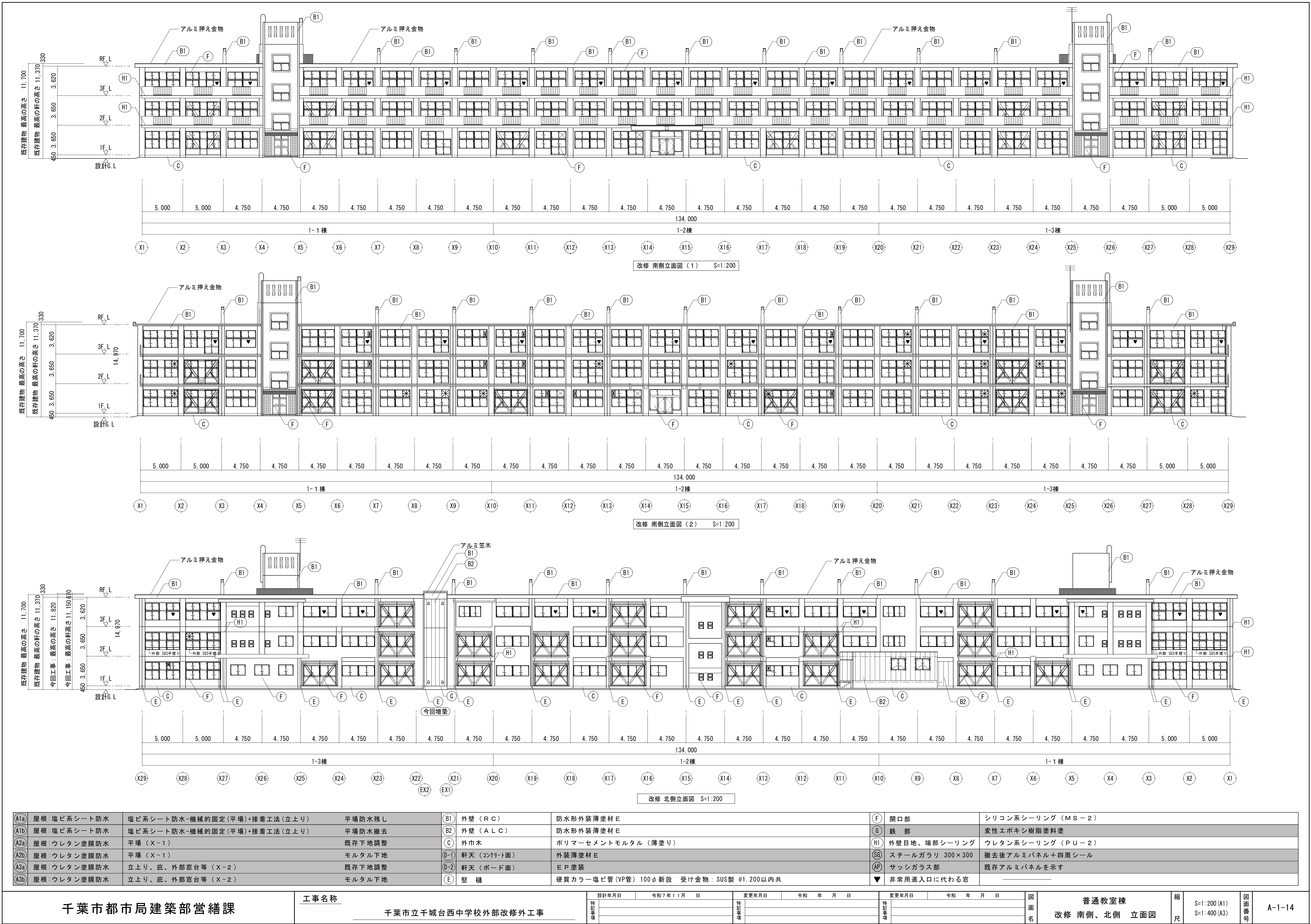
改修 1階平面図 S=1:200

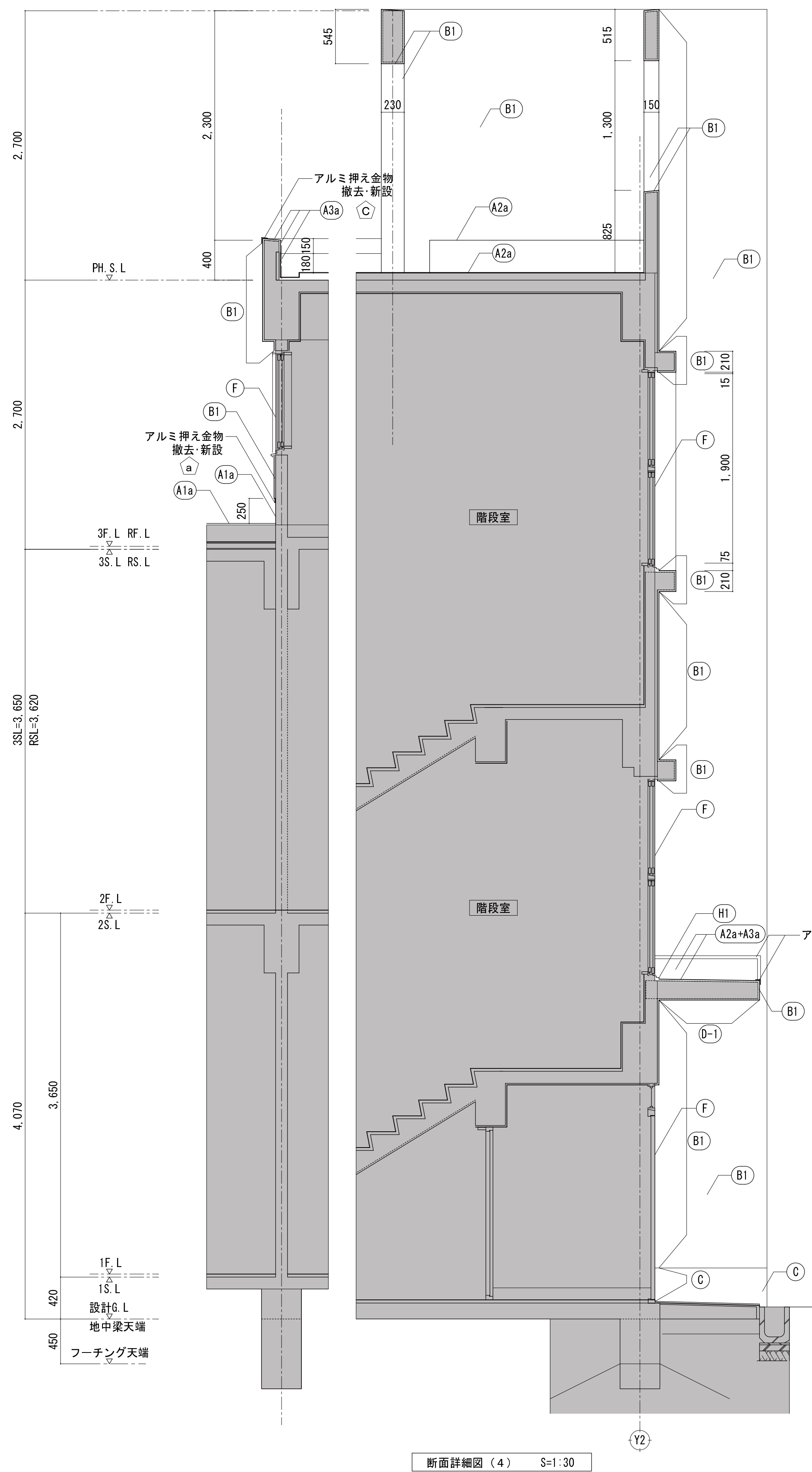
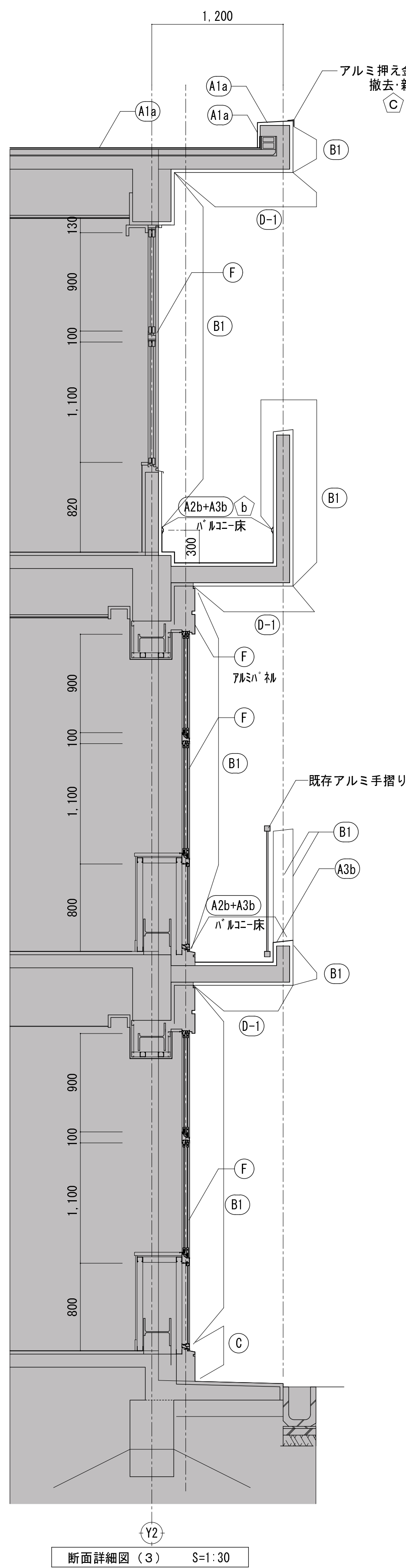
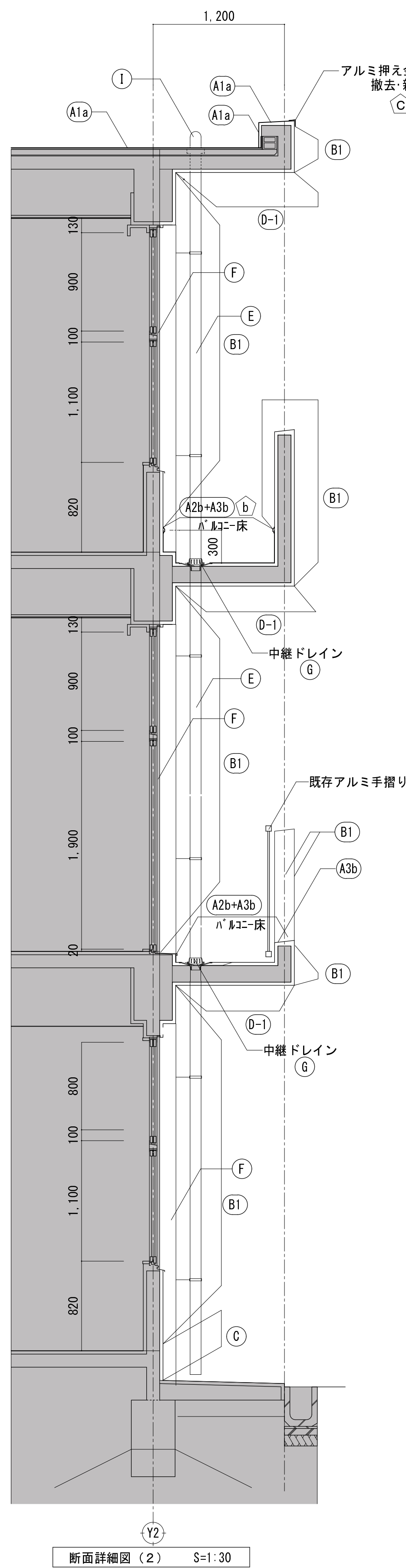
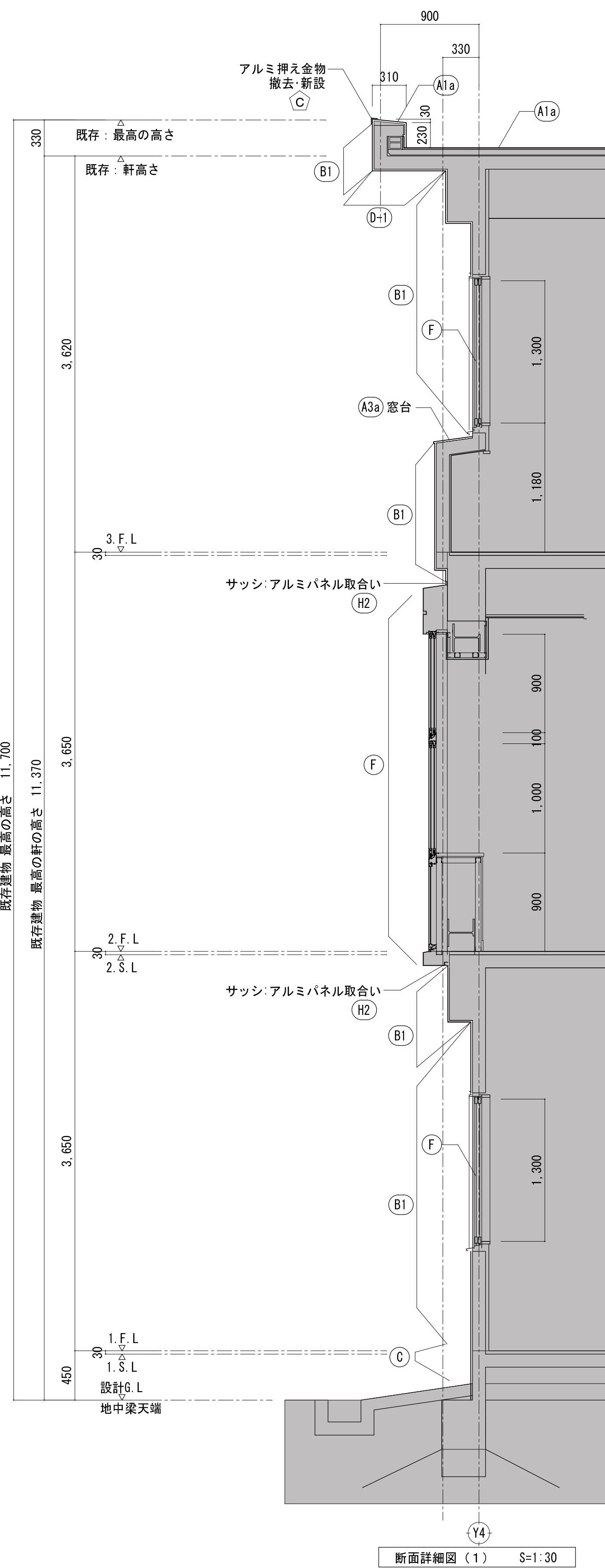
A1a	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水残し	B1	外壁 (RC)	防水形外装薄塗材 E	F	開口部	シリコン系シーリング (MS-2)
A1b	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水撤去	B2	外壁 (ALC)	防水形外装薄塗材 E	G	鉄 部	変性エポキシ樹脂塗料塗
A2a	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	既存下地調整	O	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (PU-2)
A2b	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	モルタル下地	O-1	軒天 (コンクリート面)	外装薄塗材 E	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
A3a	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	既存下地調整	O-2	軒天 (ボード面)	E P 塗装	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
A3b	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	モルタル下地	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共			



A1a	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水残し	B1	外壁(RC)	防水形外装薄塗材E	F	開口部	シリコン系シーリング(MS-2)
A1b	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水撤去	B2	外壁(ALC)	防水形外装薄塗材E	G	鉄部	変性エポキシ樹脂塗料塗
A2a	屋根:ウレタン塗膜防水	平場(X-1)	既存下地調整	O	外巾木	ポリマーセメントモルタル(薄塗り)	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング(PU-2)
A2b	屋根:ウレタン塗膜防水	平場(X-1)	モルタル下地	O-1	軒天(コンクリート面)	外装薄塗材E	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング(MS-2)
A3a	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等(X-2)	既存下地調整	O-2	軒天(ボード面)	EP塗装	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
A3b	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等(X-2)	モルタル下地	E	縦樋	硬質カラー塩ビ管(VP管) 100φ新設 受け金物:SUS製 @1.200以内共			

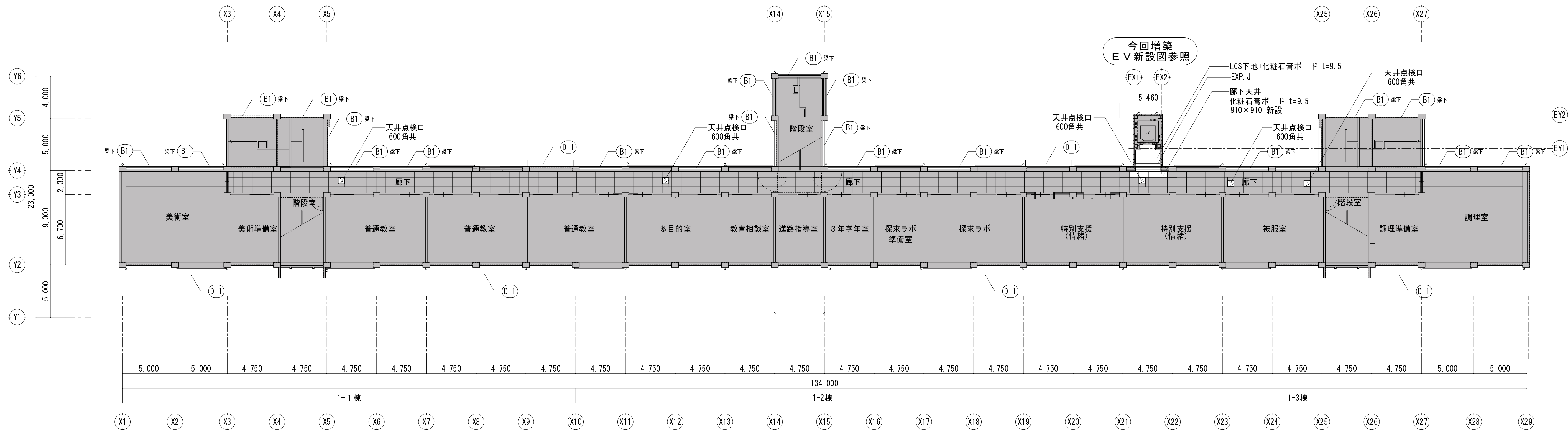




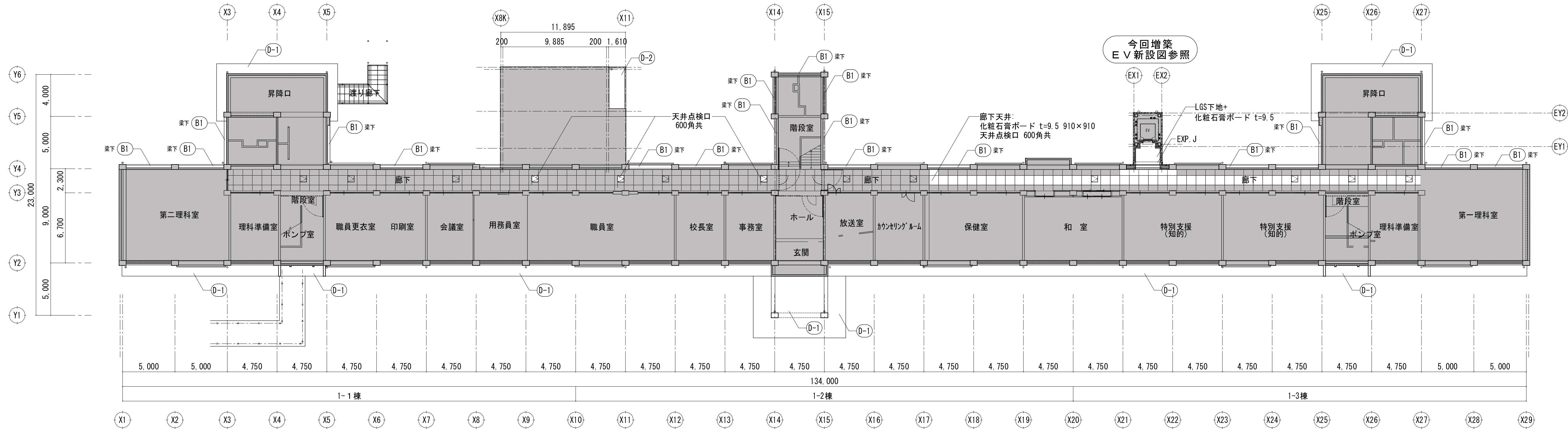


(A1a)	屋根：塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水残し	(B1)	外壁 (RC)	防水形外装薄塗材 E	(F)	開口部	シリコン系シーリング (MS-2)
(A1b)	屋根：塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水撤去	(B2)	外壁 (ALC)	防水形外装薄塗材 E	(G)	鉄 部	耐候性塗料 DP 塗装
(A2a)	屋根：ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	既存下地調整	(C)	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	(H1)	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (PU-2)
(A2b)	屋根：ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	モルタル下地	(D-1)	軒天 (コンクリート面)	外装薄塗材 E	(H2)	その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
(A3a)	屋根：ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	既存下地調整	(D-2)	軒天 (ボード面)	EP 塗装	(I)	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
(A3b)	屋根：ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	モルタル下地	(E)	堅 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	(N0)	雑詳細図 A-1-27 参照	_____





改修 2階天井伏図 S=1:200



改修 1階天井伏図 S=1:200

A1a	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水残し	B1	外壁 (RC)	防水形外装薄塗材 E	F	開口部	シリコン系シーリング (MS-2)
A1b	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水撤去	B2	外壁 (ALC)	防水形外装薄塗材 E	G	鉄 部	耐候性塗料 DP 塗装
A2a	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	既存下地調整	C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (PU-2)
A2b	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	モルタル下地	D-1	軒天 (コンクリート面)	外装薄塗材 E	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
A3a	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	既存下地調整	D-2	軒天 (ボード面)	E P 塗装	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
A3b	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	モルタル下地	E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	J	天井点検口 600角新設	化粧石膏ボード t=9.5 910×910 撤去共

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

変更年月日

令和 年 月 日

変更年月日

令和 年 月 日

図

普通教室棟

改修 1、2階 天井伏図

縮

S=1:200 (A1)

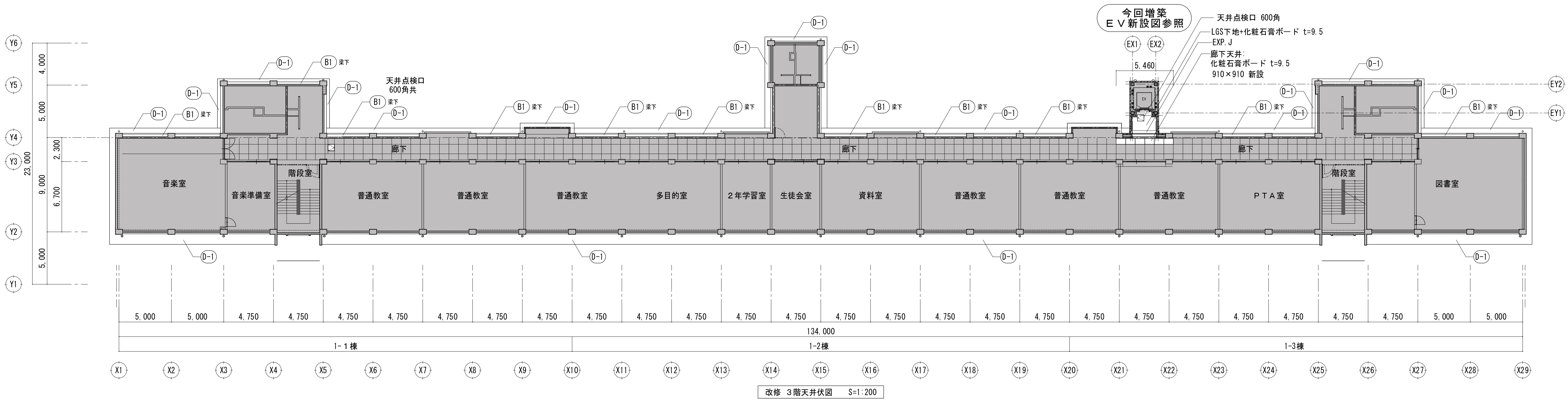
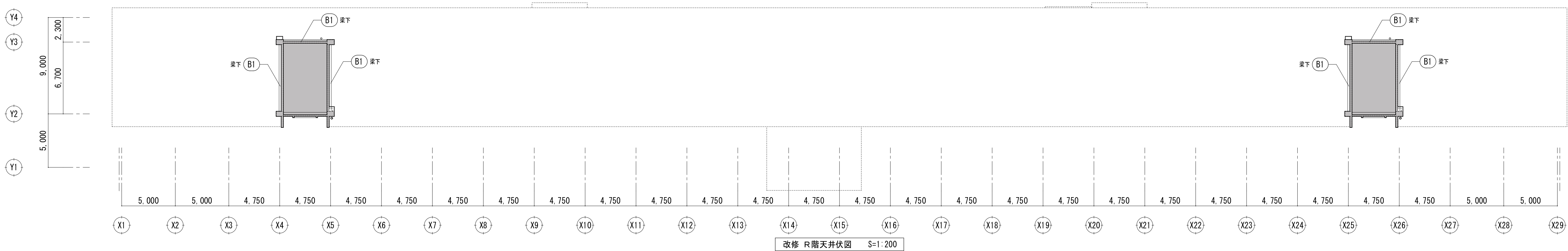
S=1:400 (A3)

尺

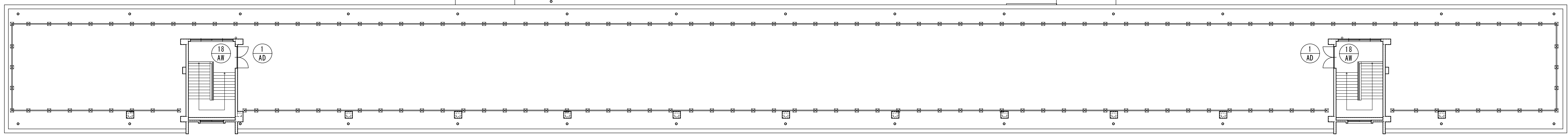
図

面番号

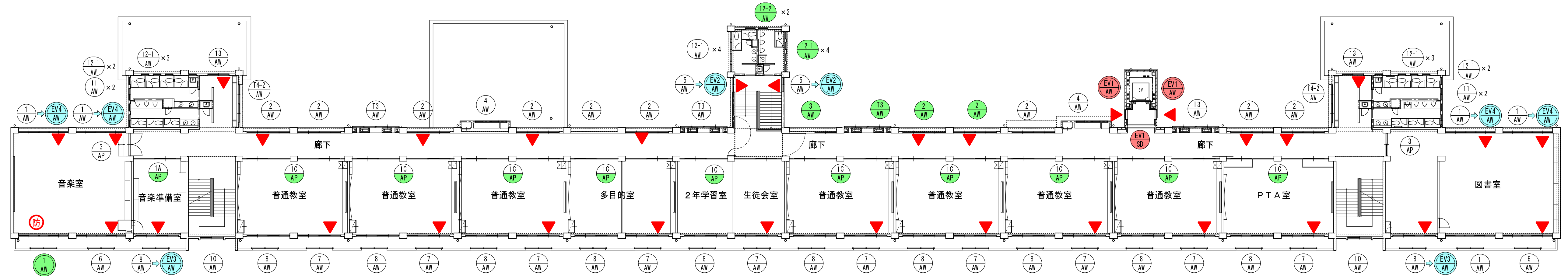
A-1-17



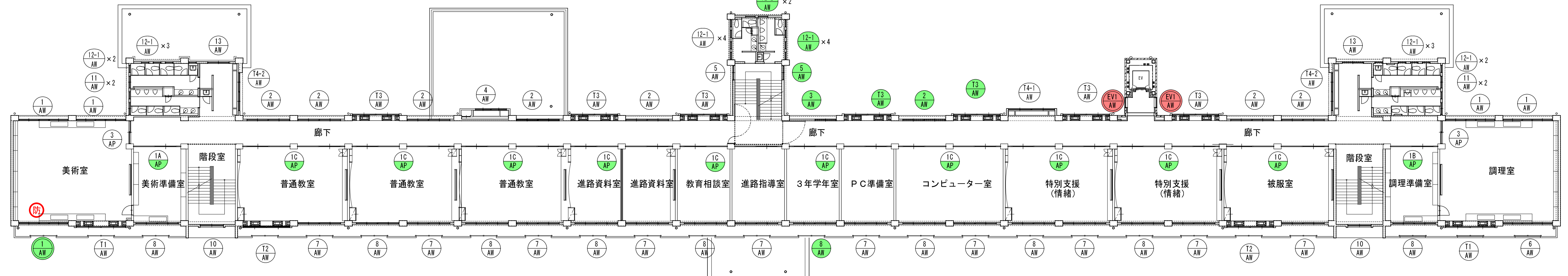
A1a	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水残し	B1	外壁 (RC)	防水形外装薄塗材 E	F	開口部	シリコン系シーリング (MS-2)
A1b	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り)	平場防水撤去	B2	外壁 (ALC)	防水形外装薄塗材 E	G	鉄 部	耐候性塗料 DP 塗装
A2a	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	既存下地調整	C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (PU-2)
A2b	屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	モルタル下地	D-1	軒天 (コンクリート面)	外装薄塗材 E	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
A3a	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	既存下地調整	D-2	軒天 (ボード面)	EP 塗装	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
A3b	屋根:ウレタン塗膜防水	立上り、庇、外部窓台等 (X-2)	モルタル下地	E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	J	天井点検口 600角新設	化粧石膏ボード t=9.5 910×910 撤去共



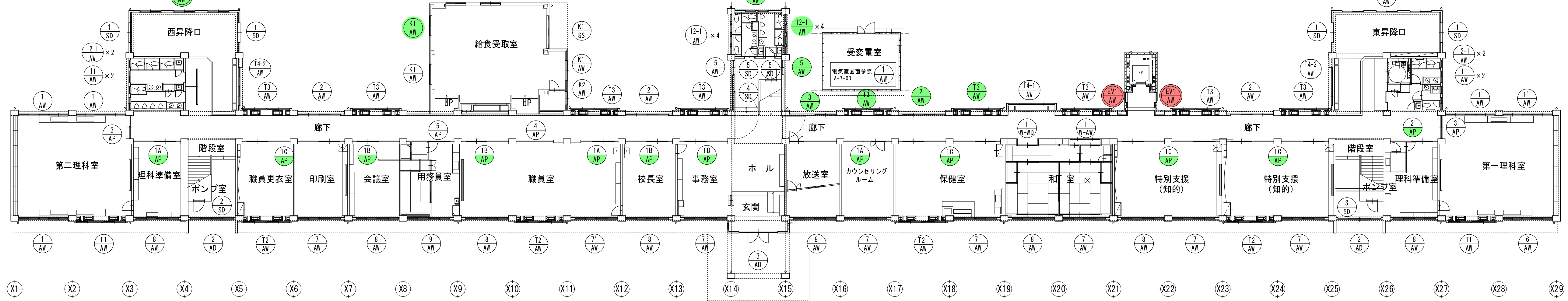
建具キープラン R階平面図 S=1:200



建具キープラン 3階平面図 S=1:200



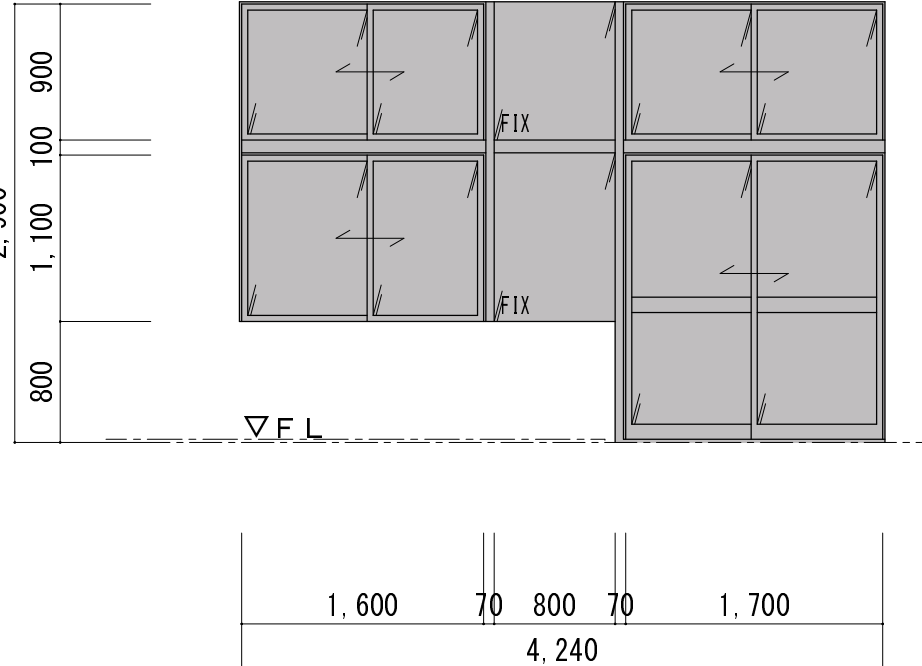
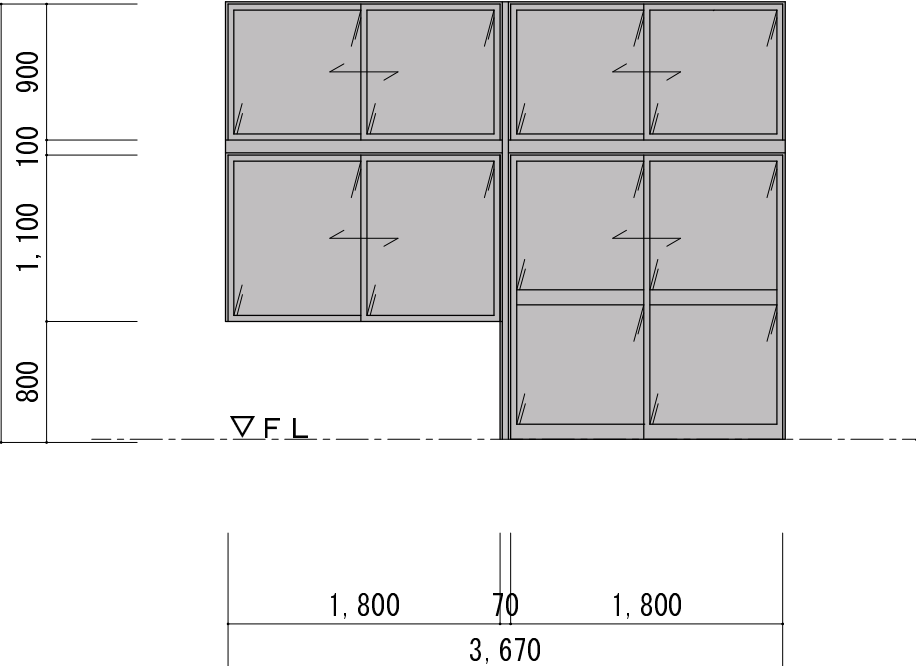
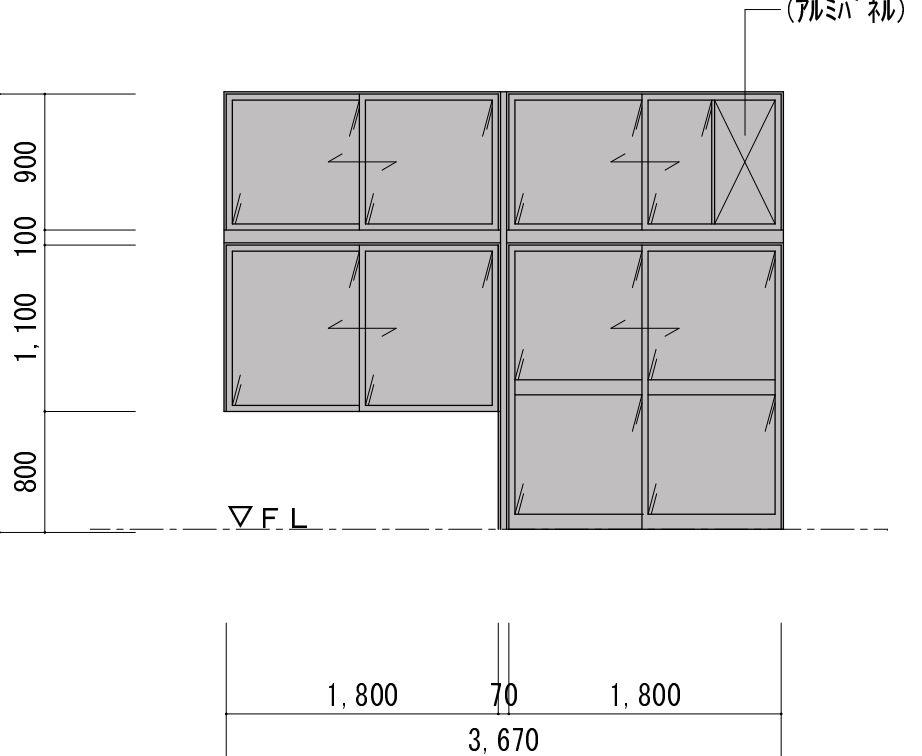
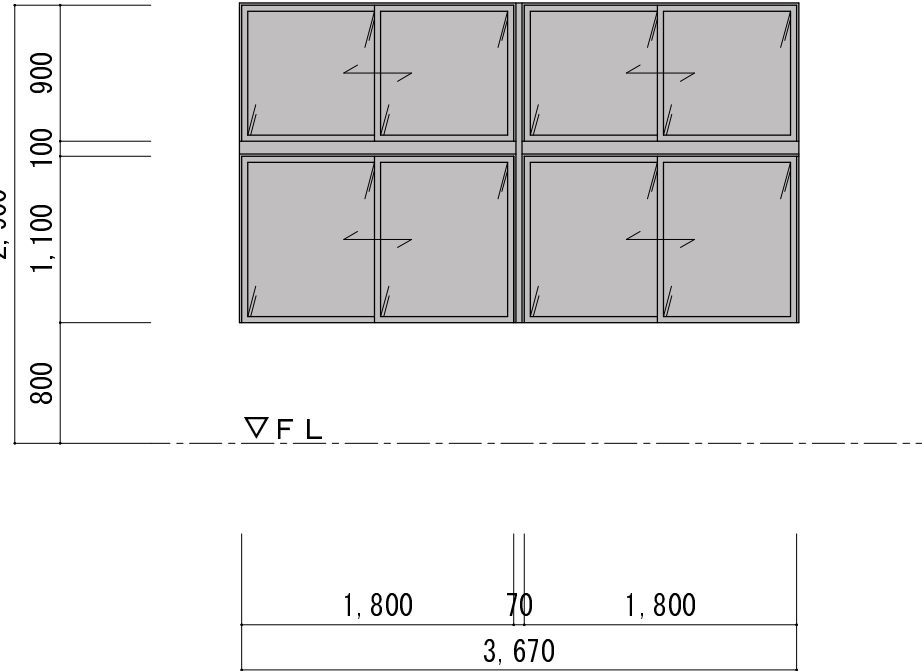
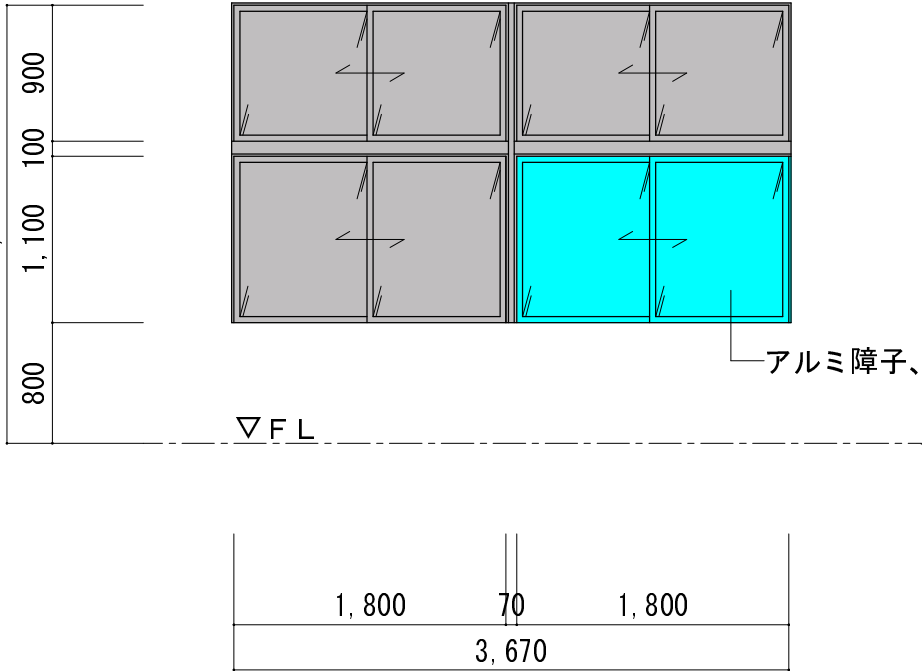
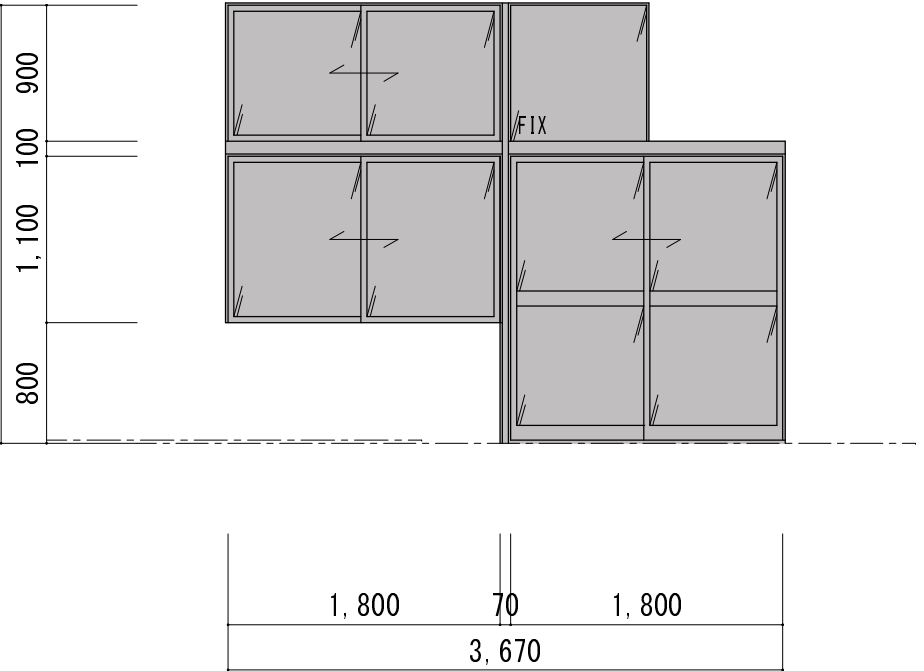
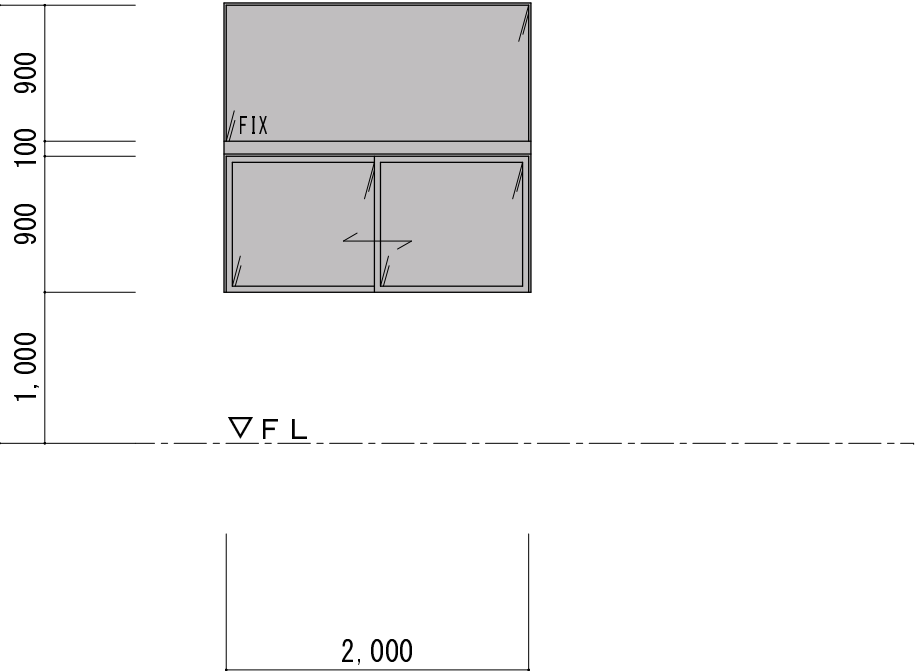
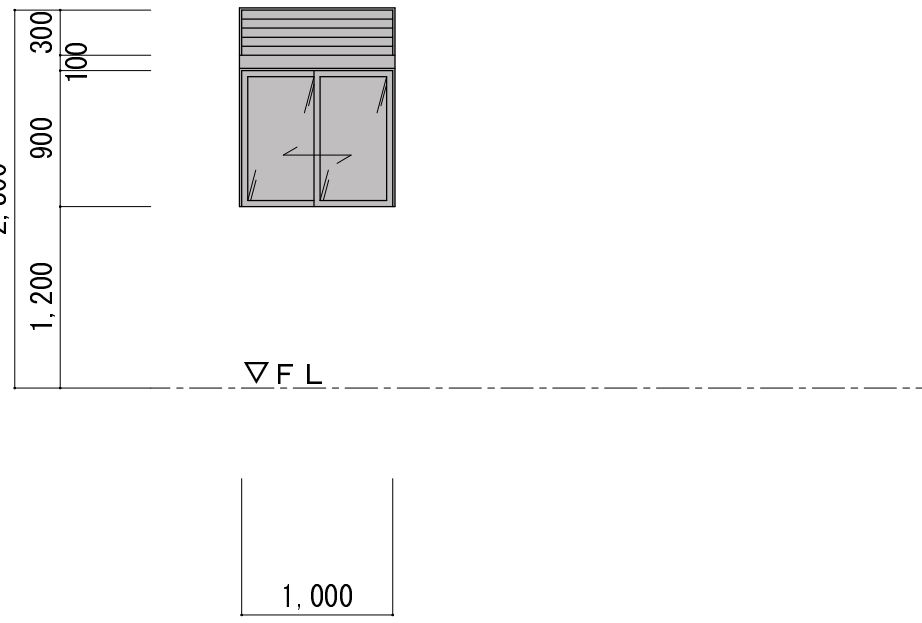
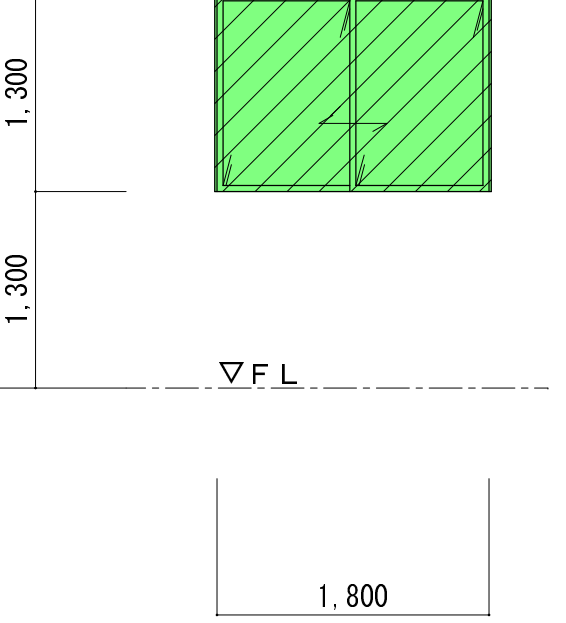
建具キープラン 2階平面図 S=1:200



建具キープラン 1階平面図 S=1:200

記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
○	外部：シーリング撤去・新設	●	サッシ新設	●	防火設備網入りガラスに交換	●	代替進入口新設に伴う改修
○	内部：既存のまま	●	内部パネーション不燃化改修	●		●	非常用進入口に代わる窓

符号・個数	1 AW 全 15 箇所			1 AW 改修-1 9箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設	1 AW 改修-1 2箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-2 強化ガラス撤去→網入りガラス新設	1 AW 改修-1 4箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-3 カバー工法新設（代用侵入口新設） 一部：ガラス、障子の撤去	1 AW 1箇所 改修-1 1箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設					
姿図・寸法												
取付場所	廊下、1階-第一、二理科室、2階-調理室			2階-美術室、3階-音楽室			3階-音楽室、図書室			1階-第一理科室		
形 式	引き違い連窓			ランマ、F I X付き引き違い連窓			ランマ、F I X付き引き違い連窓			引き違い連窓		
仕 上	アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト		
ガ ラ ス	強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4		
金 物							一部カバー工法にて改修					
備 考												
符号・個数	2 AW 全 23 箇所			2 AW 改修-1 19箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-2	2 AW 改修-1 4箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-2 強化ガラス撤去→網入りガラス新設	5 AW			3 AW 全 3 箇所	改修-1 3箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-2 強化ガラス撤去→網入りガラス新設		
姿図・寸法												
取付場所	廊下: 1F×3, 2F×7, 3F×9			廊下 1F×1, 2F×1, 3F×2					廊下 廊下 1F×1, 2F×1, 3F×1			
形 式	引き違い連窓			引き違い連窓					引き違い窓			
仕 上	アルミ アルマイト			アルミ アルマイト					アルミ アルマイト			
ガ ラ ス	強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4					
金 物												
備 考												
符号・個数	4 AW 全 3 箇所			5 AW 改修-1 4箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設	5 AW 改修-1 2箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-2 強化ガラス撤去→網入りガラス新設			5 AW 改修-1 2箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設 改修-3 既存サッシ撤去、カバー工法新設（代用侵入口新設）				
姿図・寸法												
取付場所	廊下			1, 2, 3F-中央階段 踊り場			1F, 2F-中央階段 踊り場			3F-中央階段 踊り場		
形 式	引き違い連窓			引き違い窓			引き違い窓			引き違い窓		
仕 上	アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト		
ガ ラ ス	強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4		
金 物										カバー工法にて改修		
備 考												

符号・個数	6 AW 全 4 箇所						7 AW 全 25 箇所			7 AW 全 3 箇所					
姿図・寸法	改修-1	4箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設				改修-1	25箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	3箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設			
															
取付場所	廊下						1F-印刷室、職員室、事務室、ｶﾝﾍﾞﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ室、保健室、和室、特別支援室 :1F×5 2、3F-普通教室、特別支援、進路資料、進路指導、PC室、被覆室、多目的、生徒会、PTA室 :2F×10、3F×10			1F-印刷室、職員室、事務室、ｶﾝﾍﾞﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ室、保健室、和室、特別支援室 :1F×5 2、3F-普通教室、特別支援、進路資料、進路指導、PC室、被覆室、多目的、生徒会、PTA室 :2F×10、3F×10					
形 式	引き違い連窓						ランマ、F I X 付き引き違い連窓			ランマ、F I X 付き引き違い連窓					
仕 上	アルミ アルマイト						アルミ アルマイト			アルミ アルマイト					
ガ ラ ス	強化ガラス t=4						強化ガラス t=4			強化ガラス t=4					
金 物															
備 考															
符号・個数	8 AW 全 30 箇所			9 AW 全 1 箇所			9 AW 全 1 箇所			10 AW 全 6 箇所					
姿図・寸法	改修-1	28箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	2箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設 アルミ障子、ガラス一部撤去、カバー工法新設（代用侵入口新設） 撤去部以外：ガラス共 既存のまま	改修-1	1箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	6箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設			
															
取付場所	1、2、3階-普通教室			3階-音楽準備室、図書室			1階 用務員室			西、東側 階段室一踊場					
形 式	ランマ付き引き違い連窓			ランマ付き引き違い連窓			ランマ、F I X 付き引き違い連窓			ランマ付き引き違い窓					
仕 上	アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト					
ガ ラ ス	強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4					
金 物				一部カバー工法にて改修											
備 考															
符号・個数	11 AW 全 12 箇所			12-1 AW 全 48 箇所			12-2 AW 全 6 箇所			12-2 AW 全 6 箇所			13 AW 改修図 10箇所		
姿図・寸法	改修-1	12箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	48箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	6箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	10箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	13 AW		
				改修-2	12箇所	強化ガラス撤去ー網入りガラス新設	改修-2	4箇所	強化ガラス撤去ー網入りガラス新設	改修-2	3箇所	強化ガラス撤去ー網入りガラス新設			
取付場所	西、東側 男女トイレ			西、東側 中央階段ー男女トイレ			西、東側階段ー男女トイレ			中央階段ー男女トイレ					
形 式	ランマ付き引き違い窓			外倒し連窓			外倒し連窓			外倒し連窓					
仕 上	アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト			アルミ アルマイト					
ガ ラ ス	強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4			強化ガラス t=4					
金 物															
備 考															

符号・個数	18 AW 改修図	2箇所	1 AD 改修図	2箇所	1 SD 改修図	4箇所	5 SD 改修図	2箇所
改修-1	2箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	2箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	4箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設
姿図・寸法								
取付場所	西、東側 RF-階段室		西、東側 RF-階段室		西、東側 1F-昇降口			
形 式	引き違い連窓		アルミ製両開き戸		一本引きスチールフラッシュ戸			
仕 上	アルミ アルマイト		アルミ アルマイト		アルミ アルマイト			
ガ ラ ス	強化ガラス t=4		強化ガラス t=4		強化ガラス t=4			
金 物								
備 考								
符号・個数	2 SD 既存建具	1箇所	3 SD 既存建具	1箇所	4 SD 既存建具	1箇所	5 SD 既存建具	2箇所
姿図・寸法								
取付場所	西側 階段下 ポンプ室		東側 階段下 ポンプ室		中央 階段下 ポンプ室		中央階段 1階 男女トイレ	
形 式	片開きスチールフラッシュ戸		片開きスチールフラッシュ戸		片開きスチールフラッシュ戸		片開きスチールフラッシュ戸	
仕 上	O P塗装		O P塗装		O P塗装		O P塗装	
ガ ラ ス								
金 物								
備 考								
符号・個数	K1 AW 全	5箇所	K1 AW 全	3箇所	K2 AW 全	1箇所	K1 SS 全	1箇所
改修-1	2箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	3箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設	改修-1	1箇所	サッシ回りシーリング撤去、新設
			改修-2		強化ガラス撤去ー網入りガラス新設			
姿図・寸法								
取付場所	給食受取室		給食受取室		給食受取室		給食受取室	
形 式	引き違い窓、面格子付き		引き違い窓、面格子付き		引き違い窓、面格子付き		軽量電動シャッター t=0.5	
仕 上	アルミ アルマイト		アルミ アルマイト		アルミ アルマイト			
ガ ラ ス	強化ガラス		強化ガラス		強化ガラス t=4			
金 物							沓摺、マグサ、ガイドレール、三方枠：SUS-HL	
備 考							スイッチボックス	

符号・個数			符号・個数			符号・個数			符号・個数											
T1 AW 全 4 箇所			T2 AW 全 5 箇所			T2 AW 全 1 箇所			T3 AW 全 20 箇所 T3 AW 5 箇所											
改修-1 4箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			改修-1 5箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			改修-1 1箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			改修-1 20箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設											
改修-2 5箇所 強化ガラス撤去ー網入りガラス新設																				
姿図・寸法																				
取付場所	1F-第1,2理科室、2F-美術室、調理室					1F-職員更衣室、職員室、特別支援 2F-普通、被覆室 T2' :1F 保健室					1F-職員更衣室、職員室、特別支援 2F-普通、被覆室 T2' :1F 保健室					1. 2. 3階-廊下				
形 式	ランマ、F I X 付き引き違い連窓					ランマ、F I X 付き引き違い連窓					ランマ、F I X 付き引き違い連窓					ランマ、F I X 付き引き違い連窓				
仕 上	アルミ アルマイト					アルミ アルマイト					アルミ アルマイト					アルミ アルマイト				
ガ ラ ス	強化ガラス t=4					強化ガラス t=4					強化ガラス t=4					強化ガラス t=4				
金 物																				
備 考																				
符号・個数	T4-1 AW 全 2 箇所					T4-2 AW 全 6 箇所					I E-AW 既存建具 1箇所					I E-AW 既存建具 1箇所				
改修-1 2箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			改修-1 6箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			既存のまま			既存のまま											
姿図・寸法																				
取付場所	1階-廊下（水飲み前）、2階-廊下（水飲み前）					西、東側 男女トイレ 前室					1階 和室					1階 和室				
形 式	引き違い連窓					引き違い連窓					木製引き違い戸					引き違い連窓				
仕 上	アルミアルマイト					アルミアルマイト					ヒノキ 塗装仕上げ					アルミ ブロンス				
ガ ラ ス	強化ガラス t=4					強化ガラス t=4.0					透明 t=3.0					透明 t=3.0				
金 物																				
備 考																				
符号・個数	EVI SD 新設建具 1箇所										2 AD 全 2 箇所					3 AD 全 1 箇所				
新設 天井内点検口						改修-1 2箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設			改修-1 1箇所 サッシ回りシーリング撤去、新設											
改修-2 丁番：撤去、新設																				
姿図・寸法																				
取付場所	3階 EVホール天井内					西側、東側 階段出入口					玄関									
形 式	EV煙感用点検口					ランマ、F I X 付きハンガー引き分け戸					ランマ、F I X 付き両開き戸									
仕 上	スチール 錆止塗装					アルミ アルマイト					アルミ アルマイト									
ガ ラ ス						強化ガラス t=4					強化ガラス t=4									
金 物	ケースハンドル																			
備 考	防火設備										丁番：撤去、新設、DC新設									

符号・個数		EV1 新設建具 6箇所	
姿図・寸法	新設 代替進入口		
	取付場所 E V ホール		
	形 式 F 1 X 窓		
	仕 上 アルミアルマイト		
	ガ ラ ス 強化ガラス t=4.0		
金 物 A L C 取付け用			
備 考 アルミ額縁 D=150			
符号・個数		EV2 新設建具 2箇所	
姿図・寸法	改修・カバー工法 代替進入口 防火設備 既存 AW-5		
	取付場所 3階 中央階段-踊場		
	形 式 片開き窓		
	仕 上 防火設備認定品・アルミアルマイト		
	ガ ラ ス 透明網入りガラス t=6.8		
金 物			
備 考			
符号・個数		EV3 新設建具 2箇所	
姿図・寸法	改修・カバー工法 代替進入口 既存 AW-8		
	取付場所 3階 音楽準備室、図書室		
	形 式 F 1 X 新設 + ランマ付き引き違い連窓		
	仕 上 アルミアルマイト		
	ガ ラ ス 強化ガラス t=4.0		
金 物			
備 考			
符号・個数		EV4 新設建具 4箇所	
姿図・寸法	改修・カバー工法 代替進入口 既存 AW-1		
	取付場所 3階 音楽室、図書室		
	形 式 F 1 X 新設 + ランマ付き引き違い連窓		
	仕 上 アルミアルマイト		
	ガ ラ ス 強化ガラス t=4.0		
金 物			
備 考			

符号・個数		IA 改修図 5箇所	
改修-1		5箇所 掲示板、袖壁パネル撤去、新設	
114条区画・不燃化			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-理科準備室、職員室、幼稚園 室 2F-美術準備室 3F-音楽室		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 LGS20+石膏ボード t=12.5 両面+掲示板部：火山性ガラス質複層板 厚6.3		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 SUS敷居、シリング+サムターン 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） コト掛け補強、マスキ			
備 考 雑詳細図参照			
符号・個数		IB 改修図 5箇所	
改修-1		5箇所 掲示板、袖壁パネル撤去、新設	
114条区画・不燃化			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-会議室、職員室、校長室、事務室 2F-普通教室、調理準備		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 LGS20+石膏ボード t=12.5 両面+掲示板部：火山性ガラス質複層板 厚6.3		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 SUS敷居、シリング+サムターン 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） コト掛け補強、マスキ			
備 考 雑詳細図参照			
符号・個数		IC 改修図 24箇所	
改修-1		24箇所 掲示板、袖壁パネル撤去、新設	
114条区画・不燃化			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-職員更衣室、印刷室、保健室、特別支援 2F-普通教室、進路資料室、教育相談室、3学年室、P C 室被覆室、特別支援、被覆室 3F-普通教室、多目的室、2 学年室、生徒会室、PTA 室		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 LGS20+石膏ボード t=12.5 両面+掲示板部：火山性ガラス質複層板 厚6.3		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） コト掛け補強、マスキ			
備 考 雑詳細図参照			
符号・個数		ID 改修図 1箇所	
改修-1		1箇所 袖壁パネル撤去、新設	
114条区画・不燃化改修			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-理科準備室		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 LGS20+石膏ボード t=12.5 両面+掲示板部：火山性ガラス質複層板 厚6.3		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 SUS敷居、シリング+サムターン 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） マスキ			
備 考			

符号・個数		ID 改修図 6箇所	
改修-1		6箇所 既存のまま	
114条区画・不燃化改修			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-第1.2理科室 2F-美術室、調理室 3F-音楽室、図書室		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 ポリ合板 t=4.0		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 SUS敷居、シリング+サムターン 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） マスキ			
備 考 114条区画			
符号・個数		IE 改修図 1箇所	
改修-1		1箇所 既存のまま	
114条区画・不燃化改修			
姿図・寸法			
	取付場所 1F-職員室		
	形 式 アルミパーティション t=70		
	仕 上 ポリ合板 t=4.0		
	ガ ラ ス フロート、スリガラス t=3.0		
金 物 SUS敷居、シリング+サムターン 既存撤去（ポリ合板 t=4.0、合板t=4.0+掲示板シート） マスキ			
備 考 114条区画			

千葉市都市局建築部営繕課		工事名称		千葉市立千城台西中学校外部改修外工事		設計年月日		令和 7 年 1 1 月 日		変更年月日		令和 年 月 日		変更年月日		令和 年 月 日		図面番号		普通教室棟 建具表（5）		縮尺		S=1:50 (A1) S=1:100 (A3)		図面番号		A-1-24	
--------------	--	------	--	--------------------	--	-------	--	----------------	--	-------	--	----------	--	-------	--	----------	--	------	--	-----------------	--	----	--	-----------------------------	--	------	--	--------	--

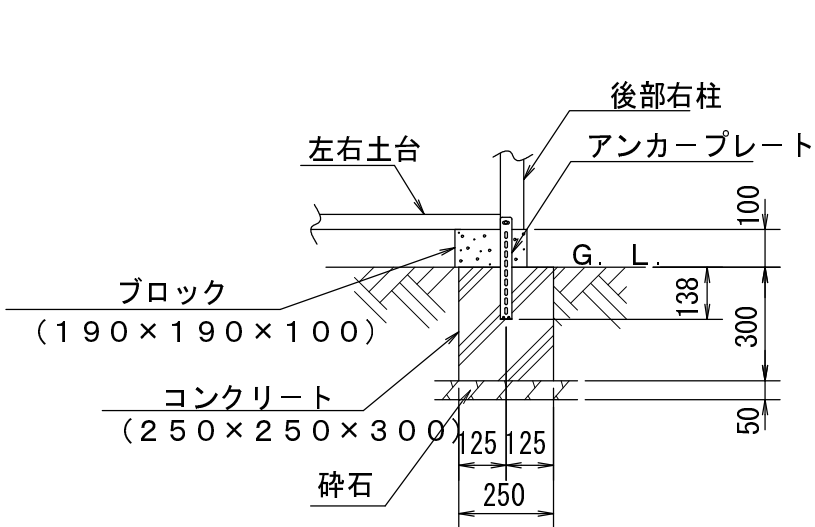
棟番号	名 称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	軒高	高さ	屋根	外壁	備考欄	W×D×H *現地実測による	
101	可燃ゴミ倉庫	S造	平屋	1.45	1.45	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	1.53 × 0.95 × 2.10	
102	危険物倉庫	S造	平屋	4.78	4.78	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	2.52 × 1.90 × 2.10	移動
104	プレハブ倉庫	S造	平屋	1.19	1.19	1.50	1.58	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	1.53 × 0.78 × 1.58	移動
105	粗大ゴミ倉庫	S造	平屋	6.71	6.71	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	3.05 × 2.20 × 2.10	移動
106	粗大ゴミ倉庫	S造	平屋	6.82	6.82	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	2.93 × 2.33 × 1.85	移動
107	段ボール置場	S造	平屋	6.71	6.71	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定無し	3.05 × 2.20 × 2.10	
108	農機具置場	S造	平屋	10.56	10.56	2.25	2.30	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	5.50 × 1.92 × 2.30	
109	防災備蓄倉庫	S造	平屋	4.73	4.73	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.63 × 1.80 × 2.10	
110	防災備蓄倉庫	S造	平屋	7.92	7.92	2.25	2.30	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	3.60 × 2.20 × 2.30	
111	防災備蓄倉庫	S造	平屋	4.73	4.73	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.63 × 1.80 × 2.10	
112	倉 庫	S造	平屋	2.84	2.84	2.05	2.10	鋼板張り	塩ビ波板張り	基礎固定無し	1.52 × 1.87 × 2.10	移動
113	倉 庫	S造	平屋	3.33	3.33	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	2.21 × 1.51 × 2.10	
114	倉 庫	S造	平屋	0.99	0.99	2.05	2.10	鋼板張り	鋼板張り	基礎固定有り	1.10 × 0.90 × 2.10	
115	受水槽ポンプ室	FRP	平屋	9.00	9.00	3.60	3.60	FRP	FRP	基礎固定有り	3.00 × 3.00 × 3.60	撤去
101 ～ 115 の合計 建築面積				71.76							面積 m2 (3以捨)	
101 ～ 115 の合計 延べ面積					71.76						面積 m2 (3以捨)	

凡 例

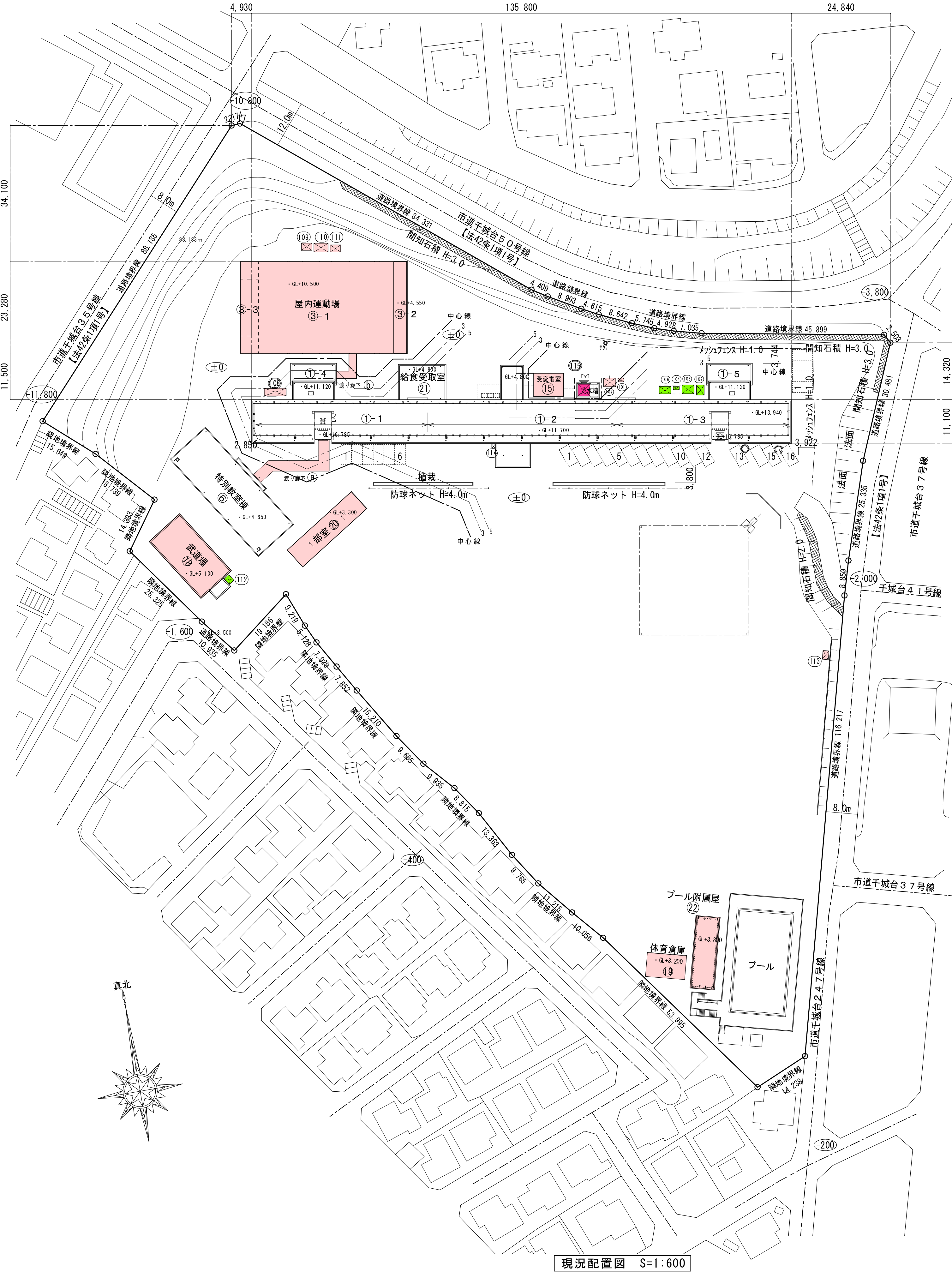
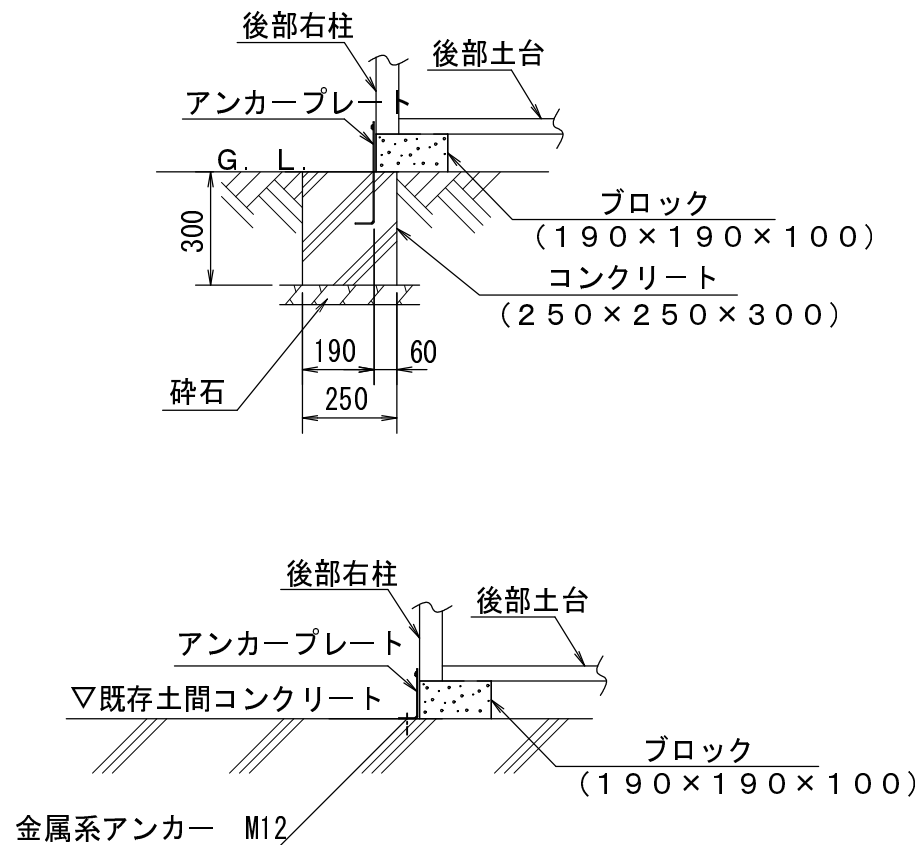
- ：移動対象建物の屋外倉庫
- ：機械設備工事による撤去部分

屋外倉庫（移動、移設）基礎緊結詳細図 S=1:20

数量：移設倉庫×4箇所/倉庫=6×4=24箇所



注記：コンクリート：Fc=24N/mm2, S=18とする。

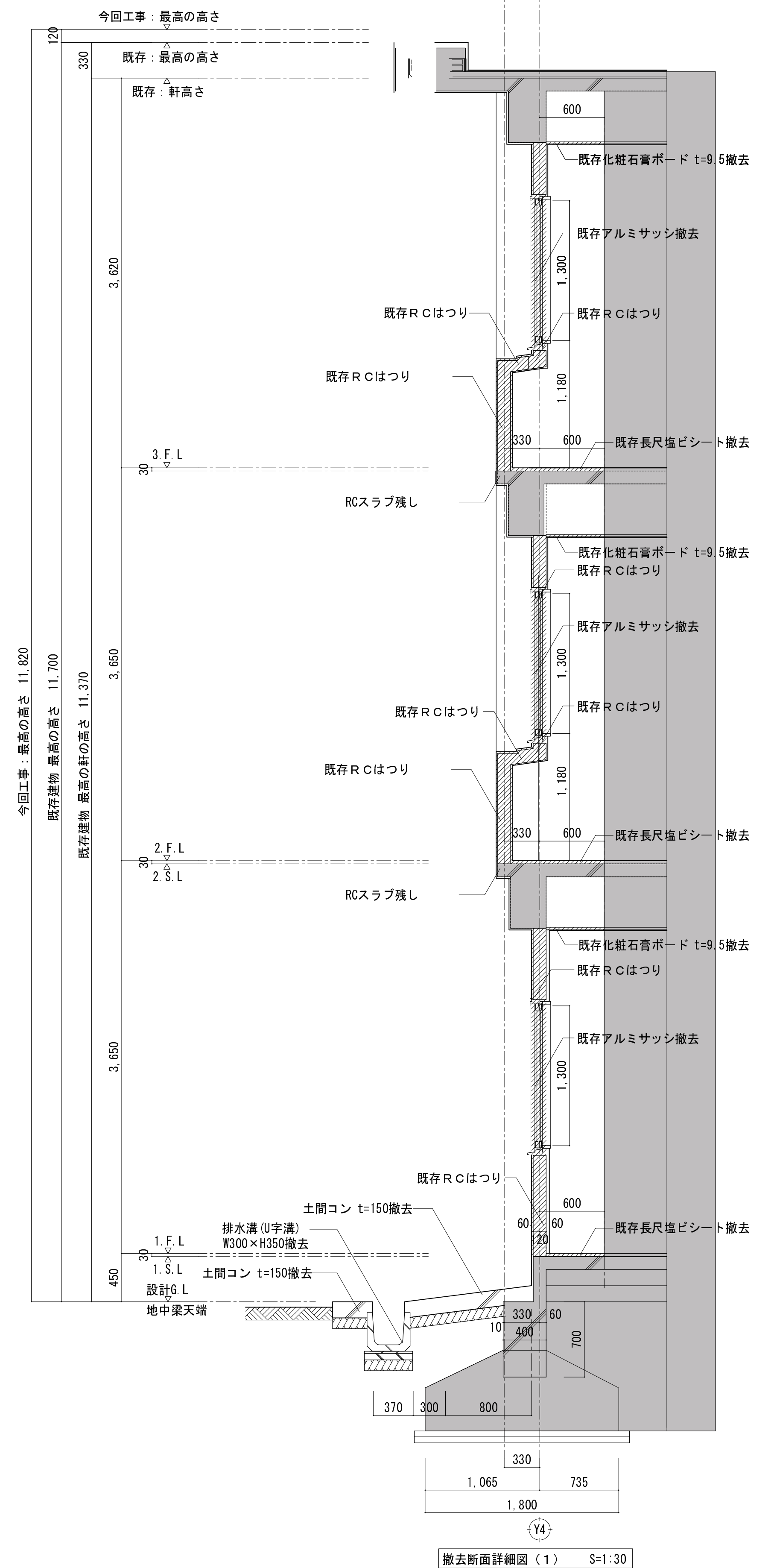
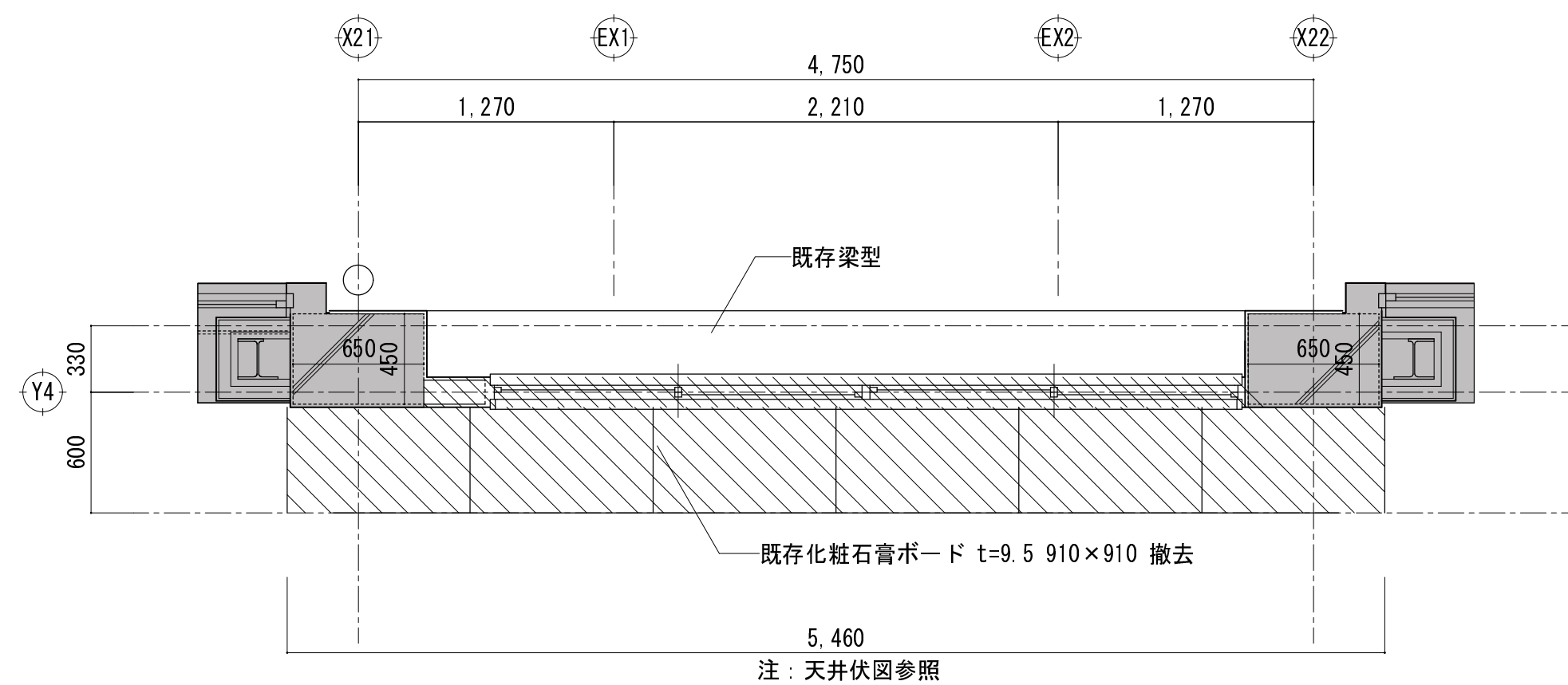
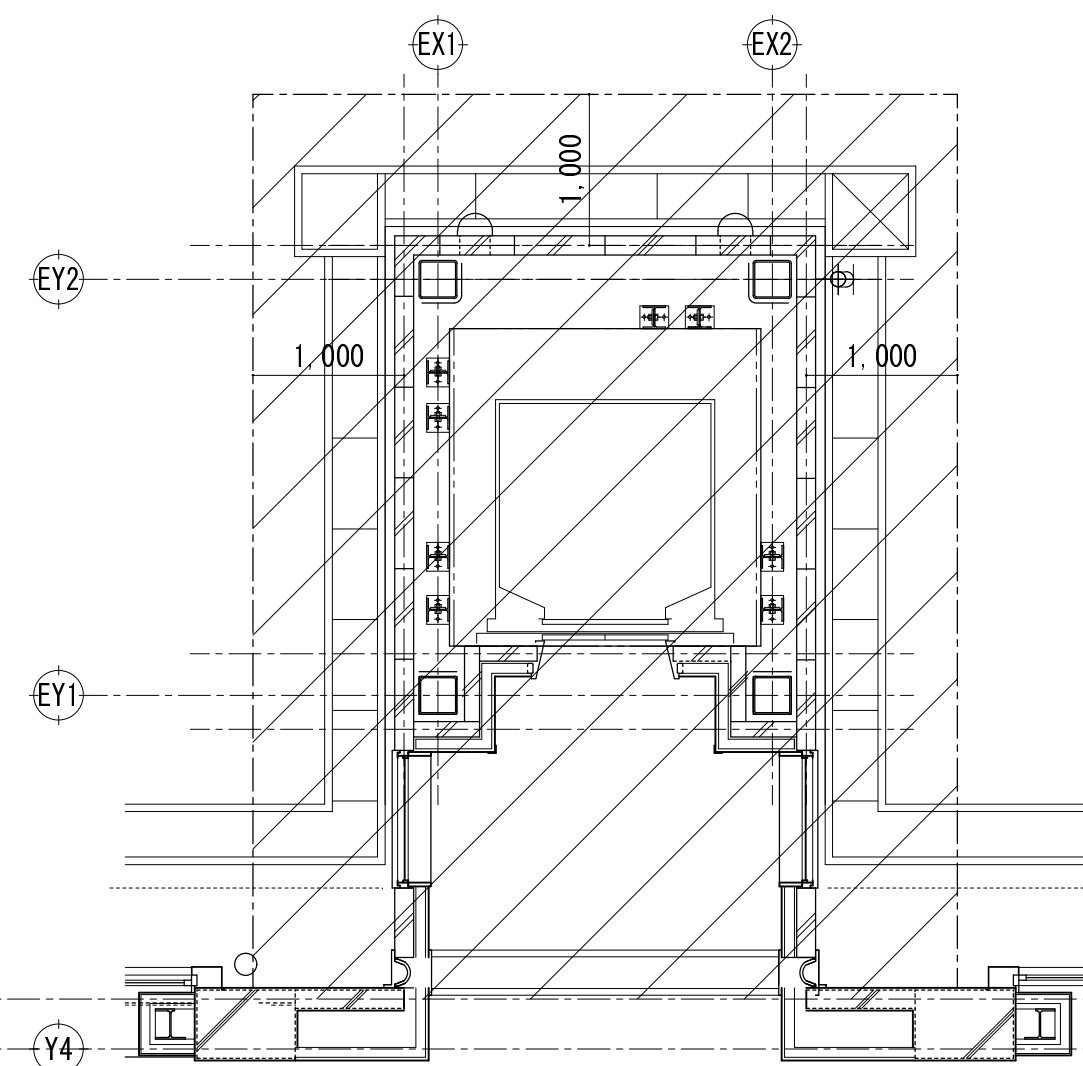
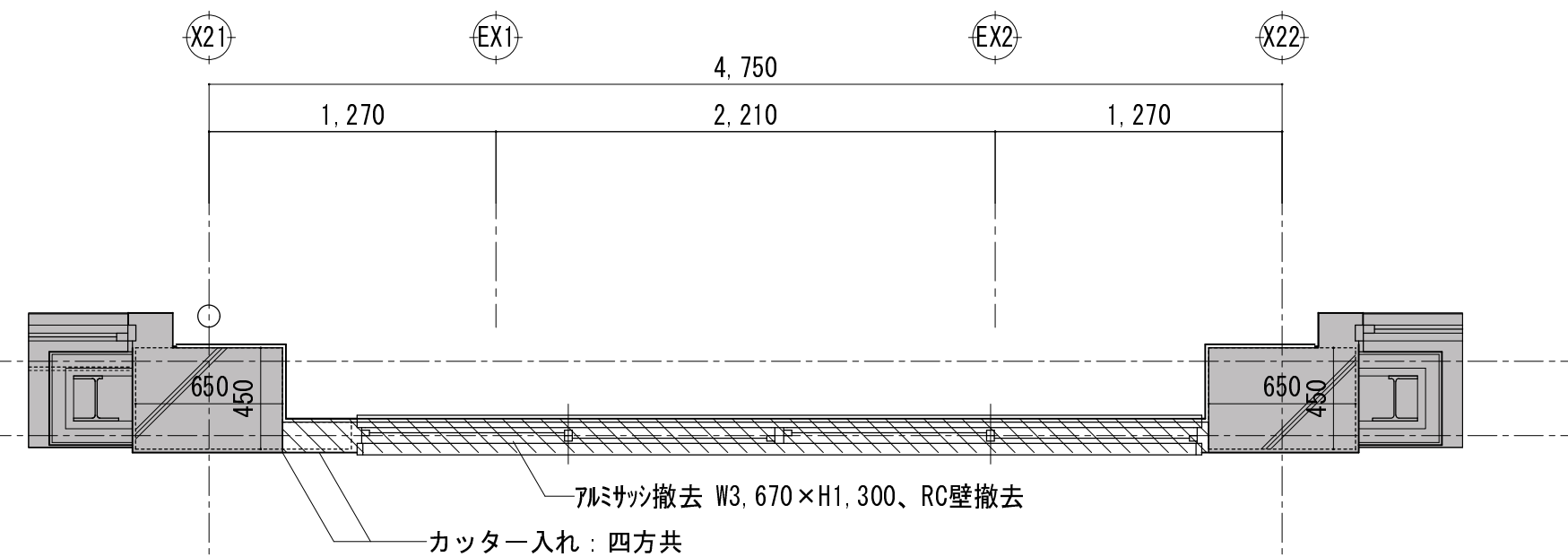
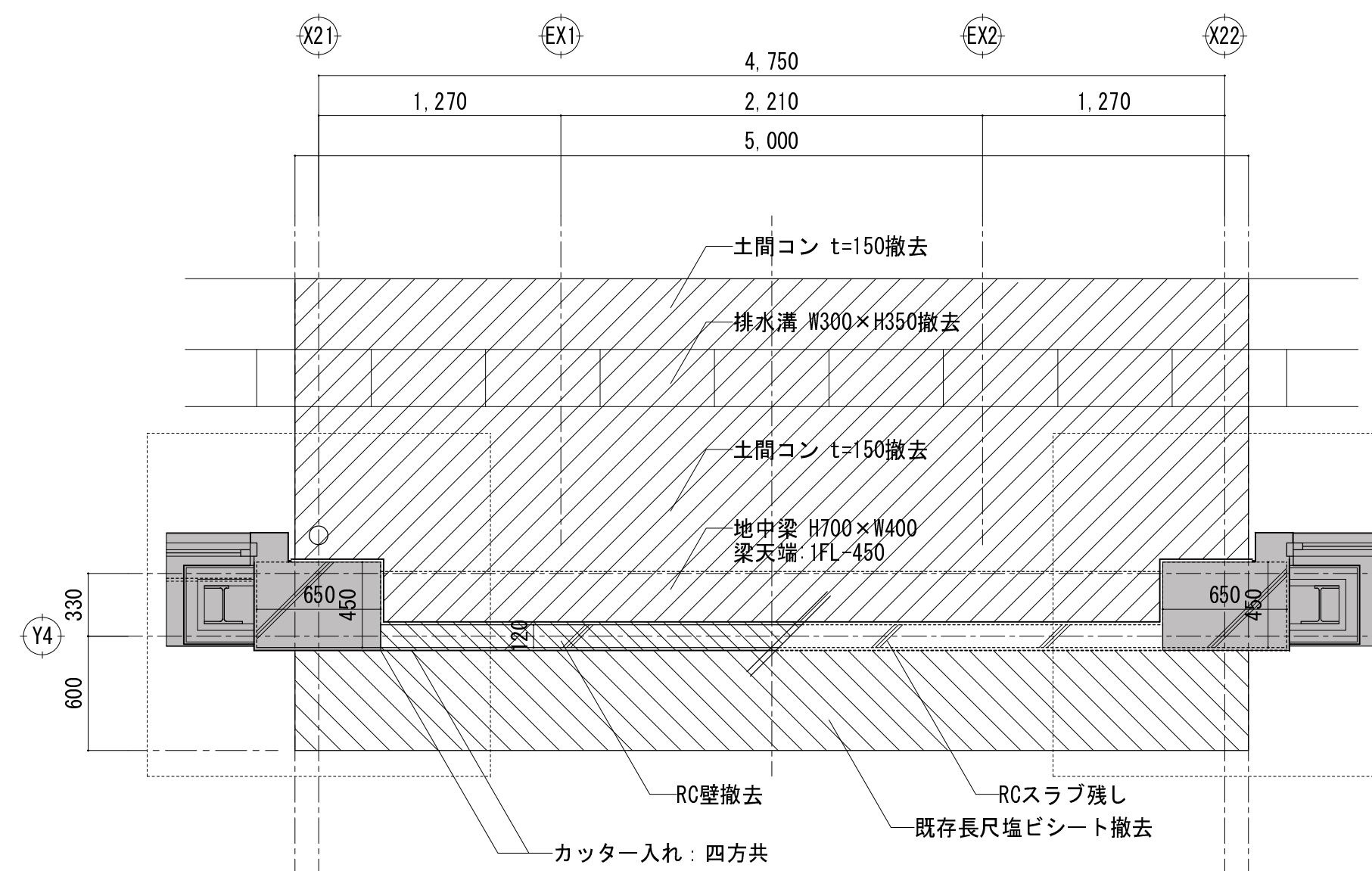
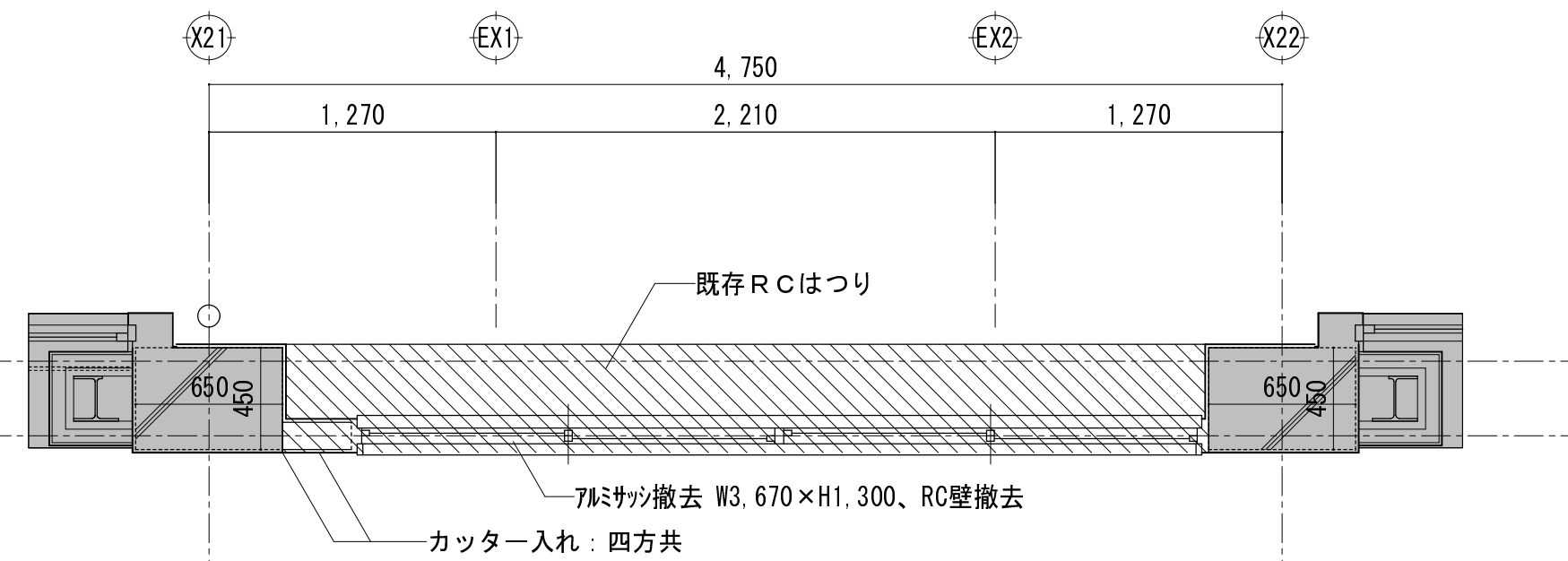
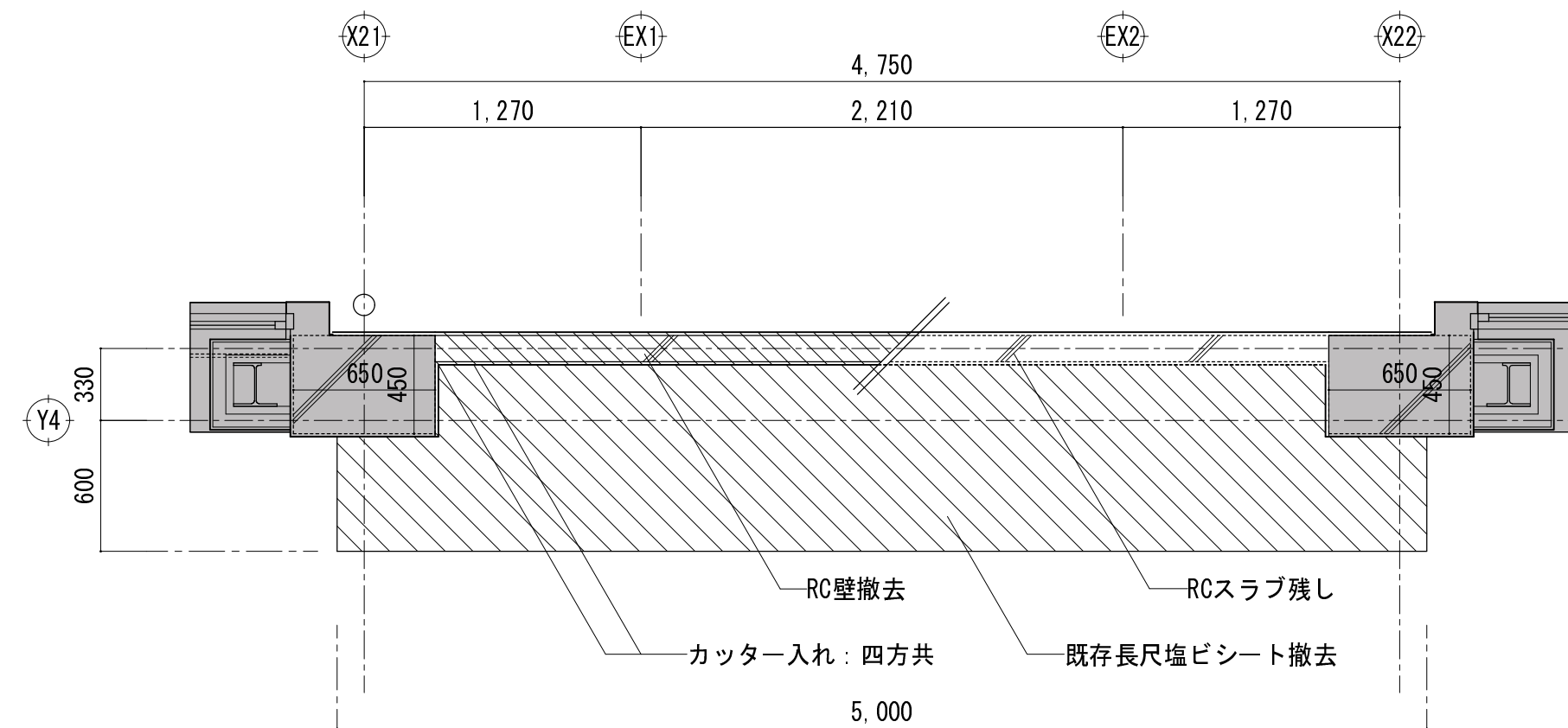


普通教室棟－EV新設 外部仕上表											
記号	部 位		項 目	仕 上	備 考	記号	部 位	項 目	仕 上	備 考	
S-A1	屋根	平 場	下 地	コンクリート打ち放し 金コテ		S-H1	外壁（ALC 打継目地） 防水端部	下 地	_____		
			仕 上	塩ビ系シート防水-接着工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料				仕 上	ウレタン系シーリング（PU－2）		
		立上り	下 地	コンクリート打ち放し 金コテ		S-H2	外壁 換気フード その他継シール	下 地	_____		
			仕 上	塩ビ系シート防水-接着工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料				仕 上	シリコン系シーリング（MS－2）		
S-B2	外壁（ALC面）		下 地	A L C t=125 素地		S-I	ルーフドレイン	下 地	_____		
			仕 上	下地調整＋防水形外装薄塗材 E				仕 上	SUS製改修用ドレイン 横引型 新設		
S-C2	外巾木		下 地	コンクリート打ち放し 金コテ		S-L1	EXP. J (耐火帯共)	下 地	_____		
			仕 上	撥水剤塗布				仕 上	EXP. J ：アルミ製 屋根、外壁、床 耐火帯 t=12.5		
S-E	竖 樋		下 地	_____		S-L2	EXP. J (耐火帯無)	下 地	_____		
			仕 上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共				仕 上	EXP. J ：アルミ製 内壁、天井		

普通教室棟－EV新設 内部仕上表										
階	室 名	項 目	床	巾 木	壁	天 井	回り縁	天井高	備 考	
各階	廊 下	既存仕上	長尺塩ビシート t=2.0 一部撤去（図示範囲）	VE塗装 H=180	下地調整 EP塗装 一部撤去（AW共 図示範囲）	化粧石膏ボード t=9.5張り 撤去（図示範囲）	塩ビ製	FL±0 CH=3.000		
		下 地	コンクリート打ち放し 金コテ	モルタル下地	モルタル下地	LGS下地 既存のまま				
		仕 上	長尺塩ビシート t=2.0	ソフト巾木 H=100	下地調整 EP塗装	化粧石膏ボード t=9.5張り 新設（図示範囲）				
	E V ホール	既存仕上	_____	_____	ALC t=125 + LGS65形下地	_____	塩ビ製	FL±0 CH=2.650	コーナー部：塩ビ製 50×50×L1,500	
		下 地	コンクリート打ち放し 金コテ	石膏ボード 12.5 素地	石膏ボード 12.5 素地	LGS下地				
		仕 上	長尺塩ビシート t=2.0	ソフト巾木 H=100	下地調整 EP塗装	化粧石膏ボード t=9.5張り				

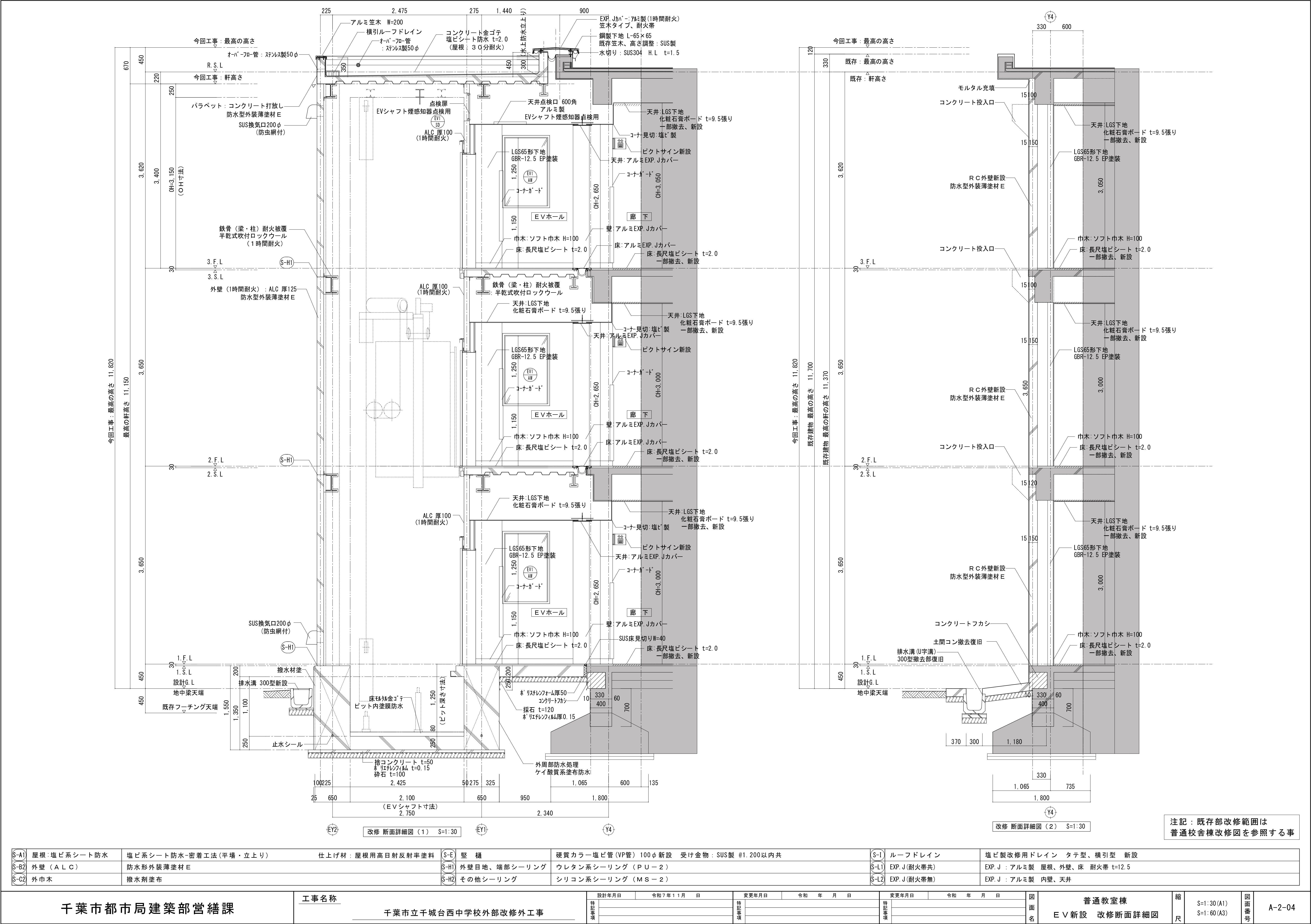
S-A1	屋根：塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定(平場)+接着工法(立上り) 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	S-E	竖 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100 φ 新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	S-I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
S-B2	外壁（ A L C ）	防水形外装薄塗材 E	S-H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（ P U － 2 ）	S-L1	EXP. J (耐火帯共)	EXP. J ：アルミ製 屋根、外壁、床 耐火帯 t=12.5
S-C2	外巾木	撥水剤塗布	S-H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（ M S － 2 ）	S-L2	EXP. J (耐火帯無)	EXP. J ：アルミ製 内壁、天井

千葉市都市局建築部営繕課		工事名称 千葉市立千城台西中学校外部改修外工事	設計年月日 令和7年11月 日	変更年月日 令和 年 月 日	図面名 普通教室棟 E V 新設 外部、内部 仕上表	縮尺 S=1:NON SCALE (A1) S=1:NON SCALE (A3)	図面番号 A-2-01
			特記事項	特記事項	特記事項		



注記：既存部改修範囲は
普通校舎棟改修図を参照する事

S-A1	屋根:塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-密着工法(平場・立上り)	仕上げ材:屋根用高日射反射率塗料	S-E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管(VP管) 100φ新設 受け金物:SUS製 @1.200以内共	S-1	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型・横引型 新設
S-B2	外壁(ＡＬＣ)	防水形外装薄塗材E		S-H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング(P U-2)	S-L1	EXP. J(耐火帯共)	EXP. J : アルミ製 屋根、外壁、床 耐火帯 t=12.5
S-C2	外巾木	撥水剤塗布		S-H2	その他シーリング	シリコン系シーリング(M S-2)	S-L2	EXP. J(耐火帯無)	EXP. J : アルミ製 内壁、天井



S-A1	屋根：塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-密着工法（平場・立上り）	仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	S-E	壁 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	S-1	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
S-B2	外壁（ALC）	防水形外装薄塗材 E		S-H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）	S-L1	EXP. J（耐火帯共）	EXP. J：アルミ製 屋根、外壁、床 耐火帯 t=12.5
S-C2	外巾木	撥水剤塗布		S-H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）	S-L2	EXP. J（耐火帯無）	EXP. J：アルミ製 内壁、天井

千葉市都市局建築部営繕課	工事名称	千葉市立千城台西中学校外部改修外工事	設計年月日	令和7年11月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	普通教室棟 EV新設 改修断面詳細図	縮尺	S=1:30 (A1) S=1:60 (A3)	図面番号	A-2-04
--------------	------	--------------------	-------	-----------	-------	----------	-------	----------	-----	-----------------------	----	----------------------------	------	--------

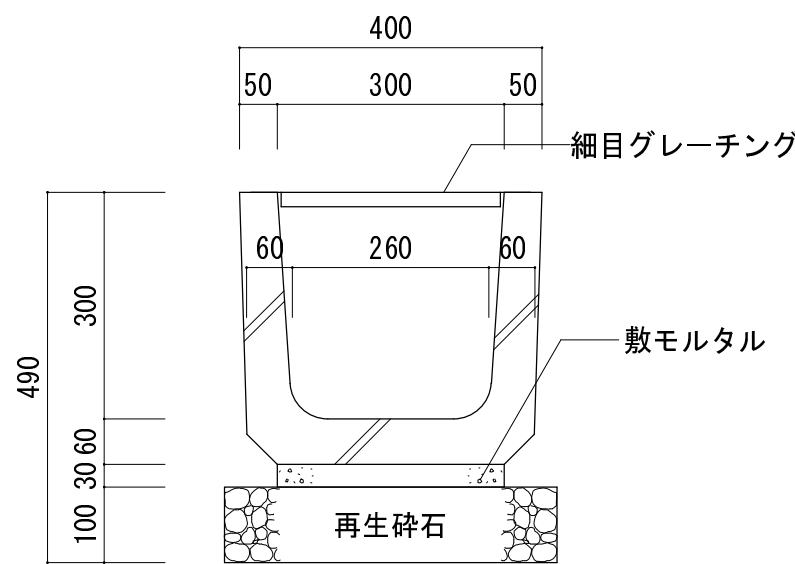
※穴あけの位置・大きさは現場再確認とする



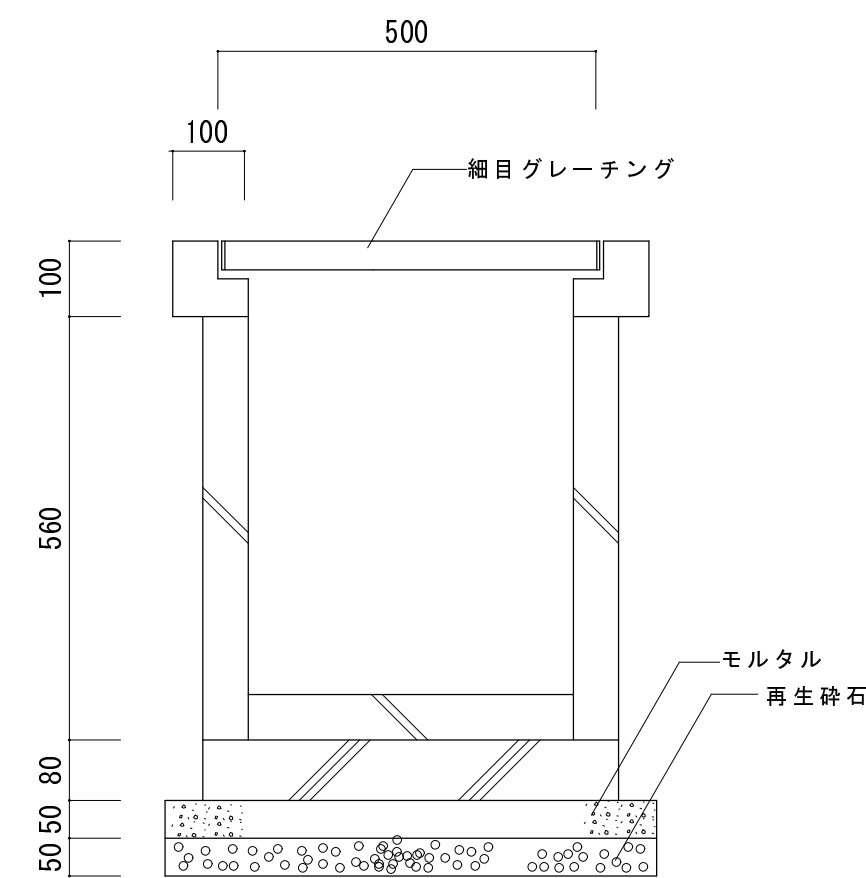
1 : 3

$$S=1:10$$

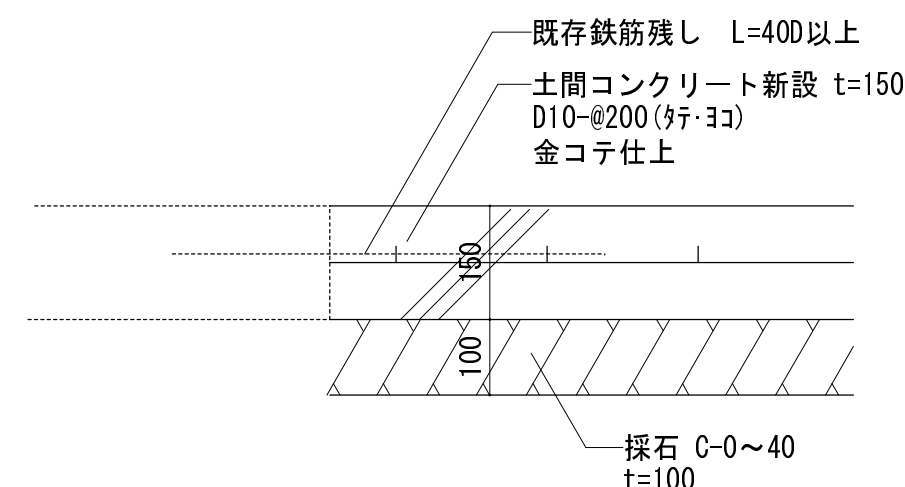
S=1 : 10

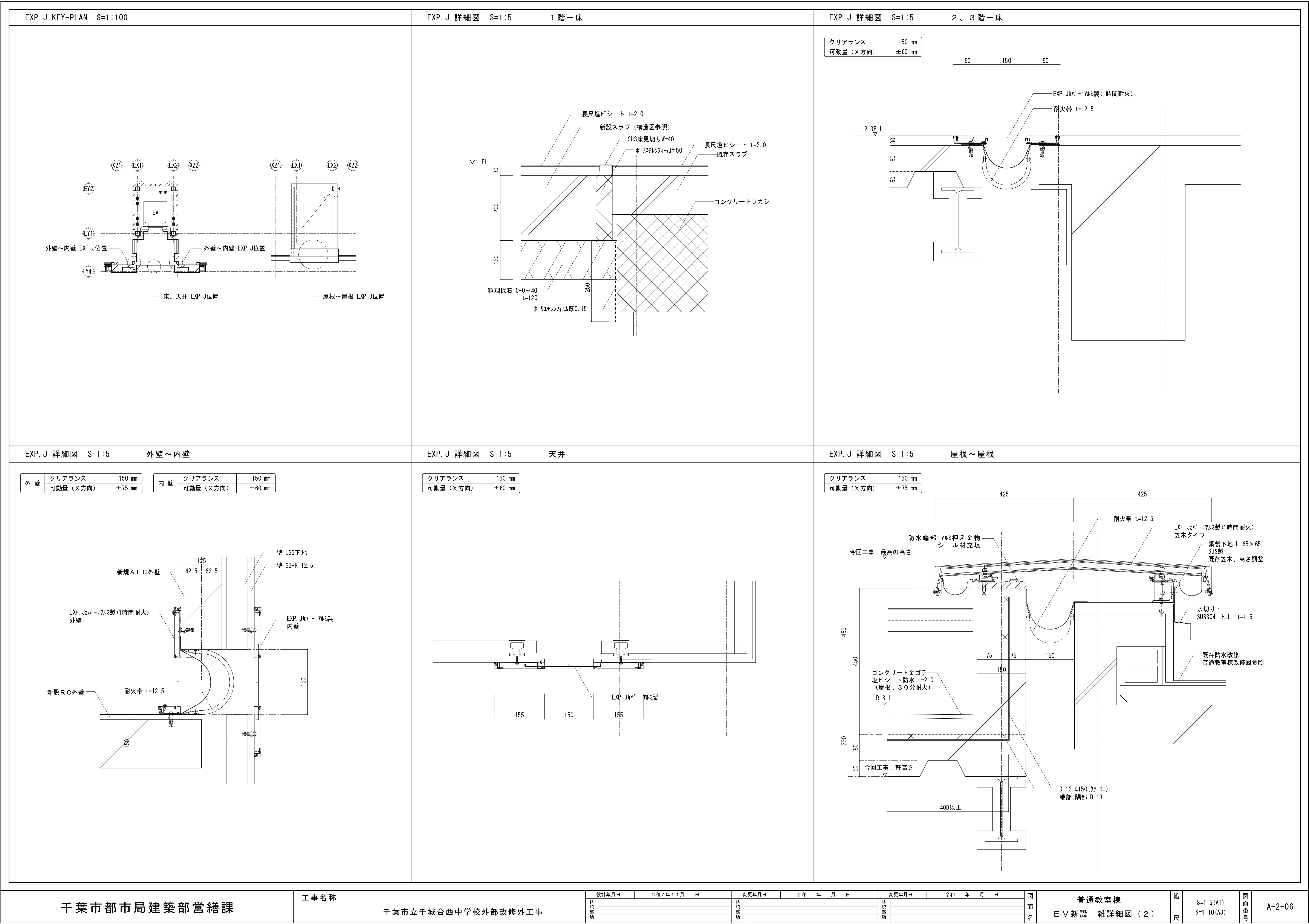
 $S=1:10$ 

※寸法は参考（メーカー仕様による）



※寸法は参考（メーカー仕様による）



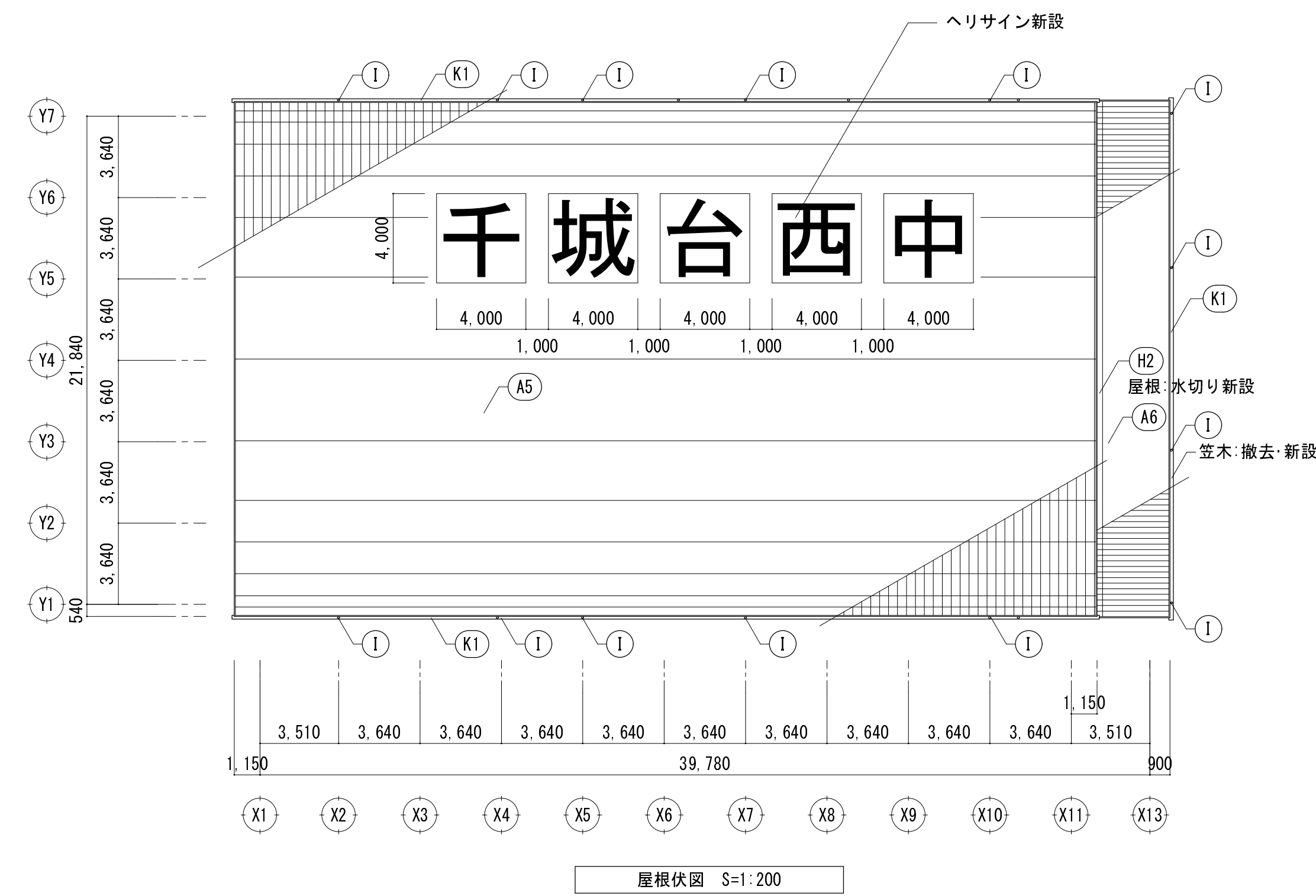
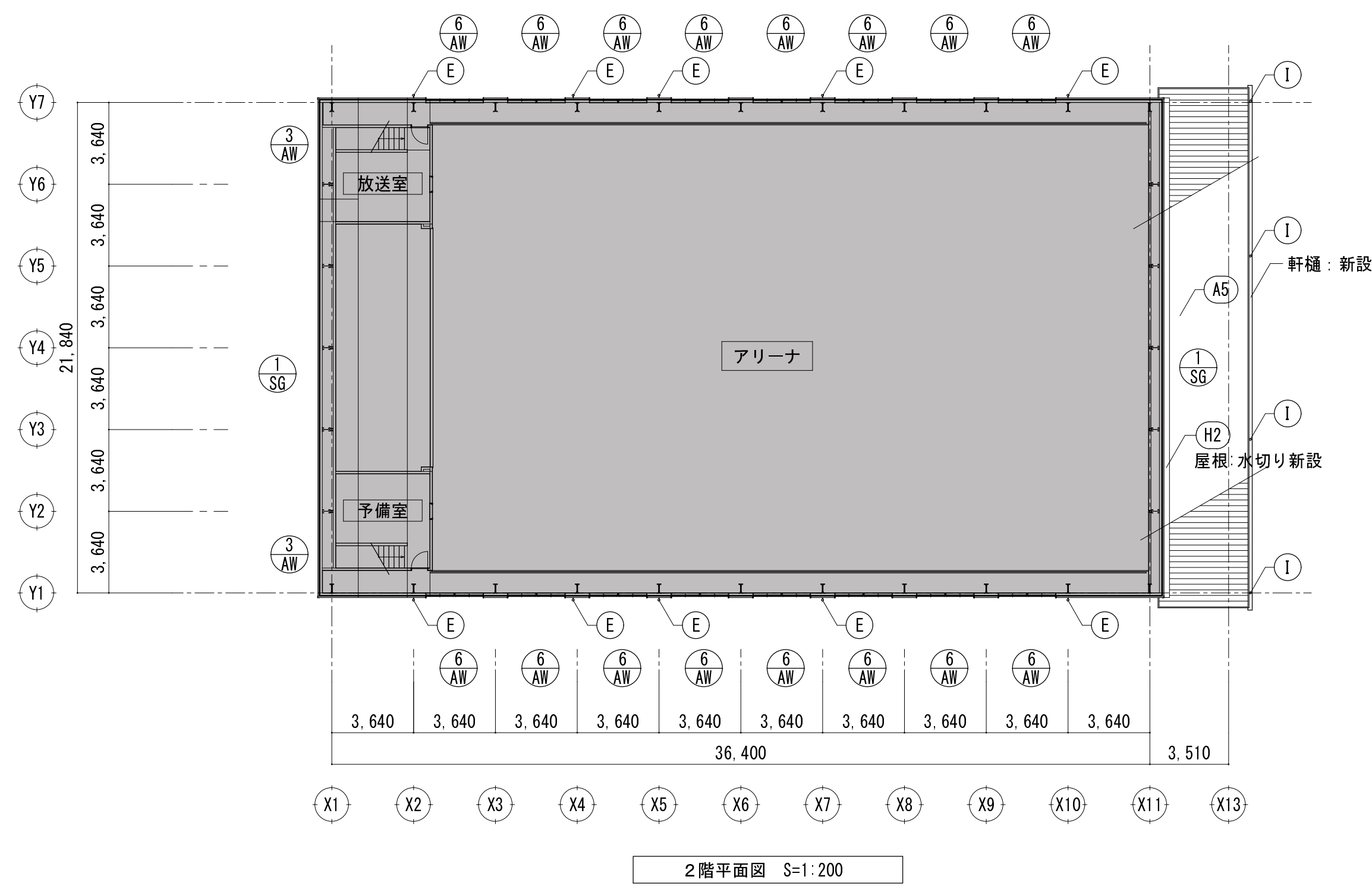


屋内運動場－外部仕上表																					
記号		部 位		項 目		仕 上		備 考		記号		部 位		項 目		仕 上		備 考			
A5		屋根 屋内運動場	既存	下地	木下地、木毛板 t=15			ヘリサイン新設	E	堅 樋	既存	下地									
				仕上	金属板 瓦棒葺き							仕上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ								
				撤去	下地							下地									
					仕上	既存のまま						仕上	既存撤去								
					改修	下地						下地									
仕上	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料			仕上		硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共															
A6		屋根 屋内運動場（下屋）	既存	下地		鉄骨下地				F	開口部	既存	下地								
				仕上	既存：金属板 瓦棒葺き			仕上					シーリング								
				撤去	下地								下地								
					仕上	既存のまま							仕上	既存撤去							
					改修	下地							下地								
仕上	高日射反射率塗装			仕上		高日射反射率塗装															
B2		外壁 (ALC面)	既存	下地		A L C板 t=100				G	鉄 部	既存	下地	鋼板							
				仕上	外装薄塗材			仕上					S O P 塗装								
				撤去	下地								下地								
					仕上	既存のまま							仕上	既存のまま							
					改修	下地							下地	下地調整							
仕上	高圧水洗+下地処理+防水形外装薄塗材 E			仕上		耐候性塗料 D P 塗装															
B3		外壁 (金属系サイディング)	既存	下地		木製下地				H1	シーリング (RC 打継目地) (ALC板間目地) 防水端部	既存	下地								
				仕上	ラスモルタル塗り t=30			仕上					ウレタン系シーリング								
				撤去	下地	既存のまま							下地								
					仕上	ラスモルタル塗り t=30							仕上	既存撤去							
					改修	下地	鋼製下地新設						下地								
仕上	石膏ボード t=12.5+透湿防水シート+金属系サイディング t=16			仕上		ウレタン系シーリング (PU-2)															
C		外巾木	既存	下地		RC下地			コーナー役物、水切り撤去、新設	H2	シーリング 換気フード ベンドキャップ その他雑シール	既存	下地								
				仕上	モルタル塗り t=30			仕上					シリコン系シーリング								
				撤去	下地								下地								
					仕上	既存のまま							仕上	既存撤去							
					改修	下地							下地								
仕上	高圧水洗+下地処理+ポリマーセメントモルタル (薄塗り)			仕上		シリコン系シーリング (MS-2)															
D2		軒天 (ボード面)	既存	下地		木下地				K1	軒樋 (1)	既存	下地								
				仕上	ケイカル板 t=6.0 E P 塗装			仕上					塩ビ製 角樋 W250								
				撤去	下地								下地								
					仕上	既存のまま							仕上	塩ビ製 角樋 W250 撤去							
					改修	下地							下地								
仕上	下地調整+ E P 塗装			仕上		塩ビ製 角樋 W250 新設															
D3		軒天 (ボード面)	既存	下地		木下地						既存	下地								
				仕上	ケイカル板 t=6.0 E P 塗装			仕上													
				撤去	下地								下地								
					仕上	ケイカル板 t=6.0 撤去							仕上								
					改修	下地	鋼製下地新設						下地								
仕上	ケイカル板 t=6.0 新設 E P 塗装			仕上																	

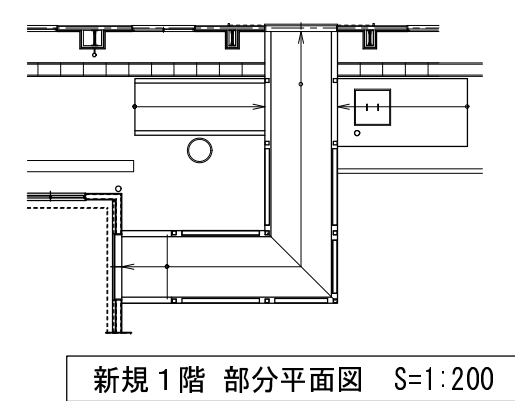
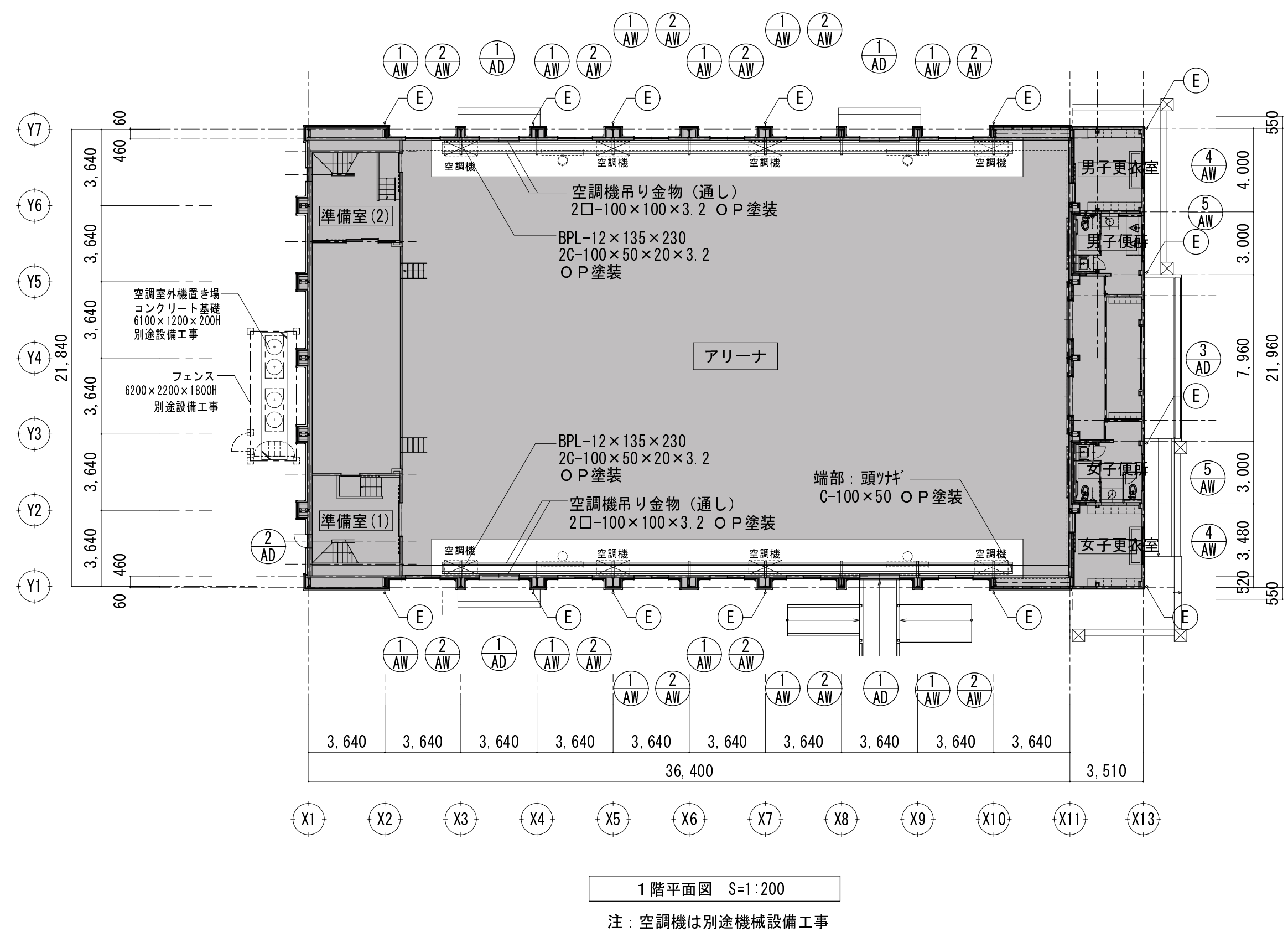
屋内運動場－内部仕上表										
階	室 名	項 目		床	巾 木	壁	天 井	回り縁	天井高	備 考
1階	準備室	既 存	既存部	モルタル金コテ	木製巾木 H=100	木製下地	木製下地	塩ビ製	FL±0 OH=3,000	
				長尺塩ビシート t=2.0	0P塗装	シナ合板 t=5.5 0P塗装	化粧石膏ボード t=9.0			
		改 修	撤去	既存部	既存のまま	既存のまま	木製下地：既存のまま	塩ビ製	FL±0 OH=3,000	
			仕上		既存のまま	既存のまま	化粧石膏ボード t=9.0一部撤去 化粧石膏ボード t=9.0一部新設			
	アリーナ	既 存	既存部	鋼製下地	木製巾木 H=100	木製下地	鉄骨表し	――	――	
				フローリング張り	0P塗装	有孔合板 t=5.5 0P塗装	木毛板 t=15			
		改 修	撤去	既存部	既存のまま	空調室内機取り付け部撤去		――	――	
			仕上		既存のまま	木製下地 有孔合板 t=5.5 0P塗装	既存のまま			

A5	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	①-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（P U－2）
A6	屋根	高日射反射率塗装	①-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS－2）
B2	外壁（ALC）	防水形外装薄塗材 E	E	豎 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サイディング）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（MS－2）	K1	軒樋 (1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装	――		

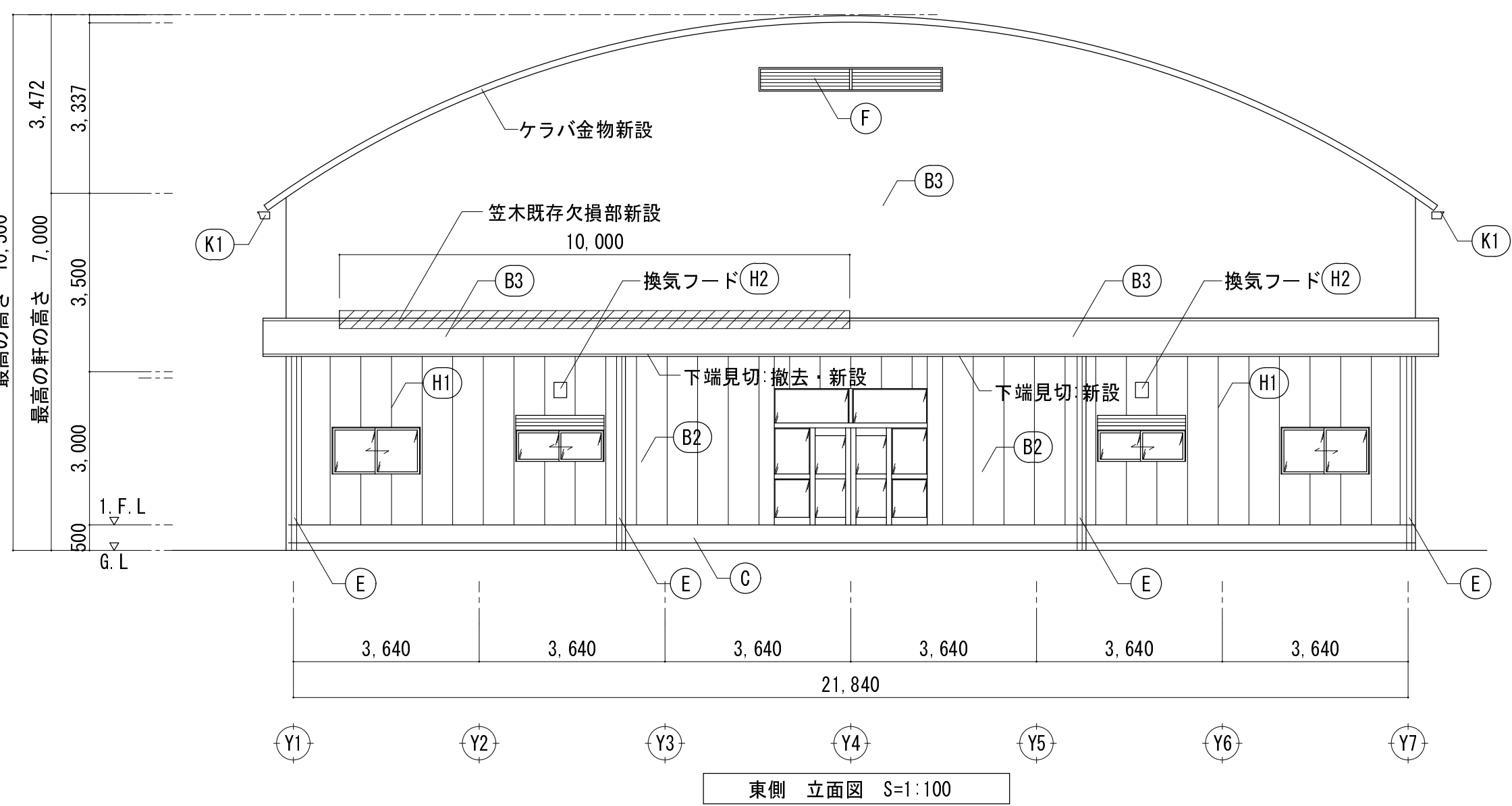
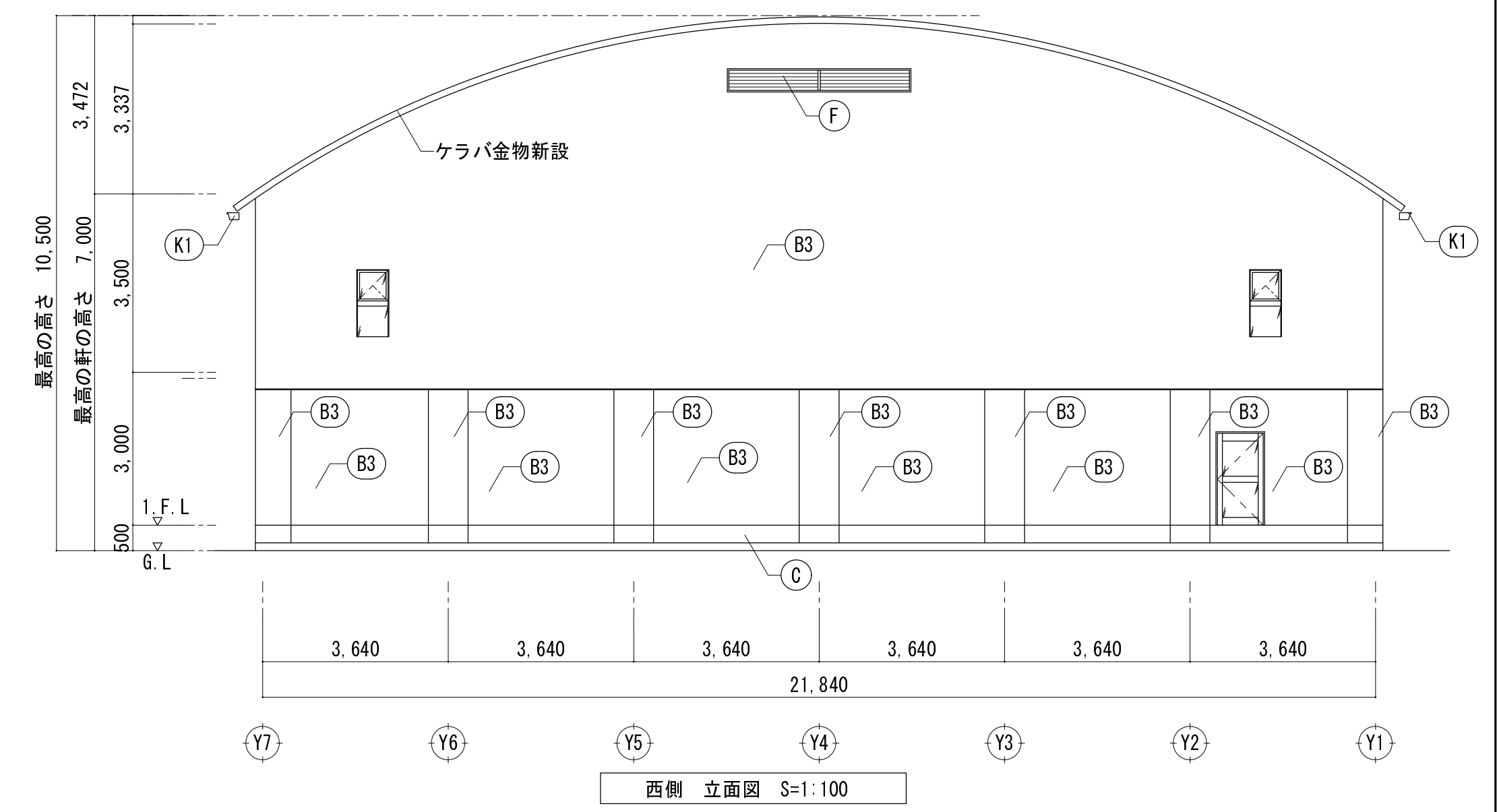
千葉市都市局建築部営繕課				工事名称		千葉市立千城台西中学校外部改修外工事		設計年月日	令和7年11月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	図面名	屋内運動場 仕 上 表	縮尺	―	図面番号	A-3-01
				特記事項		特記事項		特記事項		特記事項		特記事項							



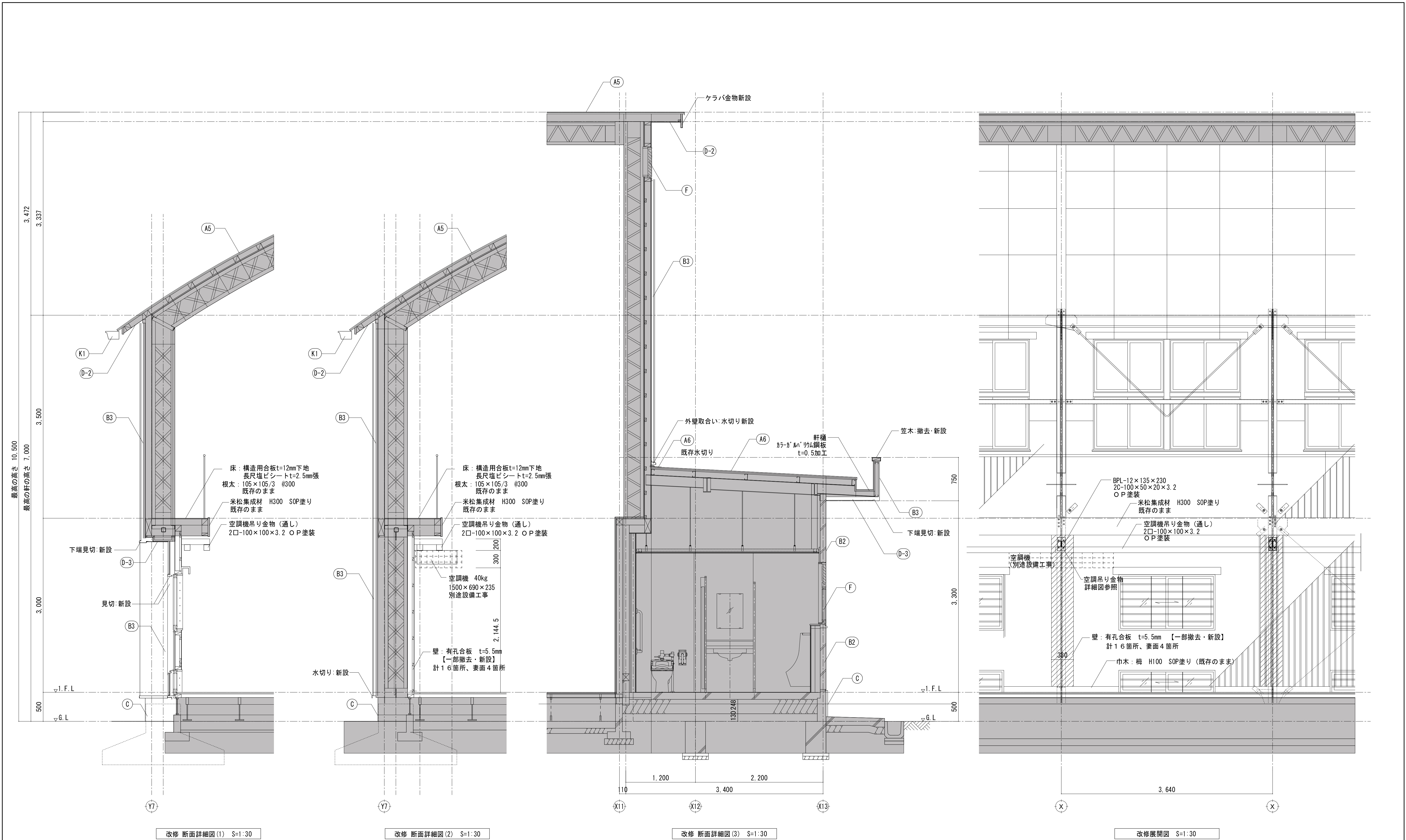
ヘリサイン-文字仕様	
1、文字寸法：1文字	4,000×4,000
2、文字幅	550 mm
3、書体	ゴシック体（全角）
4、文字色	白



A5	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材: 屋根用高日射反射率塗料	D-2	軒天 (ボード面)	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (P U-2)
A6	屋根	高日射反射率塗装	D-3	軒天 (ボード面)	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (M S-2)
B2	外壁 (A L C)	防水形外装薄塗材 E	E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	I	ルーフトレイン (落とし口)	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁 (金属系サイディング)	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング (M S-2)	K1	軒樋 (1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			



A5	屋根：断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	0-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（P U - 2）
A6	屋根	高日射反射率塗装	0-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（M S - 2）
B2	外壁（A L C）	防水形外装薄塗材 E	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サ行'インク'）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（M S - 2）	K1	軒樋（1）	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装	—	—	—



(A5)	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材: 屋根用高日射反射率塗料	(D-2)	軒天 (ボード面)	E P 塗装	(H1)	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (P U - 2)
(A6)	屋根	高日射反射率塗装	(D-3)	軒天 (ボード面)	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	(H2)	その他シーリング	シリコン系シーリング (M S - 2)
(B2)	外壁 (A L C)	防水形外装薄塗材 E	(E)	堅 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	(I)	ルーフトレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
(B3)	外壁 (金属系サイディング)	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	(F)	開口部	シリコン系シーリング (M S - 2)	(K1)	軒樋 (1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
(C)	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	(G)	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

変更年月日

令和 年 月 日

変更年月日

令和 年 月 日

図

屋内運動場

改修 断面詳細図

縮

S=1:30 (A1)

S=1:60 (A3)

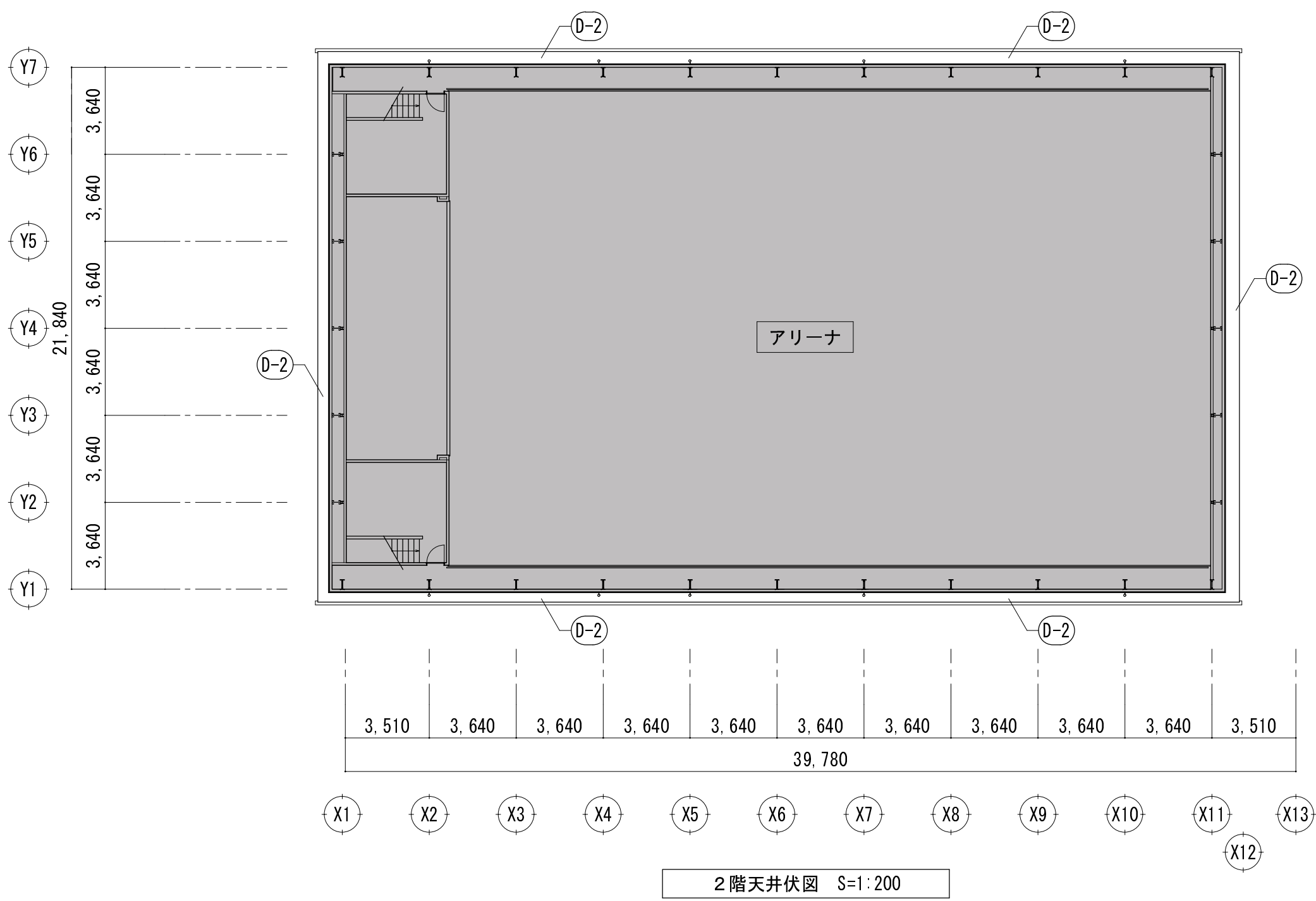
図

面

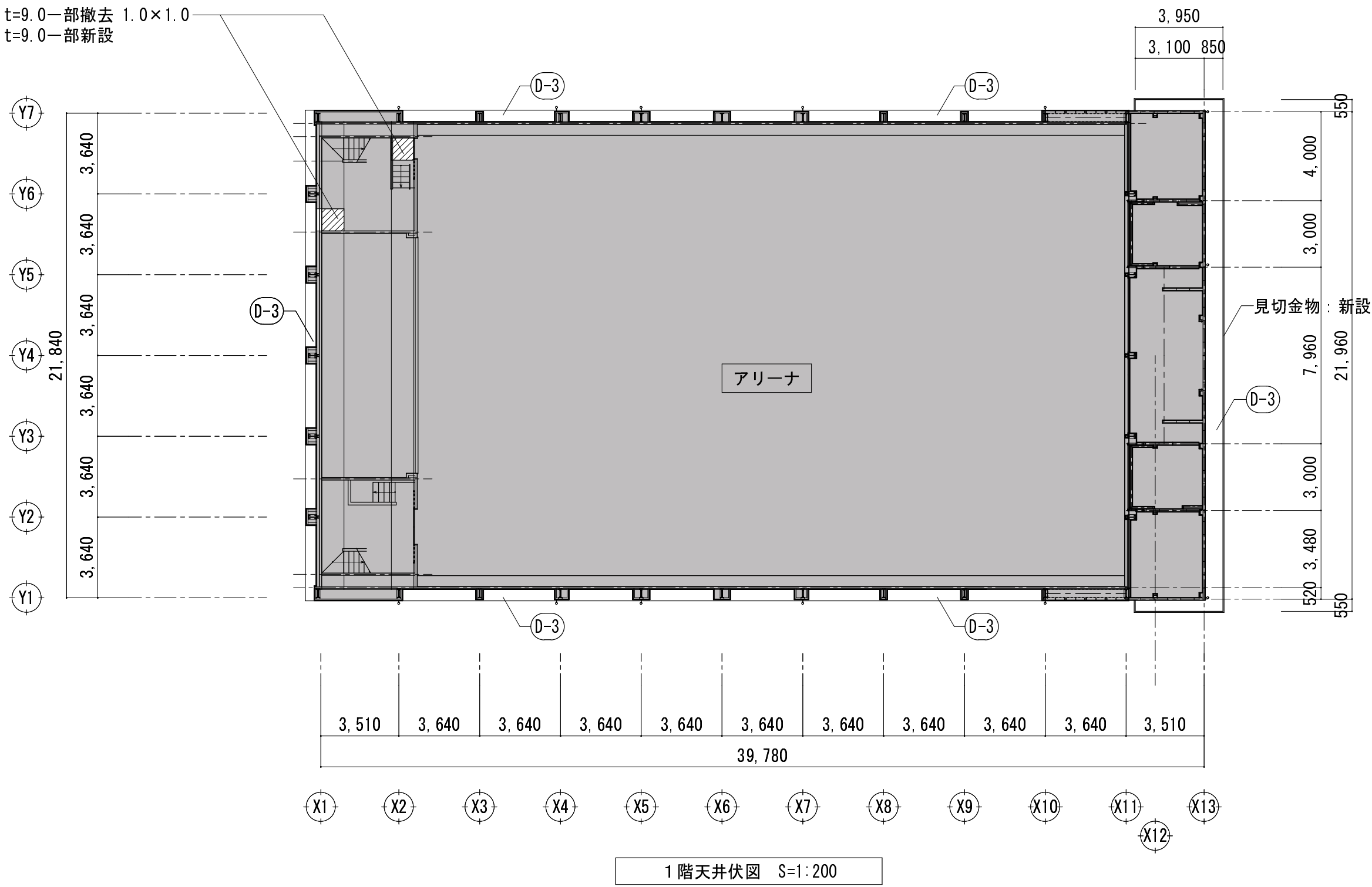
番

号

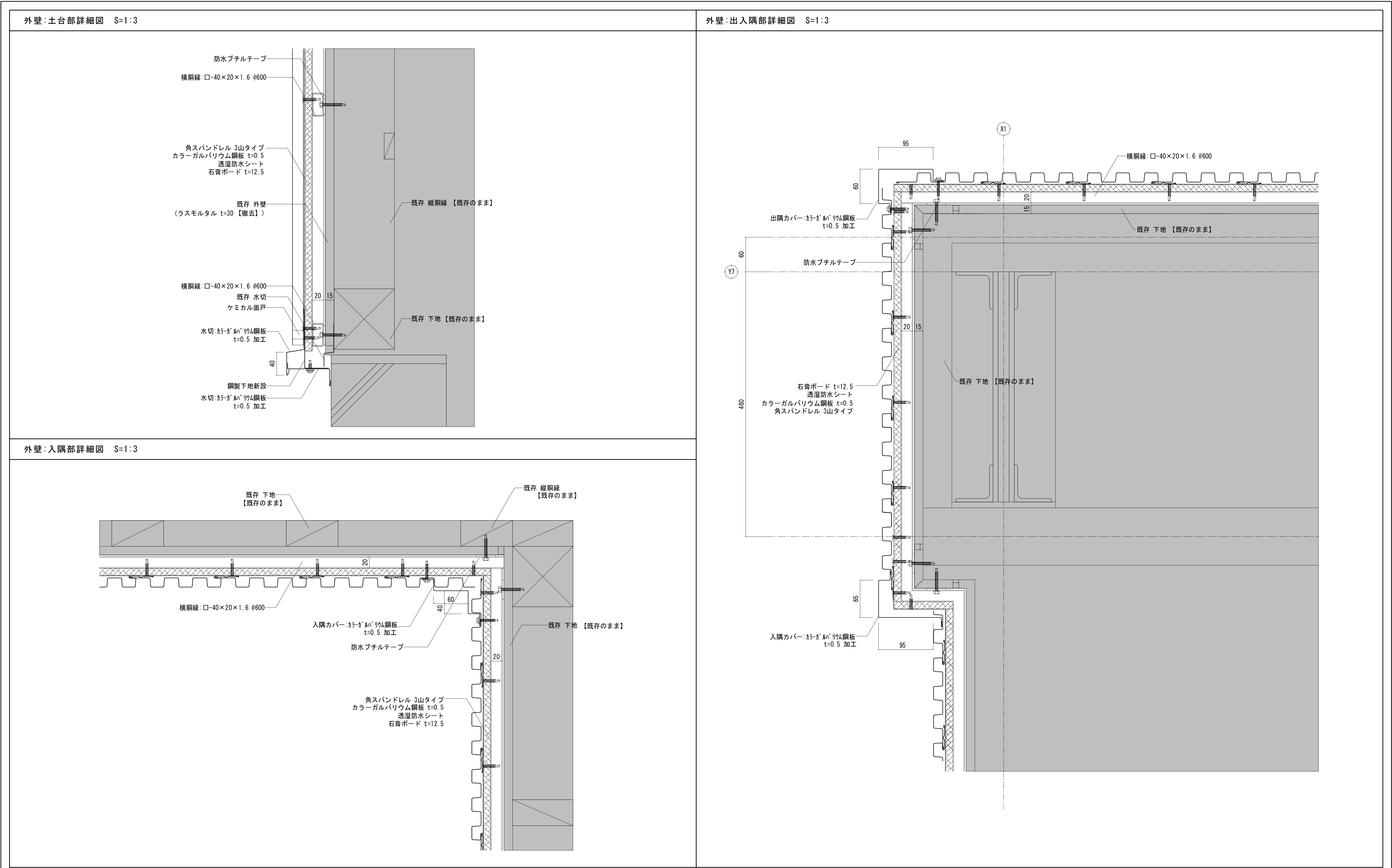
A-3-04



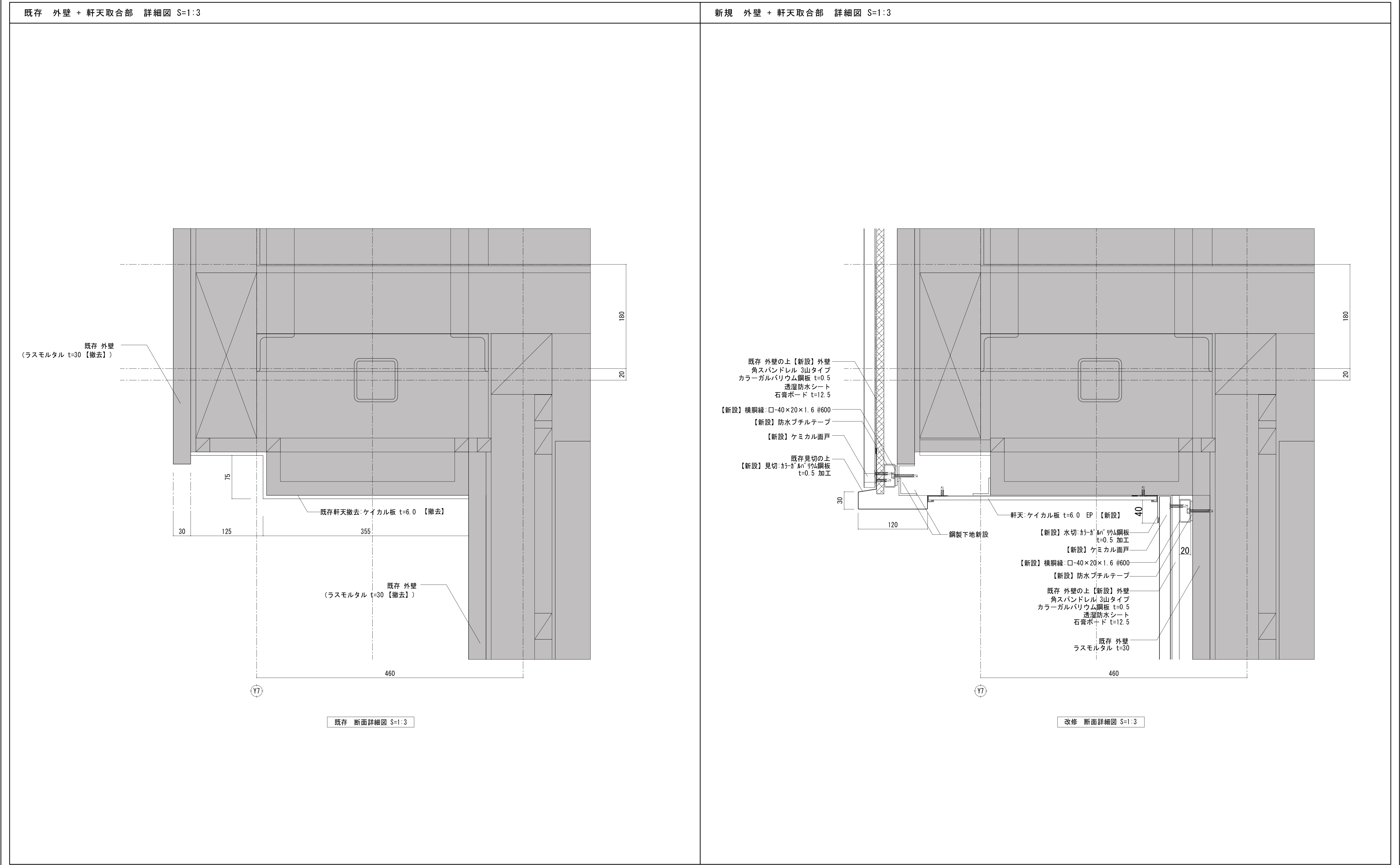
天井：化粧石膏ボード t=9.0一部撤去 1.0×1.0
化粧石膏ボード t=9.0一部新設



A5	屋根断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材：屋根用高日射反射率塗料	D-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（P U - 2）
A6	屋根	高日射反射率塗装	D-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（M S - 2）
B2	外壁（A L C）	防水形外装薄塗材 E	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	I	ルーフトレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サイディング）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（M S - 2）	K1	軒樋（1）	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			

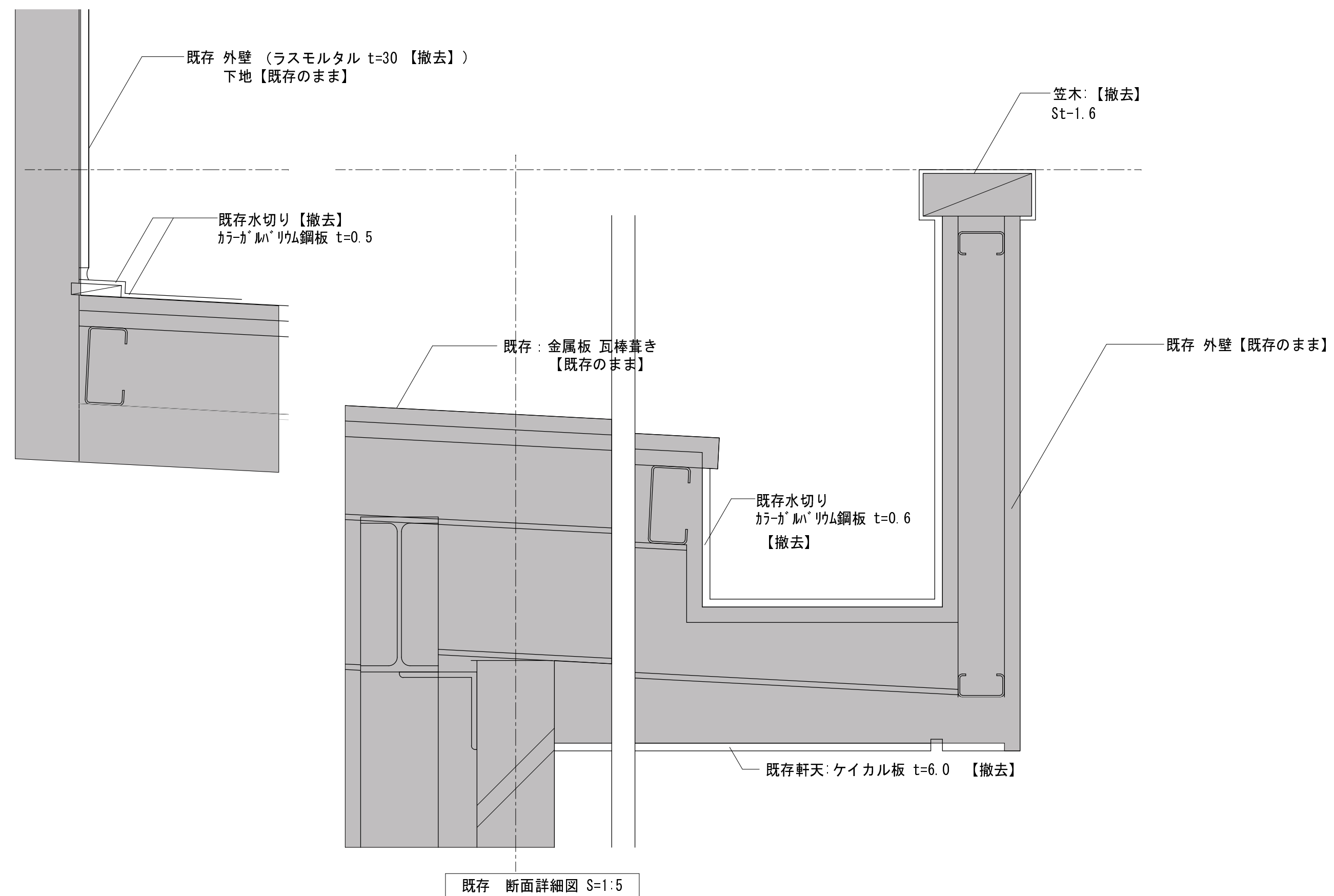


A5	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材: 屋根用高日射反射率塗料	0-2	軒天 (ボード面)	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (P U - 2)
A6	屋根	高日射反射率塗装	0-3	軒天 (ボード面)	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (M S - 2)
B2	外壁 (A L C)	防水形外装薄塗材 E	E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	I	ルーフトレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁 (金属系サイディング)	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング (M S - 2)	K1	軒樋 (1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			

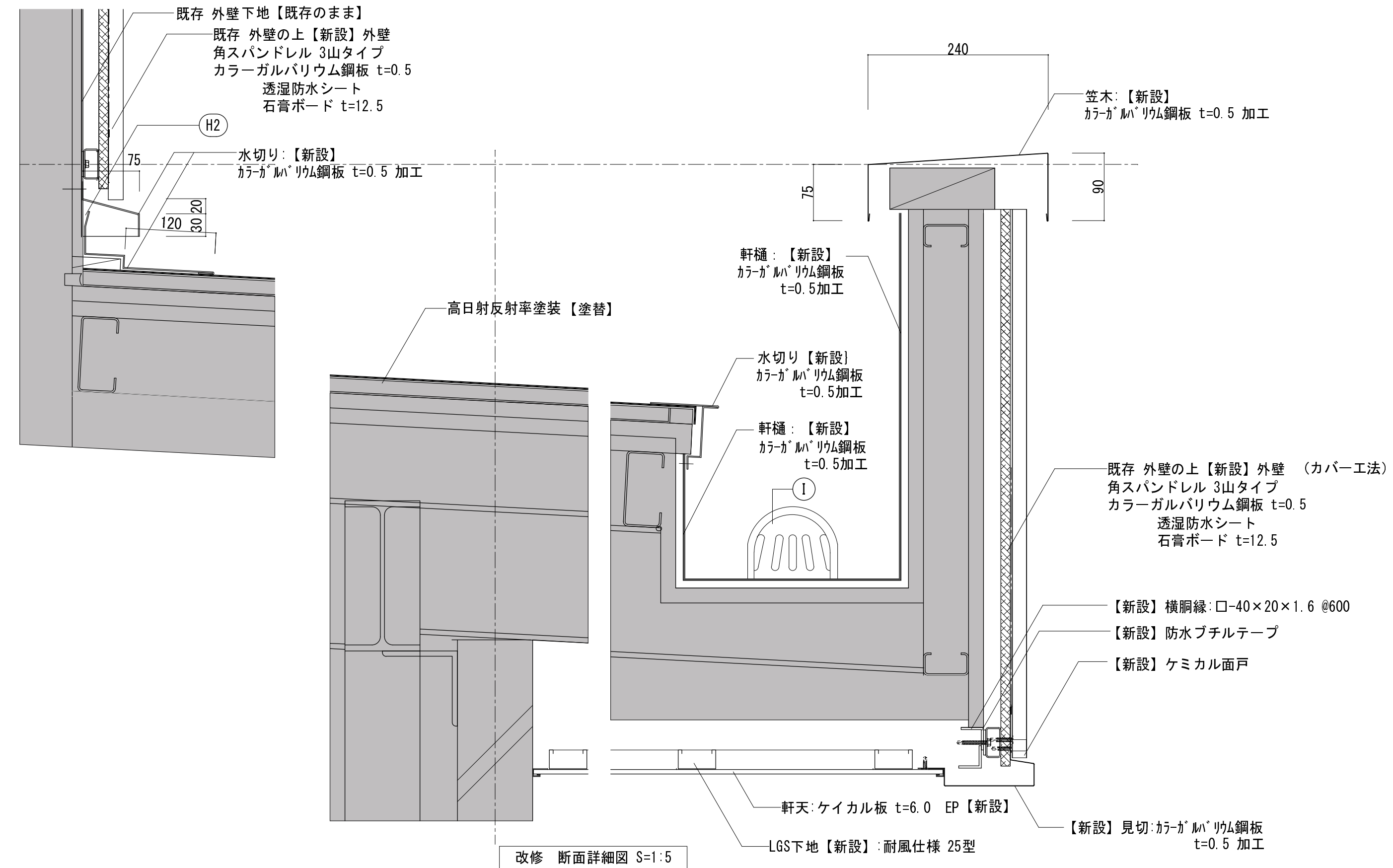


A5	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材: 屋根用高日射反射率塗料	0-2	軒天 (ボード面)	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (P U - 2)
A6	屋根	高日射反射率塗装	0-3	軒天 (ボード面)	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (M S - 2)
B2	外壁 (A L C)	防水形外装薄塗材 E	E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物: SUS製 @1.200以内共	I	ルーフトレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁 (金属系サイディング)	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング (M S - 2)	K1	軒樋 (1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			

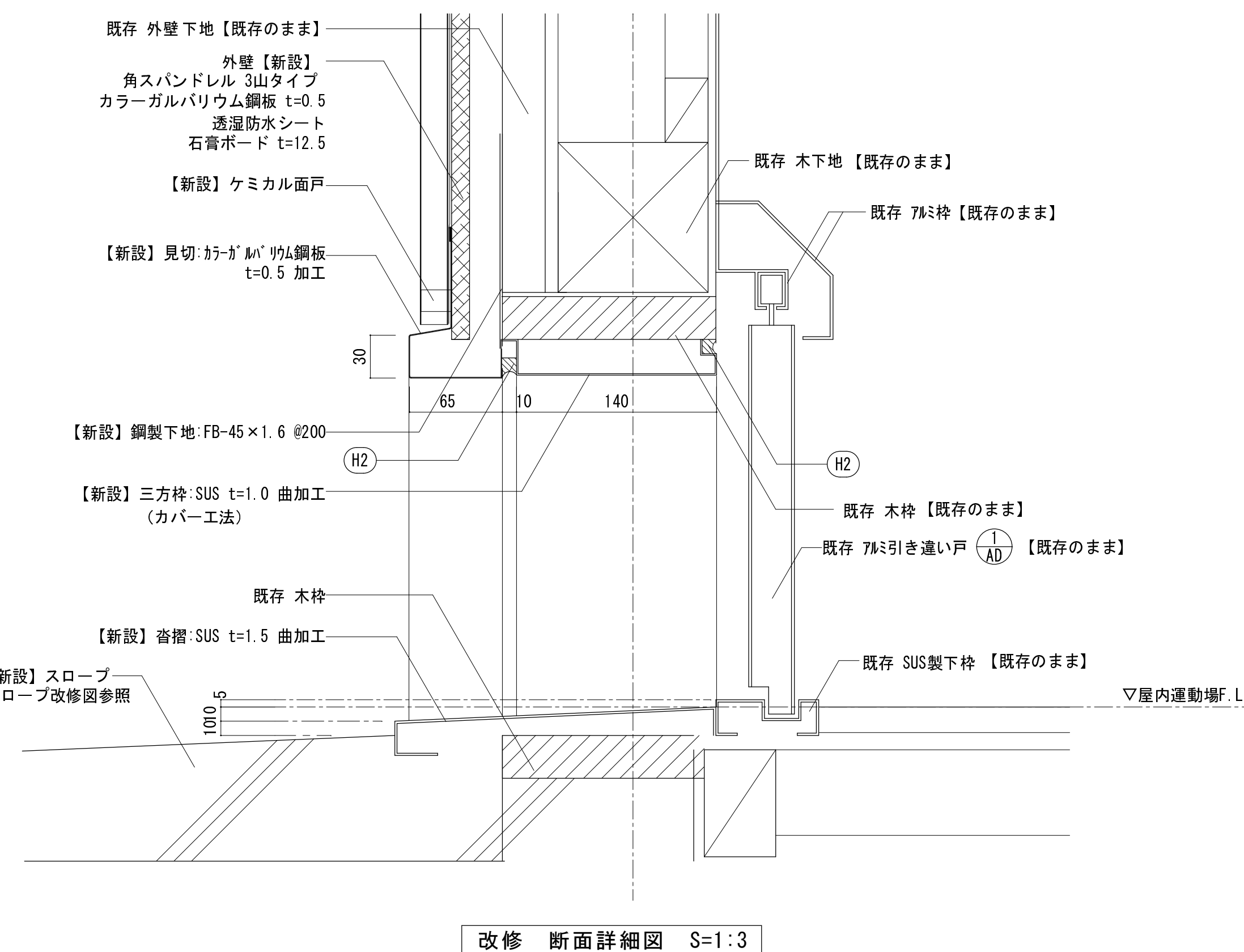
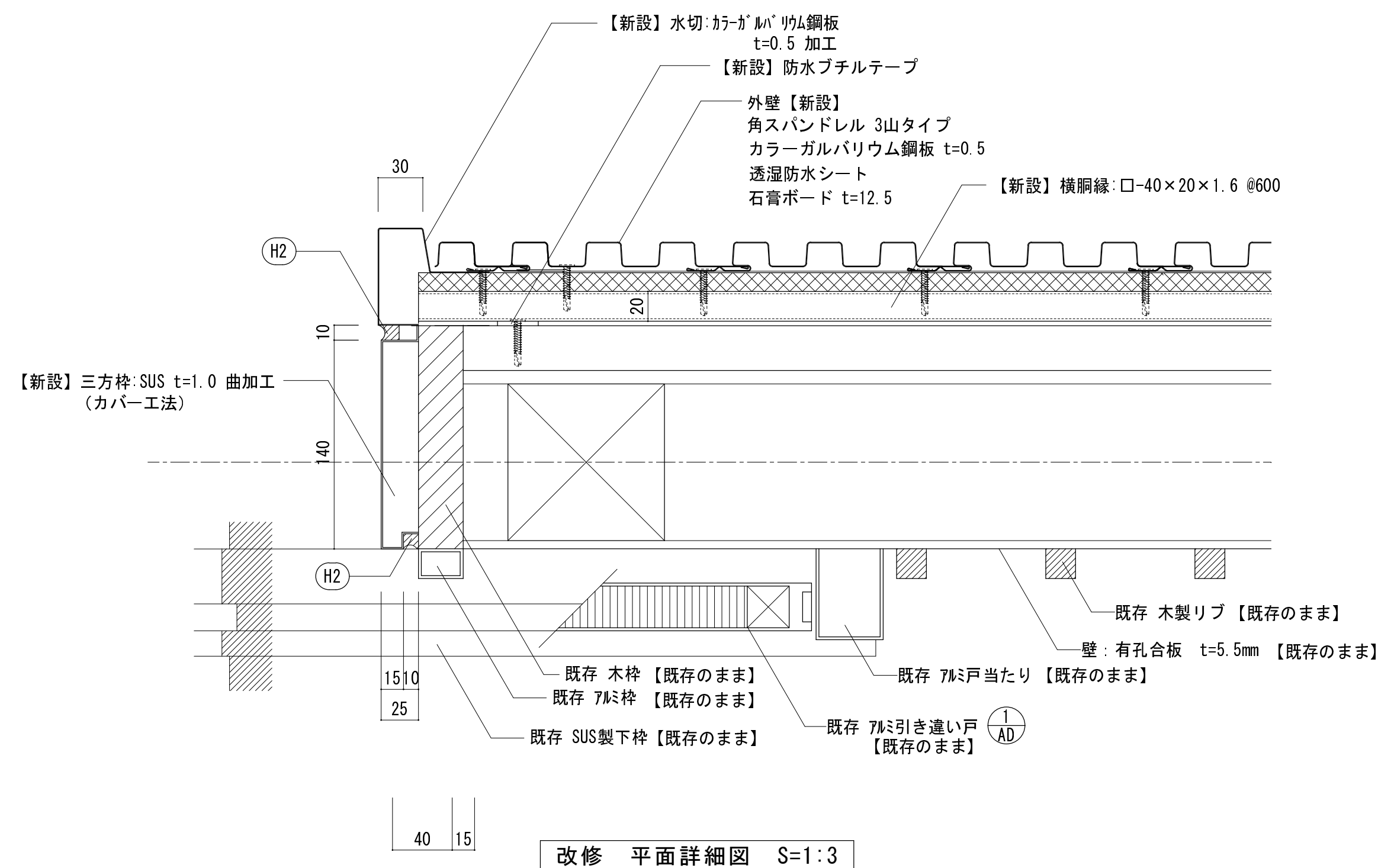
既存下屋 外壁 + 軒天取合部 詳細図 (参考図) S=1:5



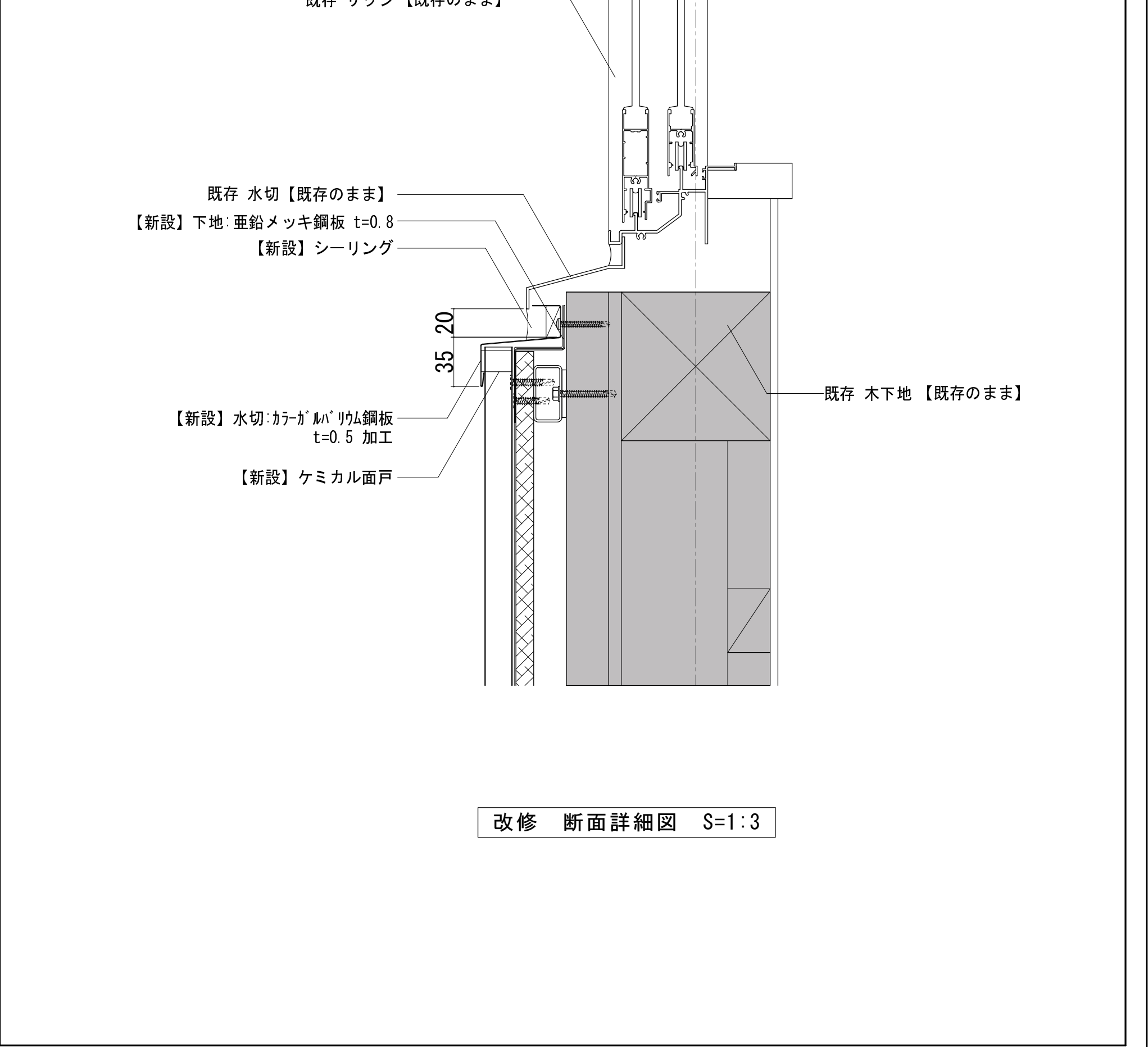
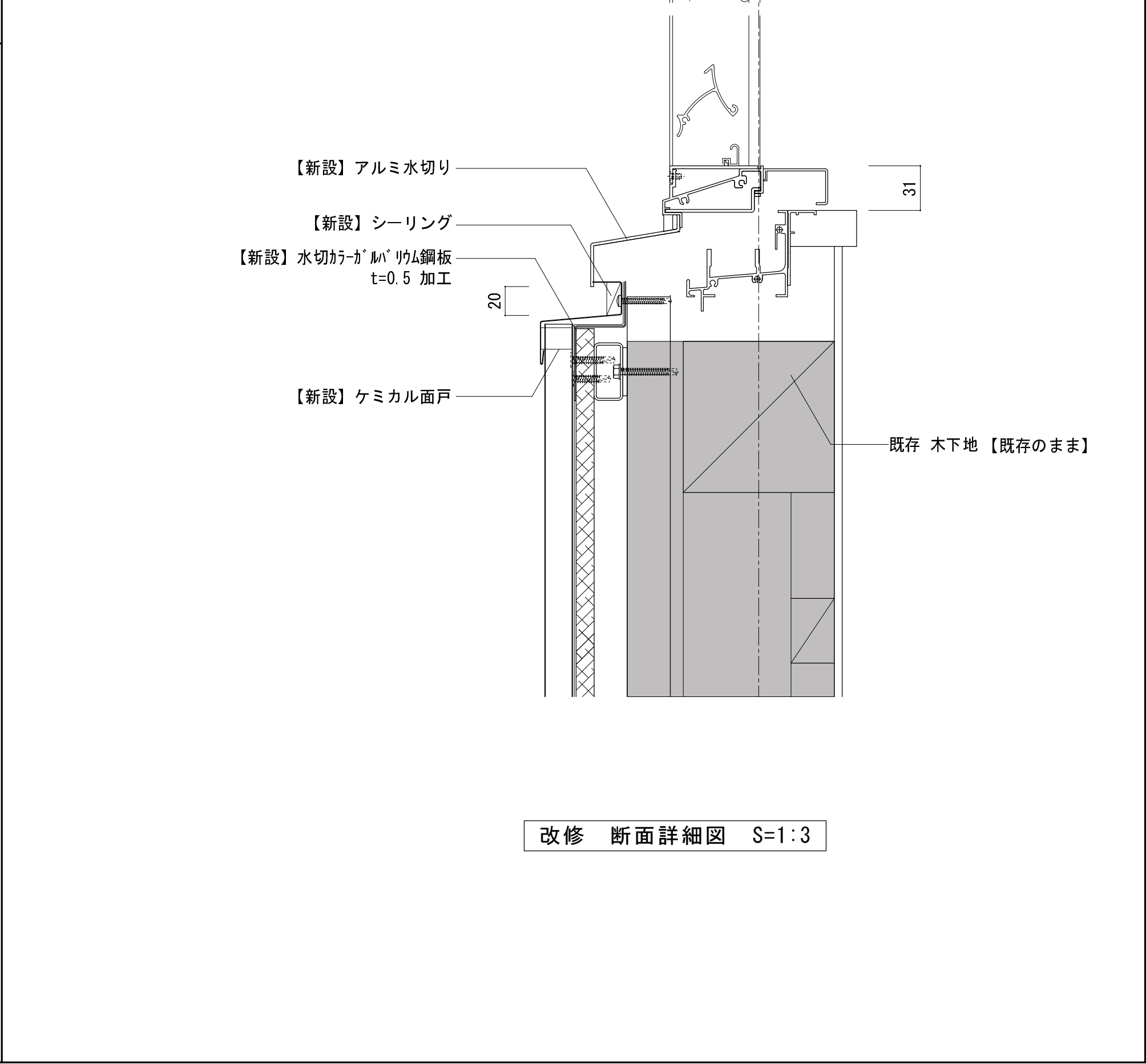
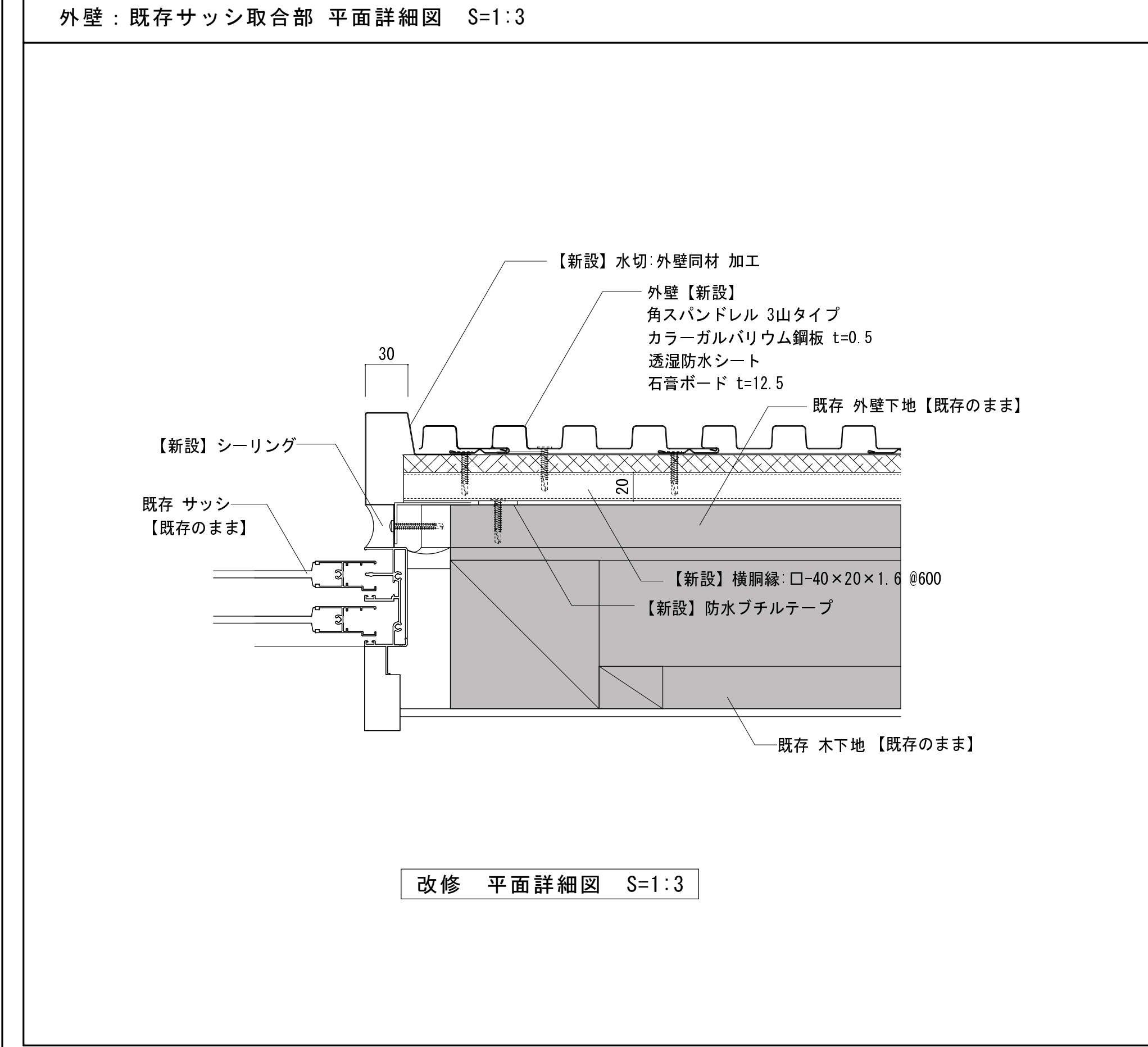
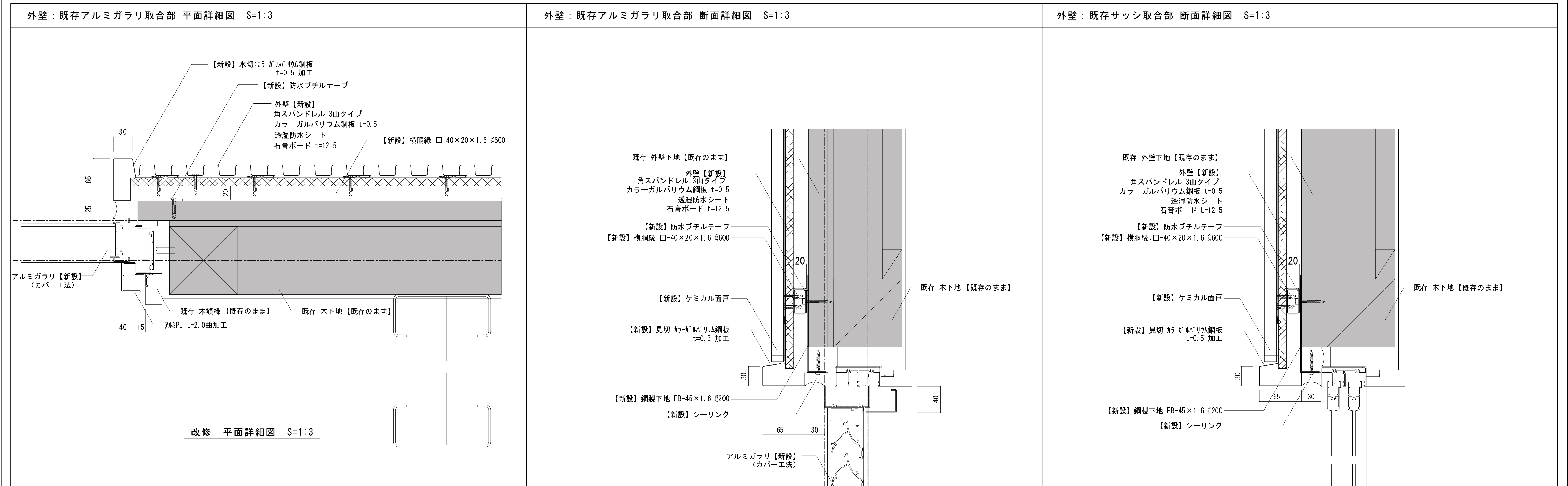
防水材名称は参考とし タジマ：同等品以上とする



既存 A D - 1 出入口廻り 詳細図 S=1:3



A5	屋根：断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材：屋根用高日射反射率塗料	②-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）
A6	屋根	高日射反射率塗装	②-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）
B2	外壁（ALC）	防水形外装薄塗材E	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サイディング）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（MS-2）	K1	軒樋（I）	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料DP塗装			



A5	屋根:断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	0-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（P U - 2）
A6	屋根	高日射反射率塗装	0-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（M S - 2）
B2	外壁（A L C）	防水形外装薄塗材 E	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サイディング）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（M S - 2）	K1	軒樋(1)	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料 D P 塗装			

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

変更年月日

令和 年 月 日

変更年月日

令和 年 月 日

図面名

屋内運動場
雑詳細図（4）

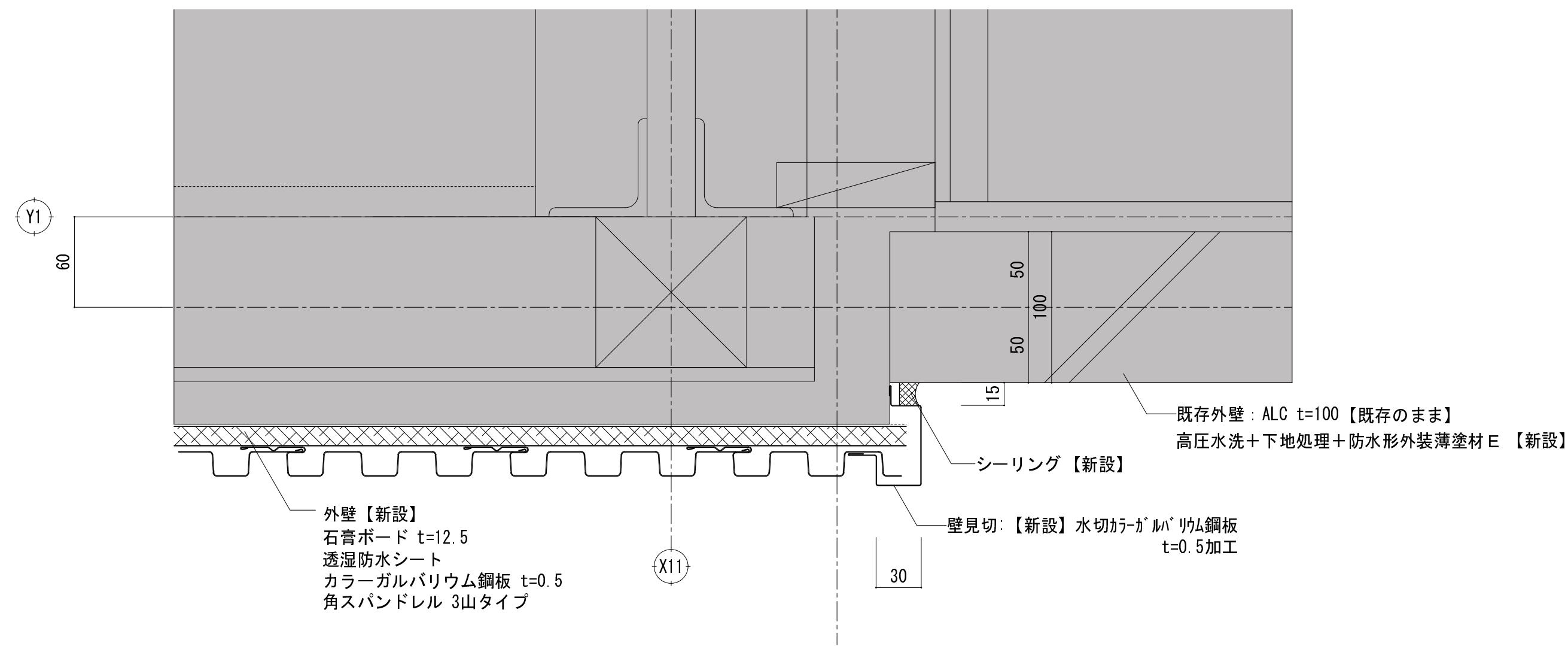
縮尺

S=1:3 (A1)
S=1:6 (A3)

図面番号

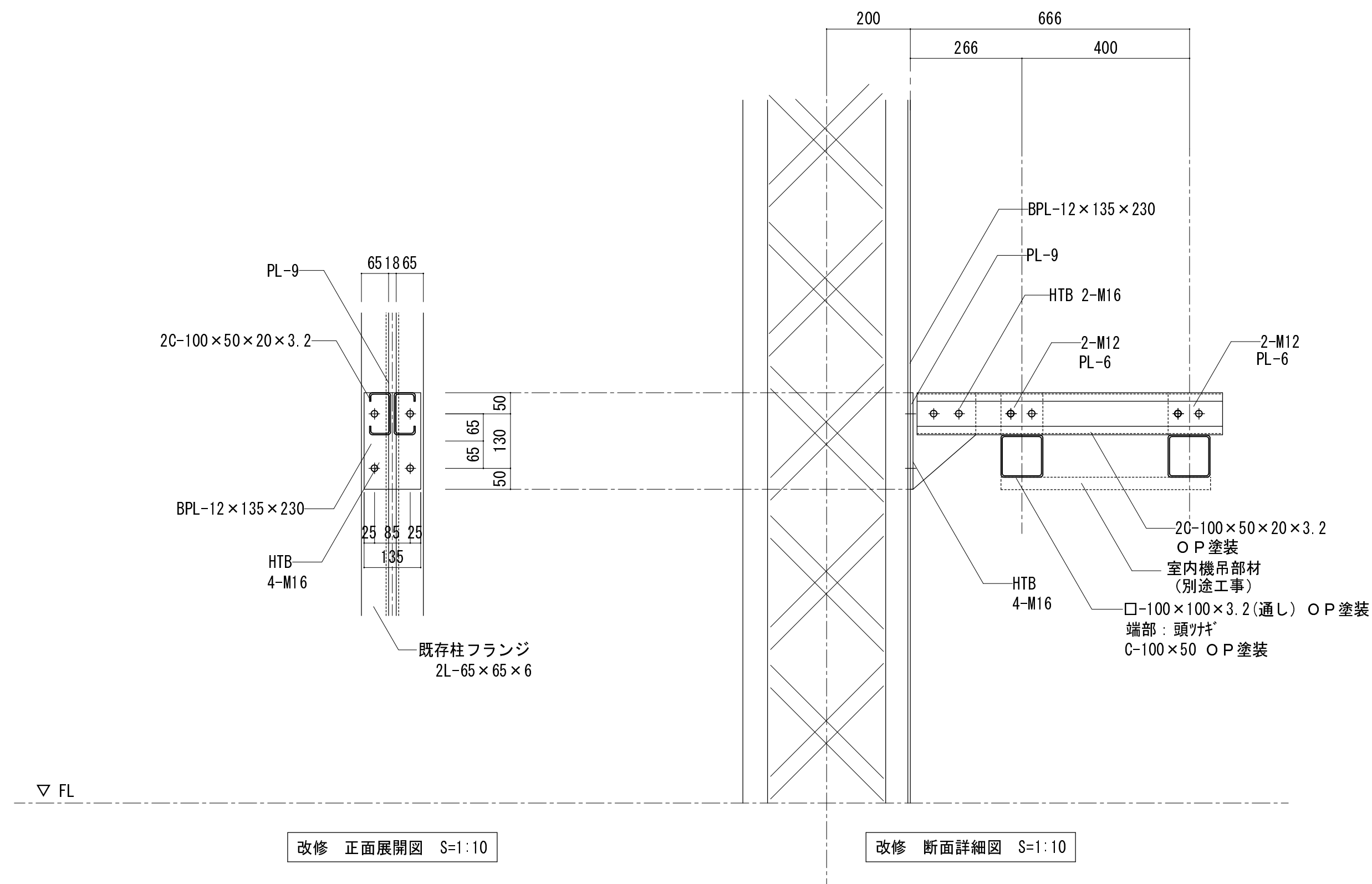
A-3-09

外壁：既存取合部詳細図 S=1:3

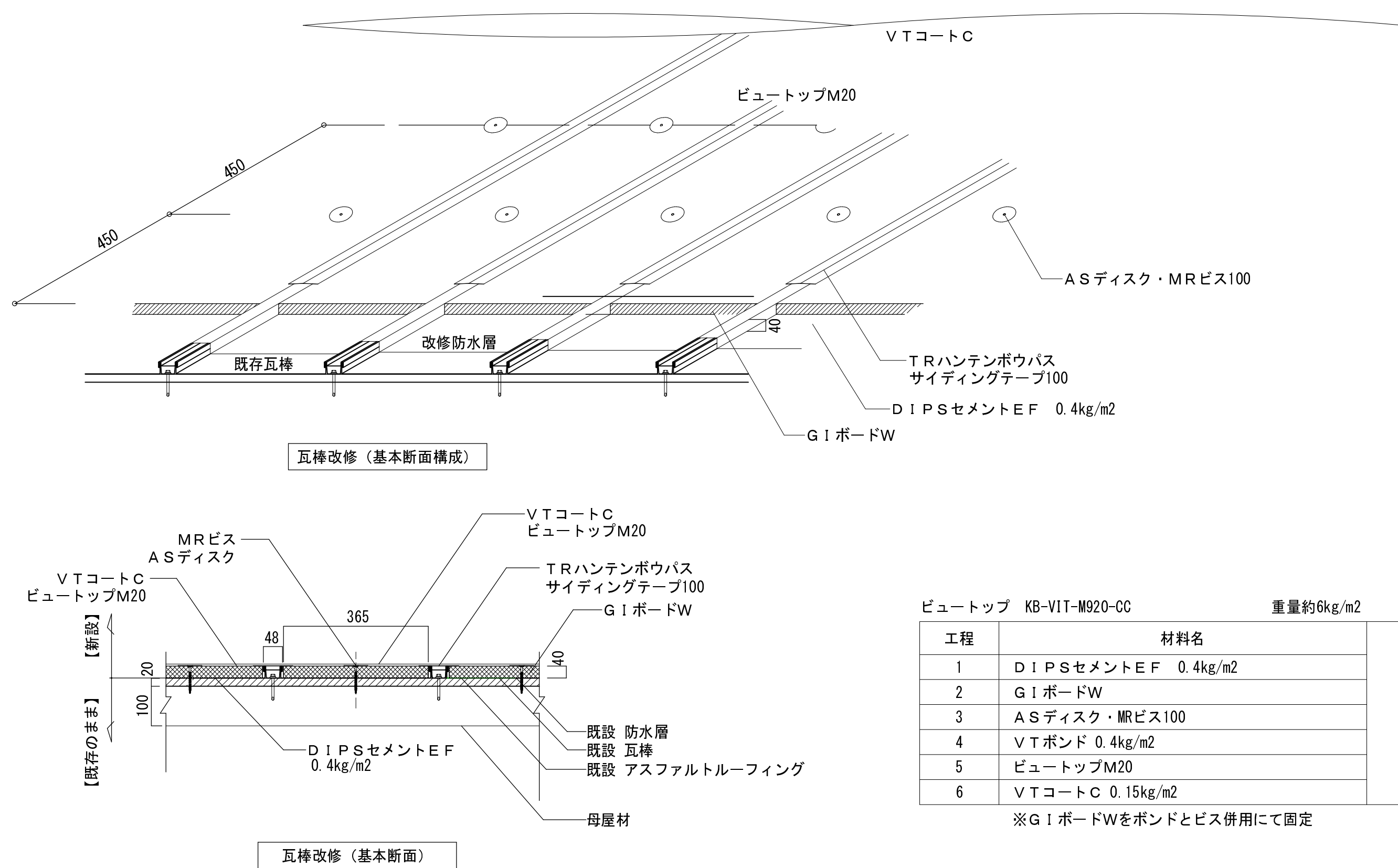


改修 平面詳細図 S=1:3

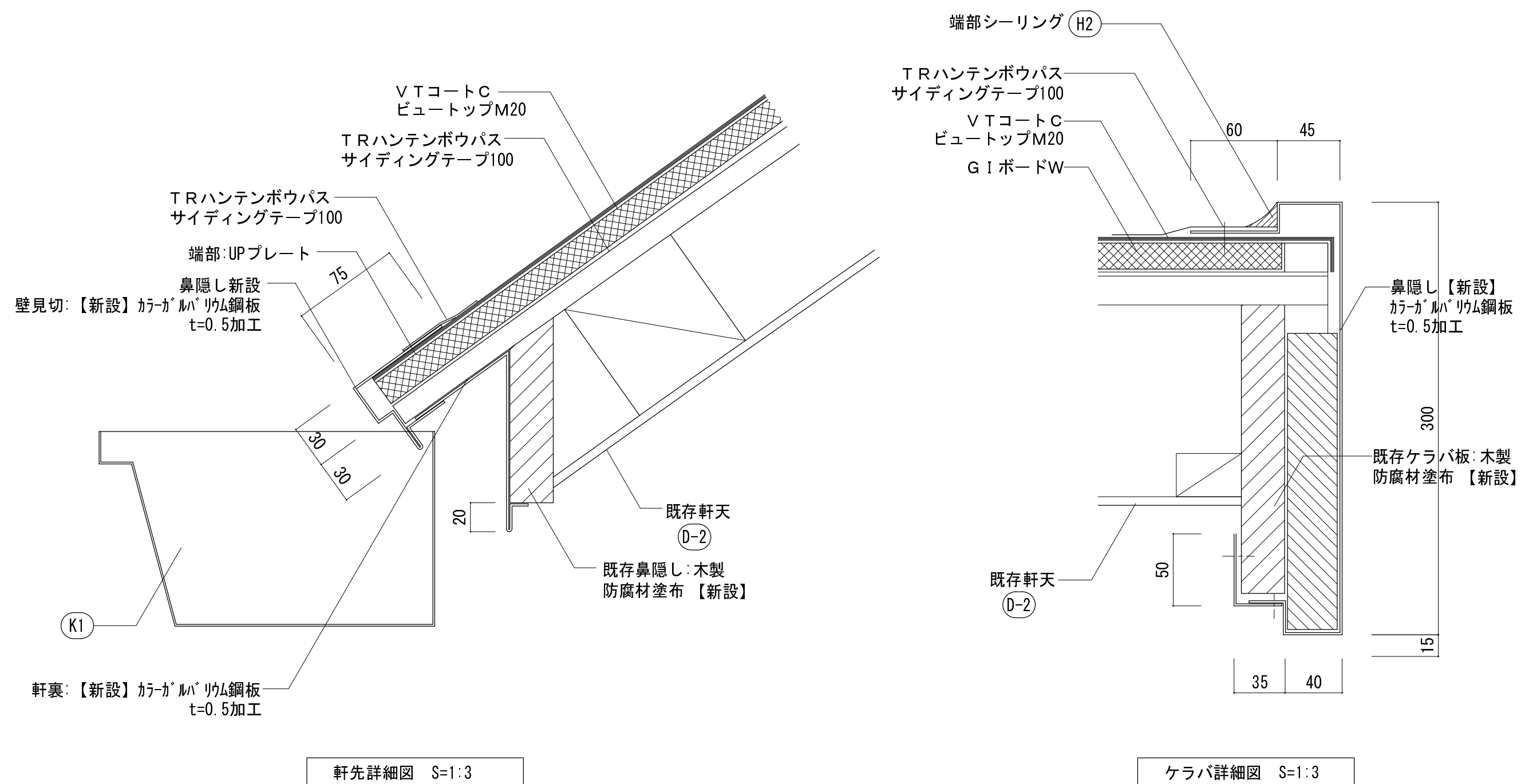
新設空調機廻り-吊り金物詳細図（構造図参照）



屋根廻り-詳細図（参考図）



防水材名称は参考とし タジマ：同等品以上とする



A5	屋根：断熱シート防水	断熱材敷き込み+固定金具止め 塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材：屋根用高日射反射率塗料	0-2	軒天（ボード面）	E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）
A6	屋根：シート防水	塩ビ系シート防水 t=1.5 仕上材：屋根用高日射反射率塗料	0-3	軒天（ボード面）	鋼製下地新設+ケイカル板 t=6.0 E P 塗装	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）
B2	外壁（ALC）	防水形外装薄塗材E	E	縦 樋	硬質カルー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
B3	外壁（金属系サイディング）	既存木造下地+透湿防水シート+金属系サイディング t=16	F	開口部	シリコン系シーリング（MS-2）	K1	軒樋（1）	塩ビ製 角樋 W250 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料DP塗装	—	—	—

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

变更年月日

令和 年 月 日

變更年月日

令和 年 月 日

屋内運動場
雑詳細図 (5)

縮	
---	--

S=1: 10, 3 (A1)
S=1: 20, 6 (A3)

8

A-3-10

符号・個数		① AW 既存建具 12箇所		② AW 既存建具 12箇所		③ AW 既存建具 2箇所		④ AW 既存建具 2箇所		⑤ AW 既存建具 2箇所		⑥ AW 既存建具 4箇所 16箇所					
姿 図 ・ 寸 法																	
		既存		改修		既存		改修		既存		改修					
		1階 アリーナ 強化ガラス		既存のまま		1階 アリーナ 強化ガラス		既存のまま		1階 男子更衣室、女子更衣室 強化ガラス		既存のまま		2階 アリーナ 強化ガラス		既存のまま	
		仕 上 金 物		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー	
備 考		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設	
符号・個数		① SG 既存建具 一部撤去 2箇所		① SG 新設建具 2箇所		① AD 既存建具 4箇所		② AD 既存建具 1箇所		③ AD 既存建具 1箇所							
姿 図 ・ 寸 法																	
		既存		改修		既存		改修		既存		改修		既存		改修	
		妻側換気口		妻側換気口		1階 アリーナ 強化ガラス アルミパネル 電解着色		1階 準備室(1) 強化ガラス アルミパネル シルバー		1階 玄関 強化ガラス		既存のまま					
		仕 上 金 物		スチール OP塗装 撤去		アルミ製アルマイト仕上 カバー工法		電解着色		シルバー		シルバー					
備 考		サッシ回りシーリング撤去		サッシ回りシーリング		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設、SUS製三方枠新設		サッシ回りシーリング撤去		シーリング新設					
符号・個数																	
姿 図 ・ 寸 法																	
		既存		改修		既存		改修		既存		改修		既存		改修	
		取付場所・種類 ガラス・見込															
		仕 上 金 物															
備 考																	
符号・個数																	
姿 図 ・ 寸 法																	
		既存		改修		既存		改修		既存		改修		既存		改修	
		取付場所・種類 ガラス・見込															
		仕 上 金 物															
備 考																	

千葉市都市局建築部営繕課				工事名称 千葉市立千城台西中学校外部改修外工事				設計年月日 令和7年1月 日		実更年月日 令和 年 月 日		実更年月日 令和 年 月 日		図 面 名 屋内運動場 建具表		縮 尺 S=1:50(A1) S=1:100(A3)		図 面 番 号 A-3-11	
--------------	--	--	--	----------------------------	--	--	--	-------------------	--	-------------------	--	-------------------	--	-----------------------------	--	-------------------------------------	--	----------------------------	--

特別教室棟－外部仕上表

記号		部 位		項 目		仕 上		備 考		記号	部 位		項 目		仕 上		備 考			
A1	屋根	平 場	既存	下地	R C	防水押え：アルミ製、撤去・新設		D-1	軒天（コンクリート面）	既存	下地	R C								
				仕上	ゴム系ルーフィング シート防水						仕上	リシン吹付け								
			撤去	下地						撤去	下地							改修	下地	
				仕上	既存撤去、水洗＋撤去後下地補修＋仮防水						仕上	既存のまま								
			改修	下地						改修	下地							改修	下地	
				仕上	塩ビ系シート防水-機械的固定工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料						仕上	高圧水洗＋下地調整＋外装薄塗材 E								
	立上り		既存	下地	R C			E	堅 樋	既存	下地									
				仕上	ゴム系ルーフィング シート防水						仕上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ								
			撤去	下地						撤去	下地						改修	下地		
				仕上	全数 既存撤去、水洗＋撤去後下地補修＋仮防水						仕上	既存撤去								
			改修	下地						改修	撤去						改修	仕上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	
				仕上	塩ビ系シート防水-接着工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料						仕上									
A2	屋根 X-1	平場 バルコニー床	既存	下地	R C			F	開口部	既存	下地									
				仕上	既存：防水モルタル、塗膜防水仕上げ						仕上	シーリング								
			撤去	下地						撤去	下地						改修	下地		
				仕上	既存撤去（脆弱部）、下地調整						仕上	既存撤去								
A3	屋根 X-2	立上り バルコニー床 機械基礎 庇、窓台	既存	下地	R C			H1	外壁 (RC 打継目地) 外壁 (ALC 打継目地) 防水端部	既存	下地									
				仕上	既存：ウレタン塗膜防水 既存バルコニー：防水モルタル 金コテ						仕上	ウレタン系シーリング								
			撤去	下地						撤去	下地						改修	下地		
				仕上	既存撤去（脆弱部）、下地調整						仕上	既存撤去								
改修	下地		改修	下地		改修	仕上	ウレタン系シーリング (PU-2)												
	仕上	高圧水洗＋下地調整＋ウレタン塗膜防水		仕上																
B1	外壁 (コンクリート、モルタル面)		既存	下地	R C			H2	外壁 換気フード ベンドキャップ その他雑シール	既存	下地									
				仕上	コンクリート打放し アクリルリシン吹付け						仕上	シリコン系シーリング								
			撤去	下地						撤去	下地						改修	下地		
				仕上	既存のまま						仕上	既存撤去								
改修	下地		改修	下地		改修	仕上	シリコン系シーリング (MS-2)												
	仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E		仕上																
C	外巾木		既存	下地	R C			I	ルーフドレイン	既存	下地									
				仕上	モルタル金ゴテ						仕上	既存ドレイン タテ型、横引型								
			撤去	下地						撤去	下地						改修	下地		
				仕上	既存のまま						仕上	既存撤去								
改修	下地		改修	下地		改修	仕上	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設												
	仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）		仕上																

A1	屋根：塩ビ系シート防水	塩ビ系シート防水-機械的固定（平場）+接着工法（立上り）	仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	G	鉄 部	耐候性塗料DP塗装
A2	屋根：ウレタン塗膜防水	平場（X-1）	仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	D-1	軒天（コンクリート面）	外装薄塗材E	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）
A3	屋根：ウレタン塗膜防水	立上り等（X-2）	仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	E	堅 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ 新設 受け金物：SUS製 φ1.200以内共	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）
B1	外壁（RC）	防水形外装薄塗材E		F	開口部	シリコン系シーリング（MS-2）	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

特記事項

変更年月日

令和 年 月 日

特記事項

図面名

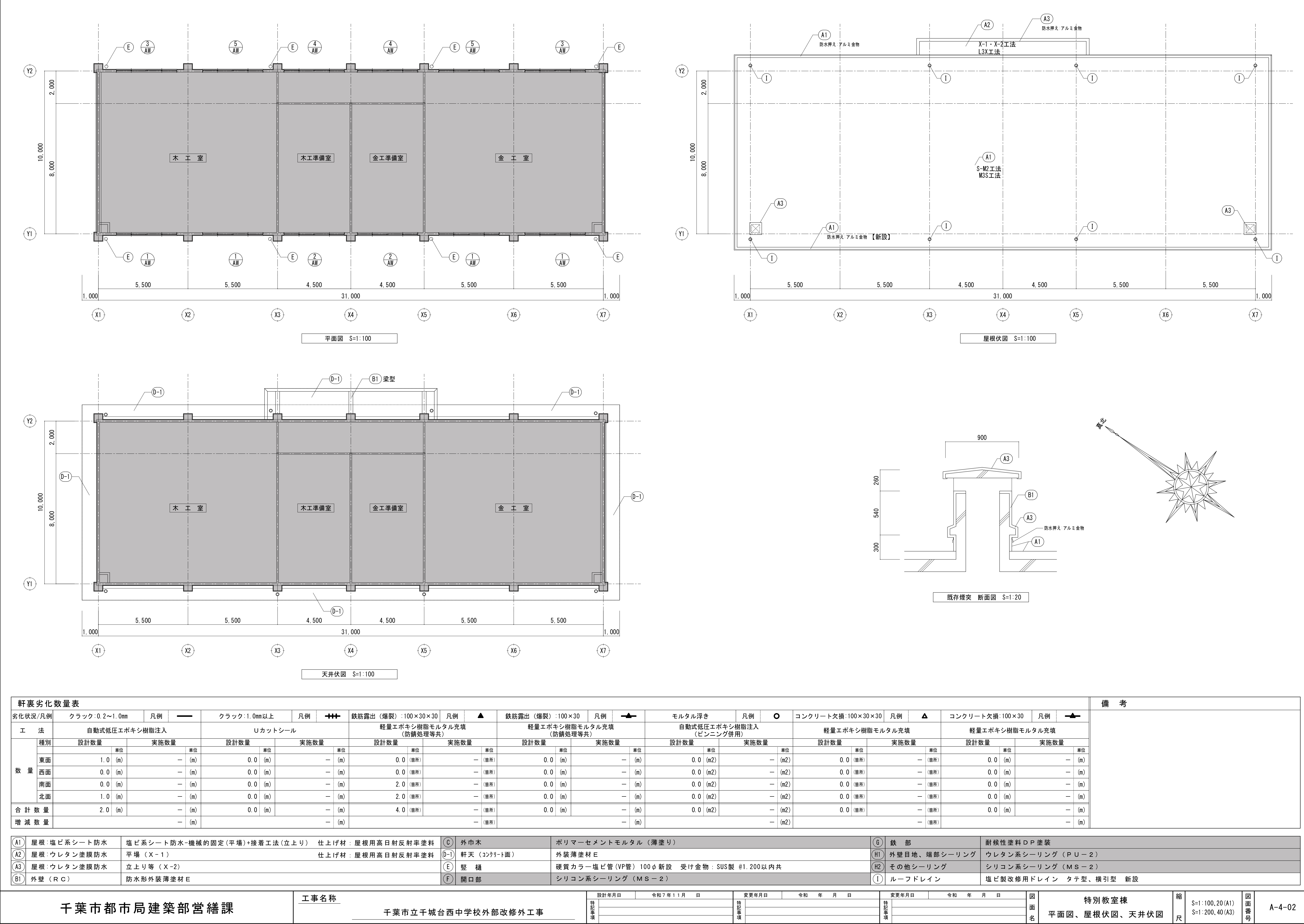
特別教室棟 仕 上 表

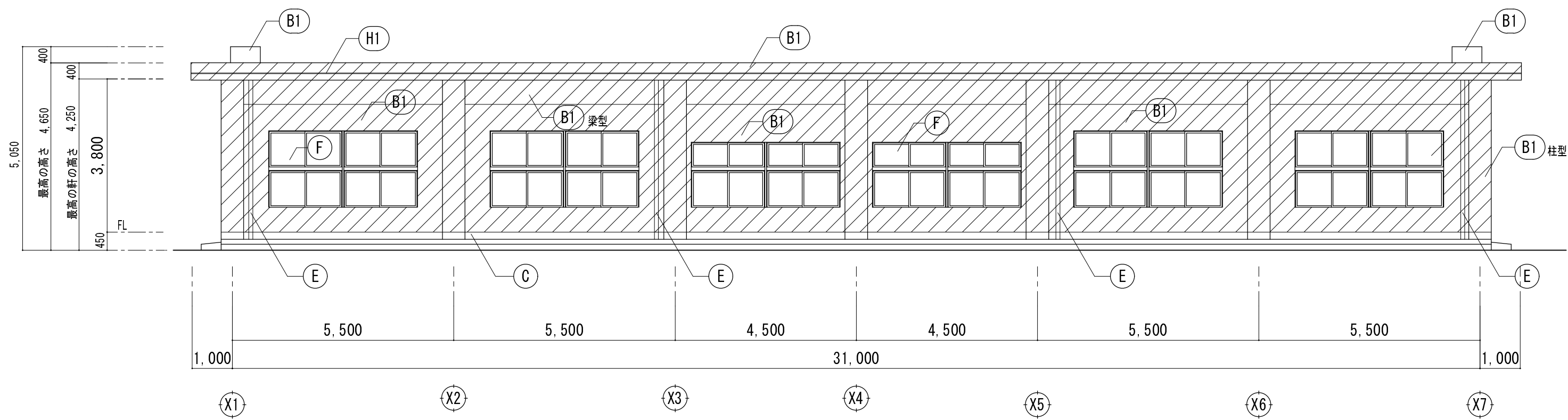
縮尺

—

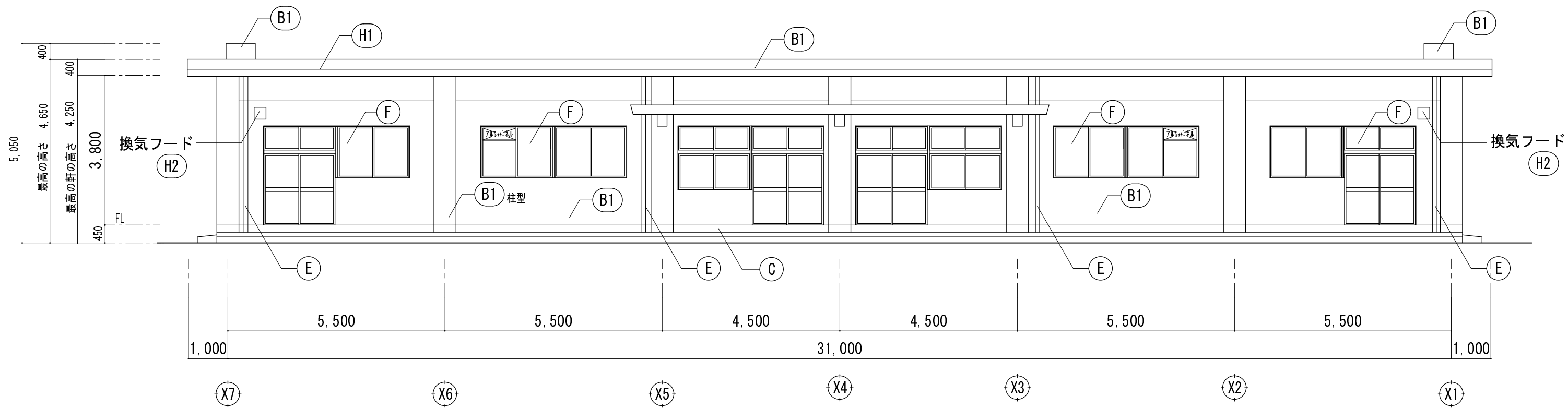
図面番号

A-4-01

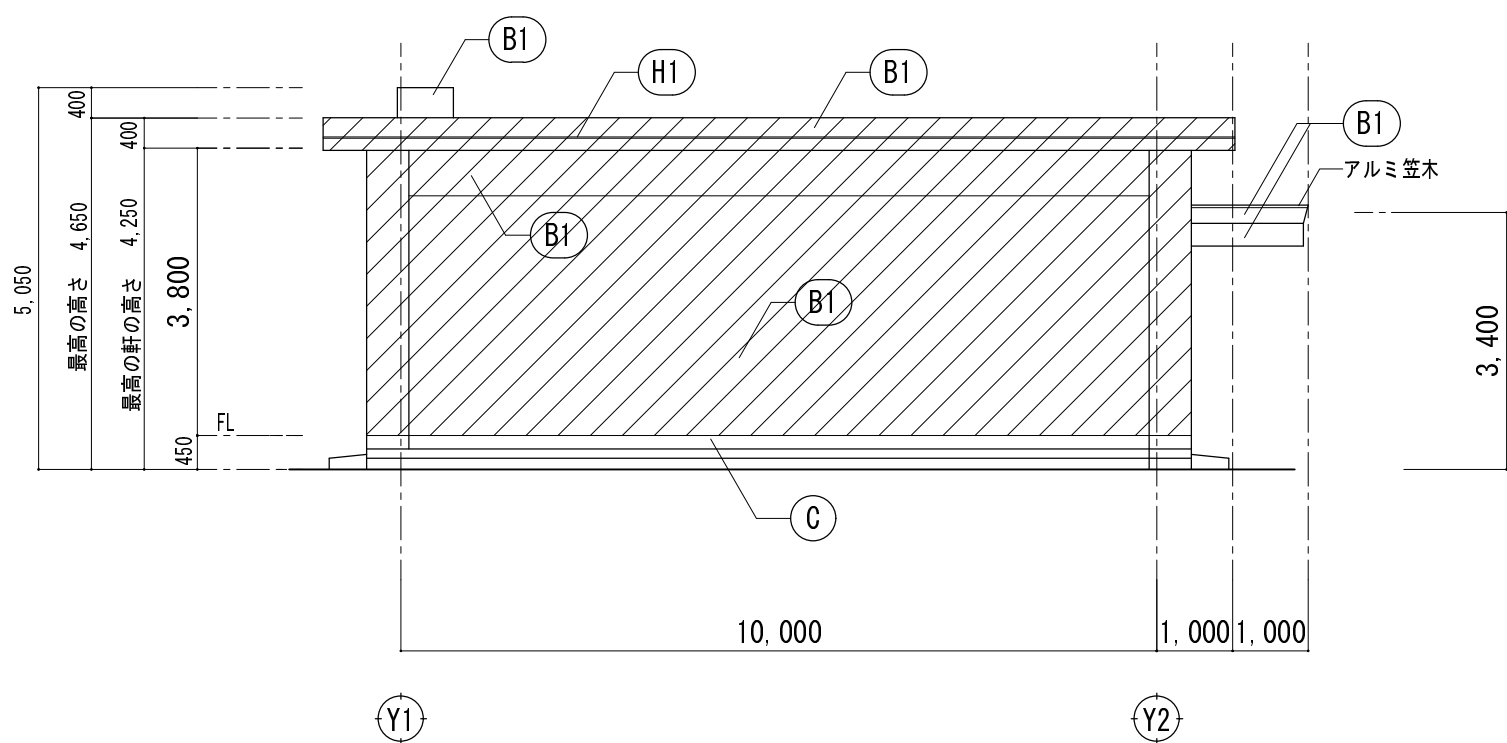




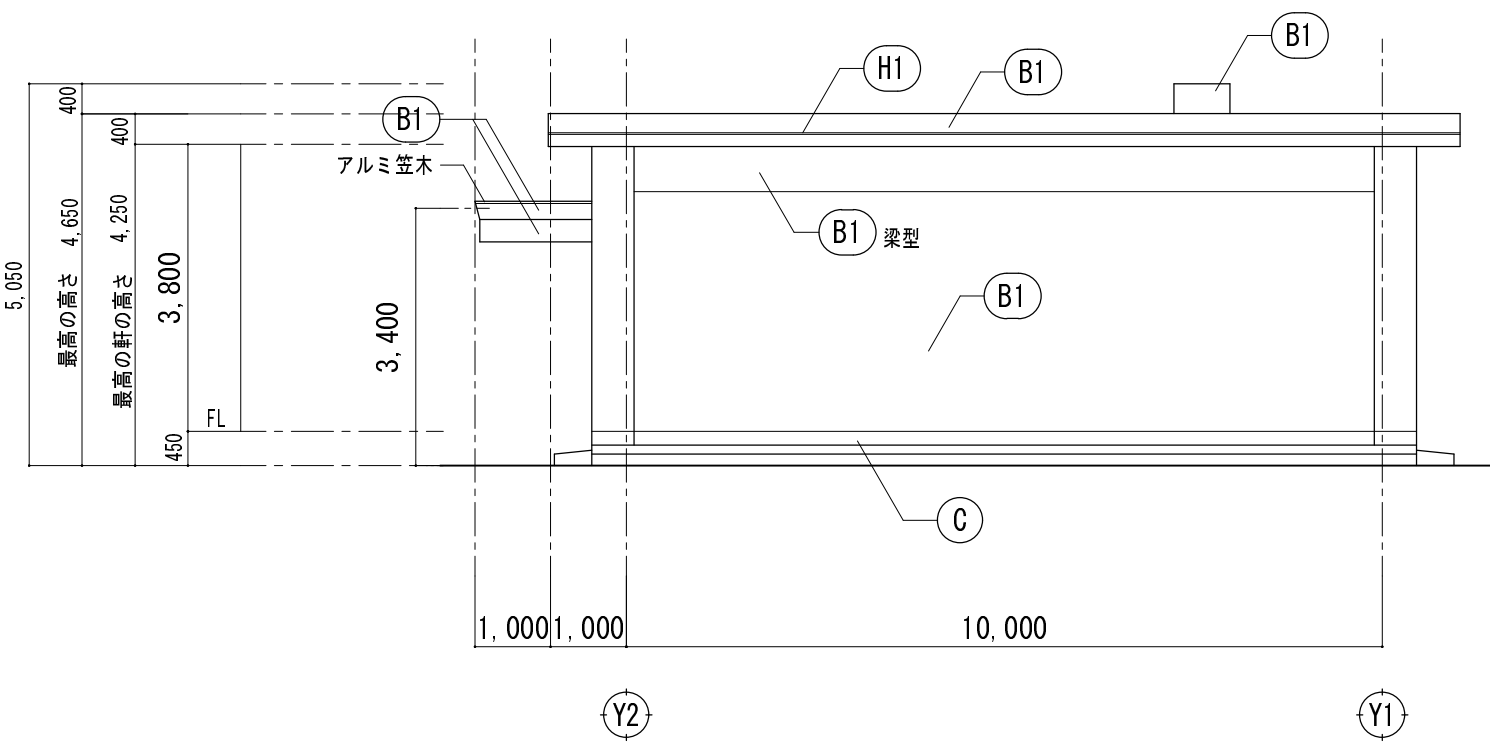
特別教室棟 南側立面図 S=1:100



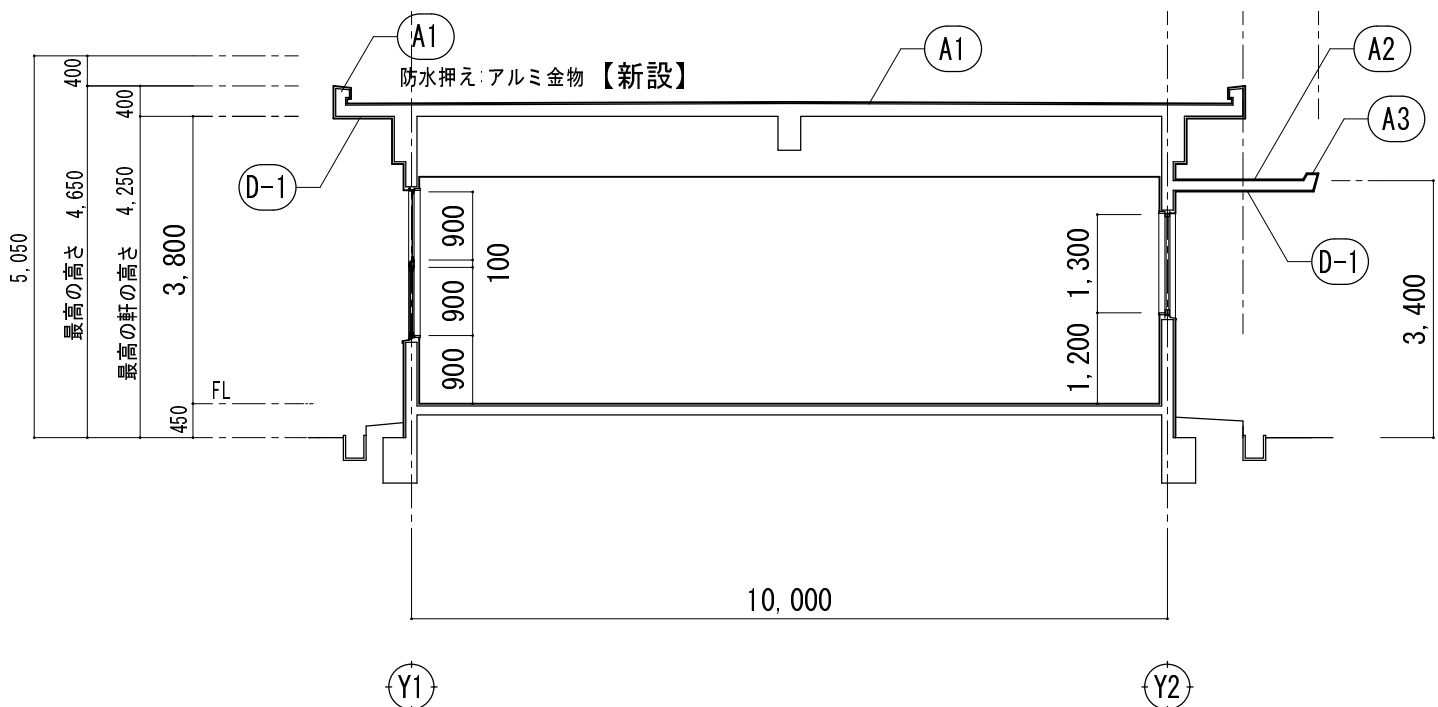
特別教室棟 北側立面図 S=1:100



特別教室棟 東側立面図 S=1:100



特別教室棟 西側立面図 S=1:100

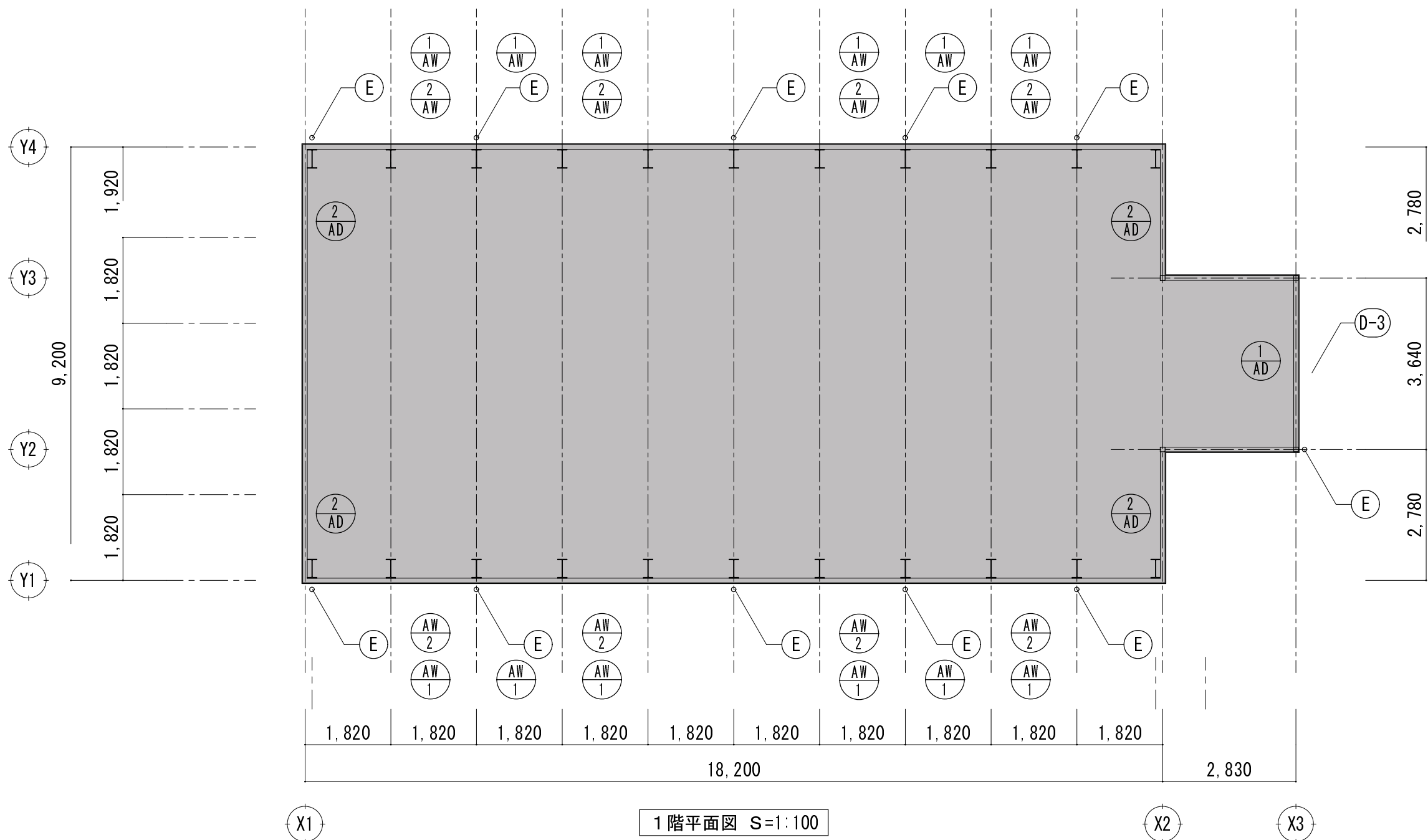
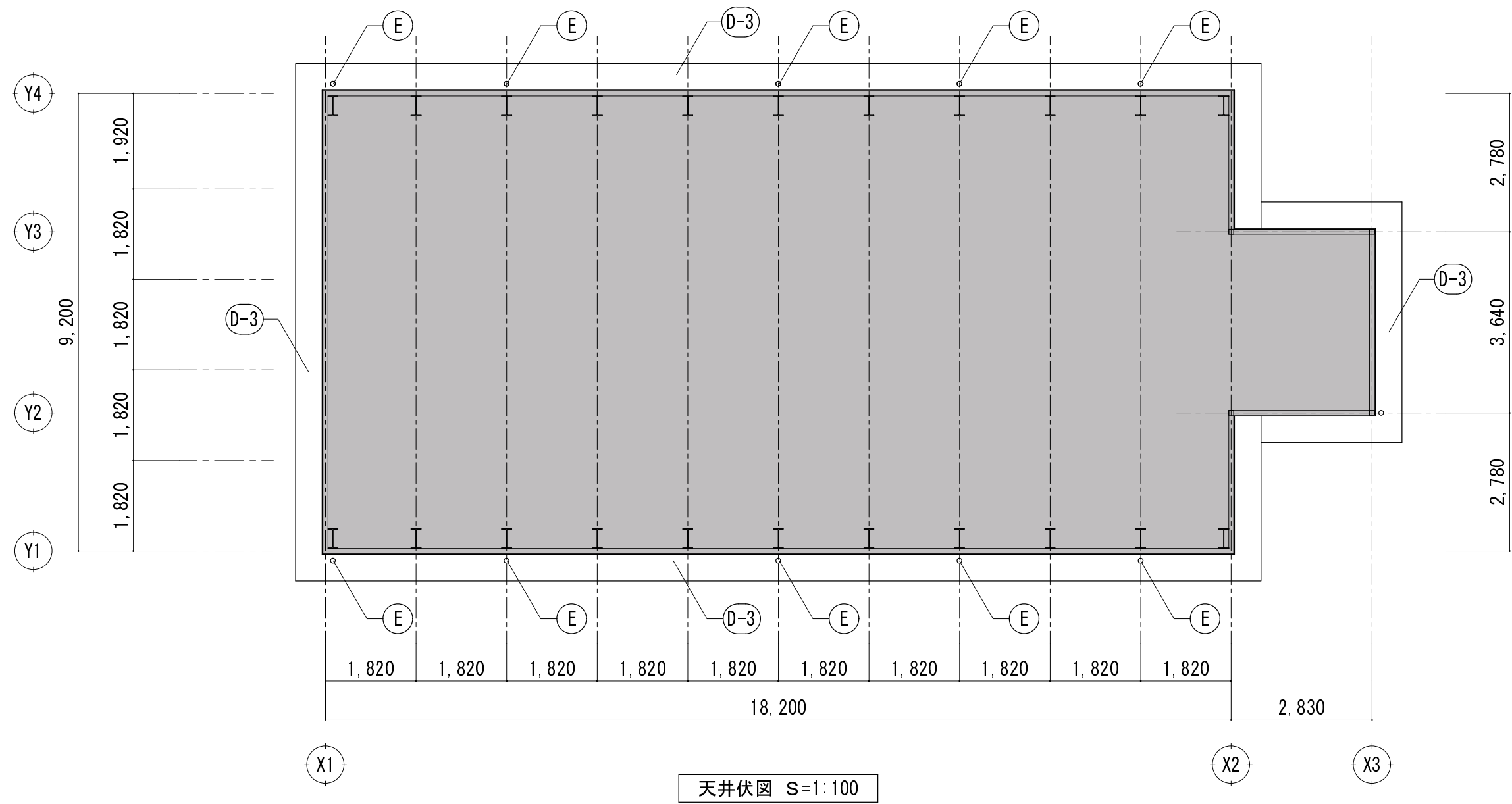
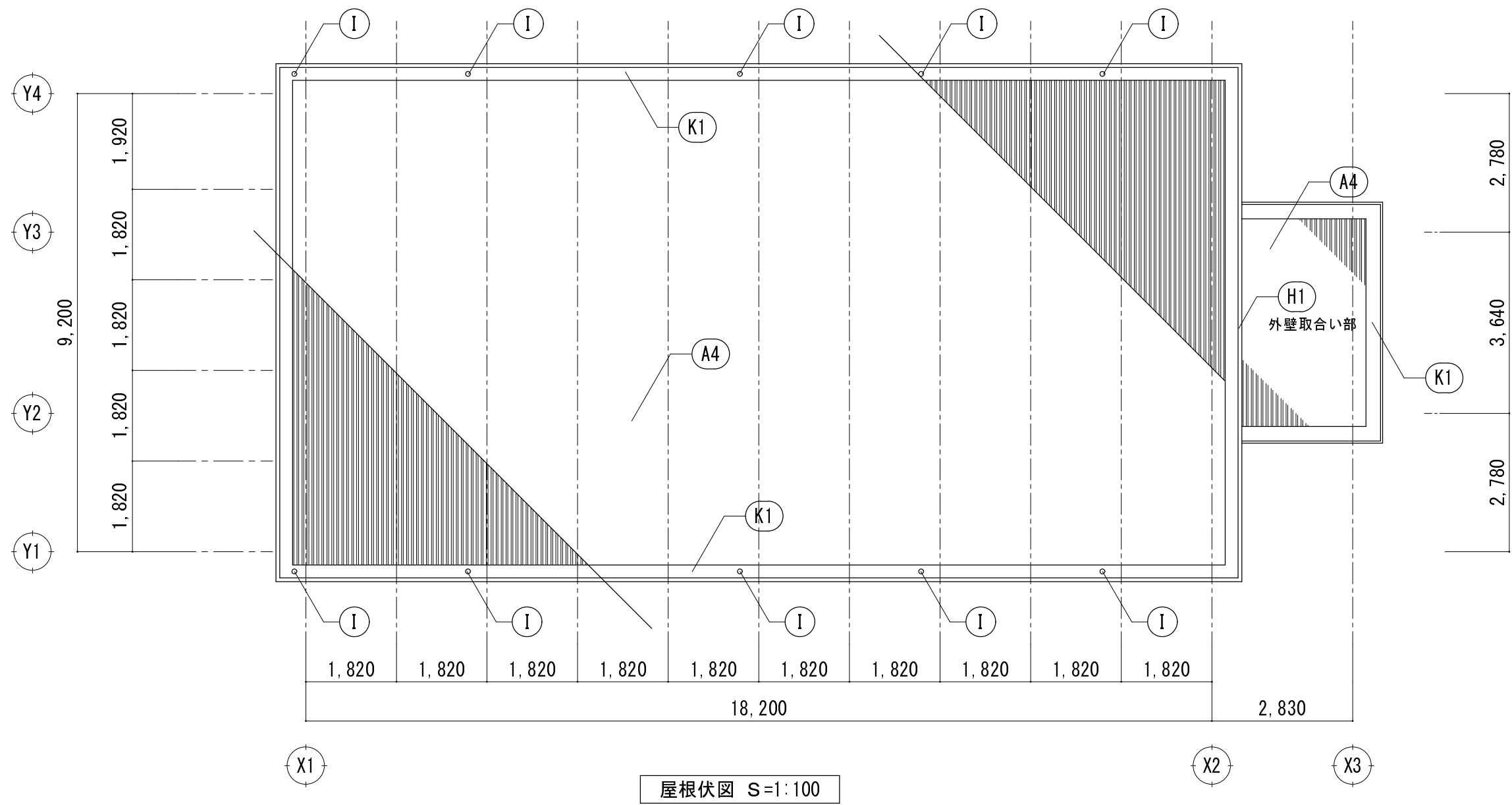


特別教室棟 断面図 S=1:100

建具表 S=1:50											
符号・個数		① AW 既存建具 4箇所		② AW 既存建具 2箇所		③ AW 既存建具 2箇所		④ AW 既存建具 2箇所		⑤ AW 既存建具 2箇所	
窓 図 ・ 寸 法											
	既存	改修	既存	改修	既存	改修	既存	改修	既存	改修	
取付場所・種類	木工室、金工室		木工準備室、金工準備室		木工室		廊下		木工室、金工室		
ガラス・見込	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0	
仕 上	シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		
金 物											
備 考	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	

外壁劣化数量表																							備 考																								
劣化状況/凡例		クラック:0.2~1.0mm		凡例		――		クラック:1.0mm以上		凡例		++		鉄筋露出（爆裂）:100×30×30		凡例		▲		鉄筋露出（爆裂）:100×30		凡例		――▲		モルタル浮き		凡例		○		コンクリート欠損:100×30×30		凡例		▲		コンクリート欠損:100×30		凡例		――▲		凡例		R C部仕上塗材撤去を示す	
工 法		自動式低圧エポキシ樹脂注入				Uカットシール				軽量エポキシ樹脂モルタル充填 （防錆処理等共）				軽量エポキシ樹脂モルタル充填 （防錆処理等共）				自動式低圧エポキシ樹脂注入 （ピンニング併用）				軽量エポキシ樹脂モルタル充填				軽量エポキシ樹脂モルタル充填																					
数 量	種別	設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量		設計数量		実施数量							
	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位							
	東面	4.5	(m)	―	(m)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(m2)	―	(m2)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)						
	西面	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	8.0	(m2)	―	(m2)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)						
	南面	5.5	(m)	―	(m)	4.8	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	13.2	(m2)	―	(m2)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)						
合 計 数 量	北面	5.9	(m)	―	(m)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.5	(m2)	―	(m2)	1.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)						
		15.9	(m)	―	(m)	4.8	(m)	―	(m)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	21.7	(m2)	―	(m2)	1.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)	1.0	(箇所)	―	(箇所)	0.0	(m)	―	(m)						
増 減 数 量				―	(m)			―	(m)			―	(箇所)			―	(m)			―	(m2)			―	(箇所)			―	(箇所)			―	(m)			―	(箇所)			―	(m)						

① 屋根:塩ビシート防水	塩ビシート防水+機械的固定(平場)+接着工法(立上り) 仕上げ材:屋根用高日射反射率塗料	④ 外巾木	ポリマーセメントモルタル(薄塗り)	⑥ 鉄 部	耐候性塗料DP塗装
② 屋根:ウレタン塗膜防水	平場 (X-1)	④-1 軒天(コンクリート面)	外装薄塗材E	⑥-1 外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (PU-2)
③ 屋根:ウレタン塗膜防水	立上り等 (X-2)	⑤ 壁 樋	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物: SUS製 ①1,200以内共	⑥-2 その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
⑦ 外壁 (RC)	防水形外装薄塗材E	⑥ 開口部	シリコン系シーリング (MS-2)	⑦ ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設



建具表 S=1:50									
窓 図 ・ 寸 法	符号・個数	① AD 既存建具 1箇所		② AD 既存建具 4箇所		① AW 既存建具 12箇所		② AW 既存建具 8箇所	
	1,650		1,650		1,700		1,700		
	既存		改修		既存		改修		
	取付場所・種類		部室		部室		部室		部室
ガラス・見込	フロートガラス t=4.0 強化ガラス t=4.0		網入りガラス t=4.0		フロートガラス t=4.0 強化ガラス t=4.0		フロートガラス t=4.0 強化ガラス t=4.0		
仕 上	シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		
金 物									
備 考	サッシ回りシーリング撤去 シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去 シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去 シーリング新設		サッシ回りシーリング撤去 シーリング新設		

A4	折板葺き	高圧水洗＋下地処理＋屋根用高日射反射率塗料	仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料	D-3	軒天（折板）	既存のまま	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）
B3	外壁（金属系サイディング）	既存下地＋鋼製下地新設＋石膏ボード t=12.5＋透湿防水シート＋金属系サイディング t=16		E	縦 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）
B4	外壁（窯業系サイディング）	高圧水洗＋下地処理＋水性シリコン塗装		F	開口部	シリコン系シーリング（MS-2）	I	ルーフトレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）		G	鉄 部	耐候性塗料DP塗装	J	鼻 隠	高圧水洗＋下地調整＋耐候性塗料DP塗装
							K1	軒樋（1）	塩ビ製 角樋 W250 新設 ドレイン新設共

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和7年11月 日
特記事項

変更年月日
令和 年 月 日
特記事項

変更年月日
令和 年 月 日
特記事項

図
面
名

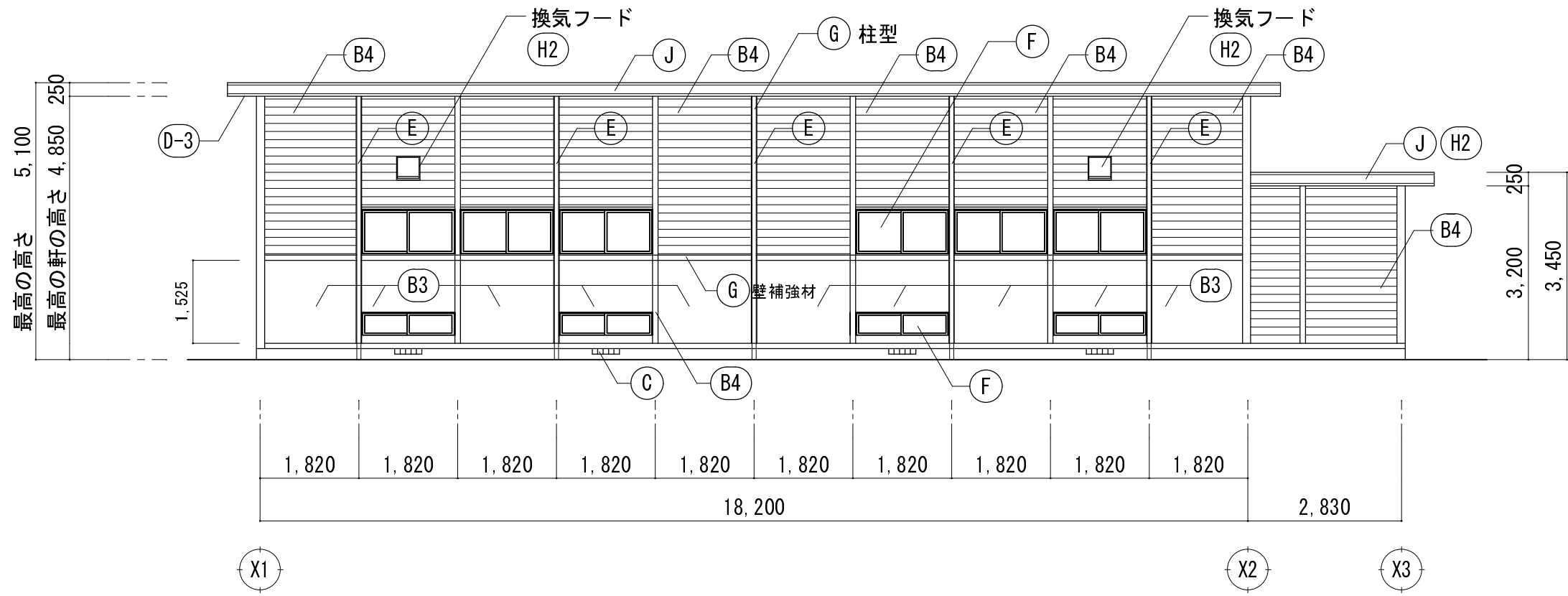
武道場
平面図、屋根伏図、天井伏図、建具表

縮
尺

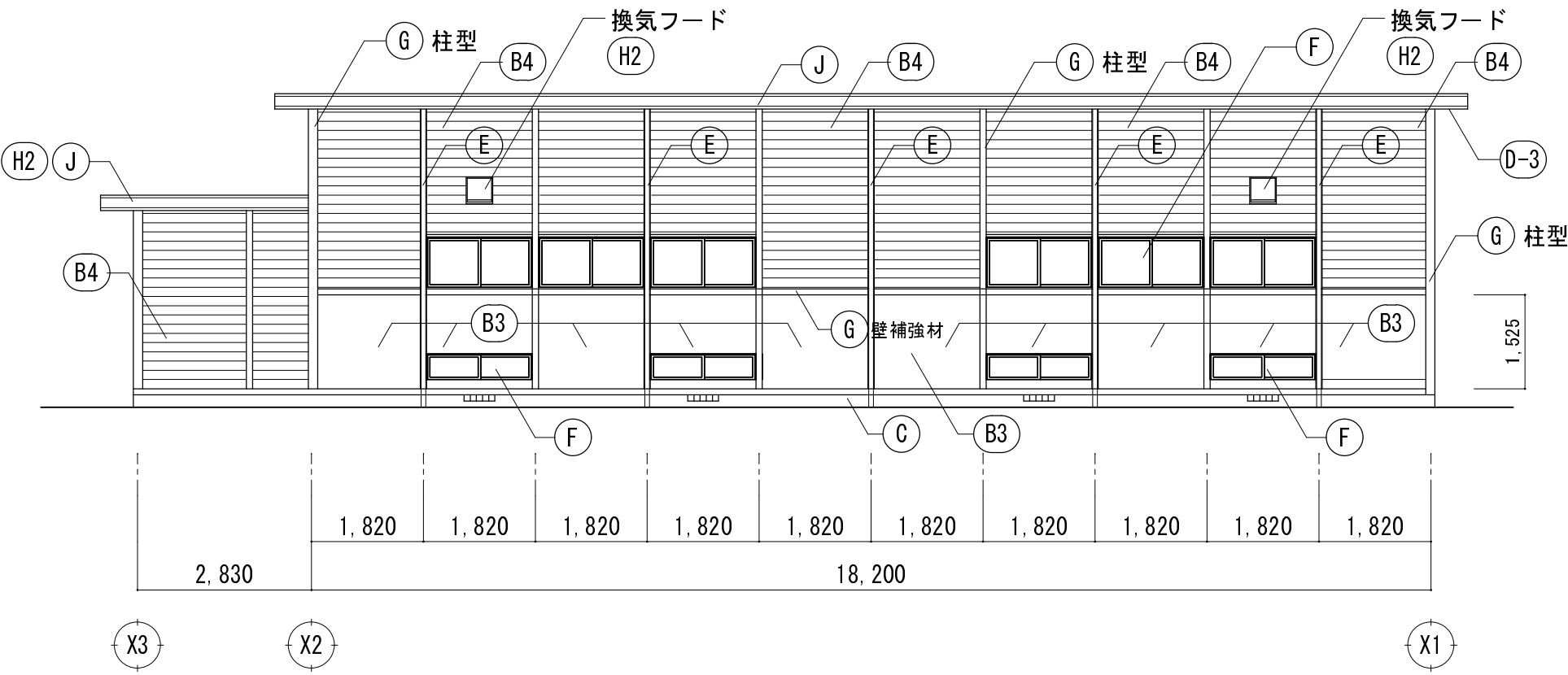
S=1:100,50 (A1)
S=1:200,100 (A3)

図
面
番
号

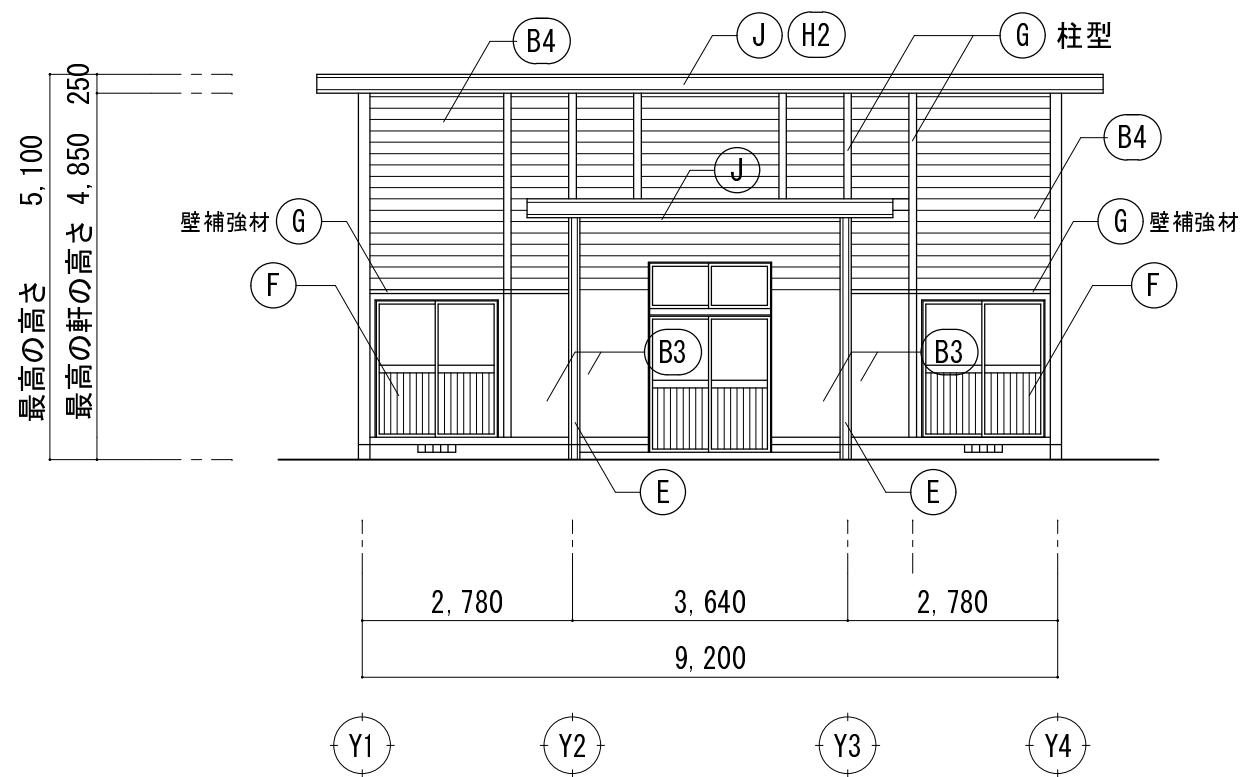
A-5-02



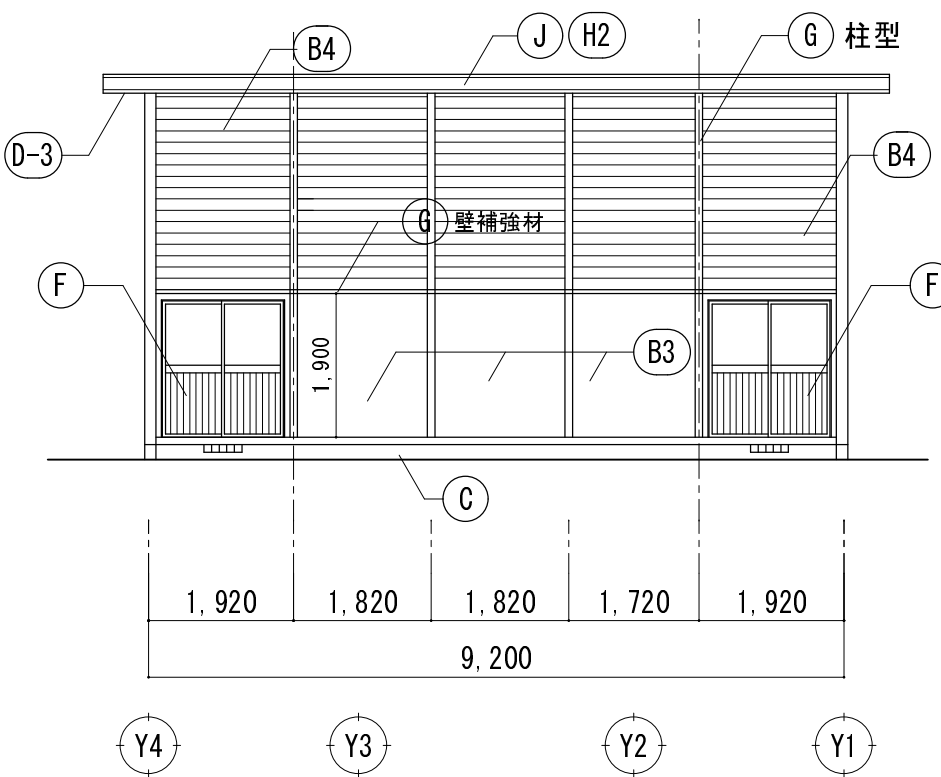
立面図(1) S=1:100



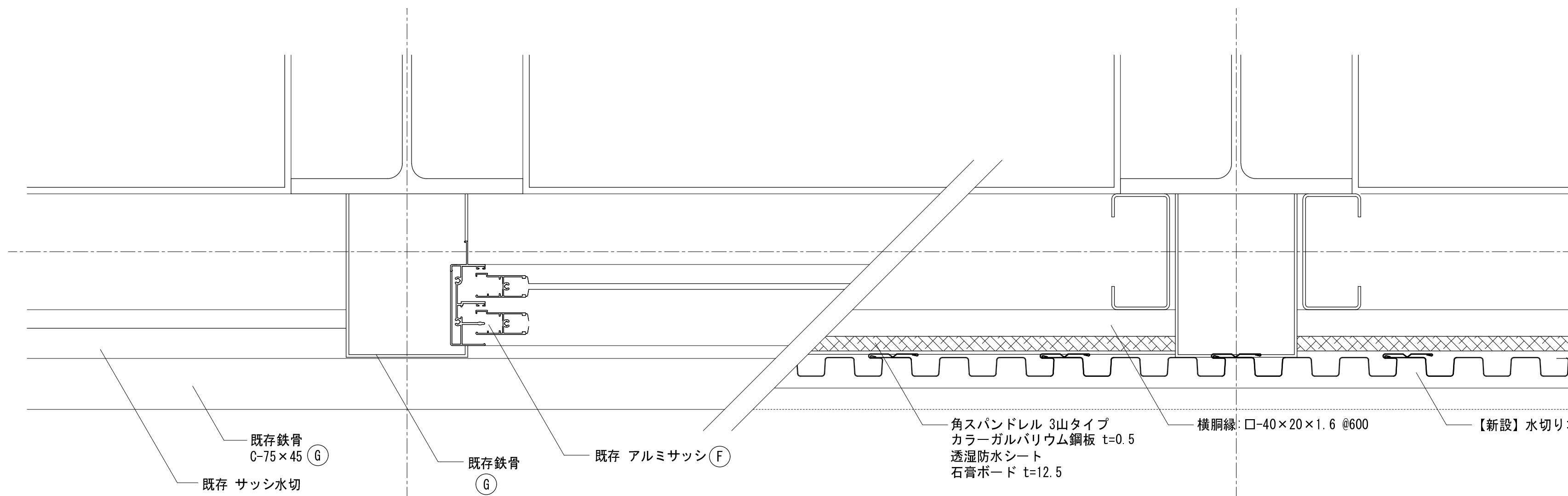
立面図(2) S=1:100



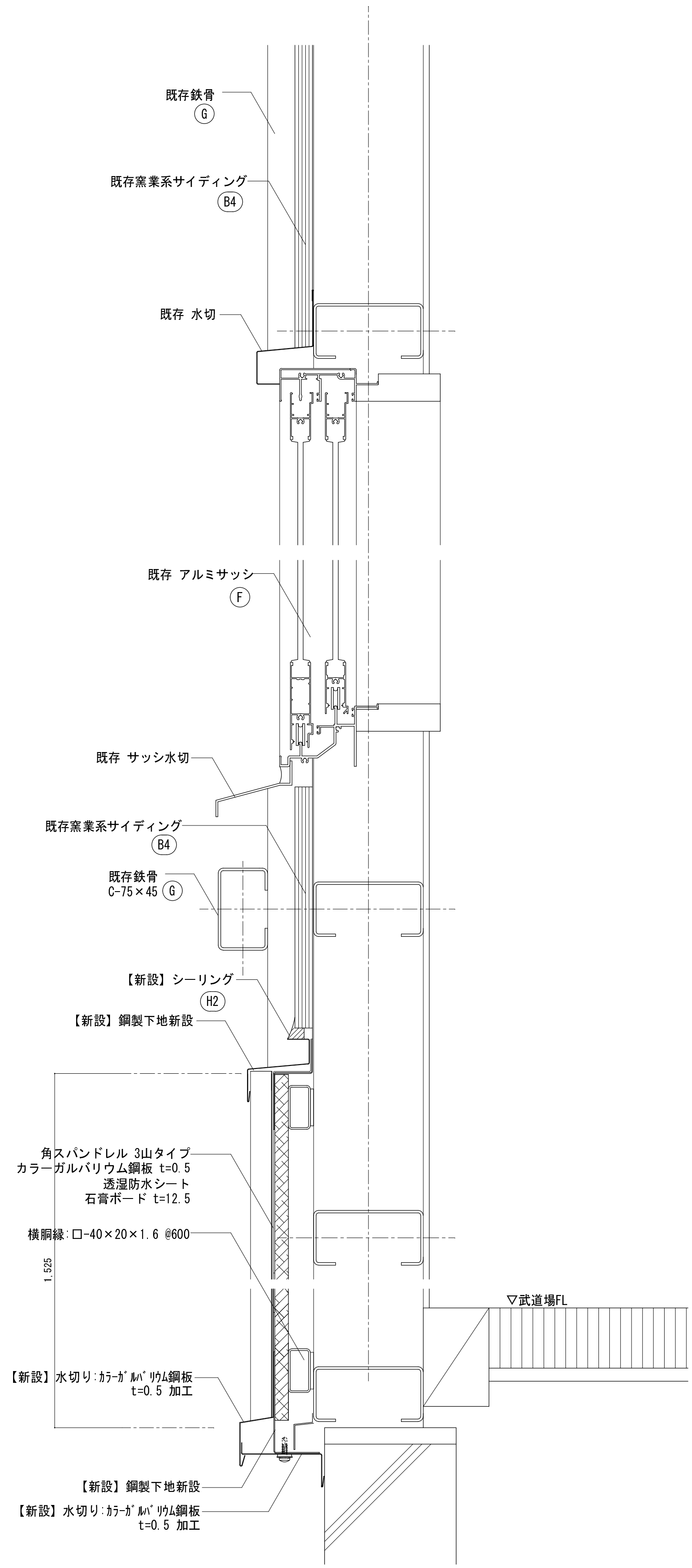
立面図(3) S=1:100



立面図(4) S=1:100



平面詳細図 S=1:5



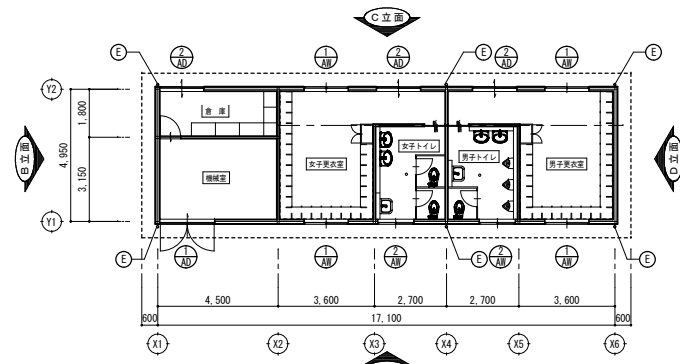
断面詳細図 S=1:5

A4	折板葺き	高圧水洗＋下地処理＋屋根用高日射反射率塗料	仕上材：屋根用高日射反射率塗料	D-3	軒天（折板）	既存のまま	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（PU-2）
B3	外壁（金属系サイディング）	既存下地＋鋼製下地新設＋石膏ボード t=12.5＋透湿防水シート＋金属系サイディング t=16		E	壁 樋	硬質カラー塩ビ管（VP管）100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS-2）
B4	外壁（窯業系サイディング）	高圧水洗＋下地処理＋水性シリコン塗装		F	開口部	シリコン系シーリング（MS-2）	I	ルーフドレイン	塩ビ製改修用ドレイン タテ型、横引型 新設
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）		G	鉄 部	耐候性塗料DP塗装	J	鼻 隠	高圧水洗＋下地調整＋耐候性塗料DP塗装
							K1	軒樋（1）	塩ビ製 角樋 W250 新設 ドレイン新設共

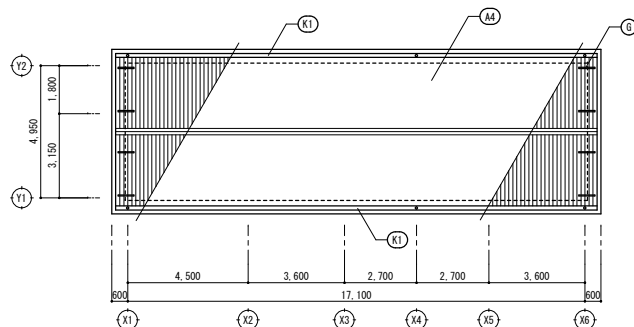
特記事項－塗装改修工事
1、塗装改修下地は下記による
外壁：高圧水洗＋シーラー処理

プール附属屋－外部仕上表									
記号	部 位	項 目	仕 上	備 考	記号	部 位	項 目	仕 上	備 考
A4	屋根 折板葺き	既存	下地		F	開口部	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	既存：折板 H=150				撤去	下地	
			仕上					仕上	
		改修	既存のまま				改修	下地	
			仕上					仕上	
B4	外壁（窯業系サイディング）	既存	下地		G	鉄 部	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	鋼製下地				撤去	鋼板	
			仕上					S O P 塗装	
		改修	既存のまま				改修	下地	
			仕上					仕上	
C	外巾木	既存	下地		H1	外 壁 サッシ廻り	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	モルタル金ゴテ				撤去	下地	
			下地					下地	
		改修	既存のまま				改修	仕上	
			仕上					下地	
D2	軒天（ボード面）	既存	下地		H2	外 壁 換気フード ベンドキャップ その他雑シール	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	LG5下地 ケイ酸カルシウム板 t=5.0				撤去	下地	
			E P 塗装					仕上	
		改修	既存のまま				改修	下地	
			仕上					仕上	
E	堅 柱	既存	下地		J	鼻 隠	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ				撤去	下地	
			仕上					仕上	
		改修	既存のまま				改修	下地	
			仕上					仕上	
		既存	下地		K1	軒樋（1）	既存	下地	
			仕上					仕上	
		撤去	下地				撤去	下地	
			仕上					仕上	
		改修	既存のまま				改修	下地	
			仕上					仕上	

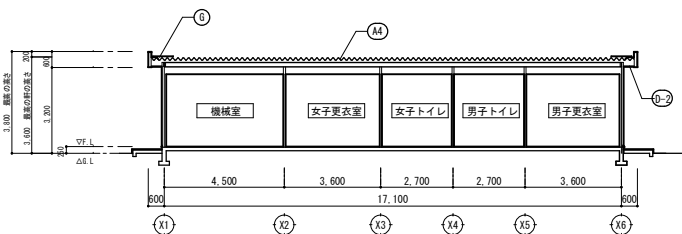
A4	折板葺き	高圧水洗＋下地調整＋屋根用高日射反射率塗料	D2	軒天（ボード面）	下地調整＋E P 塗装	H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング（P U－2）
B4	外壁（窯業系サイディング）	高圧水洗＋下地調整＋水性シリコン塗装	E	堅 柱	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物：SUS製 #1.200以内共	H2	その他シーリング	シリコン系シーリング（MS－2）
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル（薄塗り）	F	開口部	シリコン系シーリング（MS－2）	J	鼻 隠	高圧水洗＋下地調整＋耐候性塗料D P 塗装
—	—	—	G	鉄 部	耐候性塗料D P 塗装	K1	軒樋(1)	塩ビ製 角樋 W250 新設



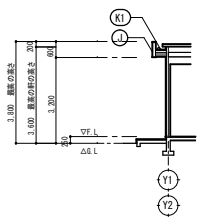
プール附属屋 平面図 S=1:50



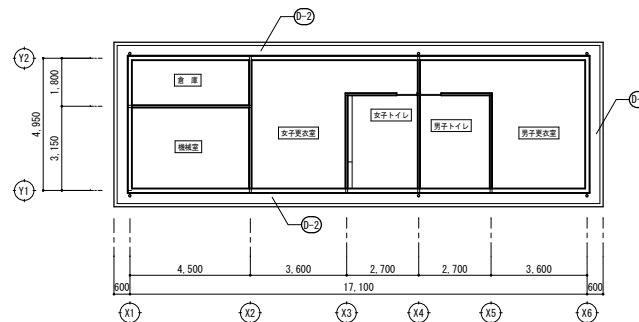
プール附属屋 屋根伏図 S=1:50



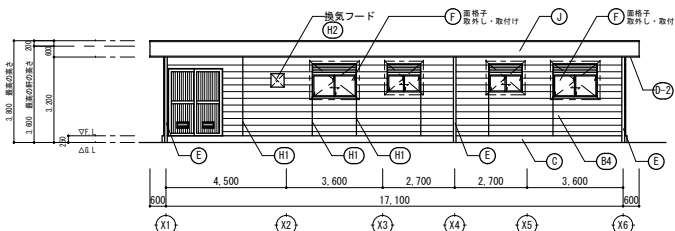
断面図(1) S=1:100



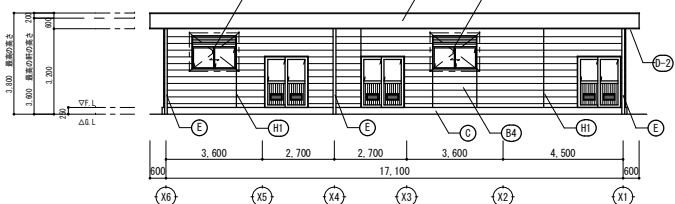
断面図(2) S=1:100



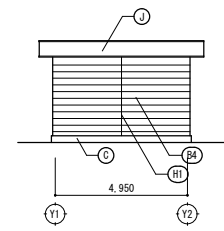
プール附属屋 天井伏図 S=1:50



A立面図 S=1:100



C立面図 S=1:100

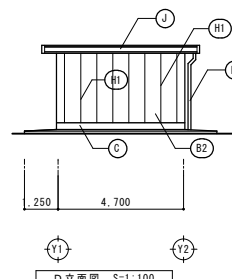
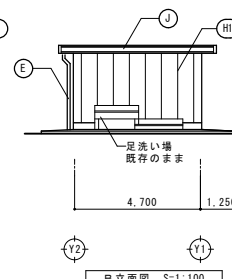
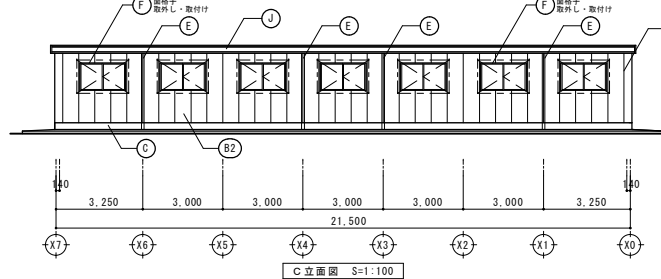
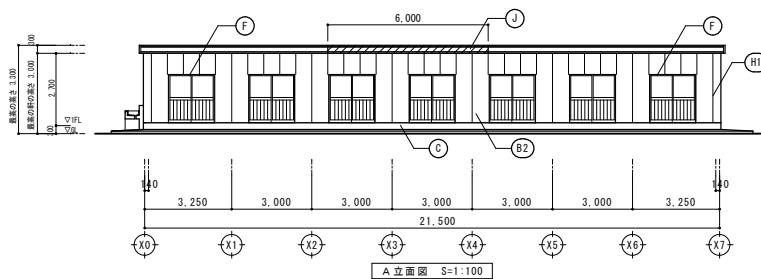
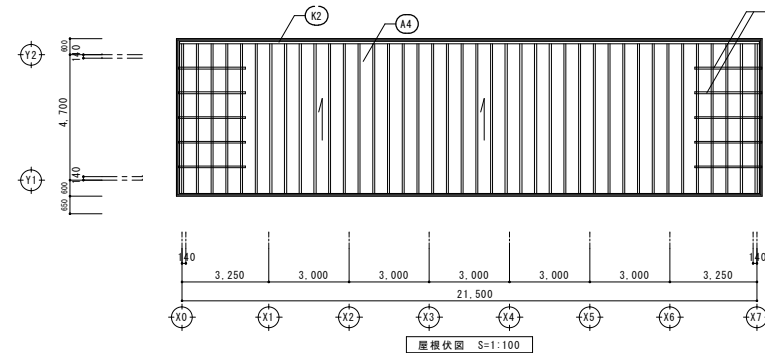
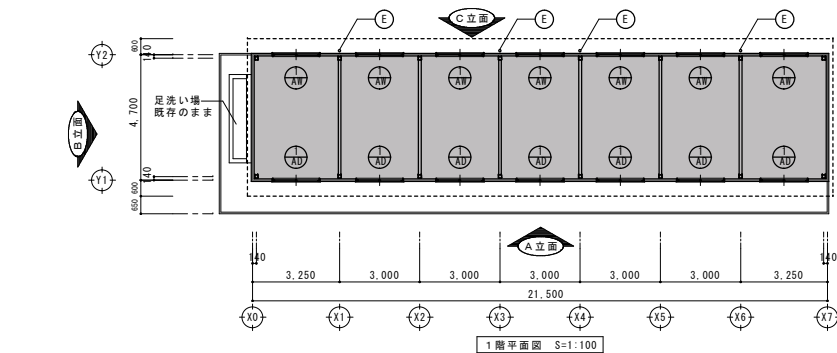


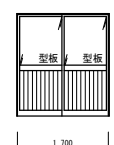
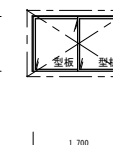
B、D立面図 S=1:100

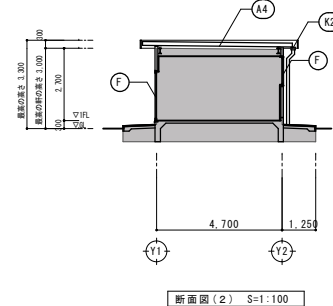
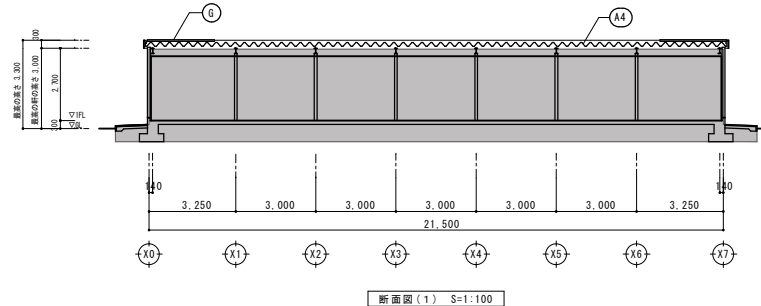
建具表 S=1:50		1箇所		3箇所		4箇所		2箇所	
符号・数量	既存建具	1箇所	既存建具	3箇所	既存建具	4箇所	既存建具	2箇所	既存建具
図面・寸法									
取付場所・種類	機械室	改修	更衣室、男子、女子更衣室	改修	男子、女子更衣室	改修	男子、女子更衣室	改修	男子、女子更衣室
ガラス・見込	アルミパネル	既存のまま	フロートガラス t=4.0	既存のまま	強化ガラス t=4.0	既存のまま	フロートガラス t=4.0	既存のまま	既存のまま
仕上	シルバー		シルバー		シルバー		シルバー		シルバー
金物									
備考	サッシ隠りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ隠りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ隠りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ隠りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ隠りシーリング撤去

A4	折板葺き		0-2	軒天 (ボード面)		H1	外壁目地、端部シーリング	ウレタン系シーリング (P U-2)
B4	外壁 (窓系サッシ付)	高圧水洗+下地処理+水性シリコン塗装	E	壁 柱		H2	その他シーリング	シリコン系シーリング (MS-2)
C	外巾木	ポリマーセメントモルタル (薄塗り)	F	開口部	シリコン系シーリング (MS-2)	I	鼻 端	
			G	鉄 部		K1	軒樋 (1)	

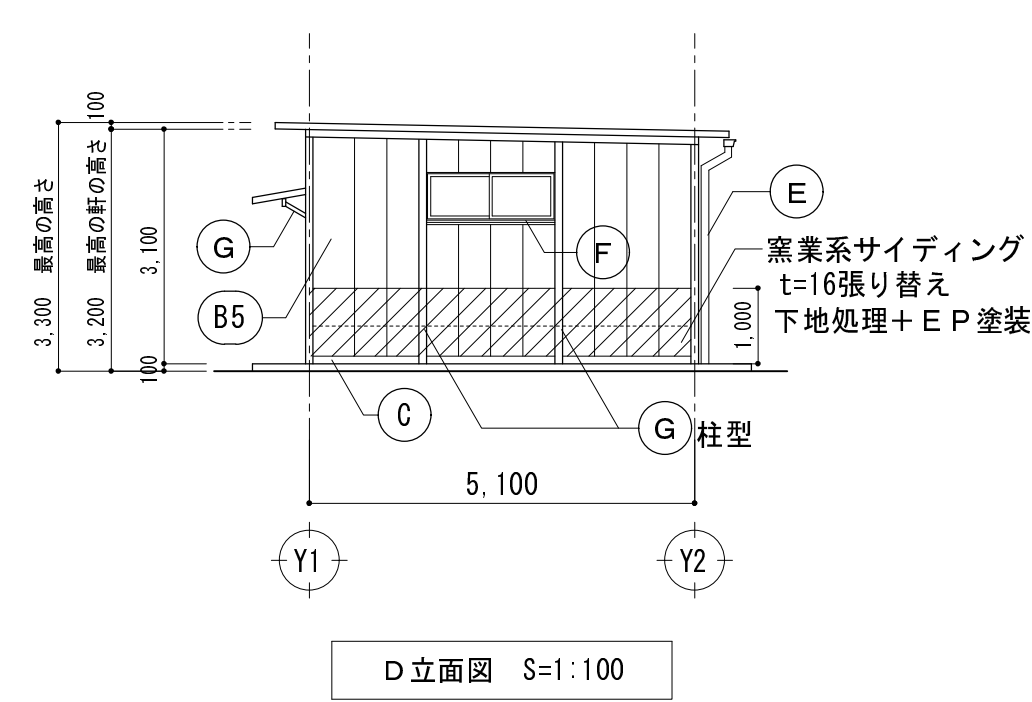
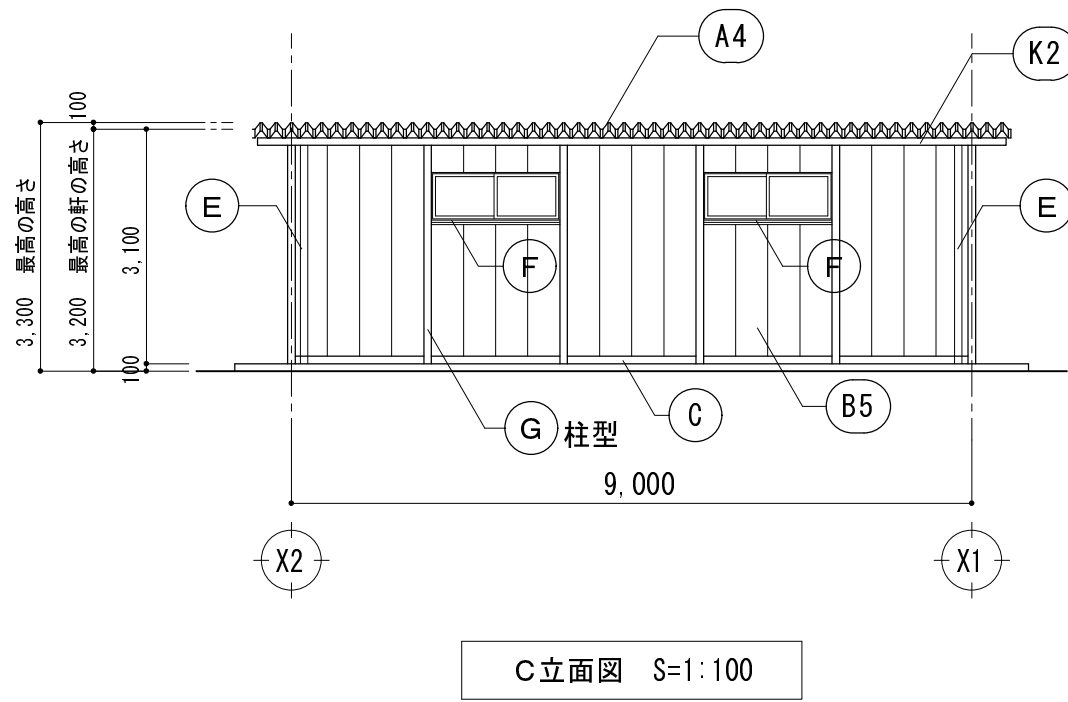
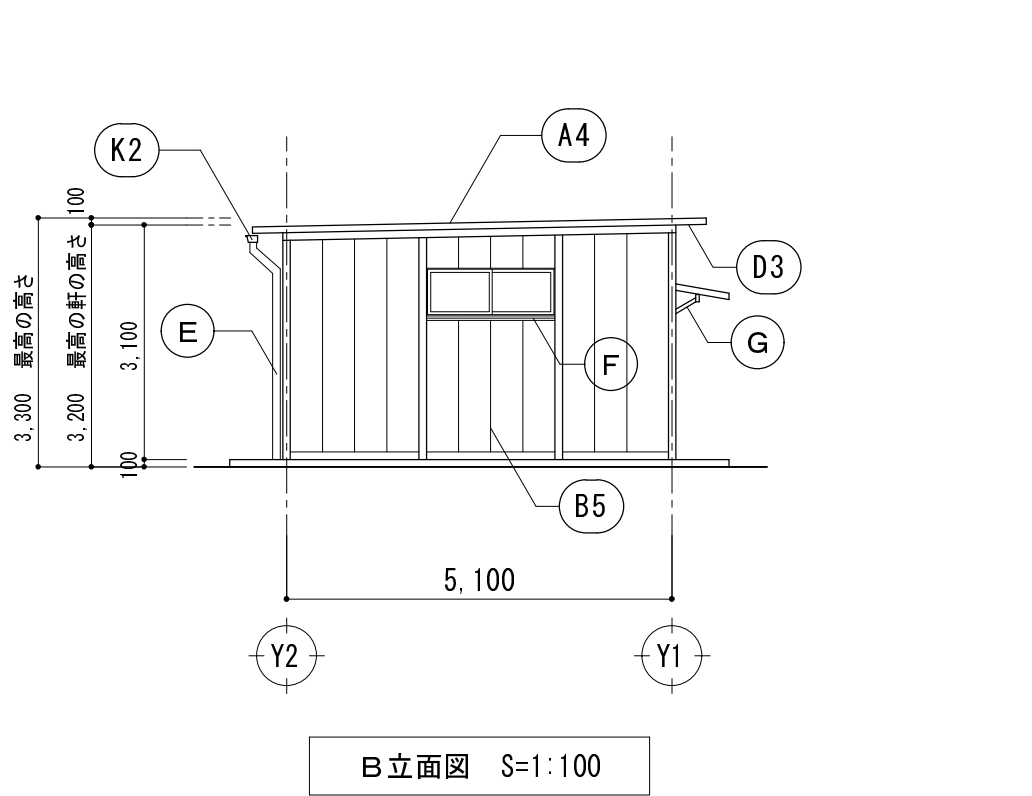
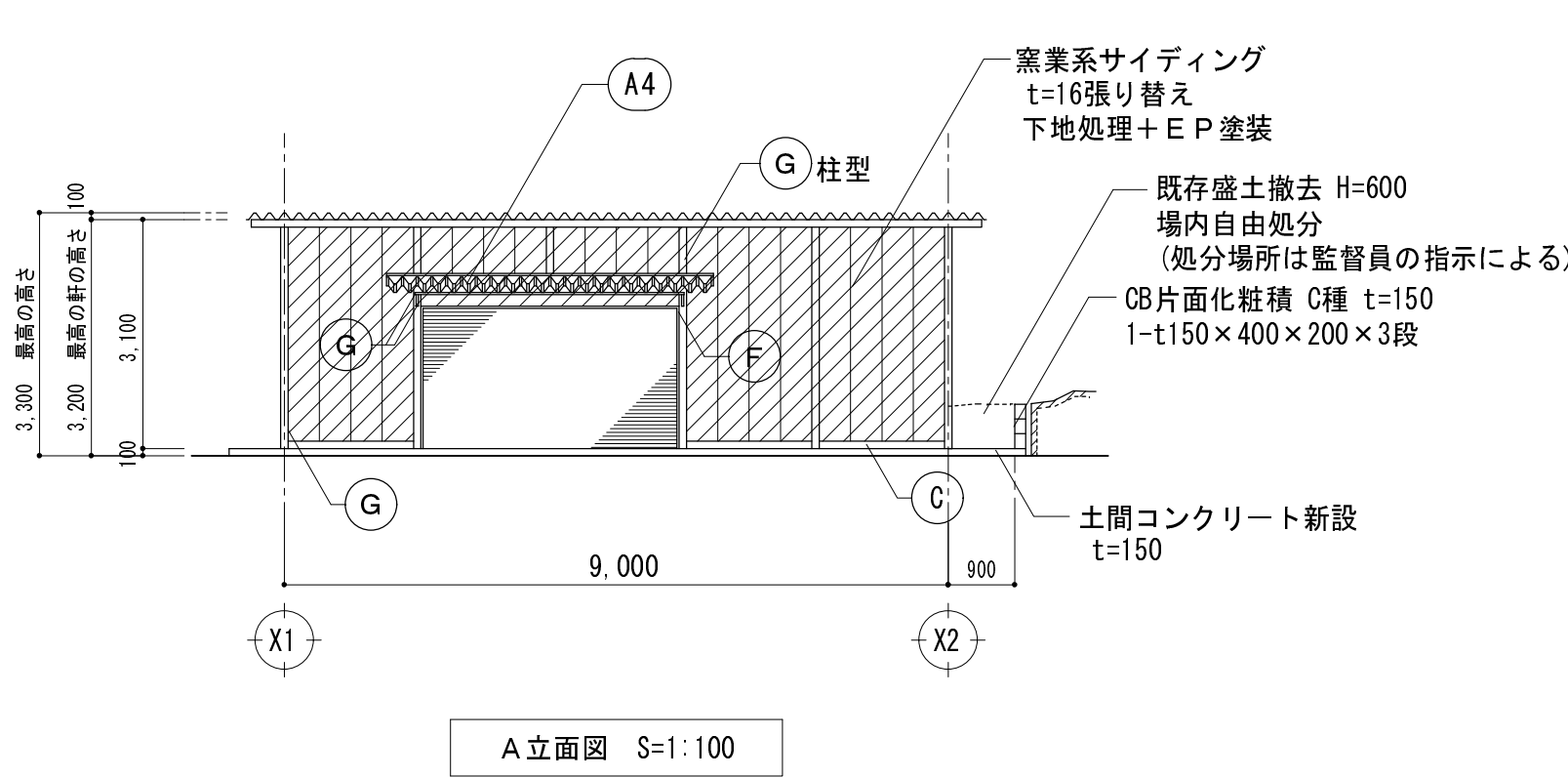
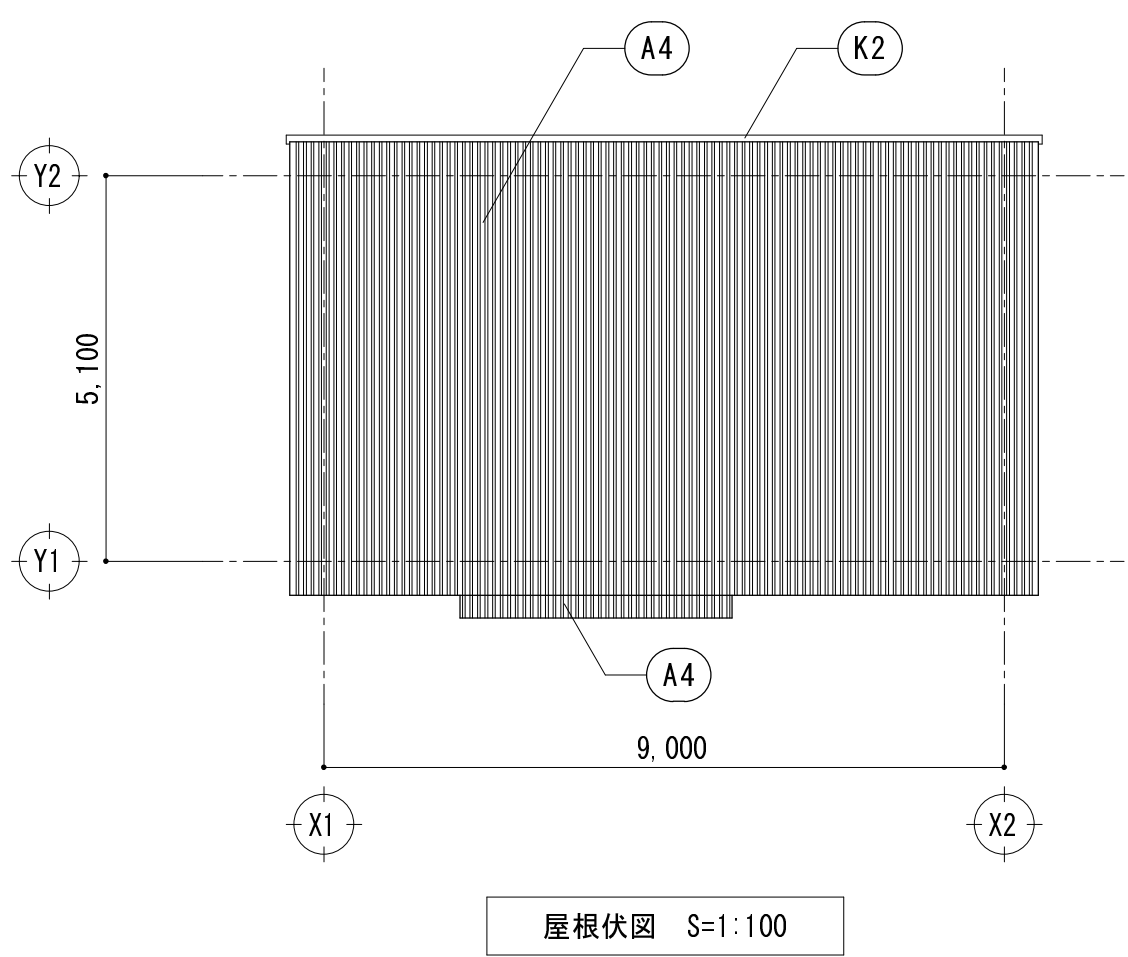
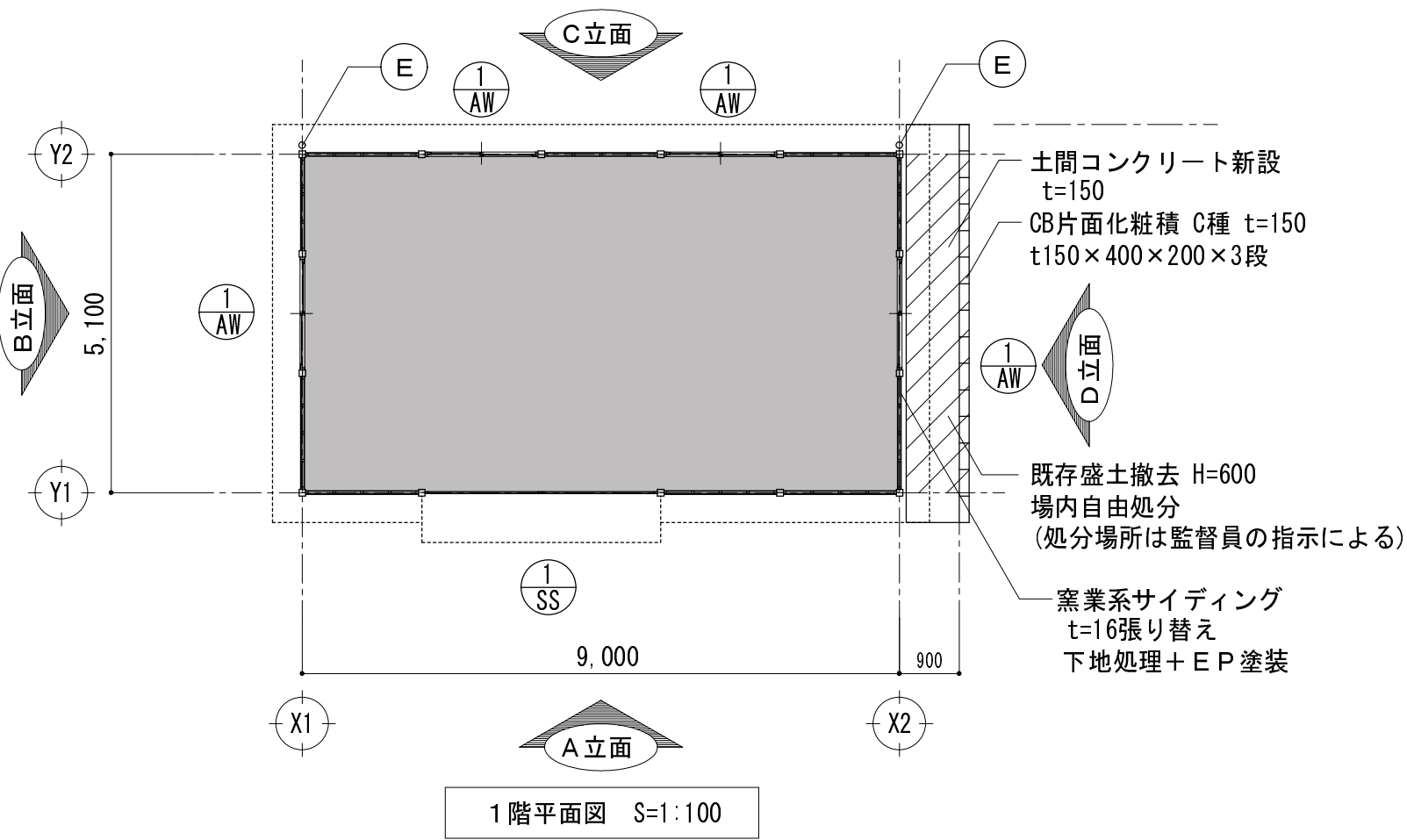
部室棟－外部仕上表															
記号	部 位	項 目	仕 上	記号	部 位	項 目	仕 上	記号	部 位	項 目	仕 上				
(A4)	屋根 折板葺き	既存	下地	(F)	開口部	既存	下地	(H)	外 壁 目地	既存	下地				
		仕上	既存：折板 H=150			仕上	シーリング			仕上	ウレタン系シーリング				
		撤去	下地			撤去	下地			撤去	下地				
		改修	仕上			既存のまま	改修			仕上	既存撤去				
		改修	下地				改修			下地					
(B2)	外壁（ALC面）	既存	仕上	(G)	鉄 部	既存	下地								
		下地	A L C t=100			仕上	鋼板								
		撤去	仕上			単層弾性E ロールー	仕上					S O P塗装			
		改修	下地			既存のまま	撤去					下地			
		改修	仕上				改修					仕上	既存のまま		
(C)	外巾木	既存	下地	(J)	鼻 隠	既存	下地								
		仕上	R C			仕上	鋼製下地								
		撤去	仕上			モルタル金ゴテ	撤去					仕上	塩ビ鋼板		
		改修	下地			既存のまま	改修					下地			
		改修	仕上				改修					仕上	既存のまま		
(E)	壁 樋	既存	下地	(K2)	軒 樋（ 2 ）	既存	下地								
		仕上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ			仕上	塩 び 製 角 樋 W120×H90								
		撤去	下地			撤去	下地								
		改修	仕上			既存のまま	改修					仕上			
		改修	下地				改修					下地			

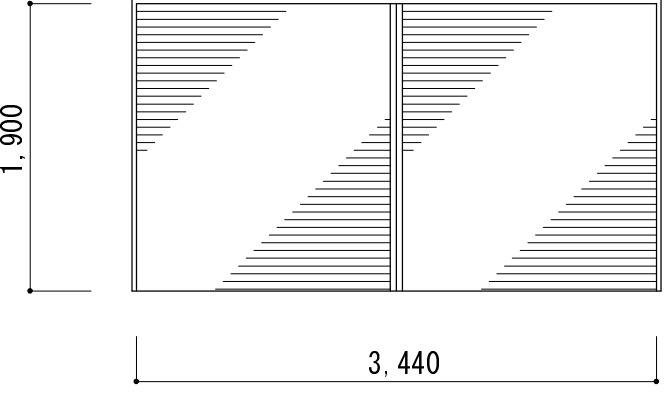
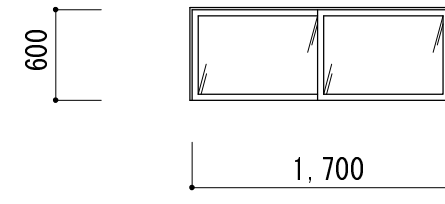


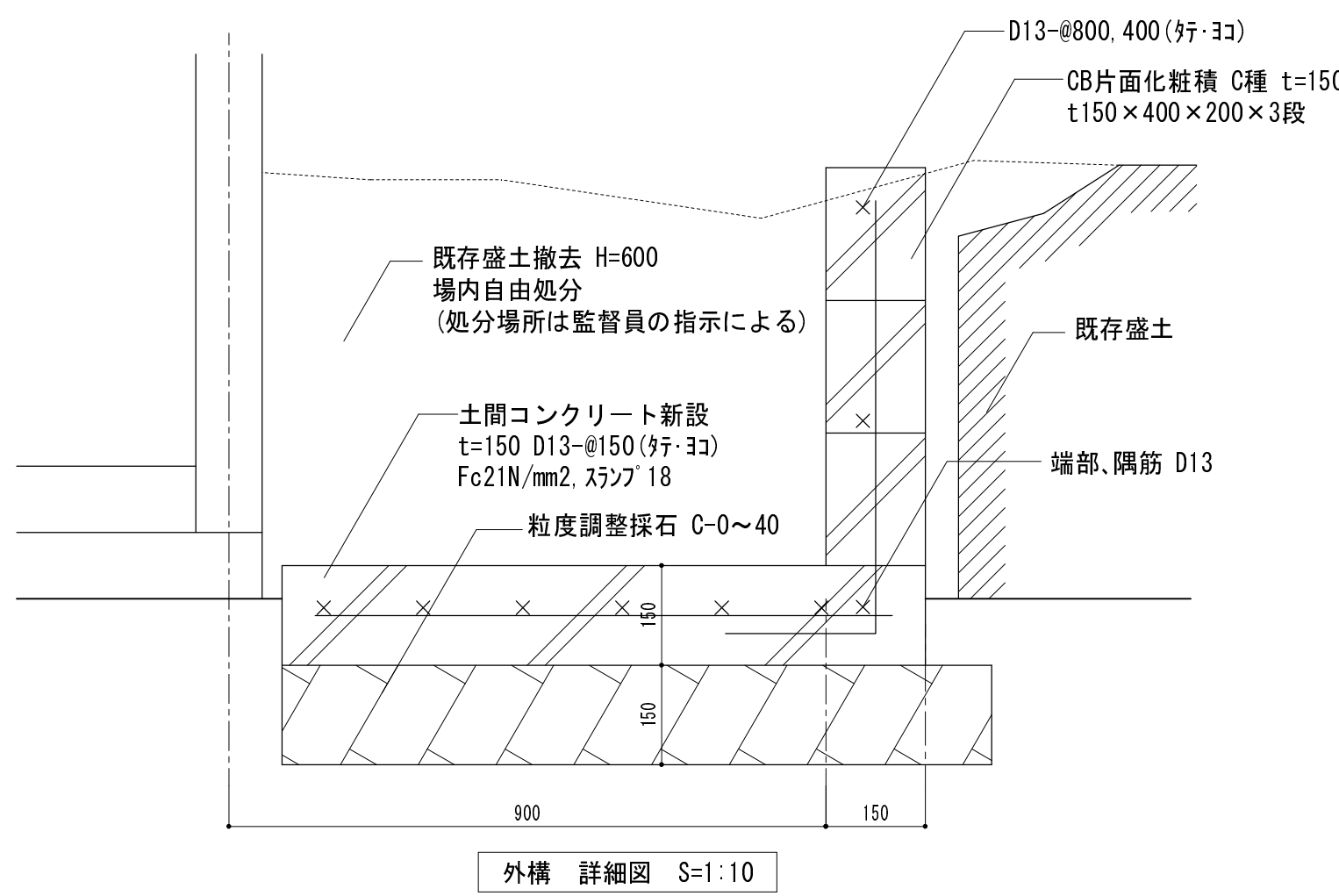
建具表 S=1:50				
符号・備 考	既存建具	7箇所	既存建具	7箇所
窓 戸 寸 法				
	既存		改修	
取付場所・種類	部室	部室	部室	部室
ガラス・見込	強化ガラス t=4.0	既存のまま	フロートガラス t=4.0	強化ガラス t=4.0
仕 上	シルバー		シルバー	
金 物				鋼格子取外し・取付け
備 考	サンシールドシーリング撤去	シーリング新設	サンシールドシーリング撤去	シーリング新設



体育倉庫－外部仕上表													
記号	部 位	項 目		仕 上	備 考	記号	部 位	項 目		仕 上	備 考		
A4	屋根 折板葺き	既存	下地			E	縦 樋	既存	下地				
			仕上	既存：折板 H=150					仕上	硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ			
		撤去	下地					下地		改修		下地	
			仕上	既存のまま				仕上	既存撤去				
		改修	下地					下地		仕上		硬質カラー塩ビ管 (VP管) 100φ新設 受け金物：SUS製 @1.200以内共	
B5	外壁（窯業系サイディング）	既存	下地			F	開口部	既存	下地				
			仕上	窯業系サイディング t=16、E P 塗装					仕上	シーリング			
		撤去	下地					下地		改修		下地	
			仕上	既存のまま、一部窯業系サイディング t=16撤去				仕上	既存撤去				
		改修	下地					撤去		仕上		シリコン系シーリング (MS-2)	
C	外巾木	既存	仕上	一部窯業系サイディング t=16張り替え、高圧水洗＋下地処理＋E P 塗装		G	鉄 部	既存	下地				
			下地	R C					仕上	鋼板			
		撤去	仕上	モルタル金ゴテ				仕上	S O P 塗装				
			下地					下地		改修		下地	
		改修	仕上	既存のまま				仕上	既存のまま			下地	下地調整
D3	軒天（折板）	既存	下地			K2	軒 樋（2）	既存	下地				
			仕上	折板					仕上	塩ビ製 角樋 W120×H90			
		撤去	下地	ポリスチレンフォーム裏打ち				下地		改修		下地	
			仕上	既存のまま				仕上	塩ビ製 角樋 W120×H90 撤去				
		改修	下地					下地		仕上		耐候性塗料 D P 塗装	
		仕上	既存のまま				仕上	塩ビ製 角樋 W120×H90 新設					



建具表 S=1:50				
符号・個数	既存建具	1箇所	既存建具	4箇所
姿 図 ・ 寸 法				
	既存	改修	既存	改修
取付場所・種類	体育倉庫		体育倉庫	
ガラス・見込			フロートガラス t=3撤去	学校用強化ガラス t=4.0
仕 上	シルバー		シルバー	
金 物				
備 考	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設	サッシ回りシーリング撤去	シーリング新設



千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和7年11月 日

変更年月日
令和 年 月 日

変更年月日
令和 年 月 日

図
面
名

体育倉庫
仕上表、平面図、屋根伏図、
立面図、詳細図、建具表

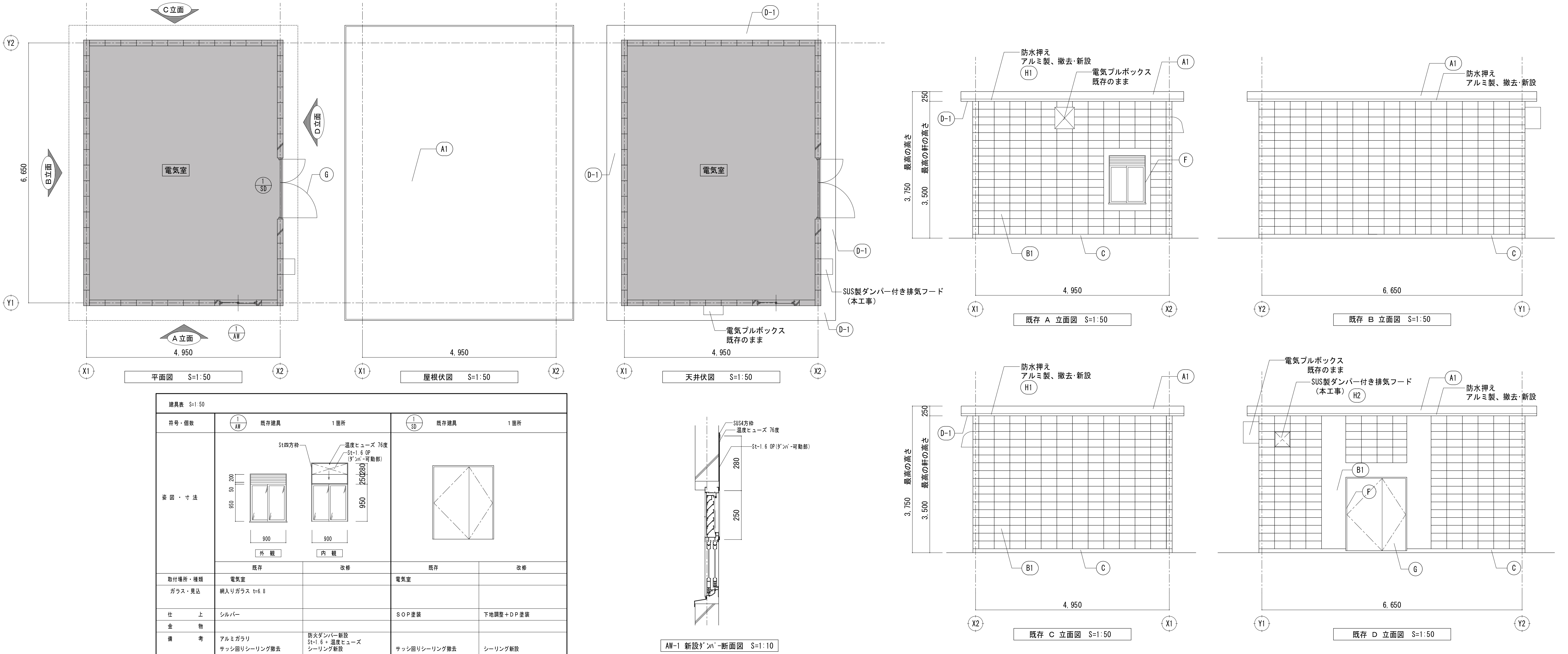
縮
尺

S=1:100, 50, 10 (A1)
S=1:200, 100, 20 (A3)

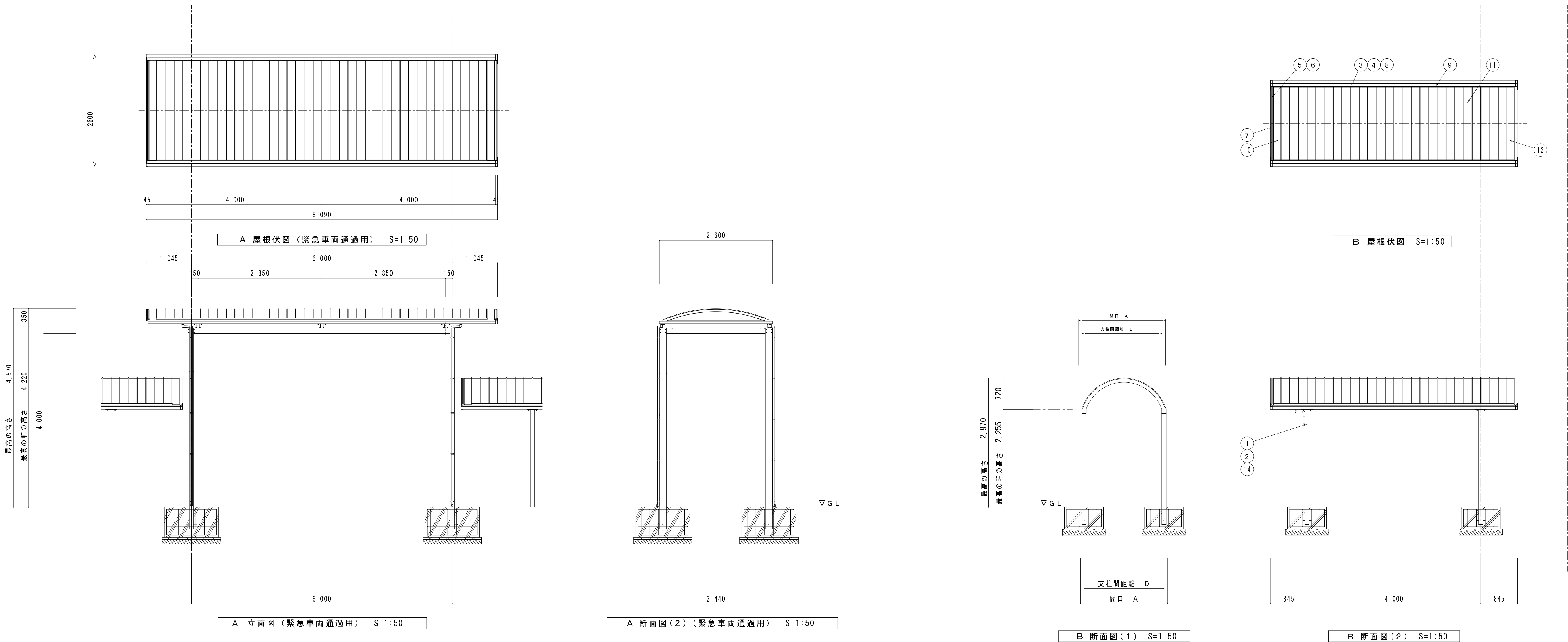
図
面
番
号

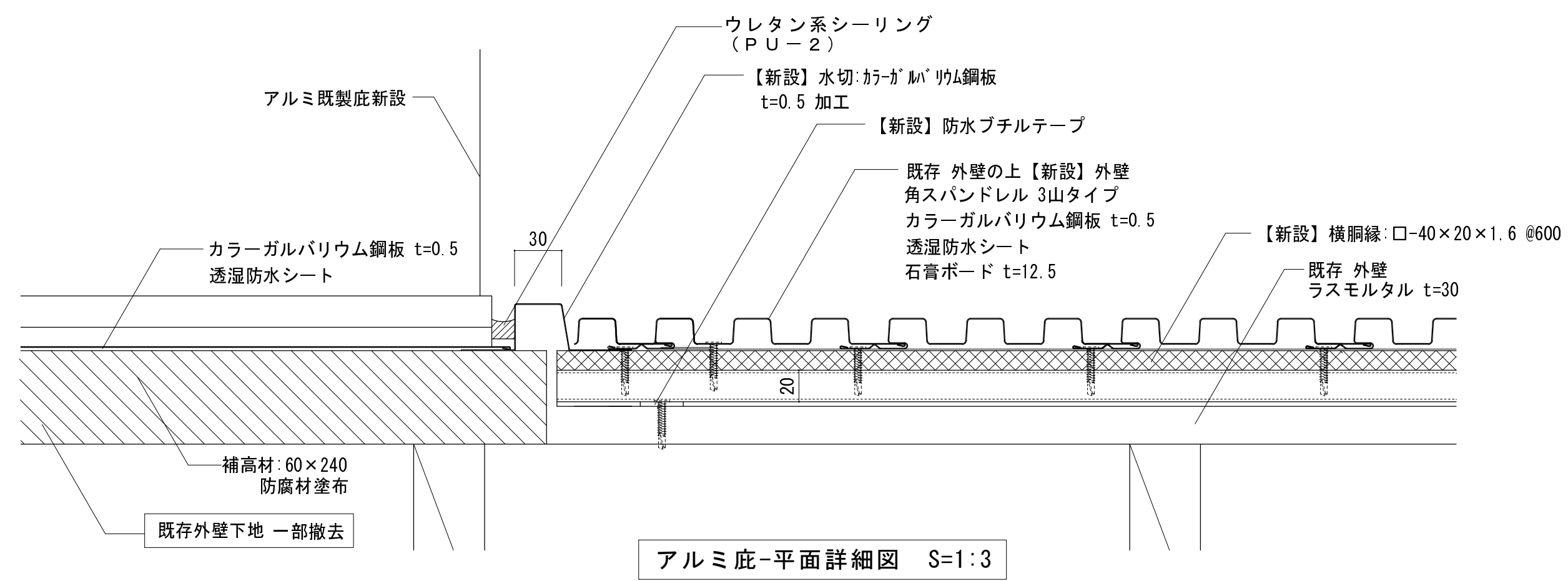
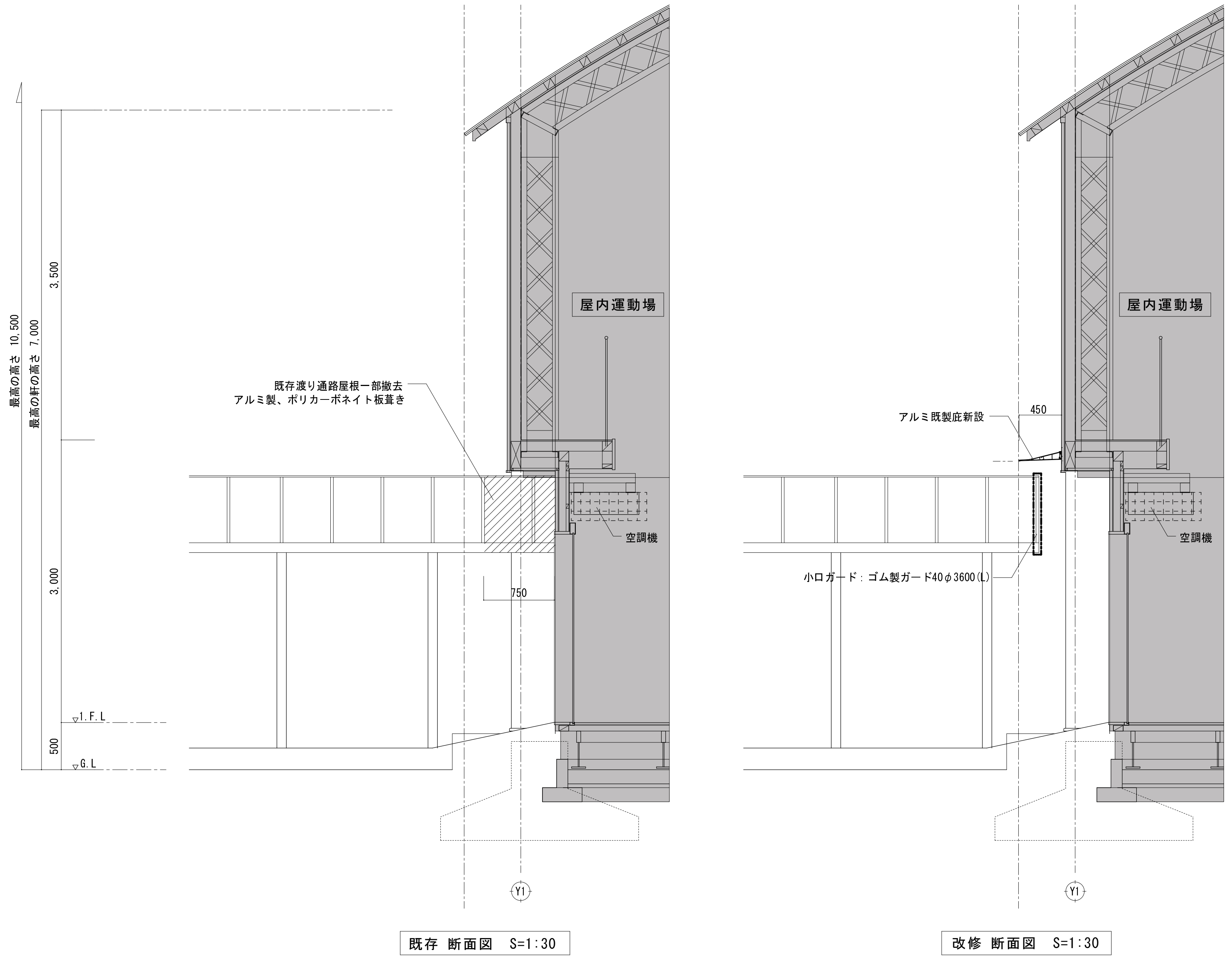
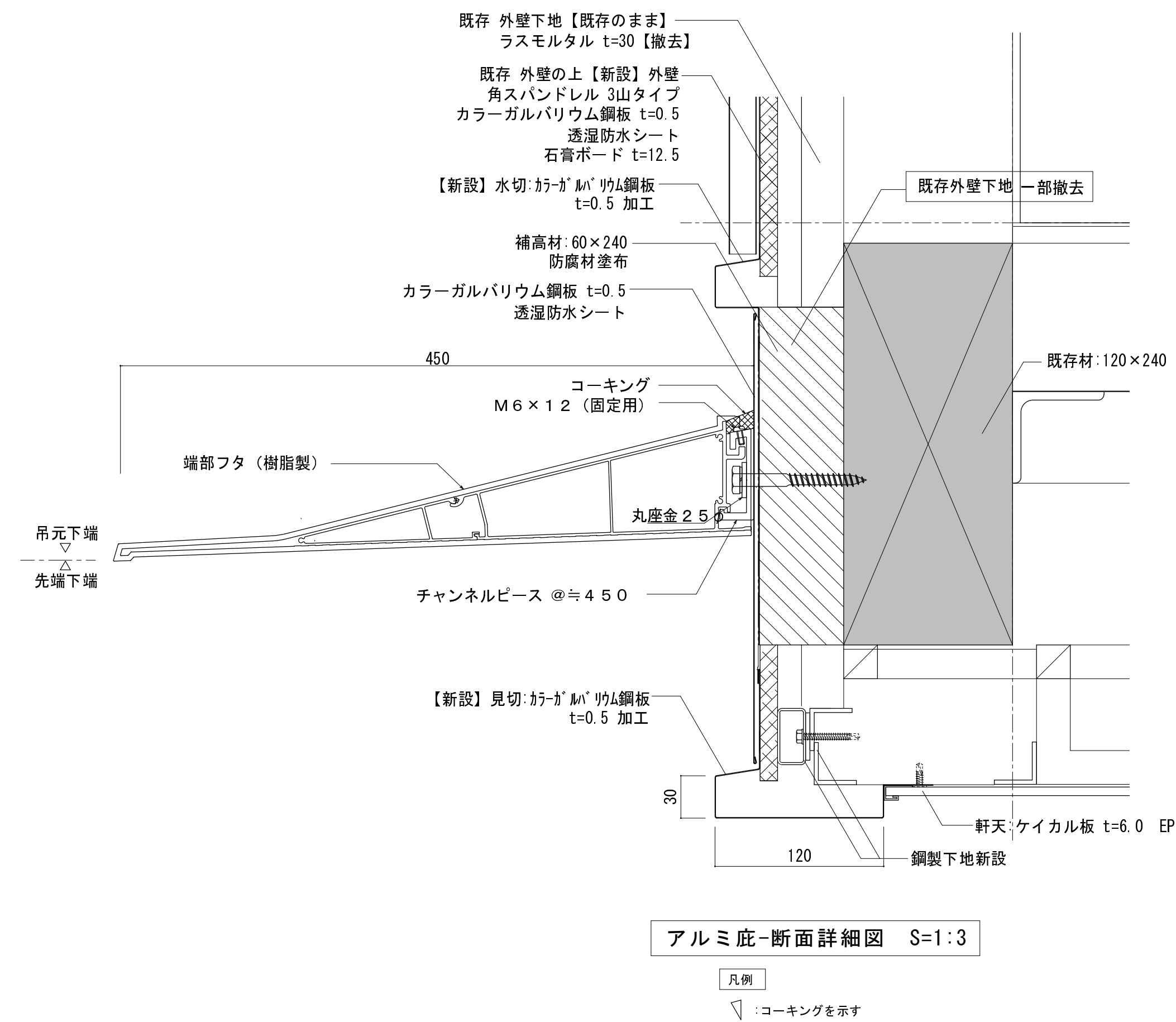
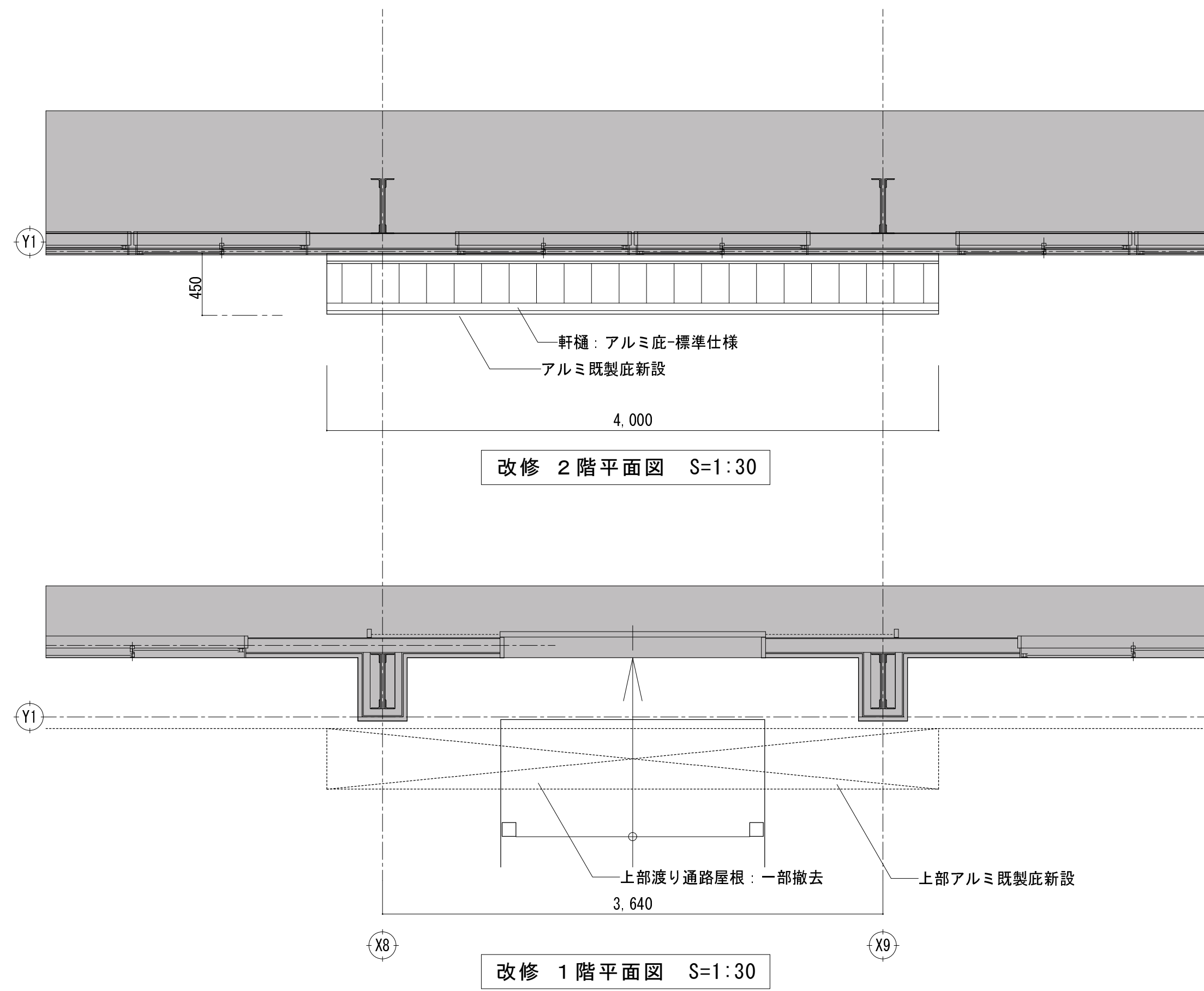
A-7-02

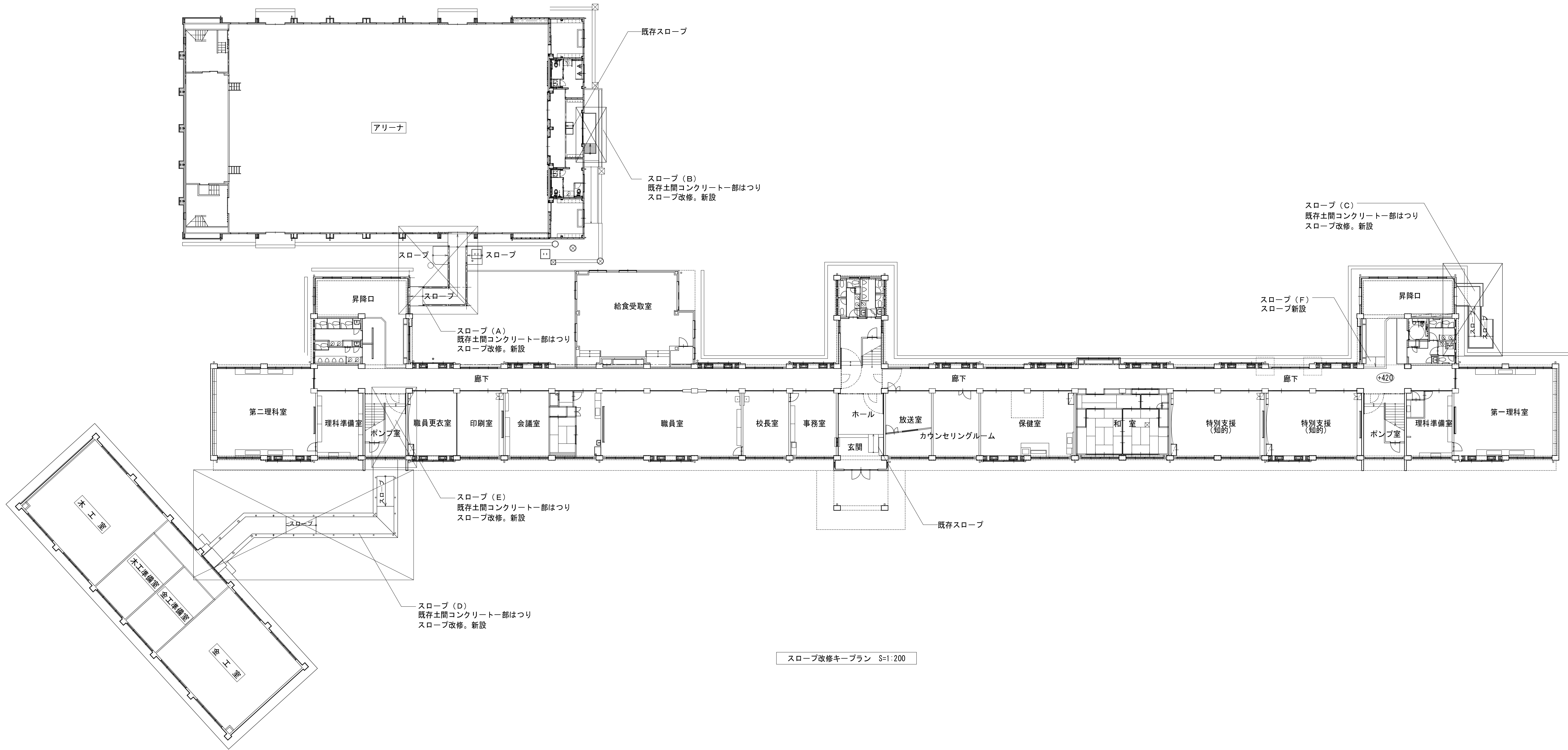
受変電室－外部仕上表																			
記号		部 位		項 目		仕 上		備 考		記号		部 位		項 目		仕 上		備 考	
A1	屋根	平 場	既存	下地	R C			防水押え：アルミ製、撤去・新設	F	開口部	既存	下地	_____						
				仕上	ゴム系ルーフィング シート防水							仕上	シーリング						
				撤去	_____							撤去	_____						
			撤去	仕上	既存撤去、水洗＋撤去後下地補修＋仮防水						仕上	既存撤去							
				改修	下地	_____					改修	_____							
					仕上	塩ビ系シート防水-機械的固定工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料					仕上	シリコン系シーリング（MS-2）							
	立上り	既存	下地		R C					鉄 部	既存	下地	鋼板						
			仕上	ゴム系ルーフィング シート防水			仕上					S O P 塗装							
			撤去	_____			撤去					_____							
		撤去	仕上	全数 既存撤去、水洗＋撤去後下地補修＋仮防水			仕上				既存のまま								
			改修	下地	_____						改修	撤去 下地調整							
				仕上	塩ビ系シート防水-接着工法 仕上げ材：屋根用高日射反射率塗料						仕上	耐候性塗料 D P 塗装							
B1	外壁 （コンクリート、珪砂面）	既存		下地	R C					H1	外壁（RC 打継目地） 外壁（ALC 打継目地） 防水端部	既存	下地	_____					
			仕上	コンクリート打放し アクリルリシン吹付け			仕上						ウレタン系シーリング						
			撤去	_____			撤去						_____						
		撤去	仕上	既存のまま			仕上					既存撤去							
			改修	下地	_____							改修	_____						
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋防水形外装薄塗材 E							仕上	ウレタン系シーリング（PU-2）						
C	外巾木	既存		下地	R C					H2	外壁 換気フード ベンドキャップ その他雑シール	既存	下地	_____					
			仕上	モルタル金ゴテ			仕上						シリコン系シーリング						
			撤去	_____			撤去						_____						
		撤去	仕上	既存のまま			仕上					既存撤去							
			改修	下地	_____							改修	_____						
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋ポリマーセメントモルタル（薄塗り）							仕上	シリコン系シーリング（MS-2）						
D-1	軒天（コンクリート面）	既存		下地	R C							既存	下地	_____					
			仕上	リシン吹付け			仕上						_____						
			撤去	_____			撤去						_____						
		撤去	仕上	既存のまま			仕上					_____							
			改修	下地	_____							改修	_____						
				仕上	高圧水洗＋下地調整＋外装薄塗材 E							仕上	_____						



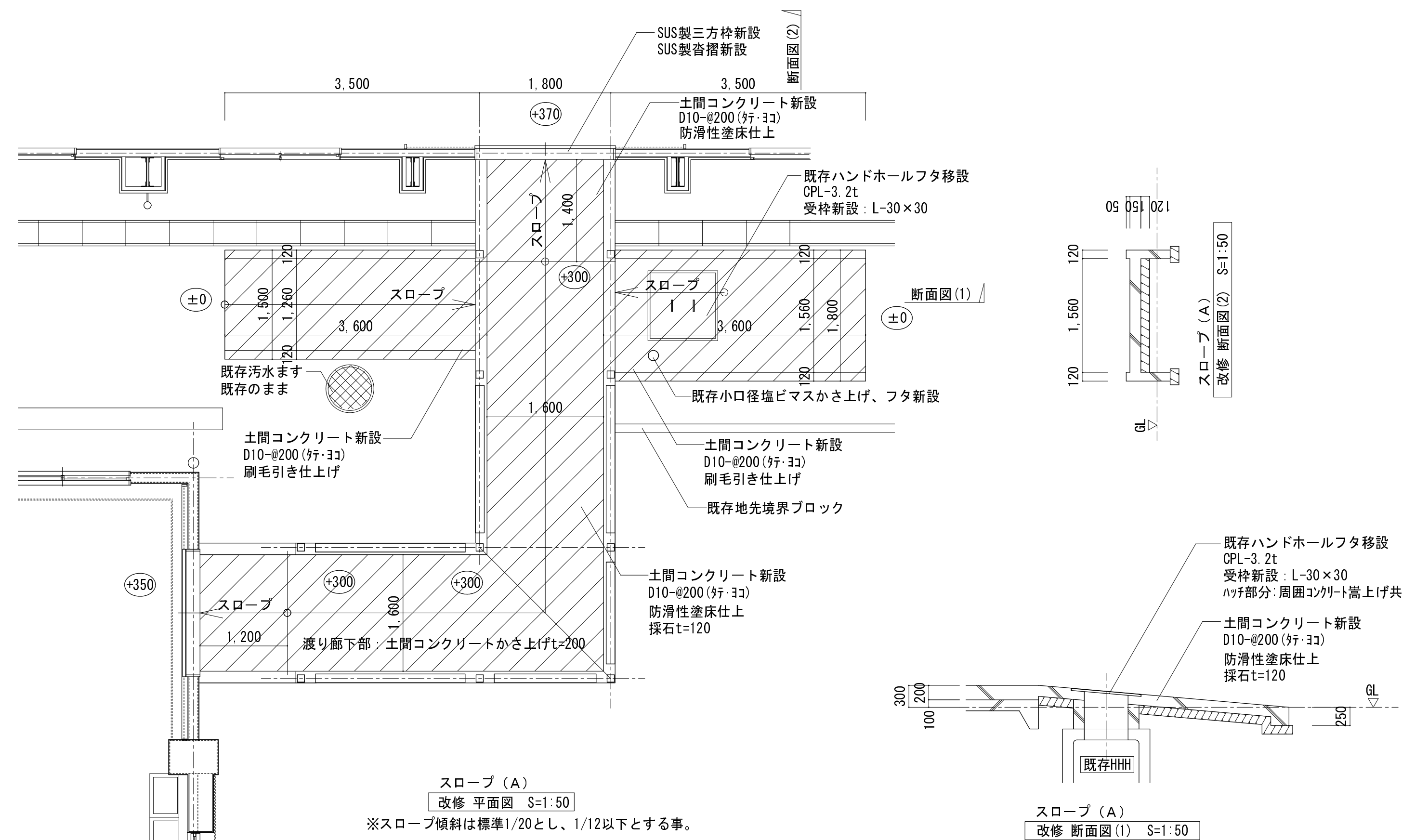
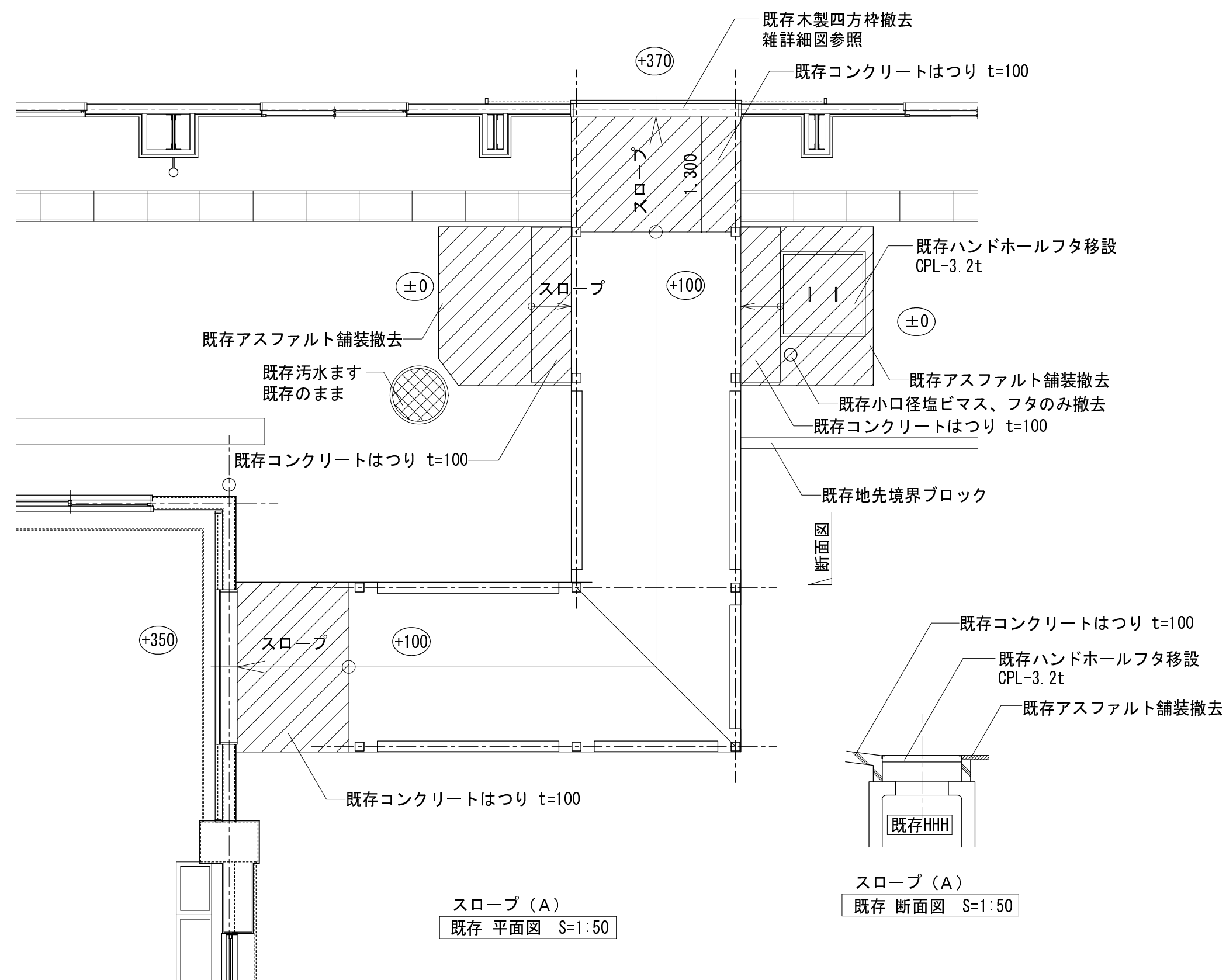
別 表（既存参考）	
ボルト類	ステンレス鋼線材
プレス部品	一般構造用圧延鋼材他
⑭ 高延高支柱	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑬ 縦樋（φ４２）	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑫ 形材屋根終端部	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑪ 形材屋根中間	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑩ 形材屋根端部	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑨ 屋根側面カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧ 桁側面カバー	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ フロント化粧材	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 屋根押え	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ A正面梁S	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ A桁W	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ A桁M	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 支柱W	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
① 支柱S	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜



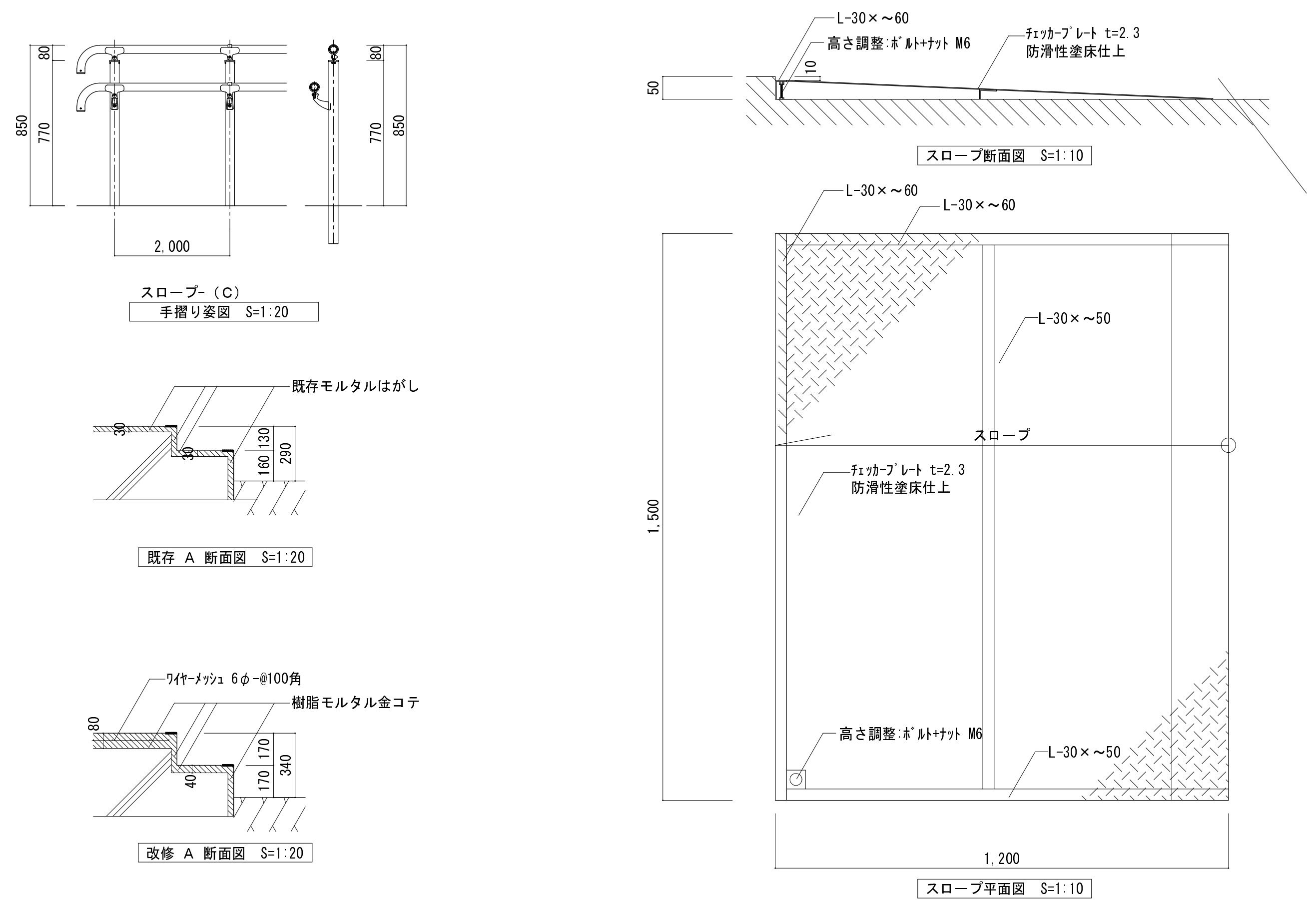
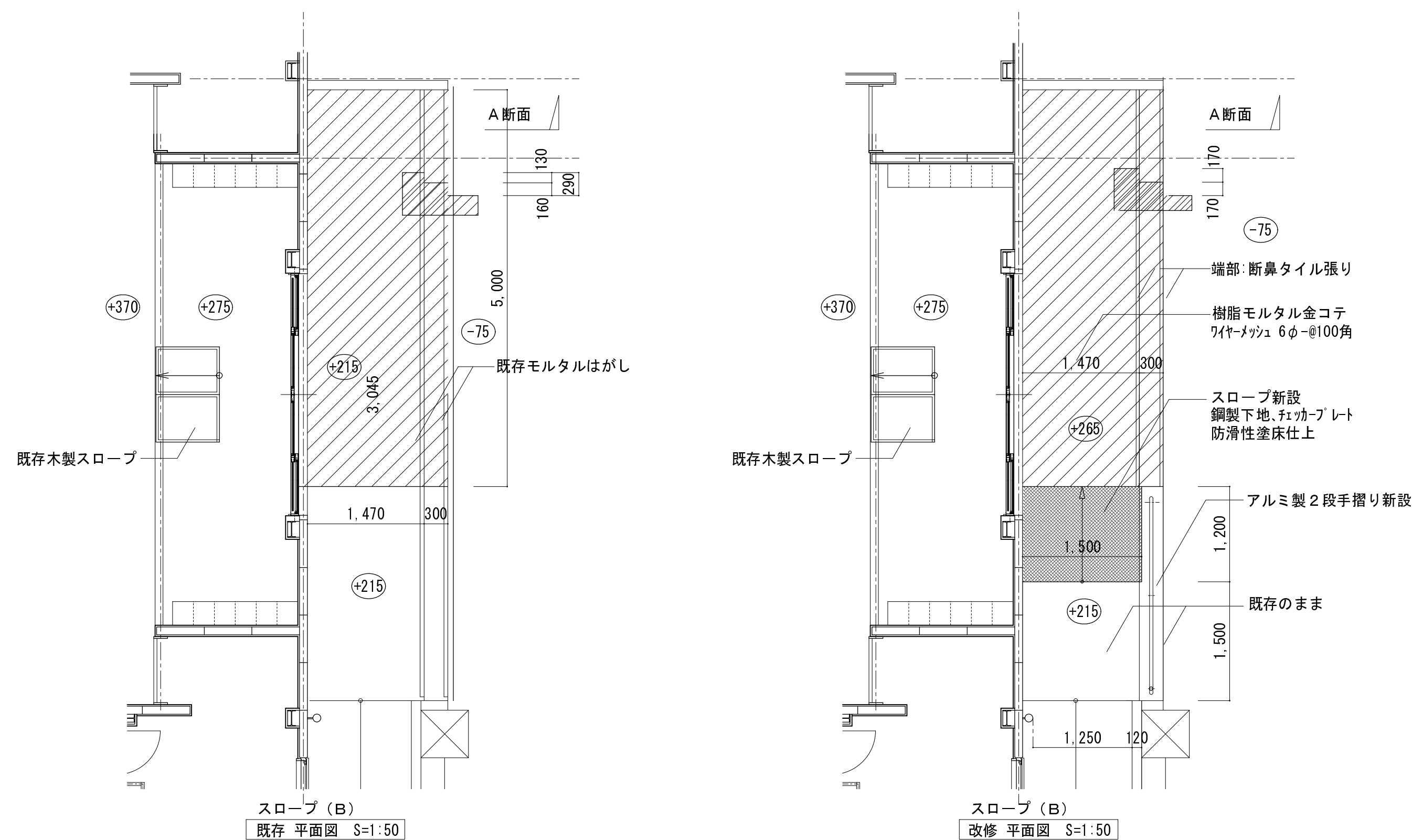




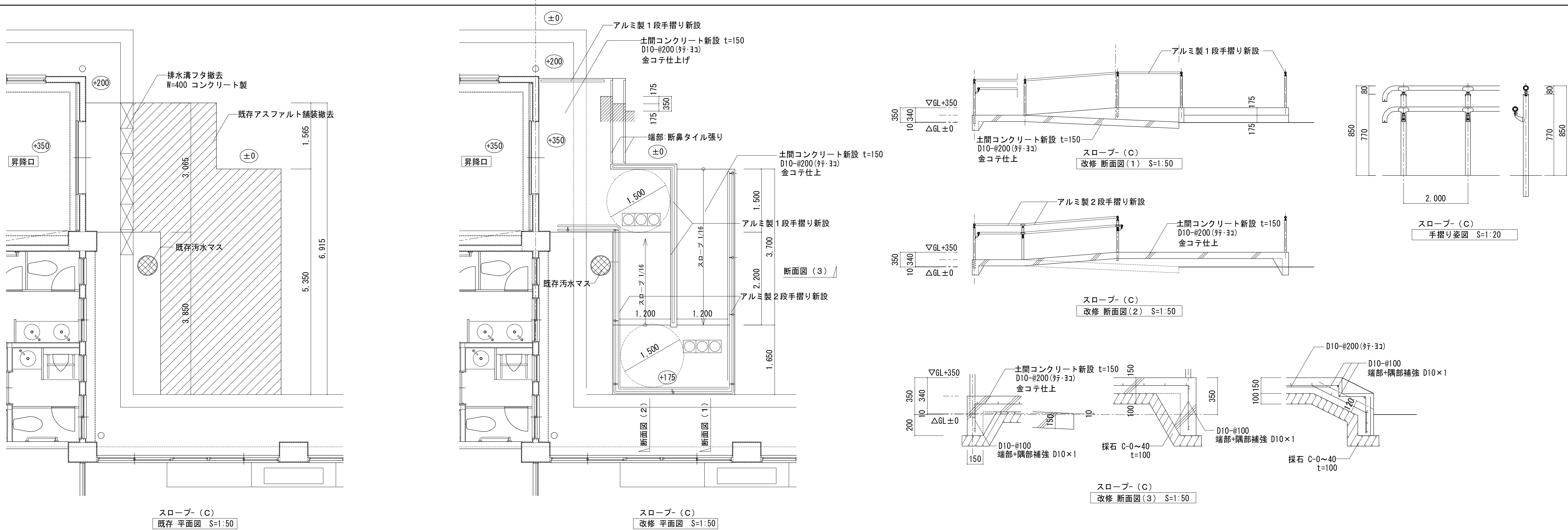
スロープ (A) 改修図



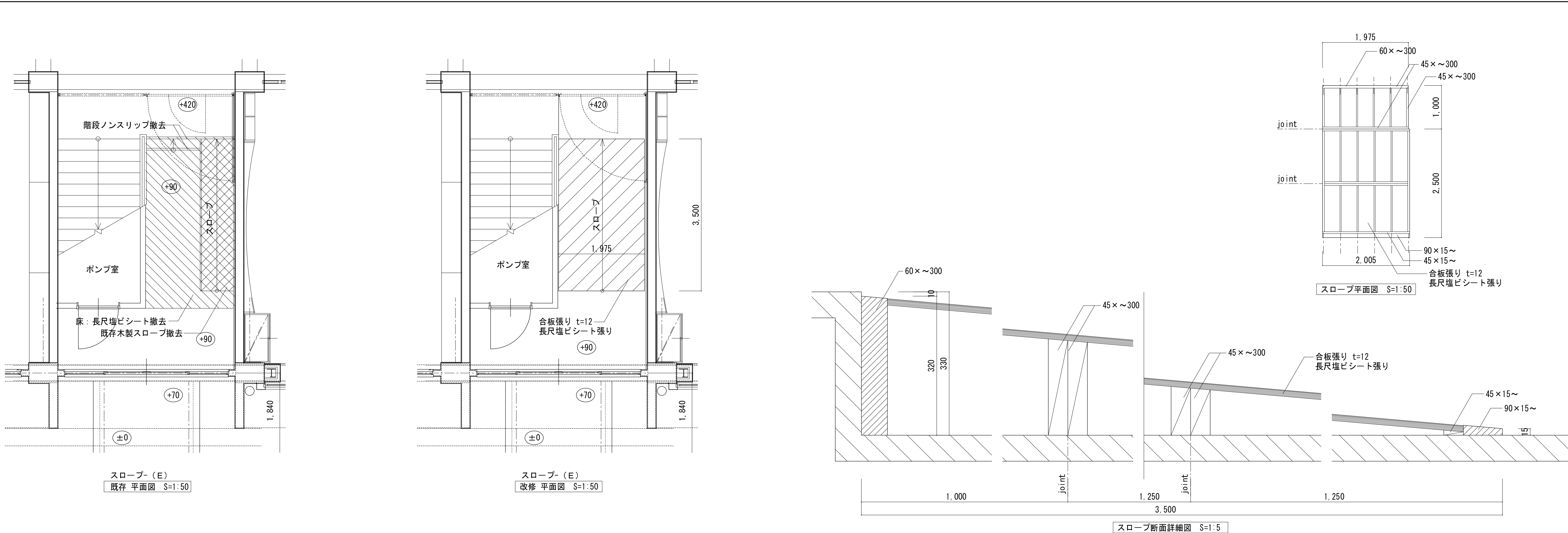
スロープ (B) 改修図

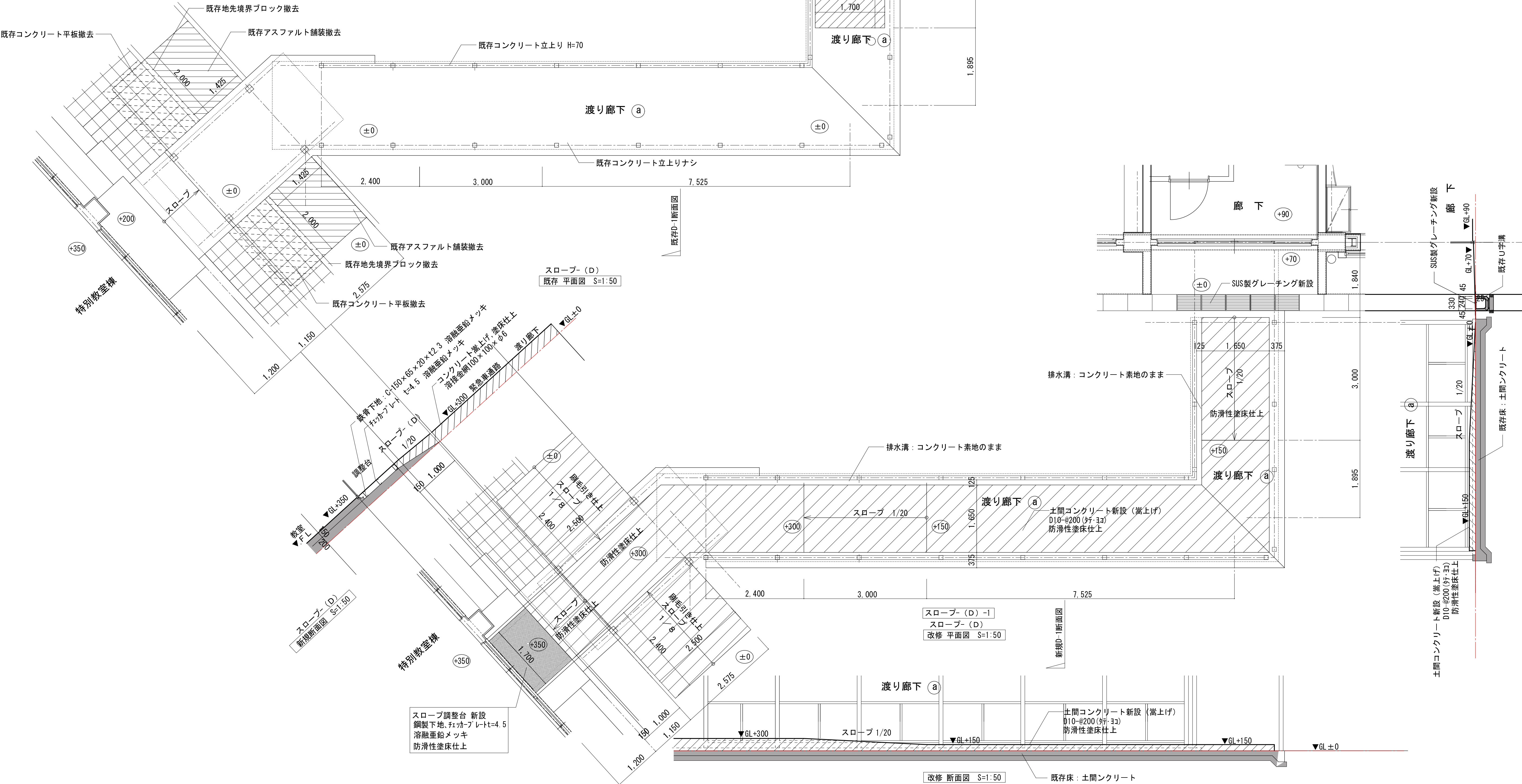


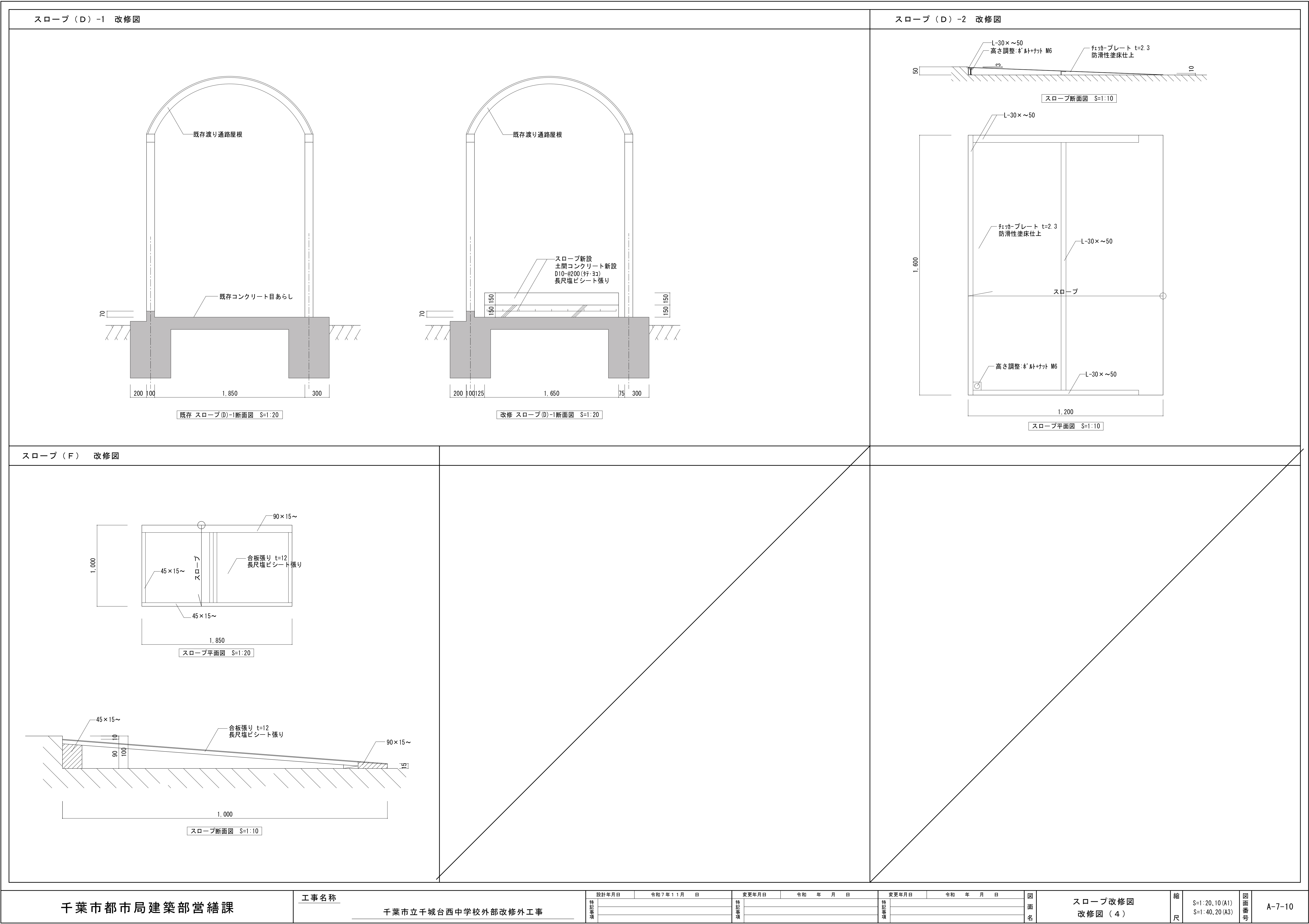
スロープ（C） 改修図

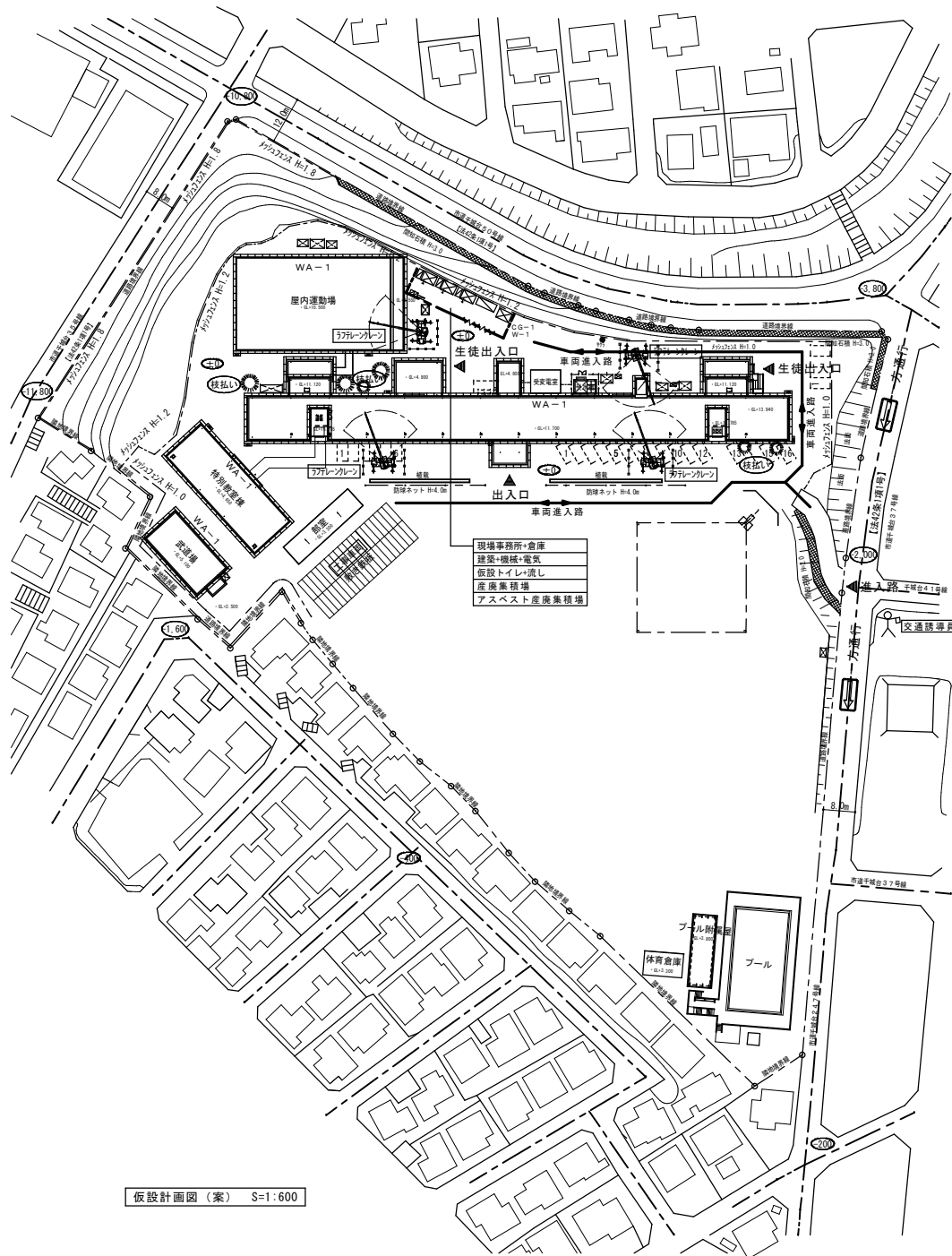


スロープ（E） 改修図



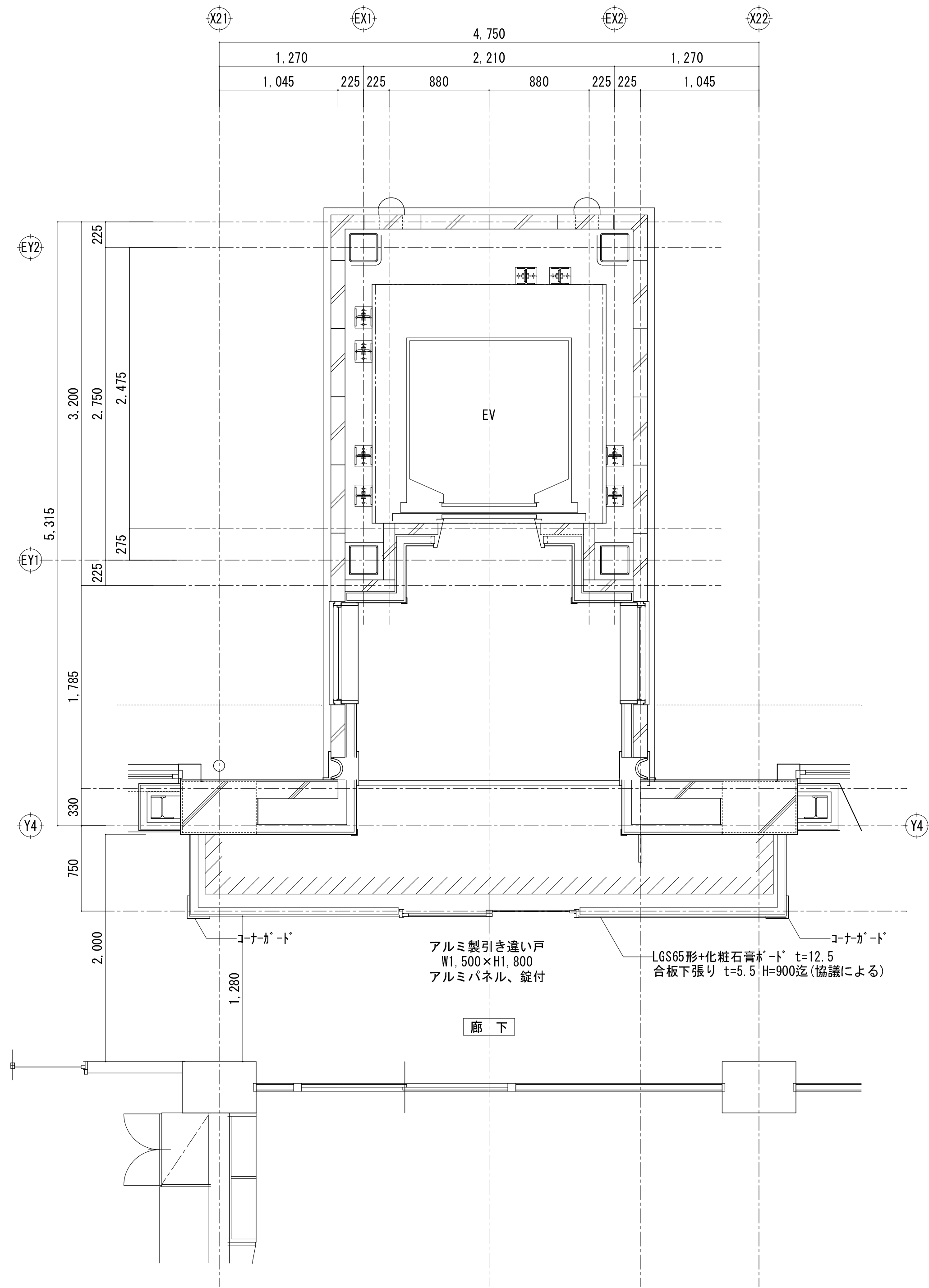




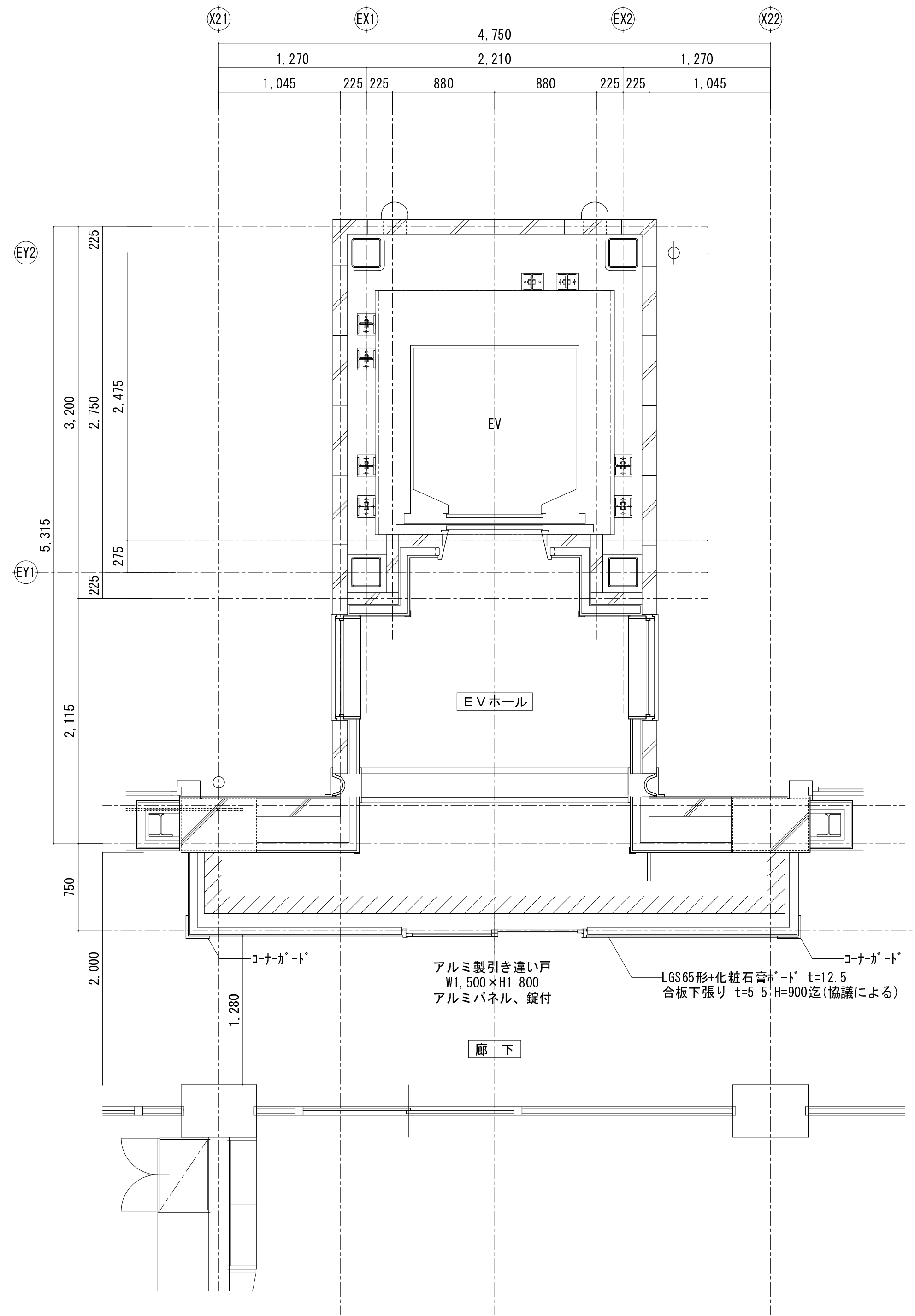


仮設計画図(案) S=1:600

記号	凡例	内容	数量
CG-1	~~~~~	クロスゲートW6000×H1800	
W-1	---	成形鋼板仮囲い H=2,000 単管パイプ打ち込み	
W-2	---	カラーコーン、コーンバー	
WA-1	---	くさび型足場 W=600 H=12,000・飛散防止メッシュシート貼り 昇降足場共	
既存樹木		H=10.0m 枝払い	6本
敷き鉄板		1500×6000 t=22	40枚
現場事務所		1カ所 2400×4500	
仮設トイレ		大1+小1、手洗い流し×1	
交通誘導員			必要に応じて
7777777777		16t	
鉄骨建方		2日/1回・ALC建込 2日/1回・屋内運動場屋根 1日/1回・普通校舎屋根 2日/2回(輸入・搬入)	7台/日+回送5回



仮設計画 1階平面図 S=1:30



仮設計画 2、3階平面図 S=1:30

構造設計標準仕様

適用は●印を記入する。

1. 建築物の構造内容

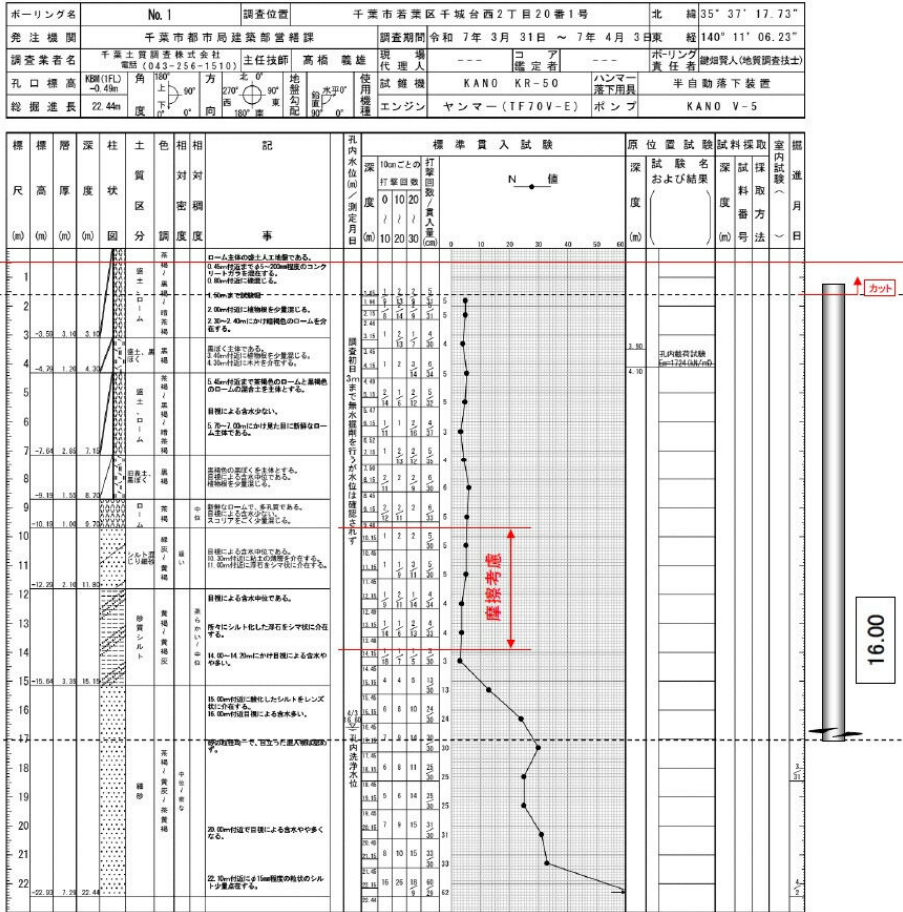
- (1) 工事名称 千葉市立千城台西中学校外部改修外工事
建築場所 千葉市若葉区千城台西2-20-1
- (2) 工事種別 ☐ 新築 ☒ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築
- (3) 構造種別
☐ 木造 ☐ 補強コンクリートブロック (CB) ☒ 鉄骨造 (S)
☐ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
- (4) 階数
地下 0 階 地上 3 階 塔屋 0 階
- (5) 主要用途 昇降機上屋
- (6) 屋上付属物
☐ 高架水槽 kN ☐ キュービクル kN ☐ 広告塔 ☐ 煙突
- (7) 特別な荷重
●エレベータ 11 人乗 (ロープ式 油圧式) ☐ リフト kN ☐ ホイスト kN
☐ 倉庫積載床用 N/m² ☐ 受水槽 kN
- (8) 付帯工事
☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐
- (9) 増築計画 ☐ 有 () ☒ 無
- (10) 構造計算ルート X方向ルート 3 - () Y方向ルート 3 - ()

2. 使用構造材料

- (1) コンクリート
- | 適用箇所 | 種類 | 設計基準強度
F _c =N/mm ² | 品質管理強度
F _q =N/mm ² | スランプ
cm | 備考 |
|----------|---|---|---|------------|--------|
| 捨コンクリート | ● 普通 | F _c = 18 | F _q = | | |
| 土間コンクリート | ● 普通 | F _c = 18 | F _q = | | |
| 基礎・基礎梁 | ● 普通 | F _c = 24 | F _q = 24 | 18.0 | 比重 2.3 |
| 2~3F床 | ● 普通 ☐ 軽量 | F _c = 21 | F _q = 21 | 18.0 | 比重 2.3 |
| その他 | ☐ 普通 ☐ 軽量 | F _c = | F _q = | | 比重 |
| 押入コンクリート | ☐ 普通 ☐ 軽量 | F _c = | F _q = | | 比重 |
| 混和剤 | | | | | |
- (2) コンクリートブロック (CB)
- ☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 100 120 150 197
- (3) 鉄筋
- | 種類 | 径 | 使用箇所 | 継手工法 |
|-------------------|---------------------------------|---------|-------------------------------|
| 異形鉄筋 | ● SD295A | D10~D16 | ● 重ね継手 |
| | ☐ SD295B | | D19未満 |
| | ● SD345 | D19~D25 | ● ガス圧接継手 |
| | ☐ | | D19以上 |
| 高強度せん断補強筋 | ☐ | | ☐ 特殊継手 |
| 丸鋼 | ● SR235 | | () |
| 溶接金網 (JIS G 3551) | ☐ | | |
- (4) 鉄骨
- | 種類 | 使用箇所 | 現場溶接 | 備考 |
|--|--------------------------------|---|----|
| ☐ SS400 ☐ SM400 ● SN400B | 梁 | ☐ 有 ● 無 | |
| ☐ STKR400 ☐ STKR490 ☐ | | ☐ 有 ☐ 無 | |
| ● BCR295 ☐ BCP235 ☐ | 柱 | ☐ 有 ● 無 | |
| ☐ SM490A ● SN490C ☐ | 5'1773kN ¹ -12'1'ート | ☐ 有 ● 無 | |
| ● SSC400 ☐ | 補助材他 | ☐ 有 ● 無 | |
- 使用箇所の詳細については別途図示とする。
- (5) ボルト
- 高力ボルト
- ☐ 普通: F10T ● 特殊: S10T WBLT-9006 認定品 (☐ M12 ● M16 ● M20 ☐ M22)
- ☐ 中ボルト M 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否
- ☐ アンカーボルト M 高力ボルト導入張力確認試験 ● 要 ☐ 否
- ☐ ABR M L = mm ナット (☐ シングル ☐ ダブル)
- ☐ M L = mm ナット (☐ シングル ☐ ダブル)
- ☐ 頭付スタッド φ=19 L = mm 使用箇所 (☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁)
- ☐ φ= L = mm 使用箇所 (☐ 柱 ☐ 大梁 ☐ 小梁)
- (6) 屋根・床・壁
- ☐ 折版 H = QL99-50-17 厚 床
- デッキプレート EV-50-1.2 厚 型式
- ☐ キーストンプレート
- ☐ 特殊デッキプレート
- ☐

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
- 有 (●敷地内 ☐ 近隣) ●ボーリング調査 ☐ 平板載荷試験 ● 水平地盤反力係数の測定
- ☐ 液状化判定 ☐ 現場透水試験 ☐ 土質試験
- ☐ 無 (調査予定 ☐ 有 ☐ 無)
- (2) 地盤調査計画
- ☐ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定
- ☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐ 試験堀 (支持層の確認)
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成



4. 地業工事

- (1) 直接基礎
- ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎 試験堀 ☐ 有 ☐ 無
- 深さ GLー m 支持層ー 載荷試験 ☐ 有 ☐ 無
- 長期許容支持力度 KN/m²
- (2) 杭基礎 支持層ー 細砂層
- | 杭種 | 材料 | 施工法 | 備考 |
|--|---|--|----------|
| ☐ RC ☐ PRC | PRC (☐ I 種 ☐ II 種 ☐ III 種) | ☐ 打ち込み | |
| ☐ PHC ☐ H鋼 | PHC (☐ A 種 ☐ B 種 ☐ C 種) | ☐ 埋込み (セメントミルク工法) | |
| ● 鋼管 ☐ 摩擦杭 | 鋼材 ☐ SS400 ☐ STK400 ● 羽根付き鋼管杭 | | 大臣認定第 号 |
| ☐ | ☐ SS490 ● STK490 | | 年 月 日 |
| ☐ 場所打ち | コンクリート F _c = N/mm ² | ☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 | 拡底杭 |
| コンクリート杭 | スランプ cm | ☐ リバースサーキュレーション | 日本建築学会認定 |
| | セメント量 kg/m ³ | ☐ アースドリル ☐ ミニアース | 第 号 |
| | 鉄筋 主筋 SD | ☐ 手堀 | 年 月 日 |
| | HOOP SD | ☐ 機械掘 | |
- 杭仕様 ● 施工計画承認 ● 杭施工結果報告書 ● 性能証明書等
- 試験杭 (● 有 ☐ 無) (● 打ち込み ☐ 載荷) 1 本
- | 杭径 (mm) | 設計支持力 (KN) | 杭長 (m) | 本数 | 特記事項 |
|---------|------------|--------|----|------|
| φ216.3 | 311 | 16 | 4 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
- コンクリートは JIS 認定品と施工に関しては JASS 5 (1997) による。
- 耐久設計基準強度 F_b ☐ 一般 ● 標準 ☐ 長期
- セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
- また、打ち込み量が 150m³ を超える場合は、150m³ ごとまたは、その端部ごとに 1 回を標準とする。1 回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた 3 台の運搬機からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1 回当たり 6 本以上とし、そのうち 4 適用に 3 本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 15 分、25℃以上の場合は 12 分以内とする。
- (2) 鉄筋
- 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。施工は JASS5 (1997) による。
- ☐ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定される D 種 1 号適合品とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定常長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
- D19 未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19 以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200 箇所を越えるときは、200 箇所ごと) に 1 回行い、1 回の試験は 5 本以上とする。
- 外観検査 ● 有 ☐ 無 引張試験 ● 有 ☐ 無 超音波試験 ☐ 有 ● 無
- 柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、● H 型 (タガ型) ● W 型 (溶接型) ☐ S 型 (スパイラル型) とする。

- (3) 型枠
- 材料 合板厚 12mm を標準とする。 ● 施工は JASS5 による。
- 型枠存置期間
- | 種類
部位 | せき板 | | 支柱 | | | | | |
|--|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|----|
| | 基礎・はり側・柱・壁 | スラブ下・はり下 | スラブ下 | | はり下 | | | |
| セメント
の
種類
平均
気温
の
範囲
の
範囲
の
範囲 | 単独ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント | 単独ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント | 単独ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント | | |
| | 高炉セメント A 種 | 高炉セメント A 種 | 高炉セメント A 種 | 高炉セメント A 種 | 高炉セメント A 種 | 普通ポルトランドセメント | | |
| | シリカセメント A 種 | シリカセメント A 種 | シリカセメント A 種 | シリカセメント A 種 | 高炉セメント A 種 | シリカセメント A 種 | | |
| コンクリート | 15℃以上 | 2 | 3 | 4 | 6 | 8 | 17 | 28 |
| コンクリート | 5℃~15℃ | 3 | 5 | 6 | 10 | 12 | 25 | 28 |
| | 5℃未満 | 5 | 8 | 10 | 16 | 15 | 28 | 28 |
| コンクリートの圧縮強度 | 5.0N/mm ² | | 設計基準強度の 50% | | 設計基準強度の 85% | | 100% | |
- 注) 1 片持ばり、底、サンパン 9.0m 以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
- 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は、工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。
- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
- 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- 日本建築センター「冷間成形形鋼管設計・施工マニュアル」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- 製作工場 ● 製作要領書 ● 工作図 ● 施工計画書
- 認定または登録工場 (R グレード)
- 材料規格証明書または試験成績表
- 鋼材 ☐ 高力ボルト ● 特殊ボルト ☐ 頭付スタッド
- 社内検査表 ☐
- (3) 工事監理者が行う検査項目
- (● 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
- 現状検査 ☐ 組立・開先検査 ● 製品検査
- 建方検査 ☐ ☐
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- 日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX」
- 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

- (5) 接合部の検査
- 溶接部の検査溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)
- | 検査箇所 | 検査方法 | 検査率又は検査数 | | | 備考 |
|---|------------|----------|------------|-------|-------------------------------------|
| | | 社内 | 第三者 | 工事監理者 | |
| ● 完全溶込み溶接部 | 超音波探傷試験 | 100 % | 30 (100) 部 | 0 % | () 内は、大臣認定もしくは、都知事登録工事以外の工事の場合とする。 |
| ☐ | 外観 (目視) 検査 | 100 % | 100 % | 100 % | |
| ☐ | マクロ試験・その他 | 部 | 部 | 部 | |
| 第三者機関名 | 未定 | | | | |
| 第三者検査機関名とは、建築主・工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社を言う。 | | | | | |
| 注1) 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査を行うこと。 | | | | | |
| 注2) 現場溶接は、超音波探傷試験を 100% 行う事。 | | | | | |
| ☐ 高力ボルトは「JIS B1186 の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径 2 倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。ただしショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらかさが 50S 以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。 | | | | | |
| ● 高力ボルトの締付けに使用する機械はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。 | | | | | |
- (6) 防錆塗装
- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、JIS K5621、2 回塗りを標準とする。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し 2 回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
- 耐火被覆 1 時間 (ロックウール吹付)

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の 3 倍以上かつ 5cm 以上を原則とする。

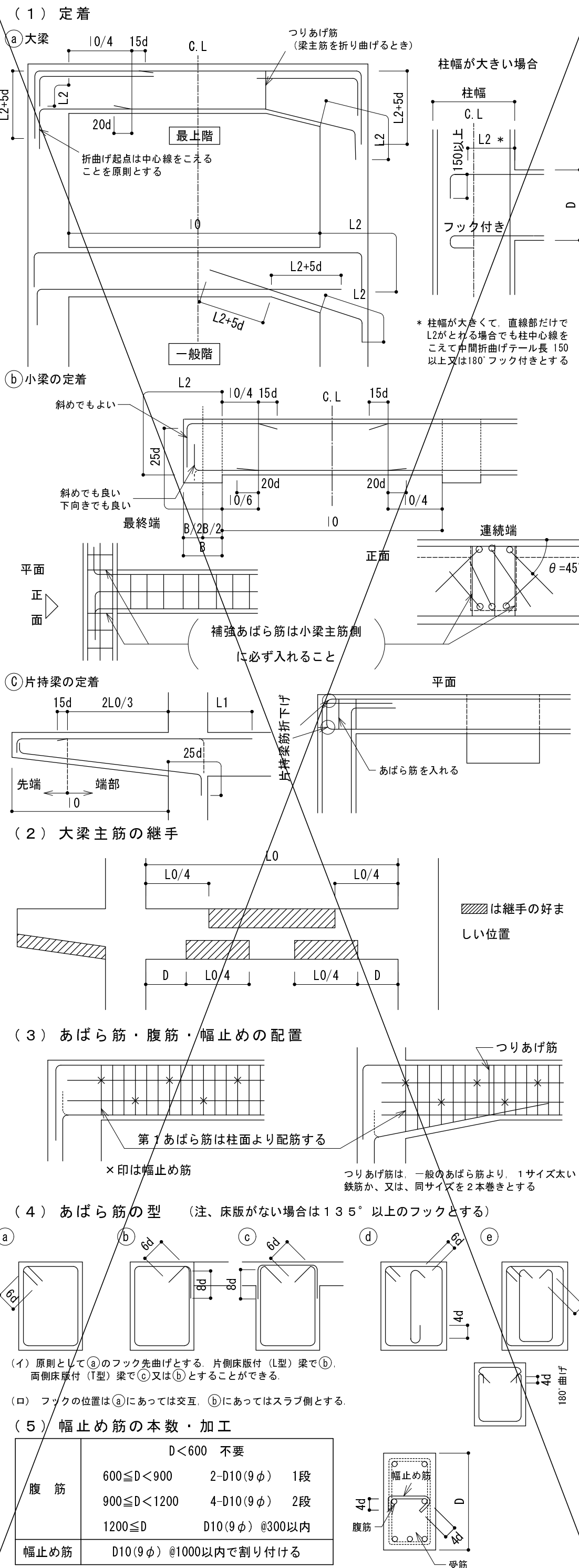
8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

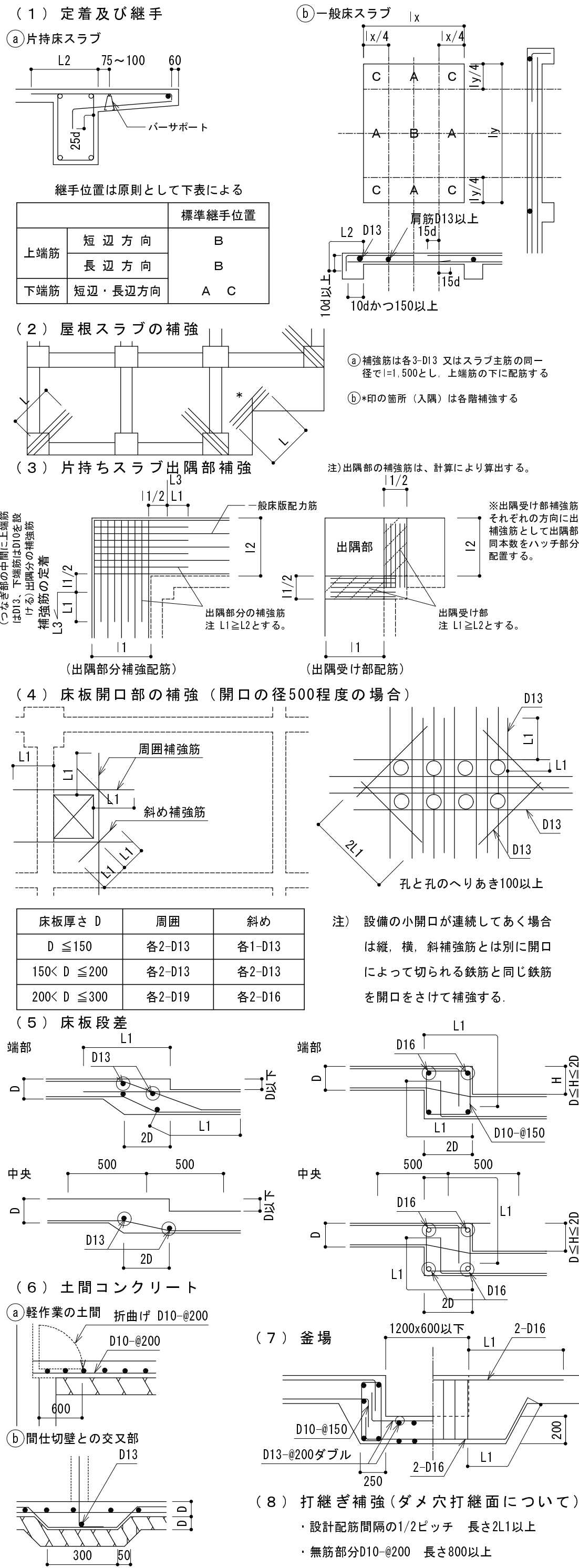
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁・小梁・片持梁

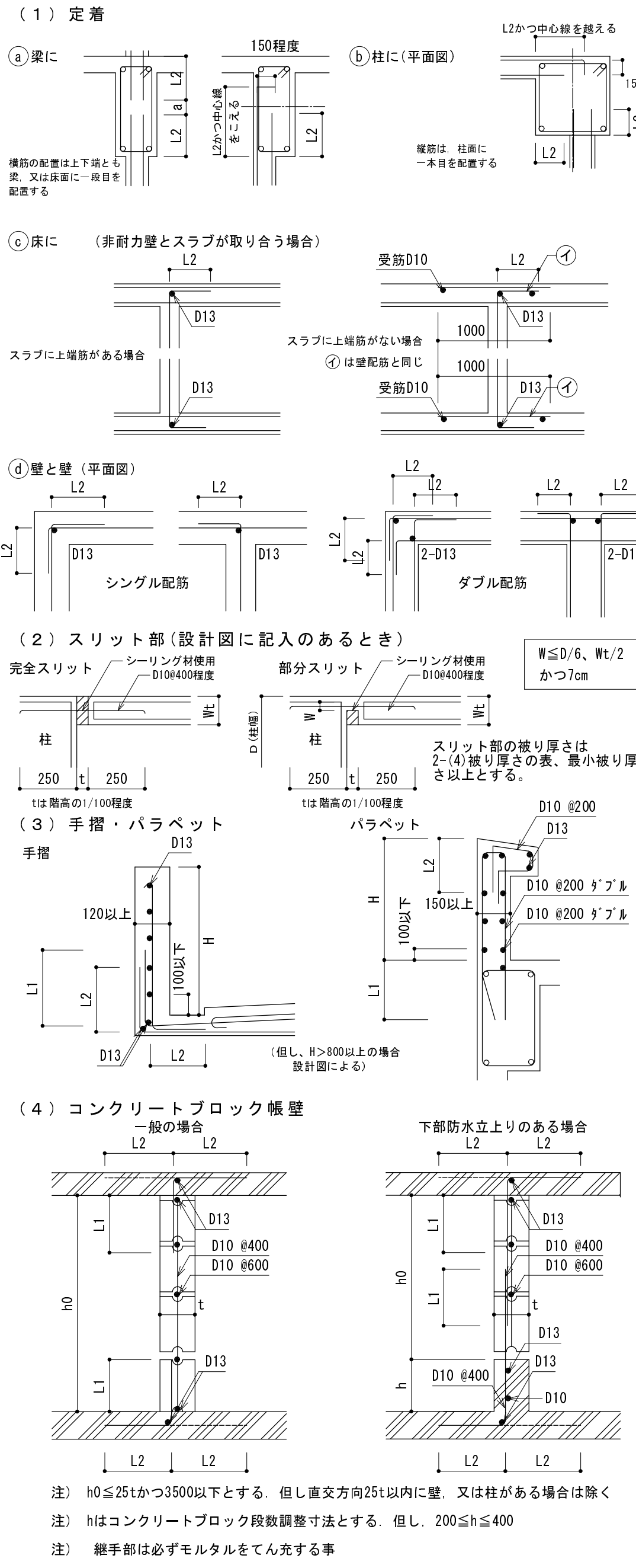


※変更事項 H.10年9月 7(1)大梁下端筋曲上定着 7(2)大梁主筋の継手
※取定 H.12年11月

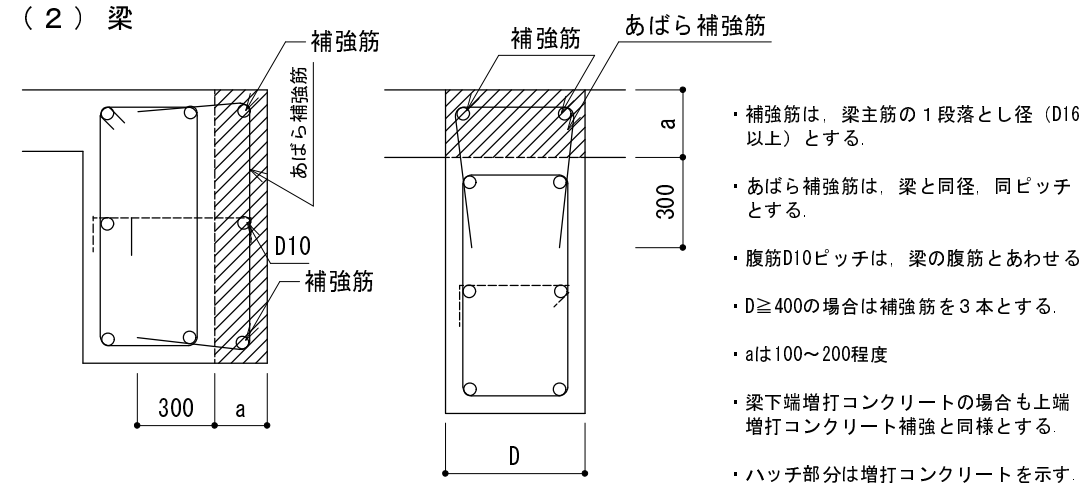
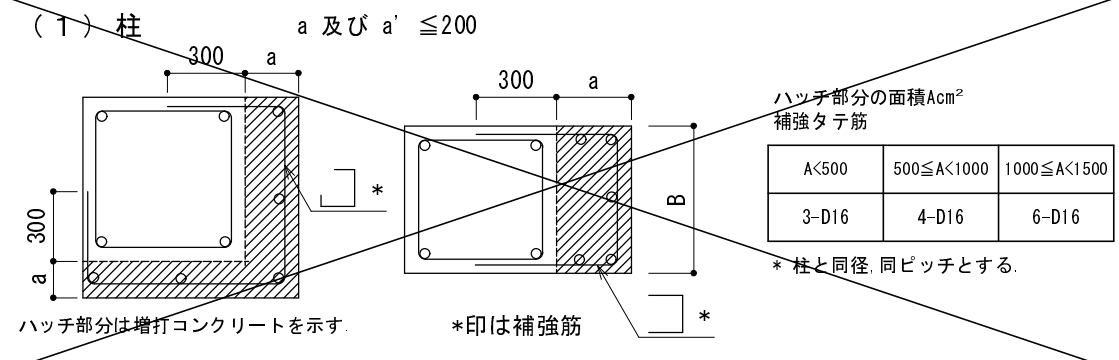
8. 床版



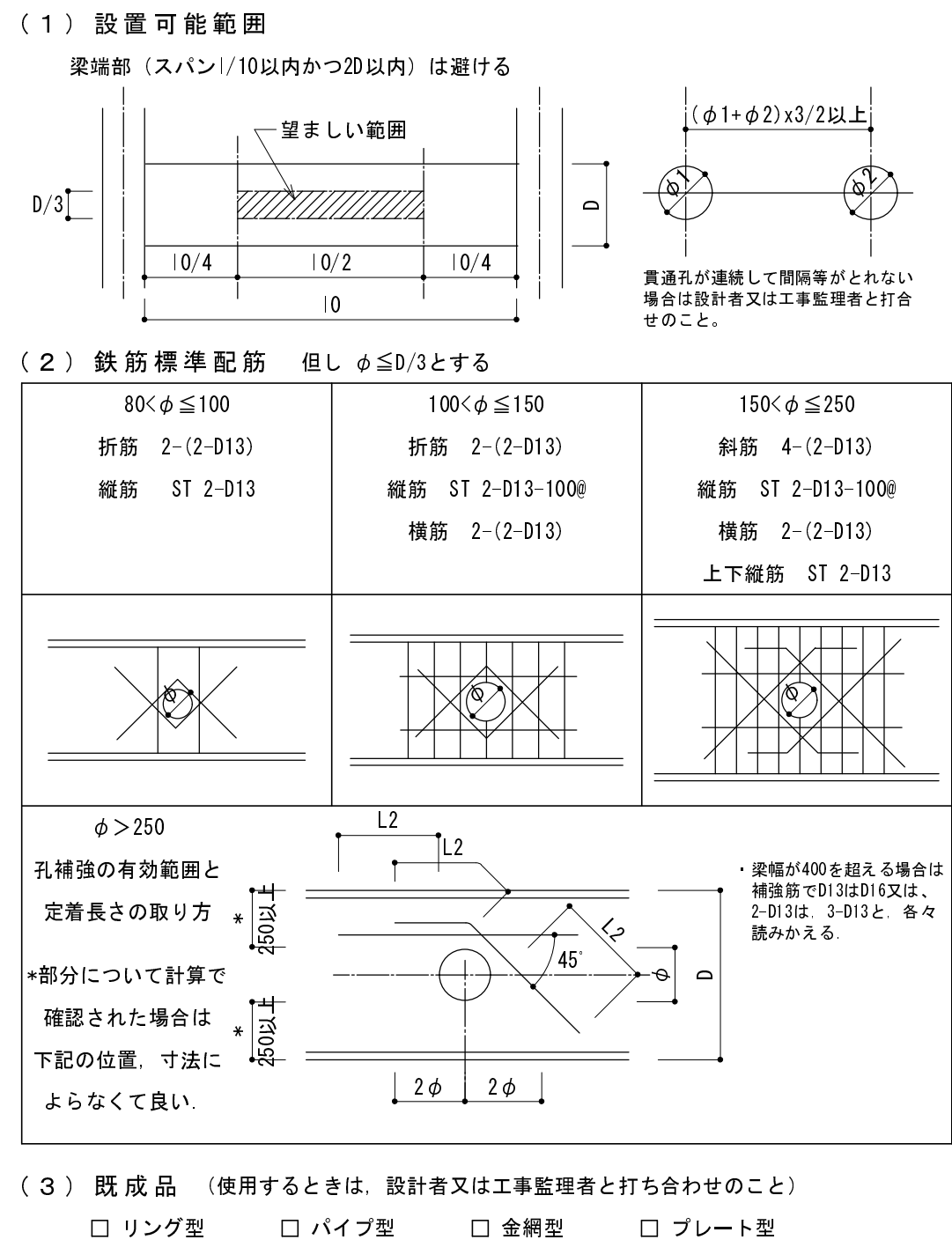
9. 壁



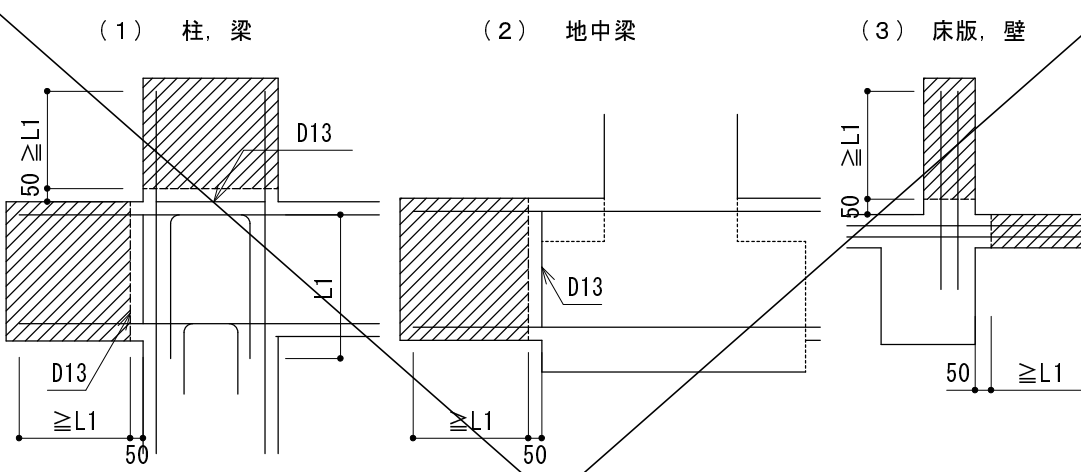
10. 柱・梁増打コンクリート補強



11. 梁貫通孔補強



12. 増築予定



1. 工法概要

1. 1 構成部材

1 アンカーボルト
2 注入座金
3 Mナット
4 ベースバックグラウト(グラウト材)
5 定着座金
6 テンプレート

7 フレームポスト
8 フレームベース
9 ステコンアンカー
(コンクリートアンカー)
10 ベースプレート

③以上⑥以下 ⑦~⑩の構成部材はベースバック構成部品として供給される。
⑪以上⑬以下 ⑨は現場状況により仕様が変わる場合がある。

1. 2 柱脚の定着方法概要

2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BOP235	
	STKR400	
295	BOP295	
	TSC295	

3. 構成部材・寸法

3. 1 ベースプレート

●材質
SN490B (JIS G 3106)

形状 (イ) 形状 (ハ)

3. 2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

呼び	実寸	L	X	b	基準強度
d	呼び名	(mm)	(mm)	(mm)	(N/mm ²)
M27	D29	690	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

呼び	実寸	L	X	基準強度
d	呼び名	(mm)	(mm)	(N/mm ²)
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

3. 3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3. 4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用アンカーボルト	e1	t	d	材質
M27	55	9	28	S400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプ の場合

適用アンカーボルト	e1	e2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	S400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3. 5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3. 6 フレームベース

i) Aタイプ

ii) Cタイプ

iii) 特Cタイプ

3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ (h寸法) はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ (最低h寸法) は下表に記載の値とする。

タイプ	h寸法	最低h寸法
Aタイプ		
Cタイプ		
特Cタイプ		

※結露防止および配筋状態に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4. 1 形状・材質

●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

4. 2 配筋

※立上り筋の頂面にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4. 3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが90mmを超え300mm以下の場合は、Lシリーズを使用することができる。

6. 工事場施工

6. 1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図

柱心
テンプレート
中心線
けがき線
アンカーボルト
e1
:柱心とテンプレートのけがき線との許容差
-2≤e1≤2
基準高さより誤差は
-3≤e≤10

6. 3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6. 4 建方

●レベルモルタルはベースバックグラウト (グラウト材) を使用し、大きさは右図による。

6. 5 アンカーボルトの本締め (弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6. 6 ベースバックグラウト (グラウト材) の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋 (6kg) に対して、計量カップでの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。
●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースバック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

千葉市都市局建築部営繕課

千葉市立千城台西中学校外外部改修外工事

設計年月日 令和 7年 10 月 日

特記事項

設計年月日 令和 年 月 日

特記事項

設計年月日 令和 年 月 日

特記事項

図面名

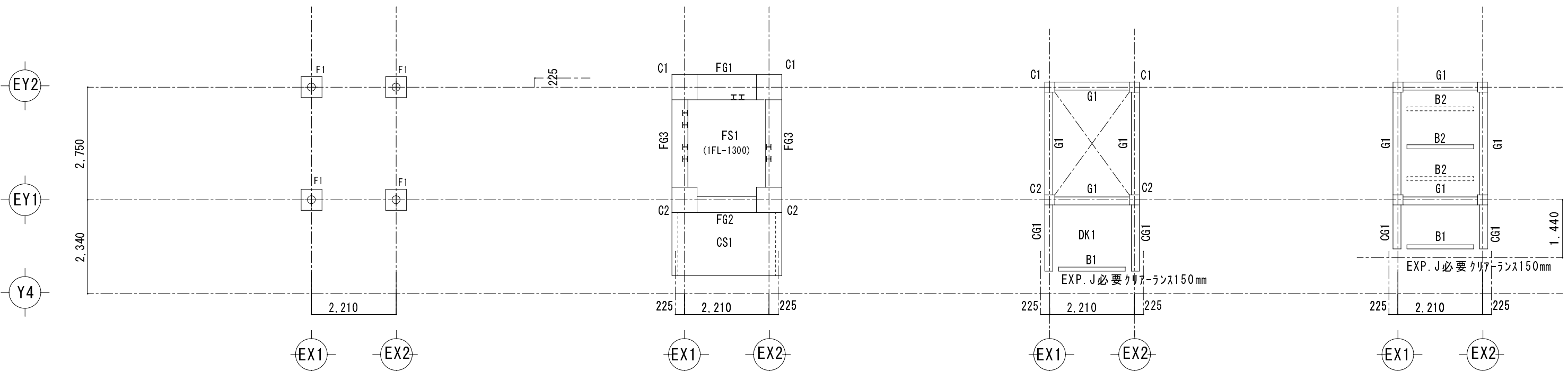
ベースバック柱脚工法 標準図 参考図

縮尺

A1
A3

図番

S-06



基礎伏図 1：100
(見下図)

柱芯=通り芯

1階伏図 1：100
(見下図)

2～3階伏図 1：100
(見下図)

DK1 方向

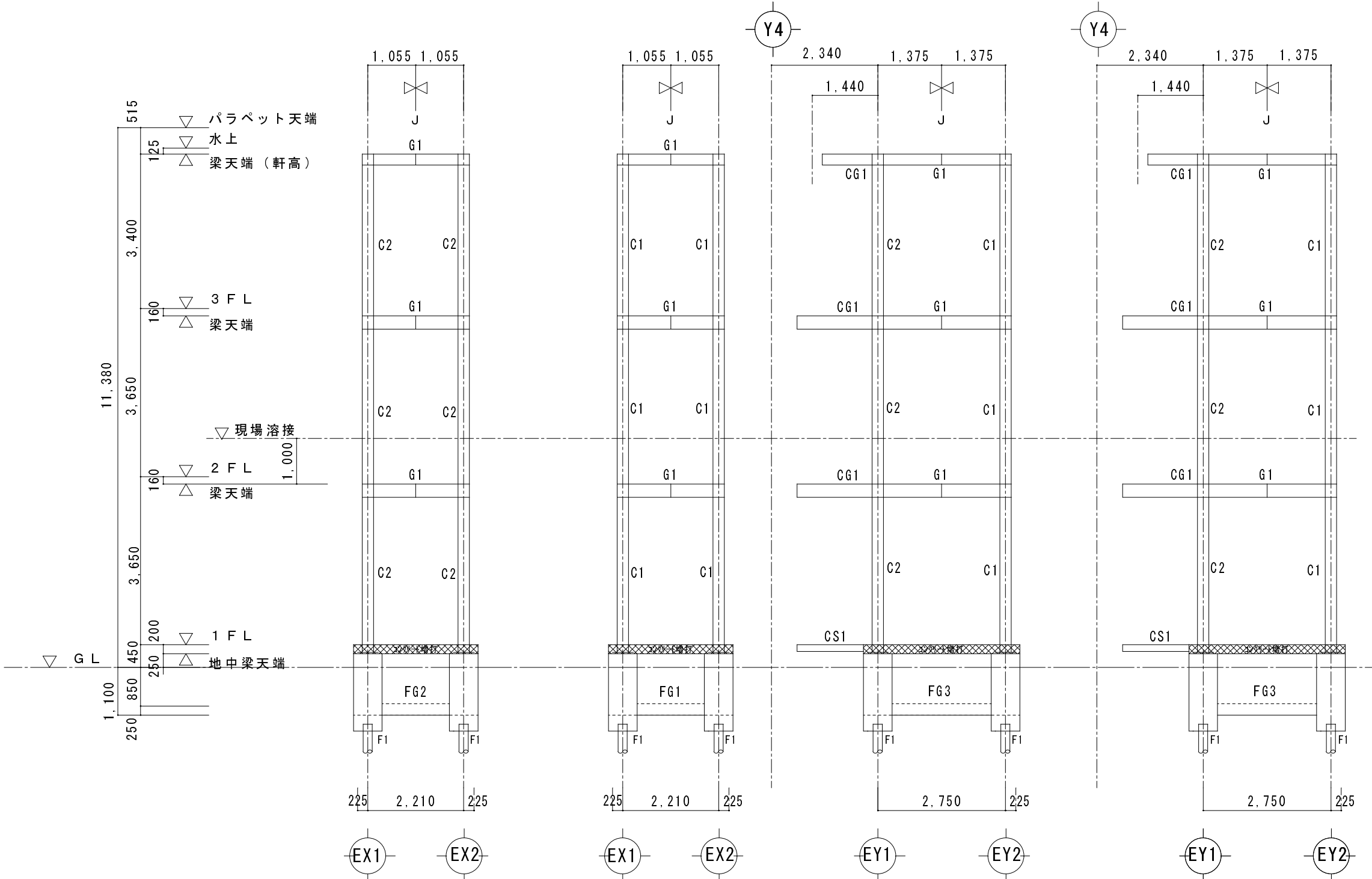
R階伏図 1：100
(見下図)

床 DK1 方向
小梁配置はメーカーによる
建築では1本のみ見込む
B2のレベルは意匠図による

鉄骨部材リスト ■ 梁鋼種：SN400B ■ ボルト：HTB-F10T、HTB-S10T ■ 設計：保有耐力継手

	鉄骨部材	JOINT				備 考
		F	W	外	内	
RG1	H-244x175x7x11	4-M20	2-M20	PL-290×175×9	2PL-290×70×9	105 60
3G1 2G1	H-294x200x8x12	6-M20	3-M20	PL-410×200×9	2PL-410×80×9	120 60
C1	□-250x250x12	柱脚 25-16V				BCR295
C2	□-250x250x16	柱脚 25-16V				BCR295
B1	H-200x100x5.5x8	GPL- 6 H.T.B 2-M16				SN400B
B2	H-150x150x7x10	GPL- 9 H.T.B 2-M16				SN400B
RCG1	H-244x175x7x11					SN400B
3.2CG1	H-294x200x8x12					SN400B

※柱脚はベースバックとする。他の同等の工法（例、ハイベース等）の仕様の場合
係員の承諾の上、計算書及び図面を作成し、計画変更手続きを行う。
※外壁はALC壁厚125とする。
層間変形角が1/150以下の工法とする



EA通軸組図 1：100

EB通軸組図 1：100

E1通軸組図 1：100

E2通軸組図 1：100

地中梁リスト 1：40

※巾止筋は D10-@1000 とする

符 号	FG 1	FG 2	FG 3
位 置	全断面	全断面	全断面
断 面			
B x D	620 x 1350	400 x 1350	400 x 1350
上端筋	3 - D19	3 - D19	3 - D19
下端筋	3 - D19	3 - D19	3 - D19
腹筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10
スカーアップ	□-D13 #200	□-D13 #200	□-D13 #200

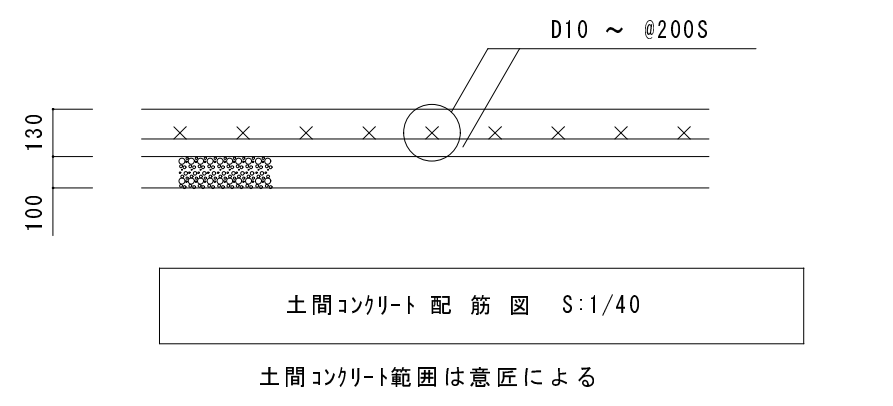
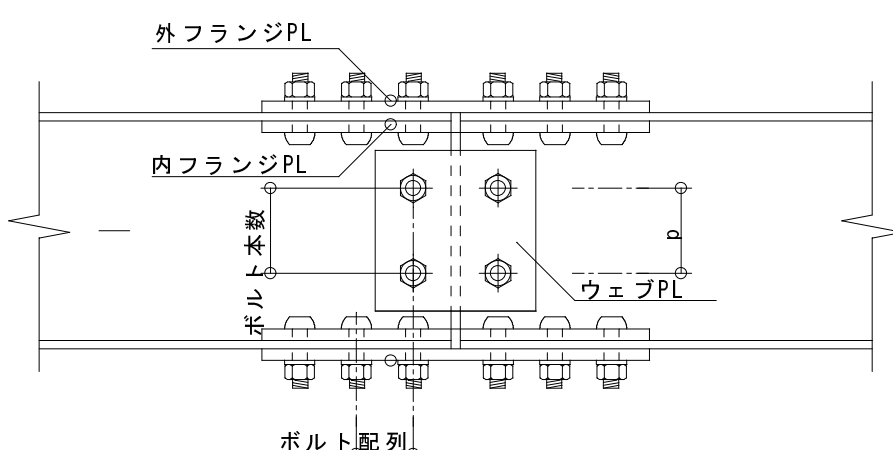
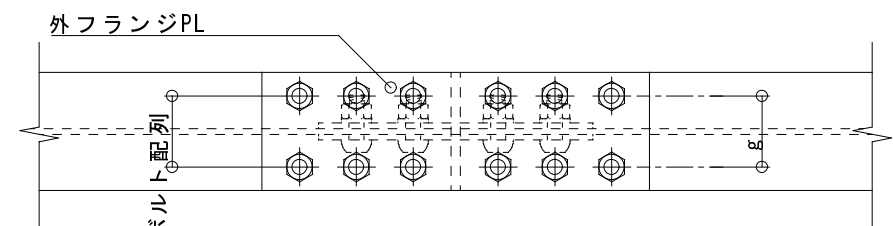
スラブリスト

符 号	断 面	配筋方法	位 置	短辺方向	長辺方向
CS 1	200 砕石厚100	※F73配筋	上端筋 下端筋	D13 #200 D10 #200	D10 #250 D10 #250
FS 1	250 砕石厚60	※F73配筋	上端筋 下端筋	D13 #200 D13 #200	D13 #200 D13 #200

柱型 リスト 1：40

※露出型弾性固定柱脚工法仕様書による。

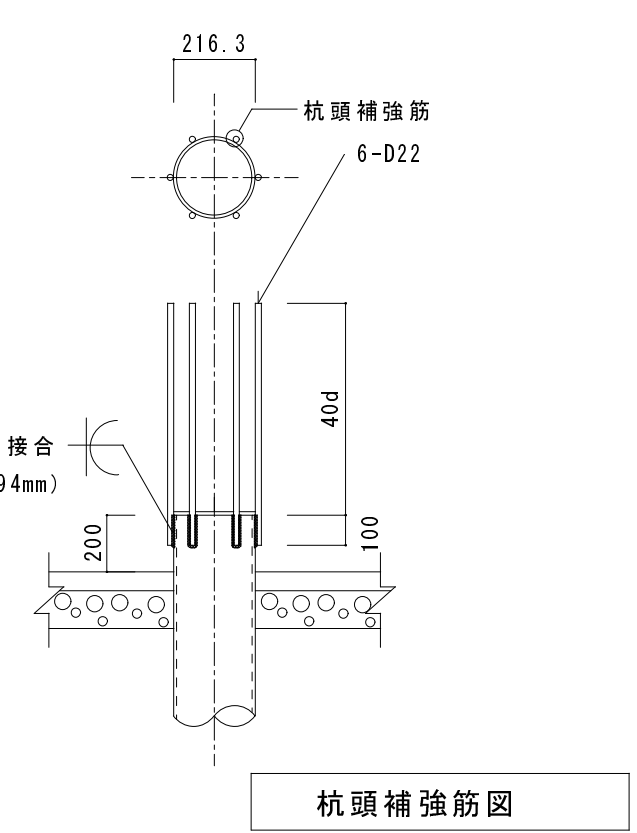
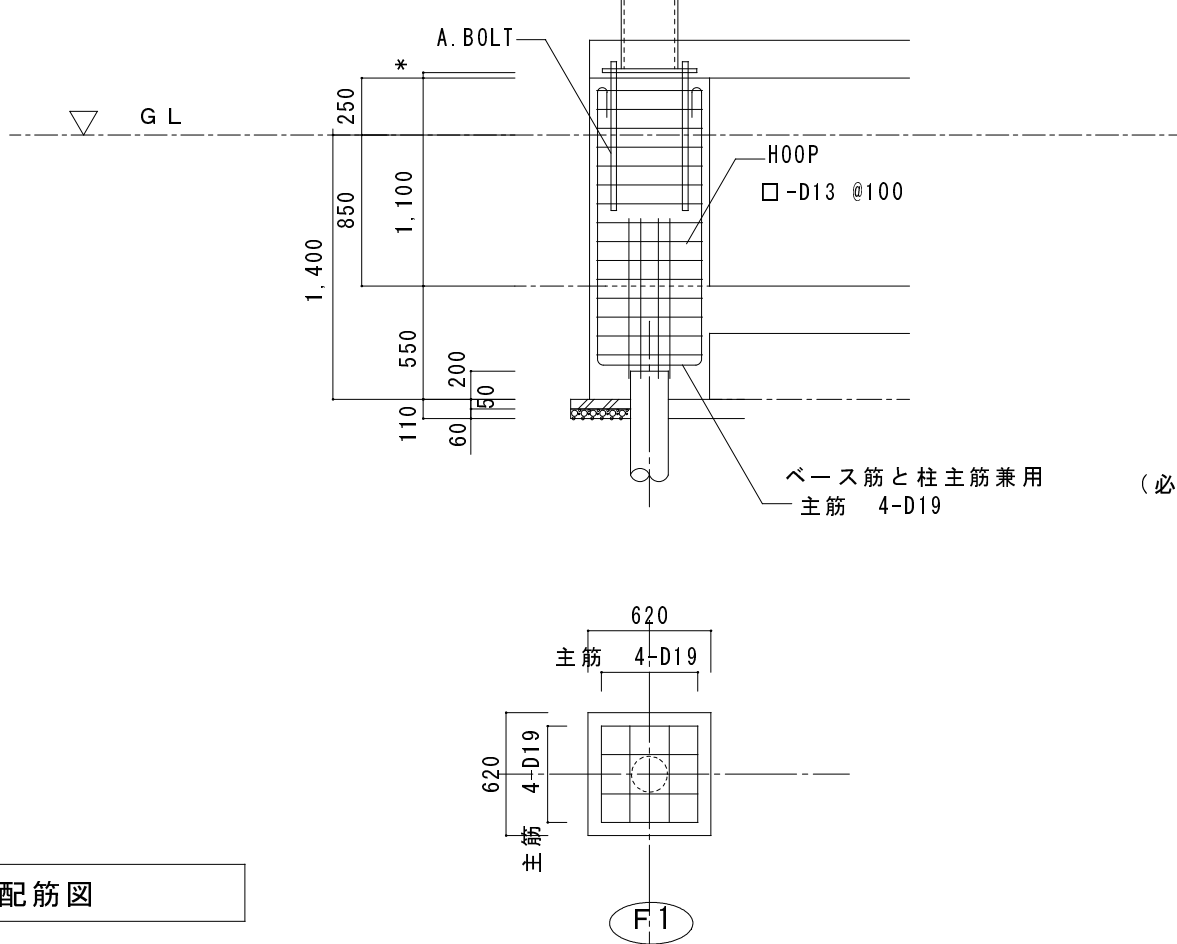
符 号	C 1 C 2
断 面	
B x D	620 x 620
主 筋	12 - D19
H00P	□-D13 #100



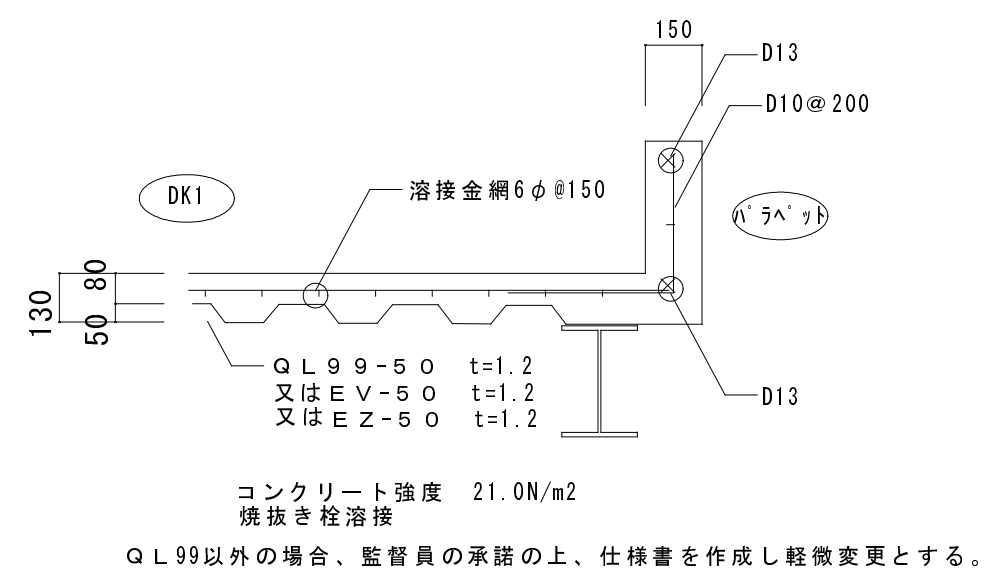
杭リスト
工 法 羽根付き鋼管杭回転埋設工法
杭 種：F1 STK490 φ216.3 上 t=12.7 +中下 t=8.2
先端羽根部 SW490A φ650 (t=28)
杭耐力：365KN 引抜き：125KN
杭本数：4本
杭長：16m=6m(下)+5m(中)+5m(上)
施工誤差：100mm以下とする。100mmを超える場合は監理者と協議。

※ 杭は羽根付き鋼管杭回転埋設工法 とする。
下記①工法とする
G-ECIS工法 認定番号 TACP-0585
G-ECIS工法 認定番号 TACP-0483
E-A-Z-E-T工法 認定番号 TACP-0635
計算は、E-A-Z-E-T工法で算出している。
他工法の場合、監督員の承諾の上、計算書を作成し経度変更とする。

基礎配筋図



杭頭補強筋図



一級建築士登録番号 第228401号
構造設計一級建築士登録番号 第7354号
高橋 厚

千葉市都市局建築部営繕課

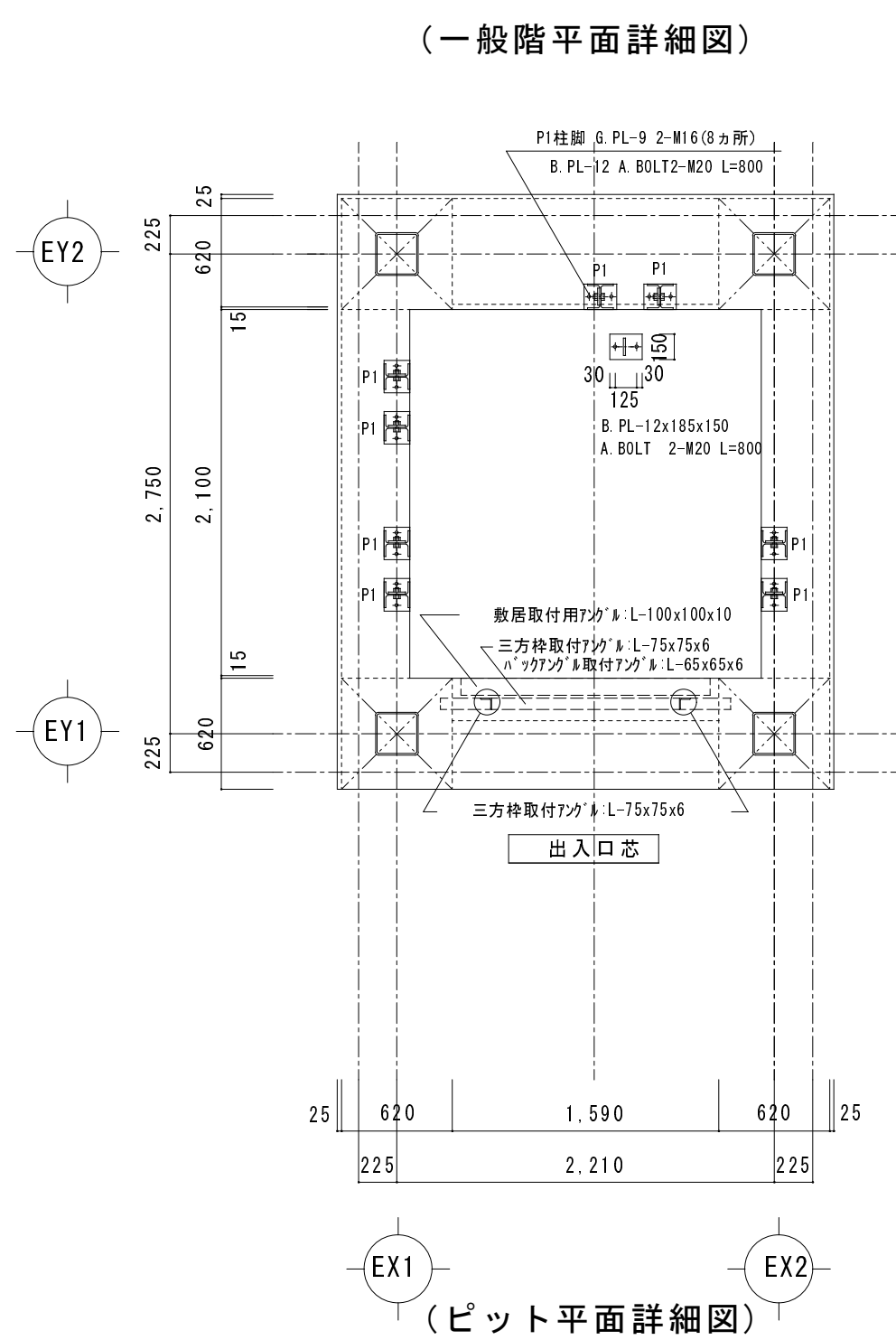
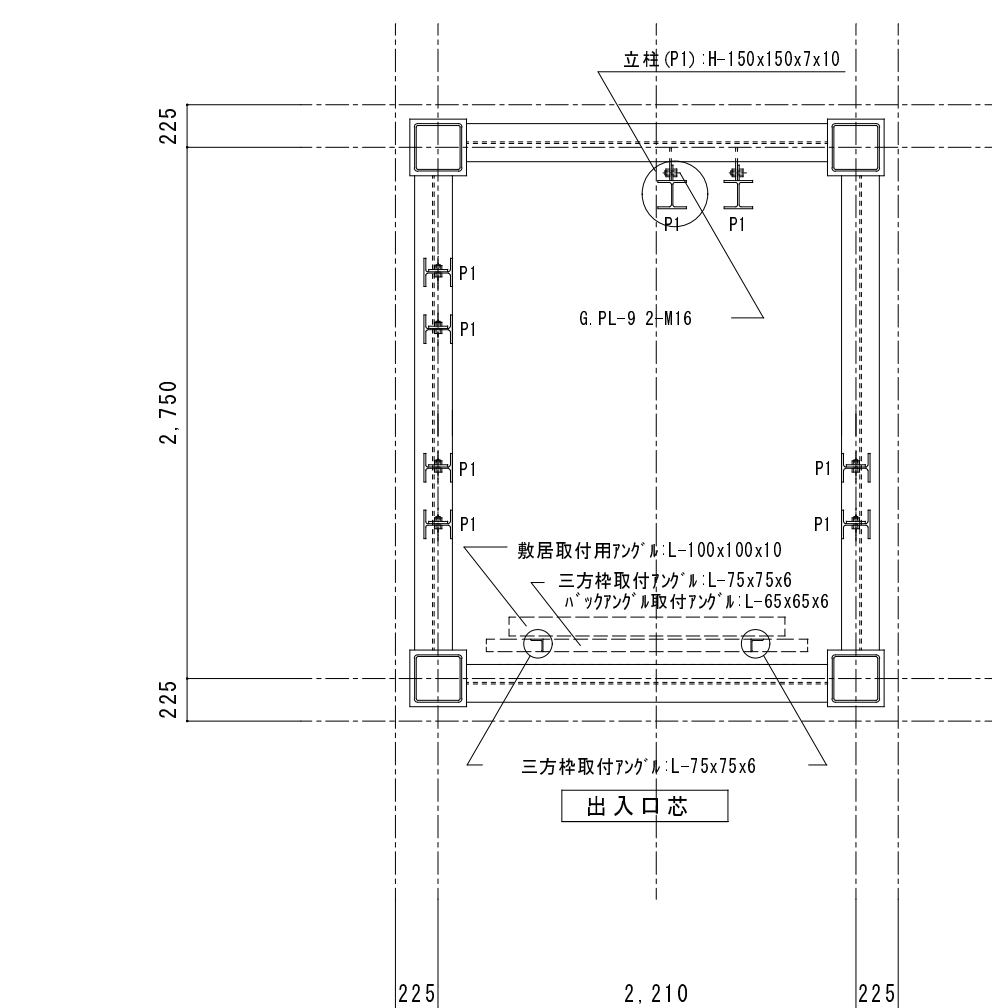
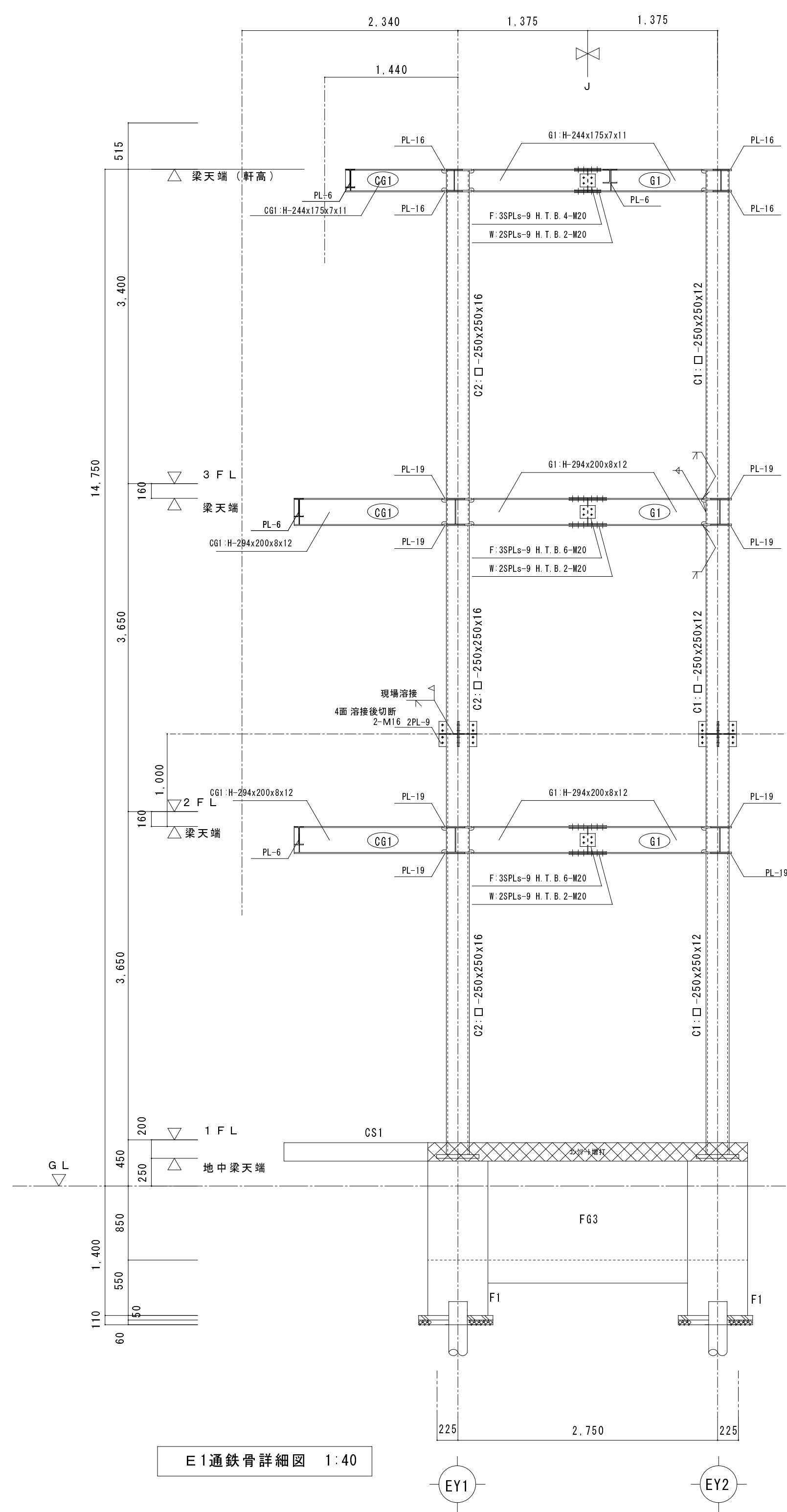
工事名
千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和 7年 10 月 日

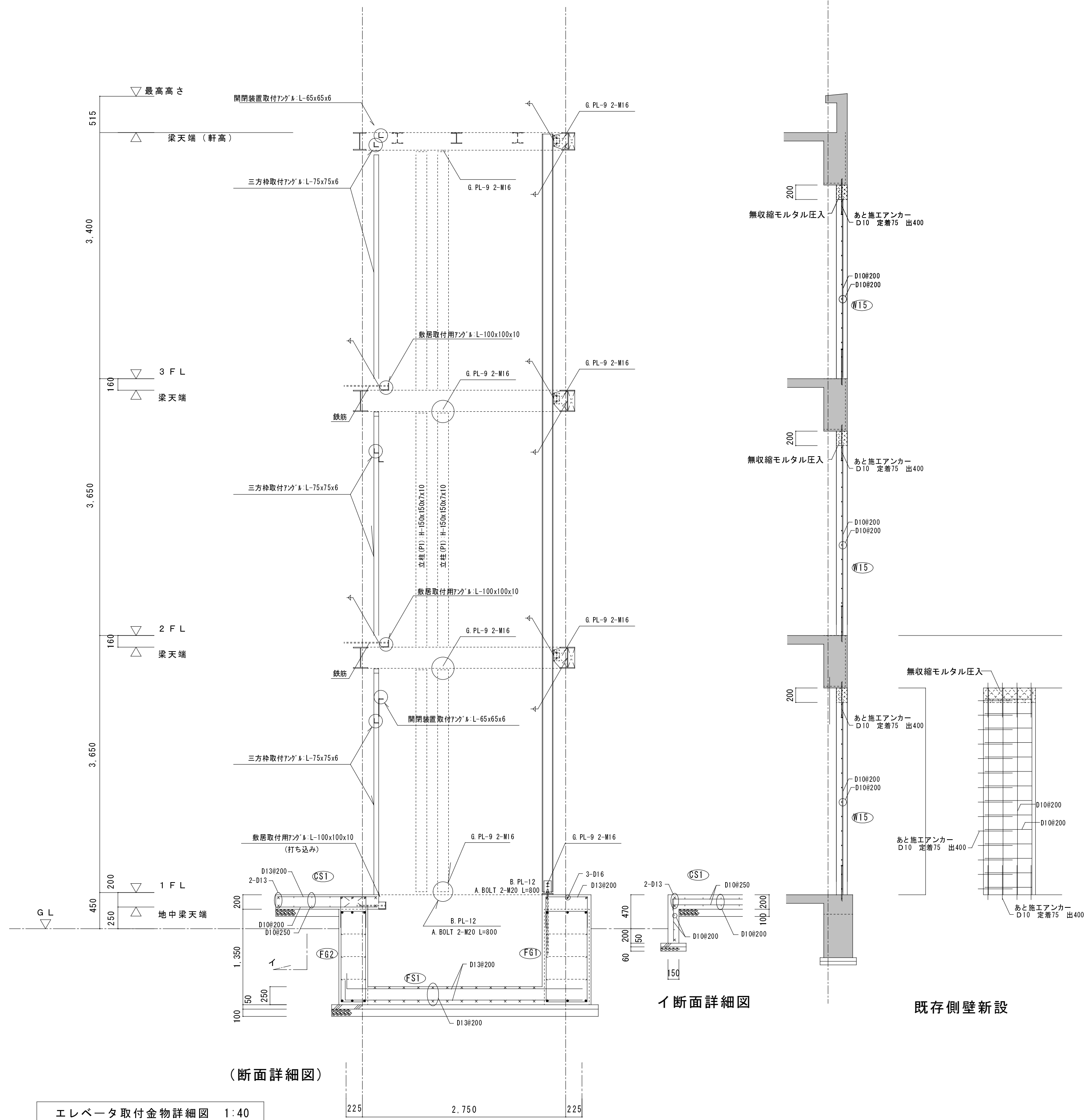
設計年月日
令和 年 月 日

設計年月日
令和 年 月 日

図
面
名
伏図、軸組図、リスト
縮
尺
A1 1/100
A3 1/200
図
番
号
S-07



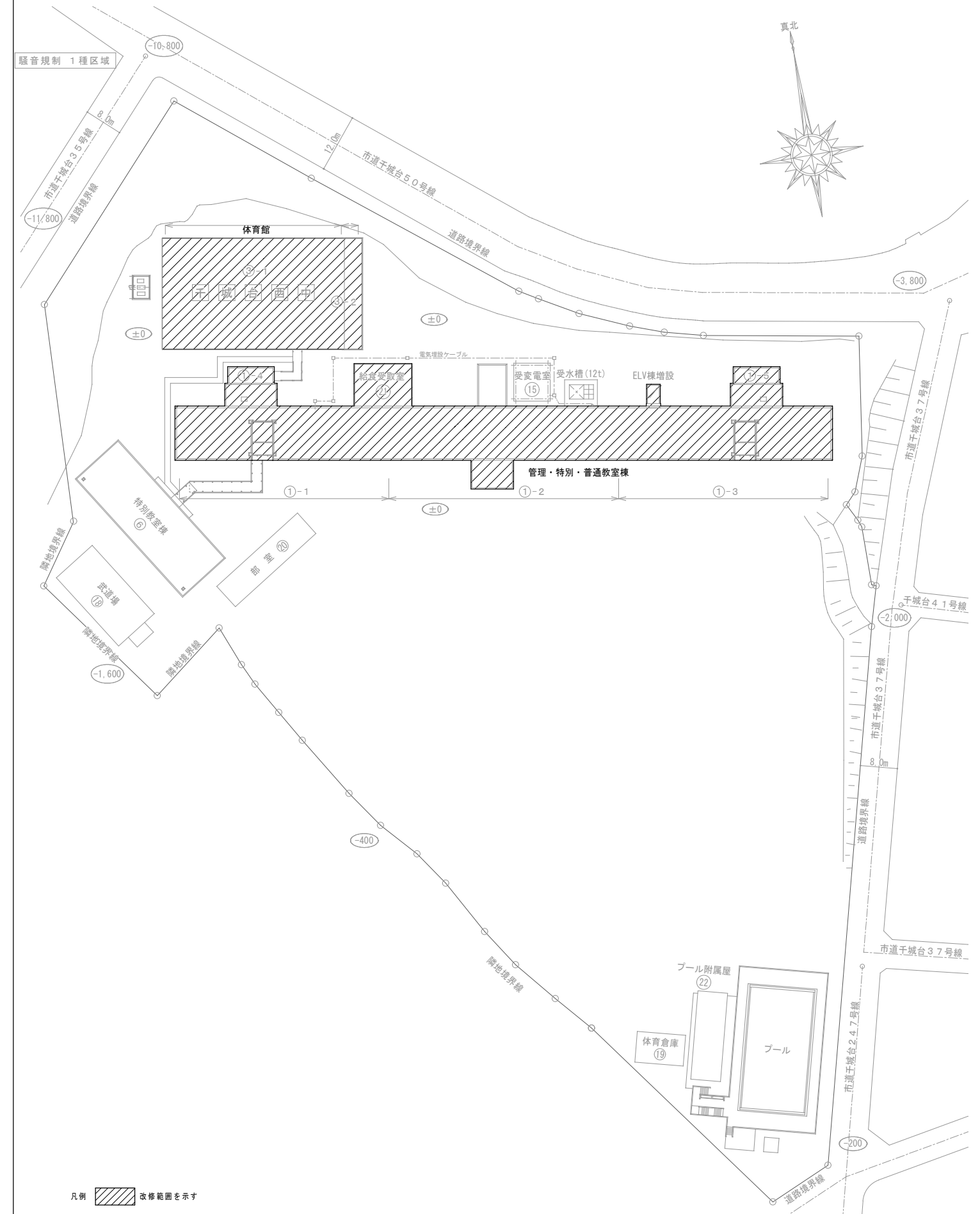
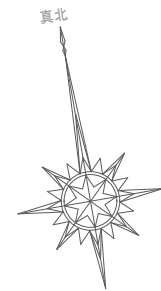
EV 取付ファスナー及び間柱の位置、大きさ、箇所はEVメーカーによる。



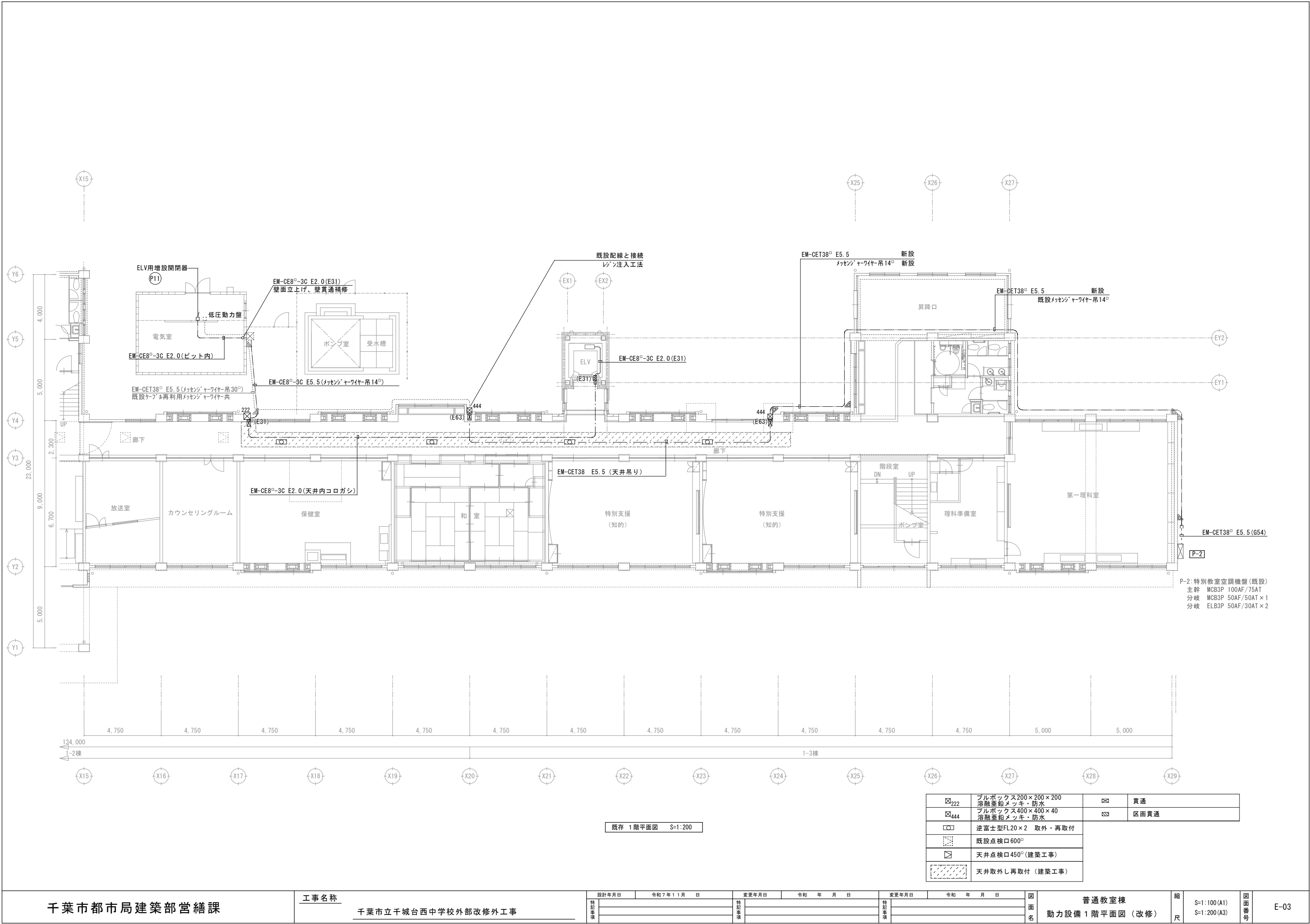
一級建築士登録番号 第228401号
構造設計一級建築士登録番号 第7354号 高橋 厚



案内図 S1=1:5000



凡例  改修範囲を示す



千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和7年11月 日

変更年月日

令和 年 月 日

変更年月日

令和 年 月 日

図

面

普通教室棟

動力設備1階平面図(改修)

縮

S=1:100(A1)

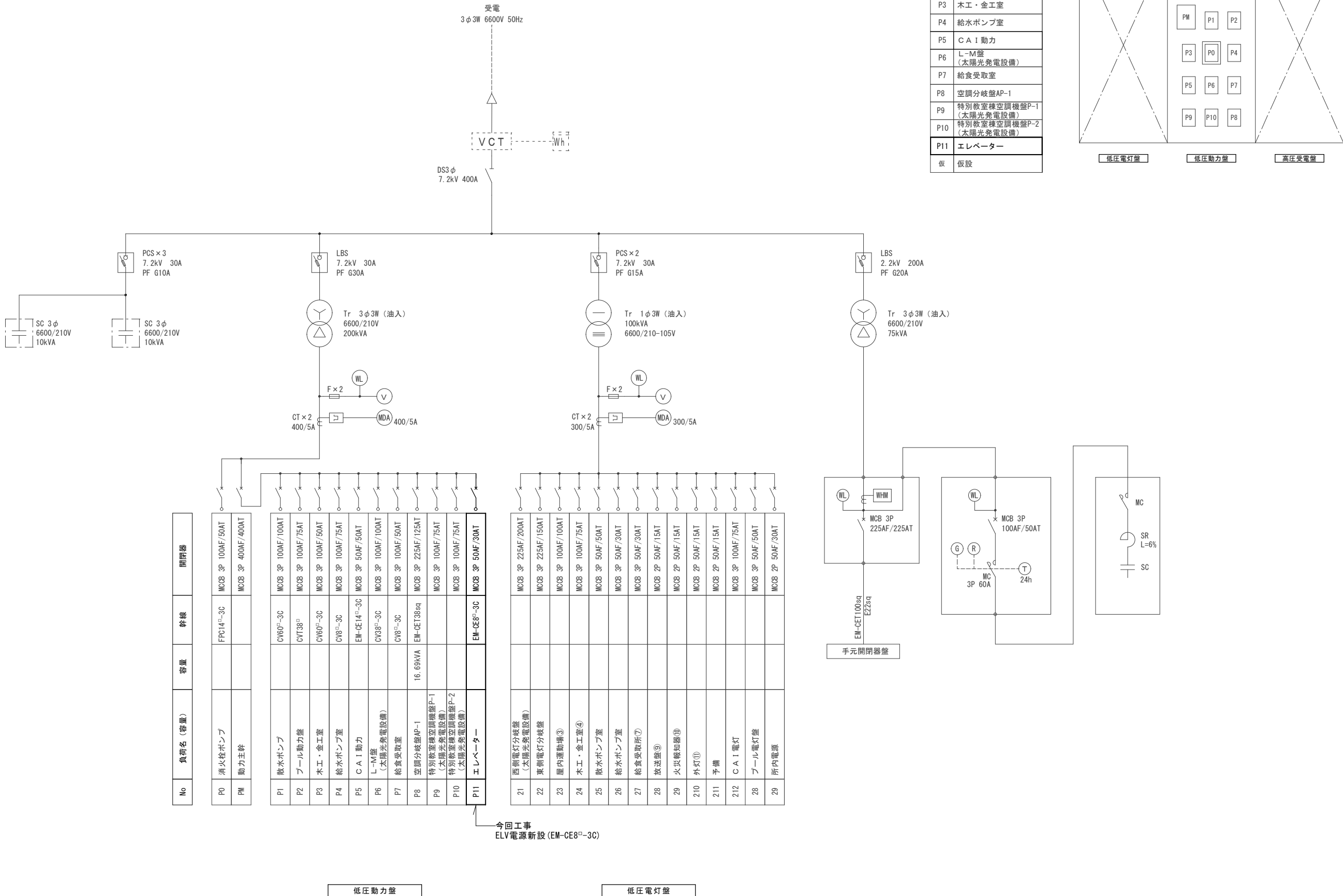
S=1:200(A3)

図

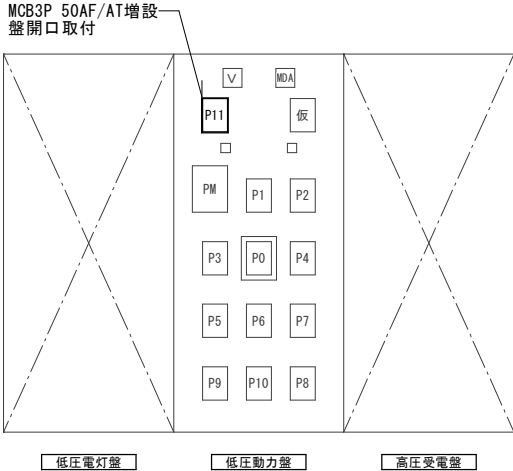
面

番号

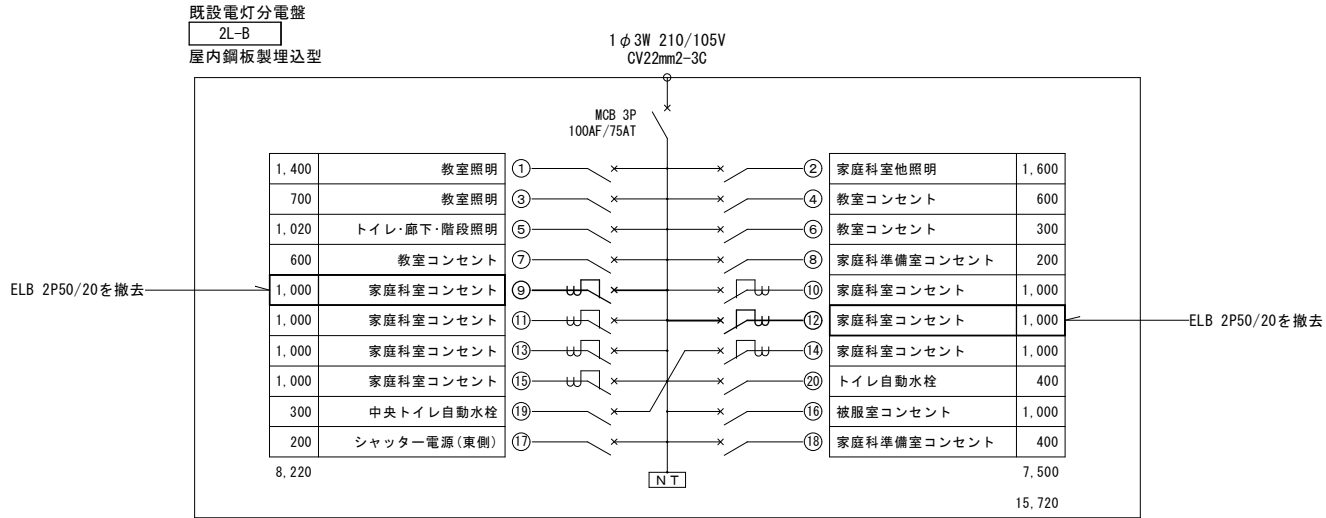
E-03



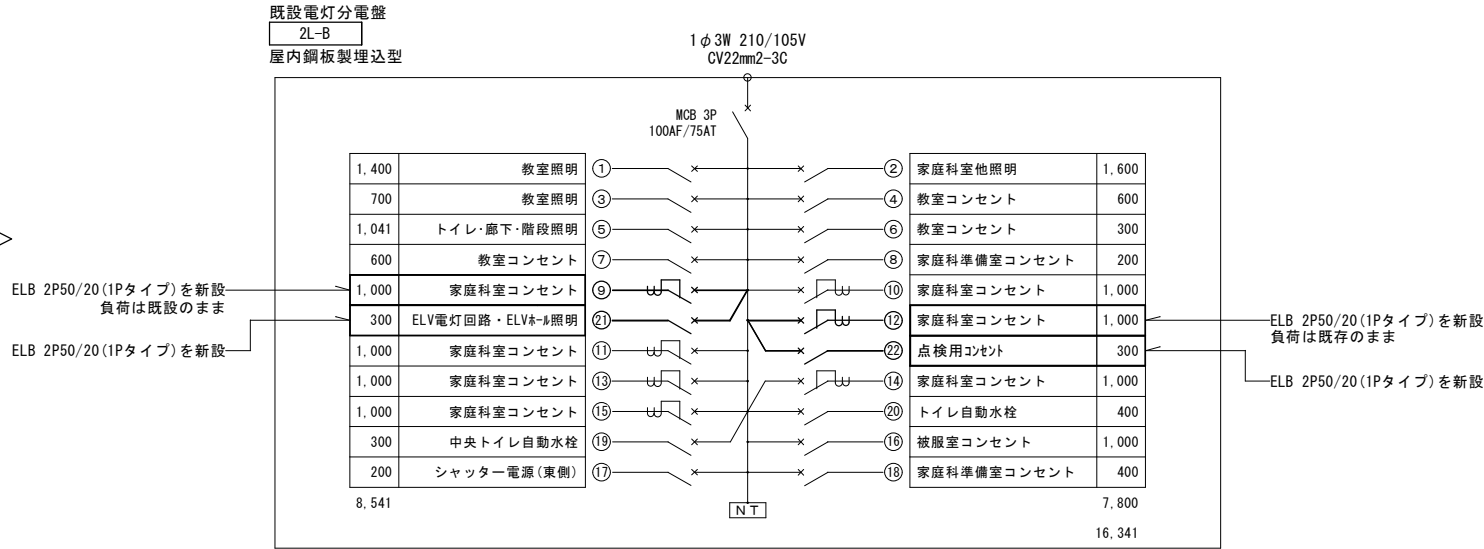
P0	消火栓ポンプ
PM	動力主幹
P1	散水ポンプ
P2	プール動力盤
P3	木工・金工室
P4	給水ポンプ室
P5	C A I 動力
P6	L-M盤 (太陽光発電設備)
P7	給食受取室
P8	空調分岐盤AP-1
P9	特別教室様空調機盤P-1 (太陽光発電設備)
P10	特別教室様空調機盤P-2 (太陽光発電設備)
P11	エレベーター
仮	仮設



今回工事
ELV電源新設 (EM-CE8[□]-3C)

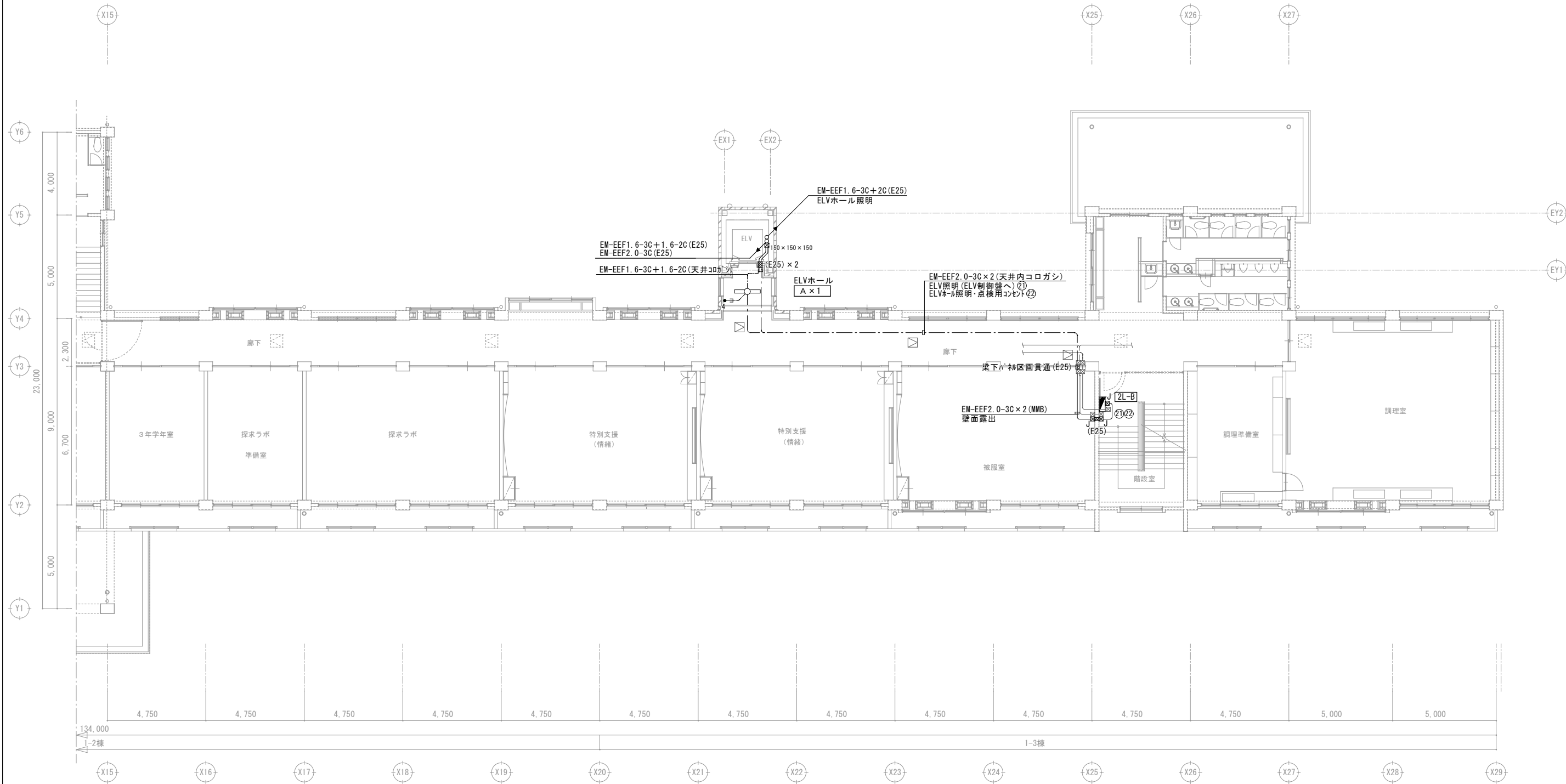


改修



A	LSS9-4-30	3,100 Lm		消費電力 20.6 W

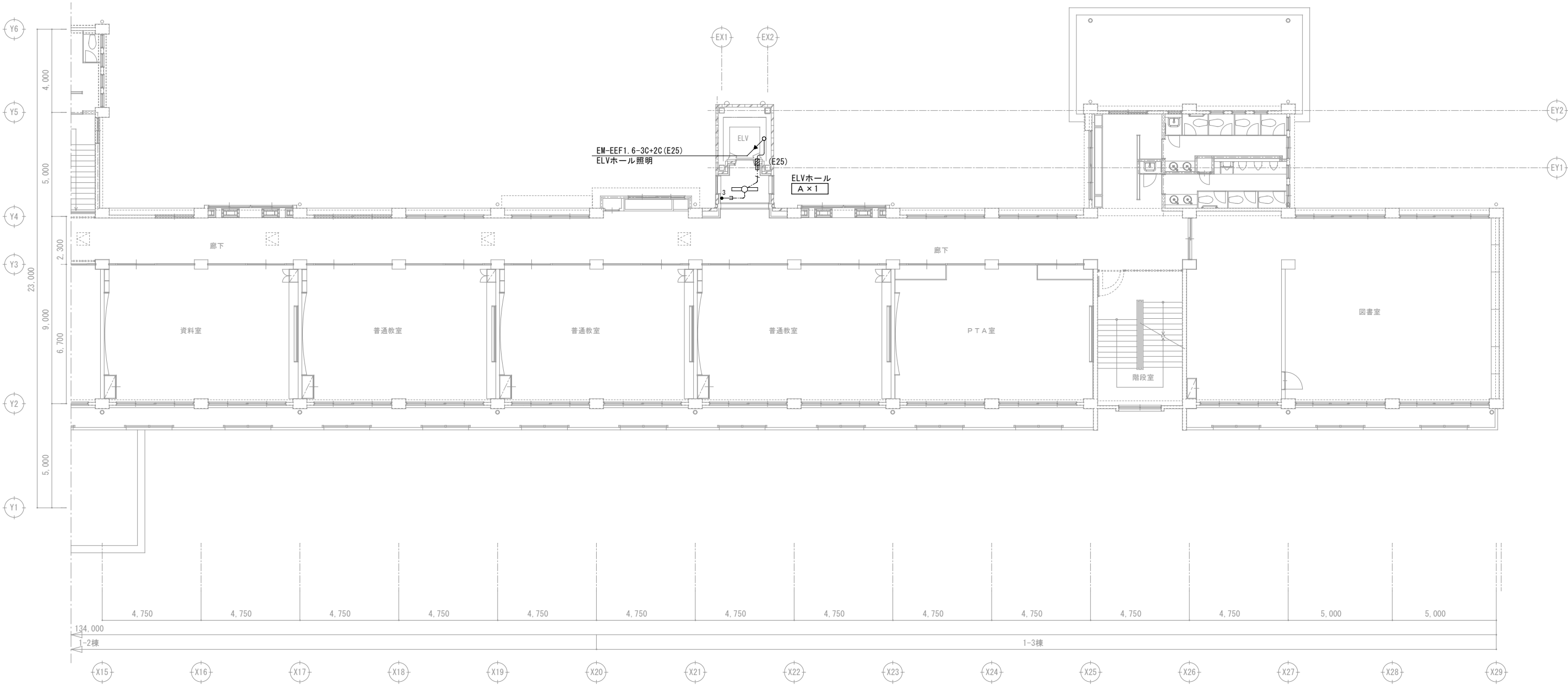
	照明器具 LSS9-4-30
	タンブラスイッチ (3路)
	タンブラスイッチ (4路)
	コンセント (2P15A×2接地極付)
	EM-EEF1.6-3C×2 (天井内コロガシ)
	EM-EEF1.6-3C (天井内コロガシ)
	区画貫通部
	MMBジャンクションボックス



2階平面図 S=1:200

	既設点検口600 [□]
	天井点検口450 [□] (建築工事)

	照明器具 LSS9-4-30
	タンブラスイッチ (3路)
	タンブラスイッチ (4路)
	コンセント (2P15A x 2接地極付)
	EM-EEF1.6-3C+2C (天井コナシ)
	EM-EEF1.6-3C (天井コナシ)
	区画貫通部
	MMBジャンクションボックス



3 階平面図 S=1:200

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称

千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日

令和 7 年 1 1 月 日

特記事項

変更年月日

令和 年 月 日

特記事項

変更年月日

令和 年 月 日

特記事項

図面名

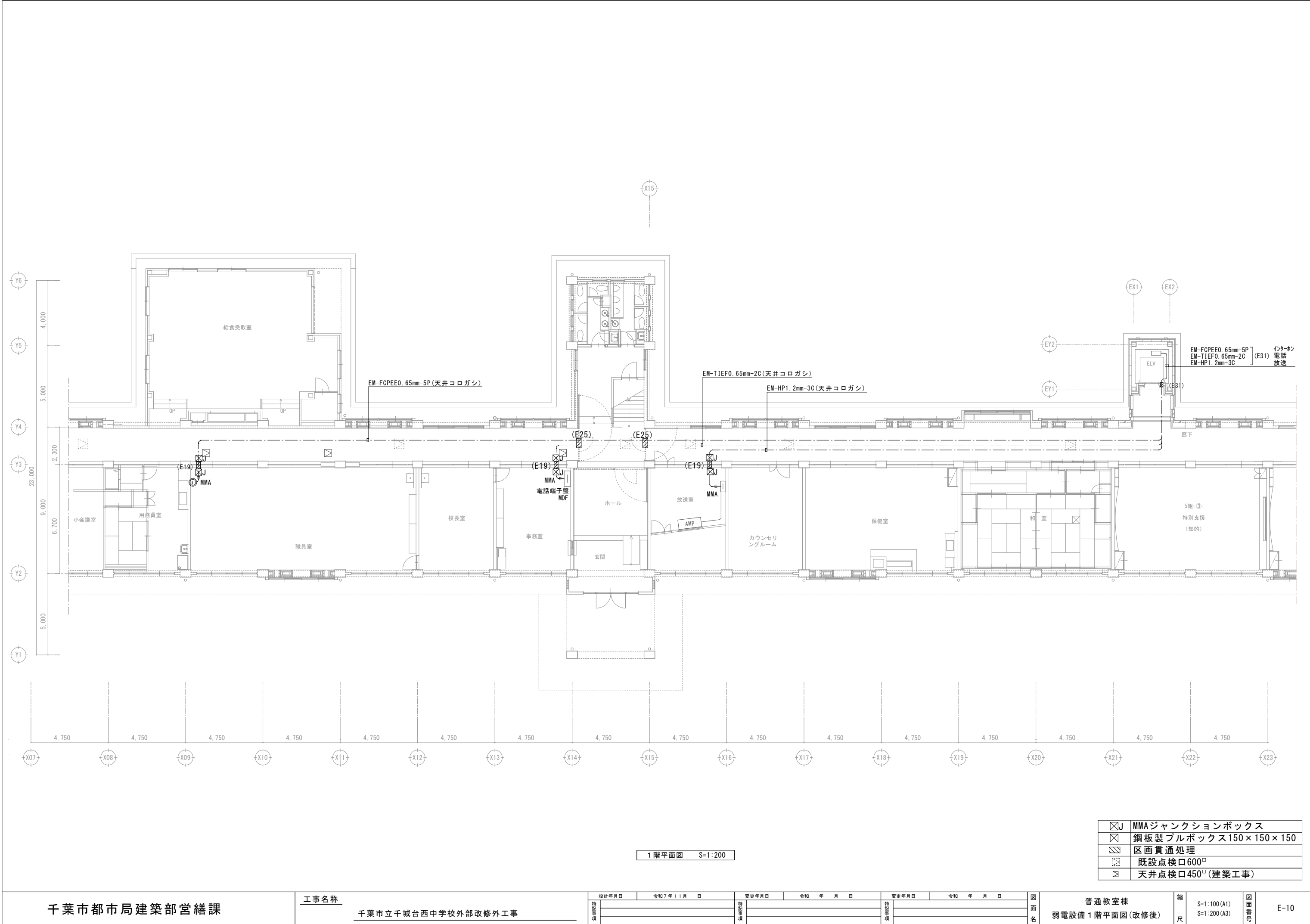
普通教室棟
電灯設備 3 階平面図 (改修後)

縮尺

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

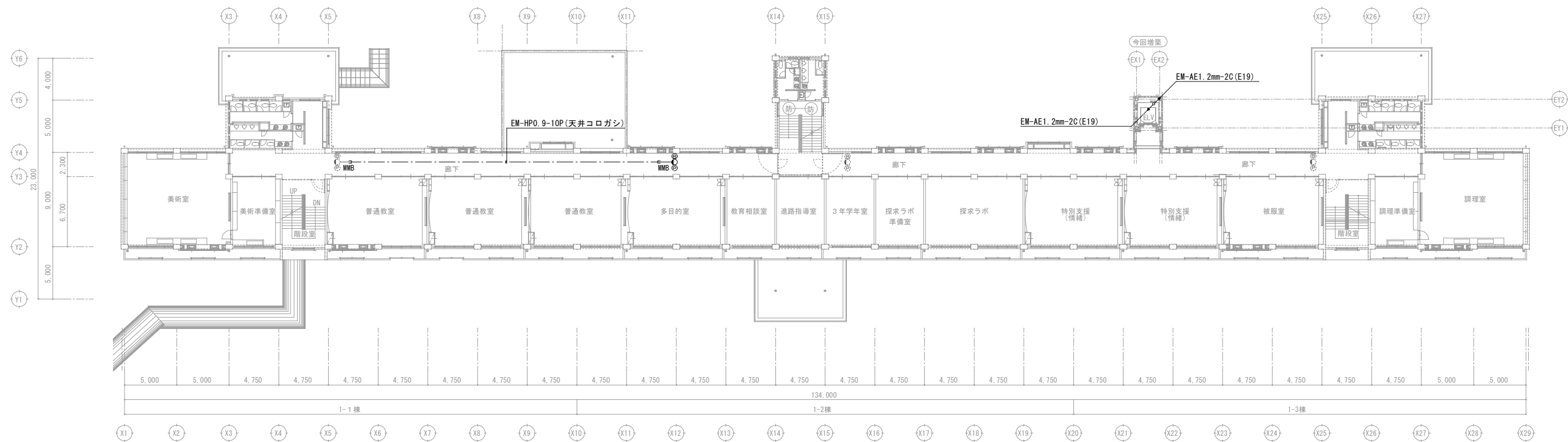
図面番号

E-09

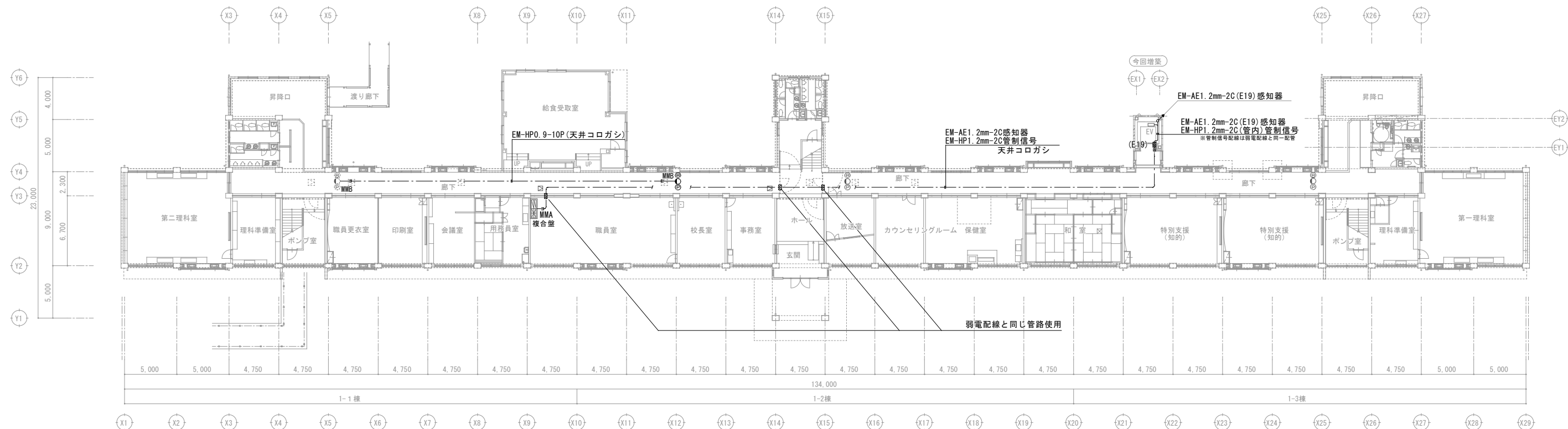


1 階平面図 S=1:200

	MMAジャンクションボックス
	鋼板製プルボックス150×150×150
	区画貫通処理
	既設点検口600 [□]
	天井点検口450 [□] (建築工事)



2階平面図 S=1:200



1階平面図 S=1:200

	ベル	表示灯	発信機	増設
	ベル	表示灯	発信機	既設
	既設点検口600 [□]			
	天井点検口450 [□] (建築工事)			

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称
千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和7年11月 日

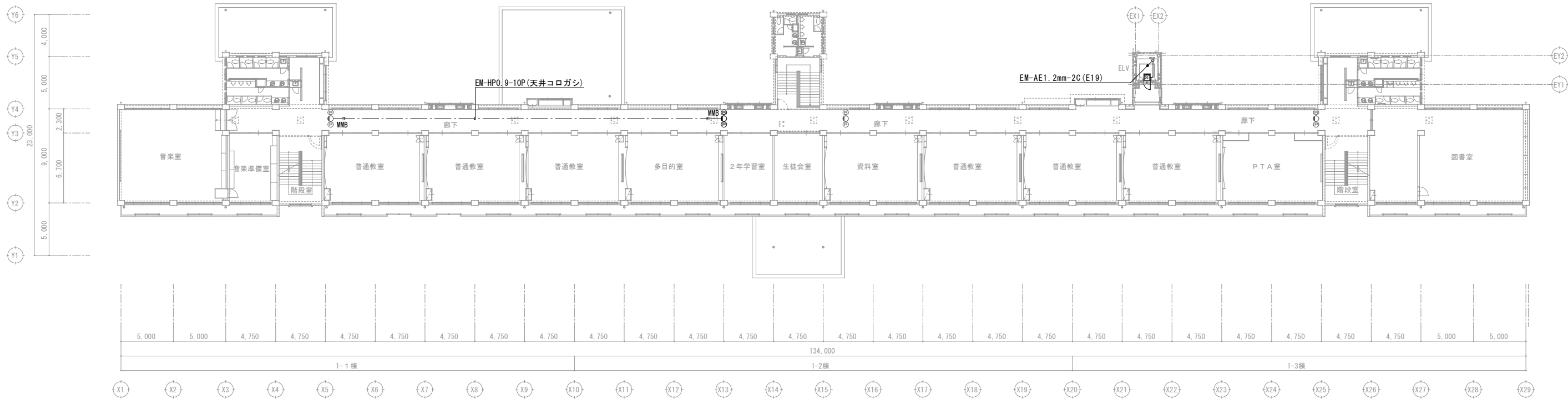
変更年月日
令和 年 月 日

変更年月日
令和 年 月 日

図面名
普通教室棟 自動火災報知設備
1, 2階平面図(改修後)

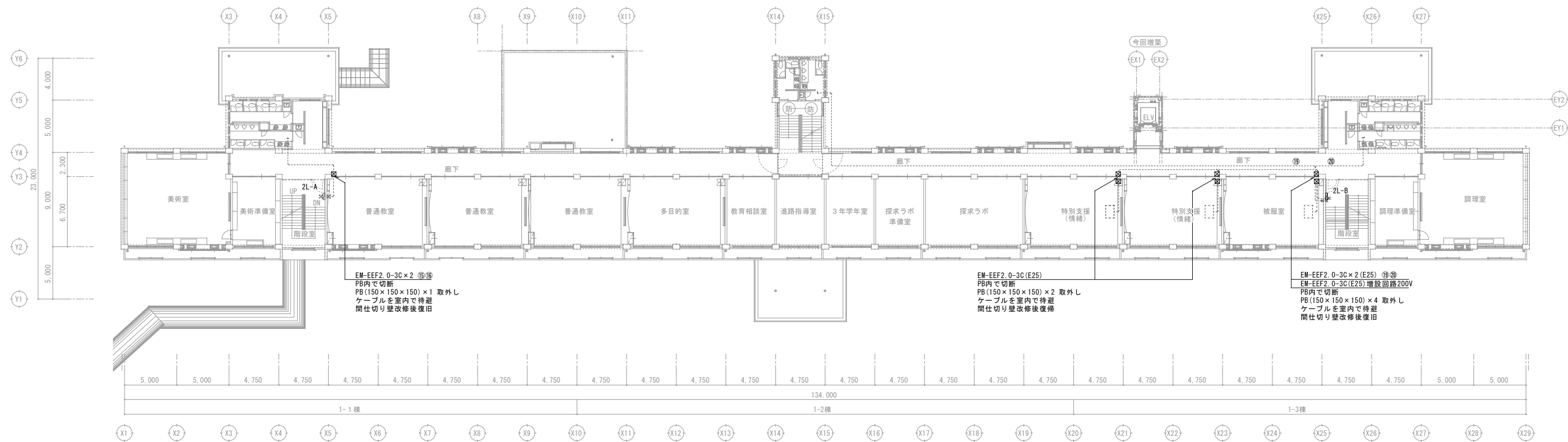
縮尺
S=1:200(A1)
S=1:400(A3)

図面番号
E-11

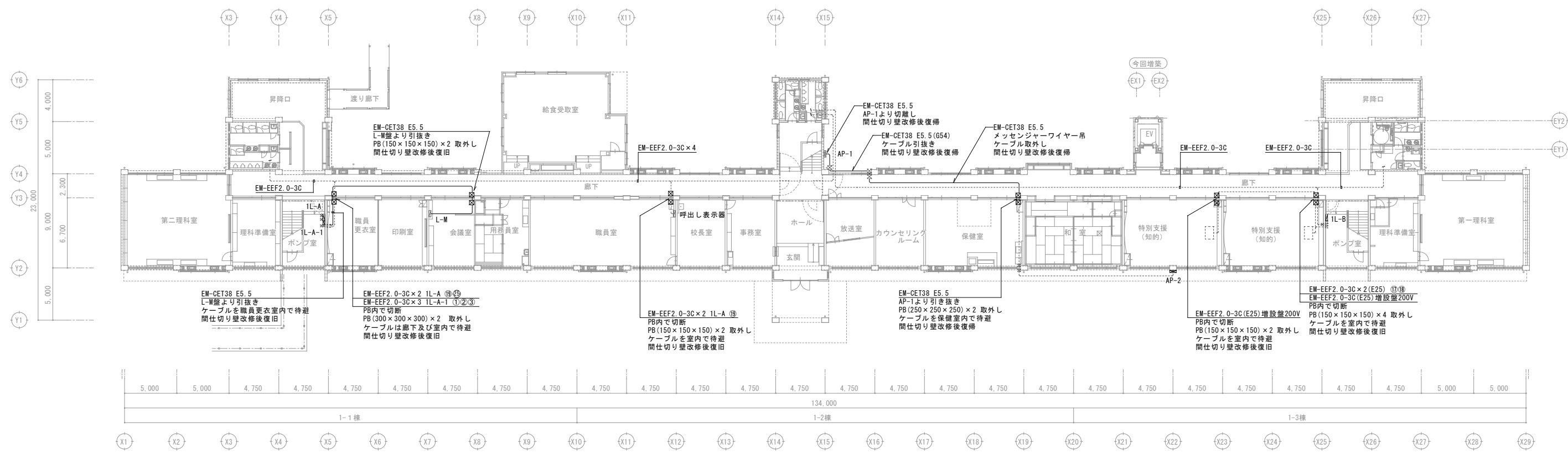


3 階平面図 S=1:200

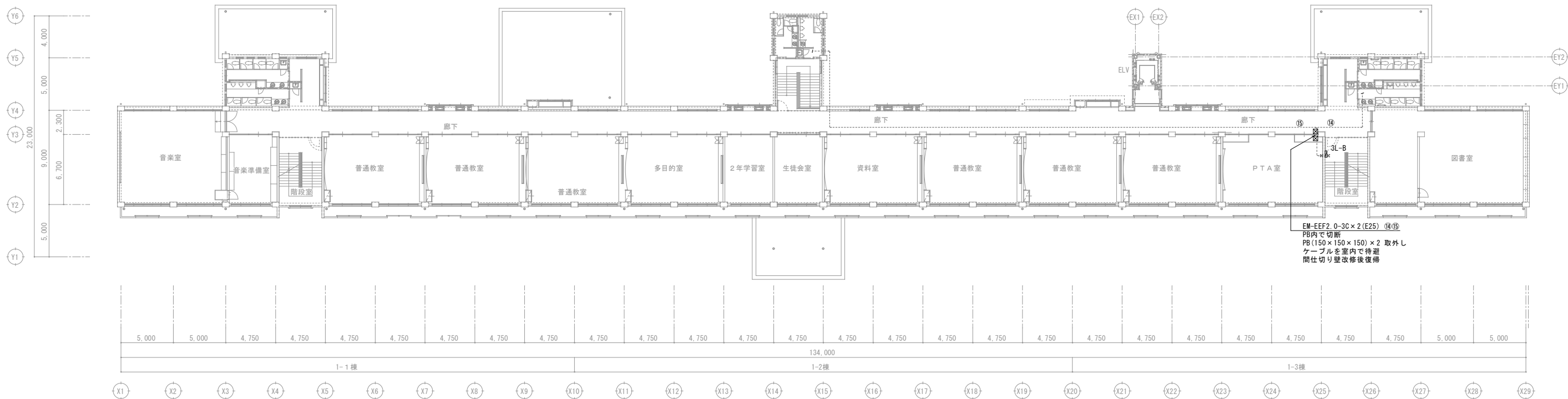
ⓂⓄⓈ	ベル 表示灯 発信機	増設
ⓂⓄⓈ	ベル 表示灯 発信機	既設
Ⓜ	煙感知器(ボックス)付き	新設
Ⓜ	既設点検口600 [□]	
Ⓜ	天井点検口450 [□] (建築工事)	



2階平面図 S=1:200

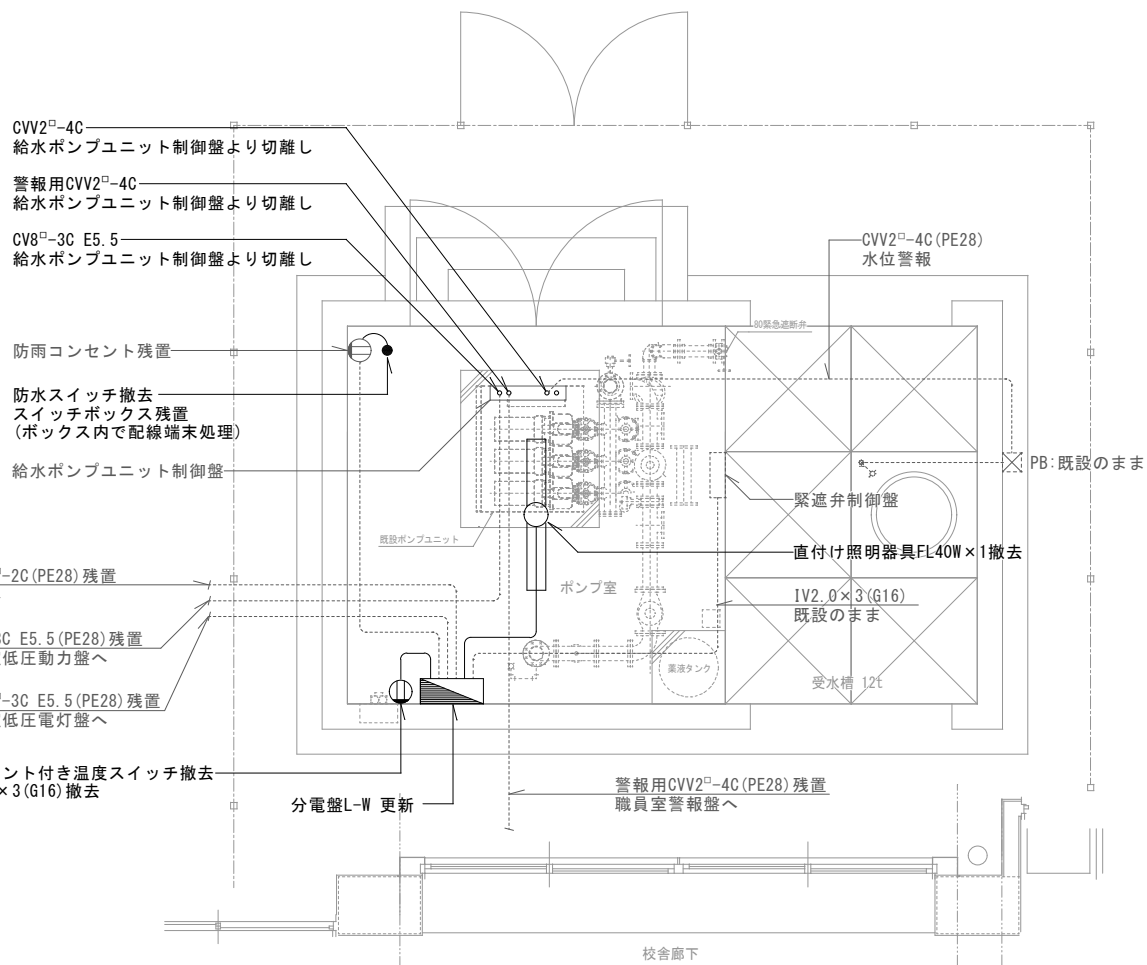
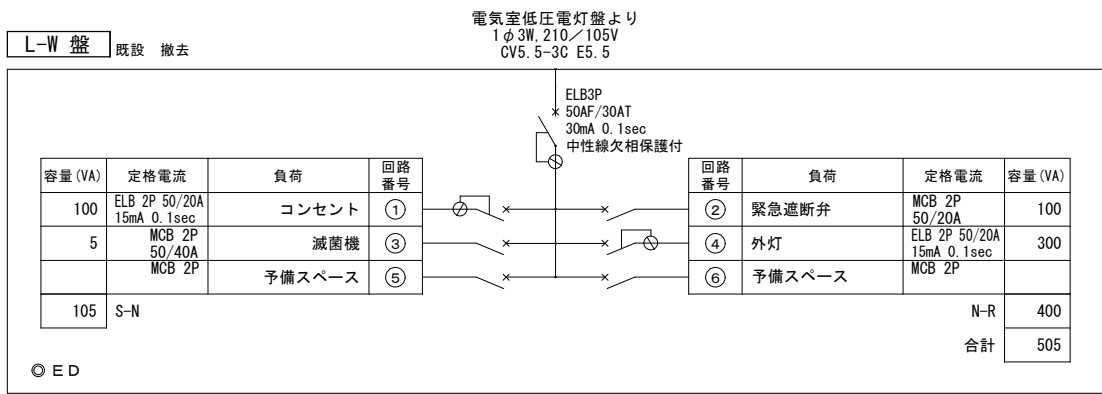


1階平面図 S=1:200



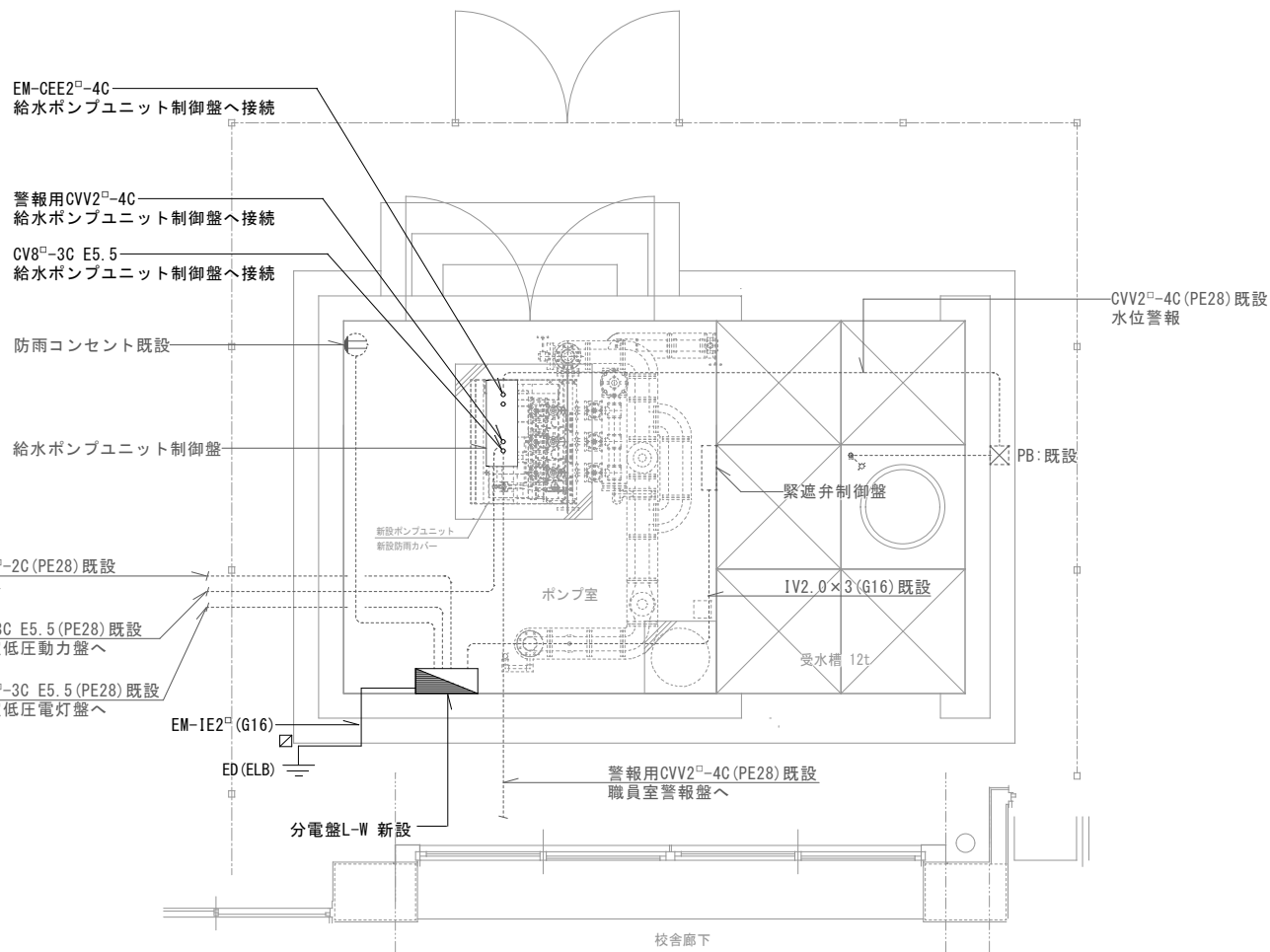
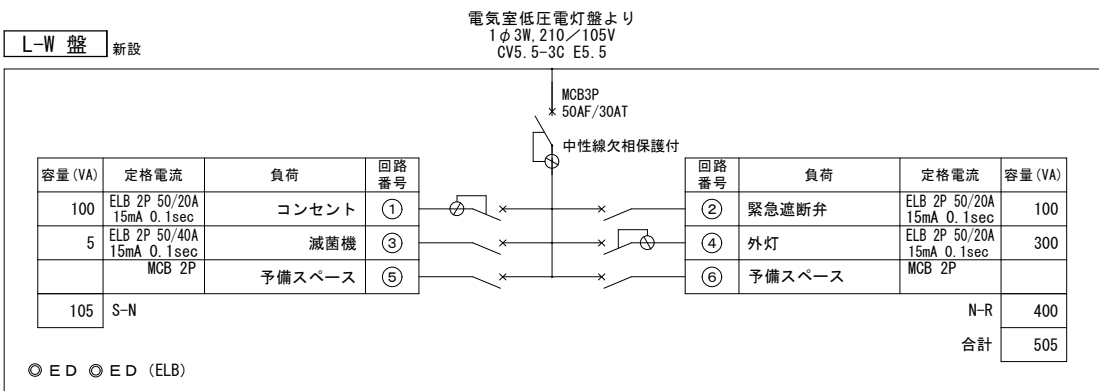
3階平面図 S=1:200

撤去

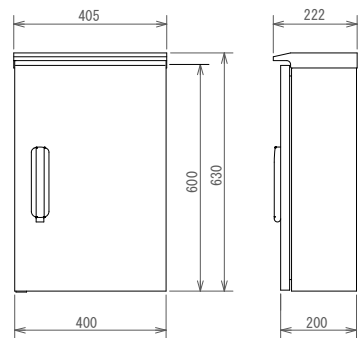


受水槽・ポンプ室 平面図

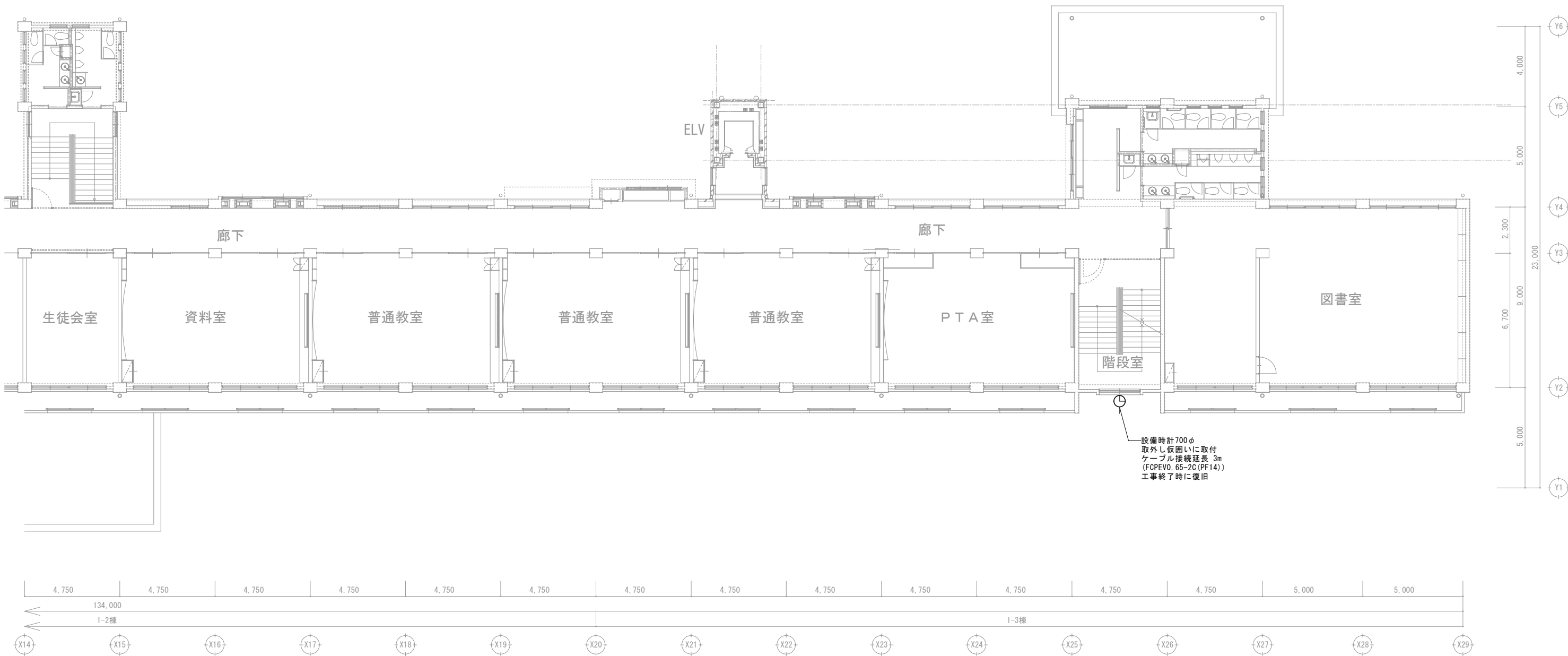
改修



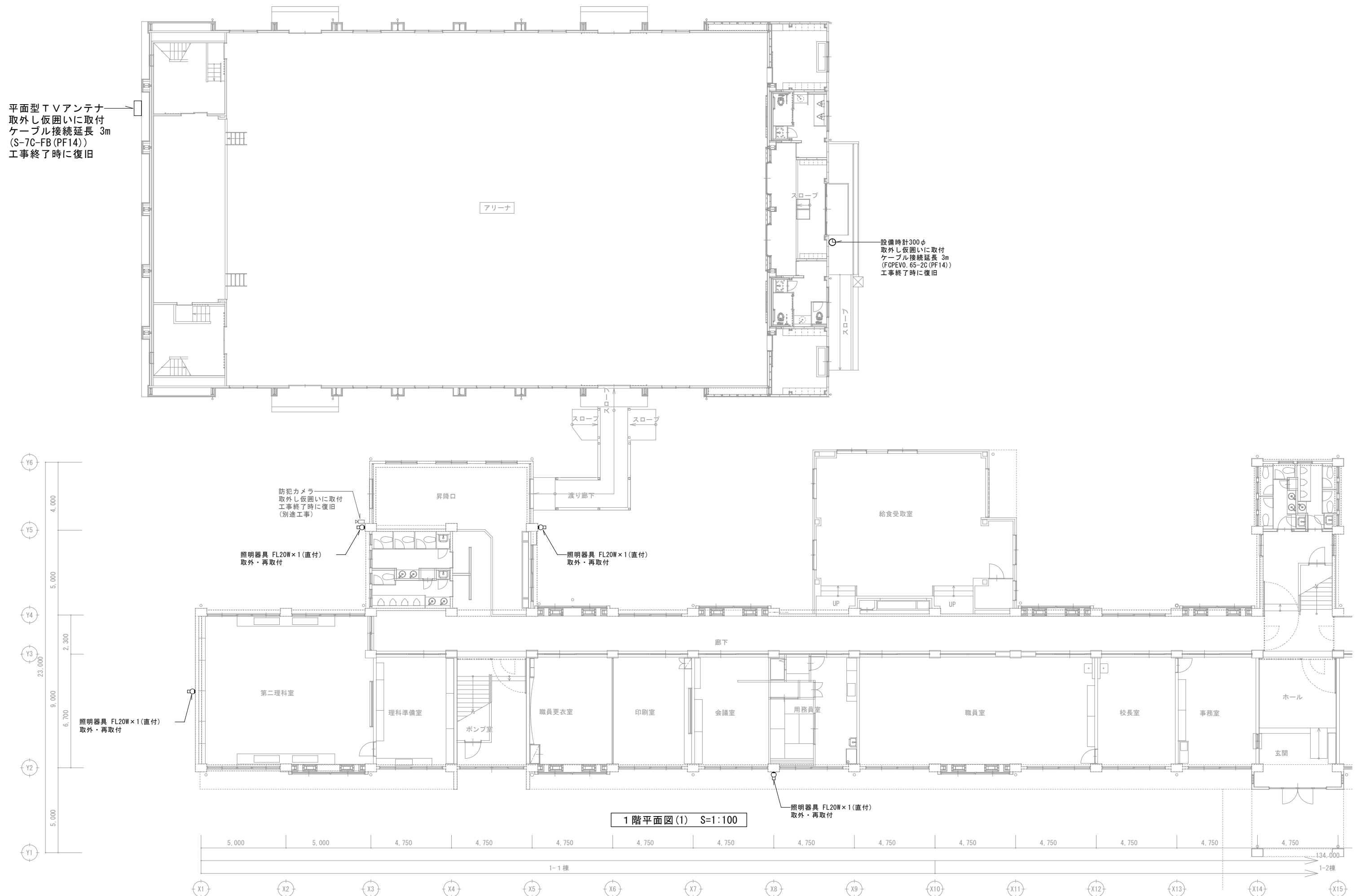
受水槽・ポンプ室 平面図

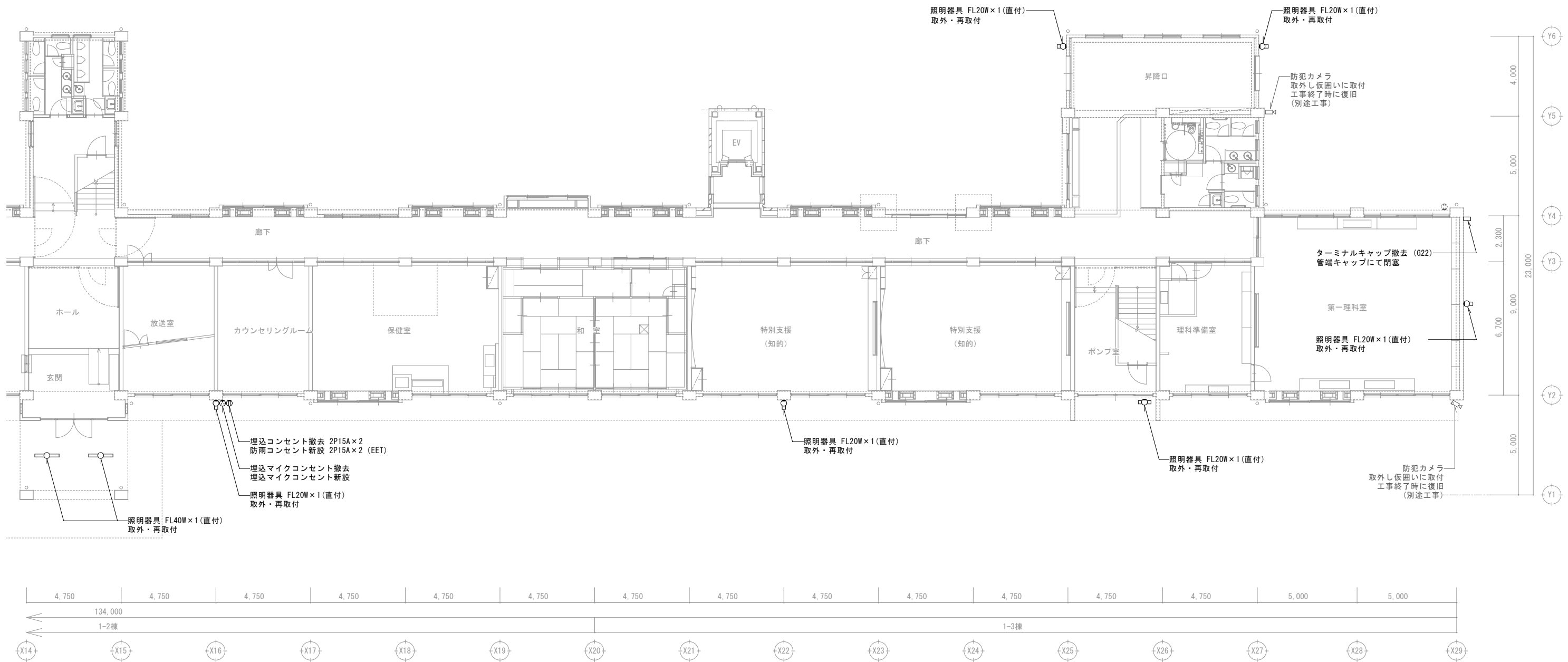


耐風雨キャビネット
屋外用 壁掛け SUS製
寸法は参考とする

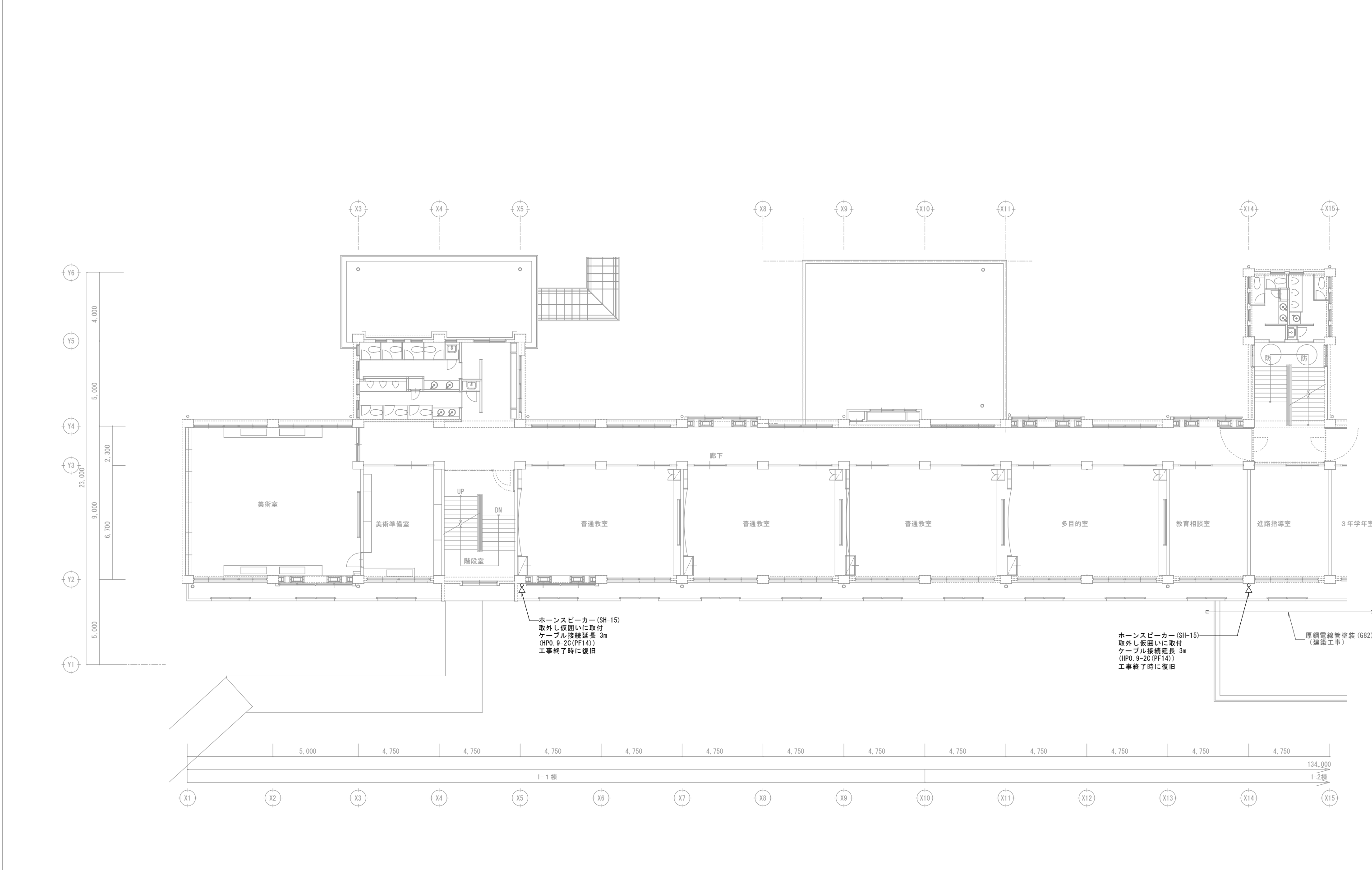


3階平面図(2) S=1:100

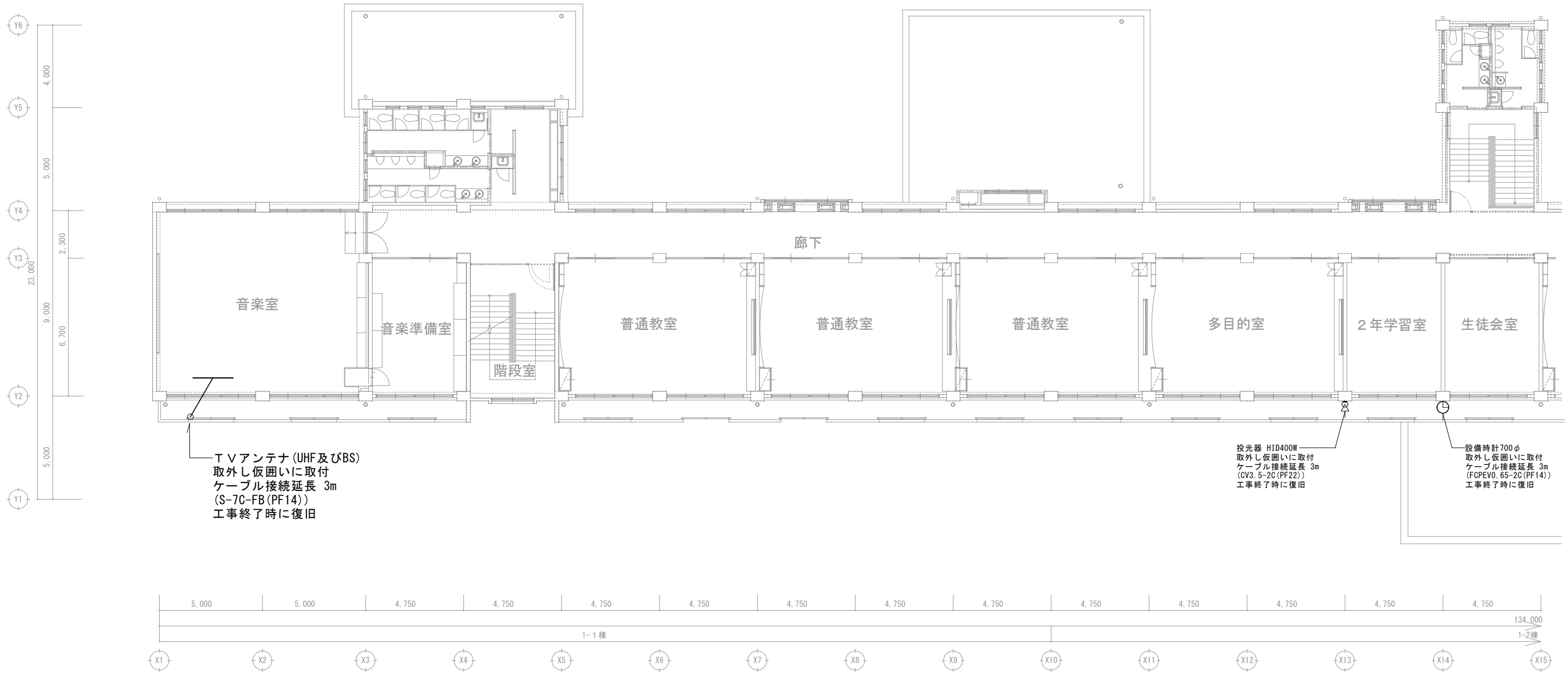




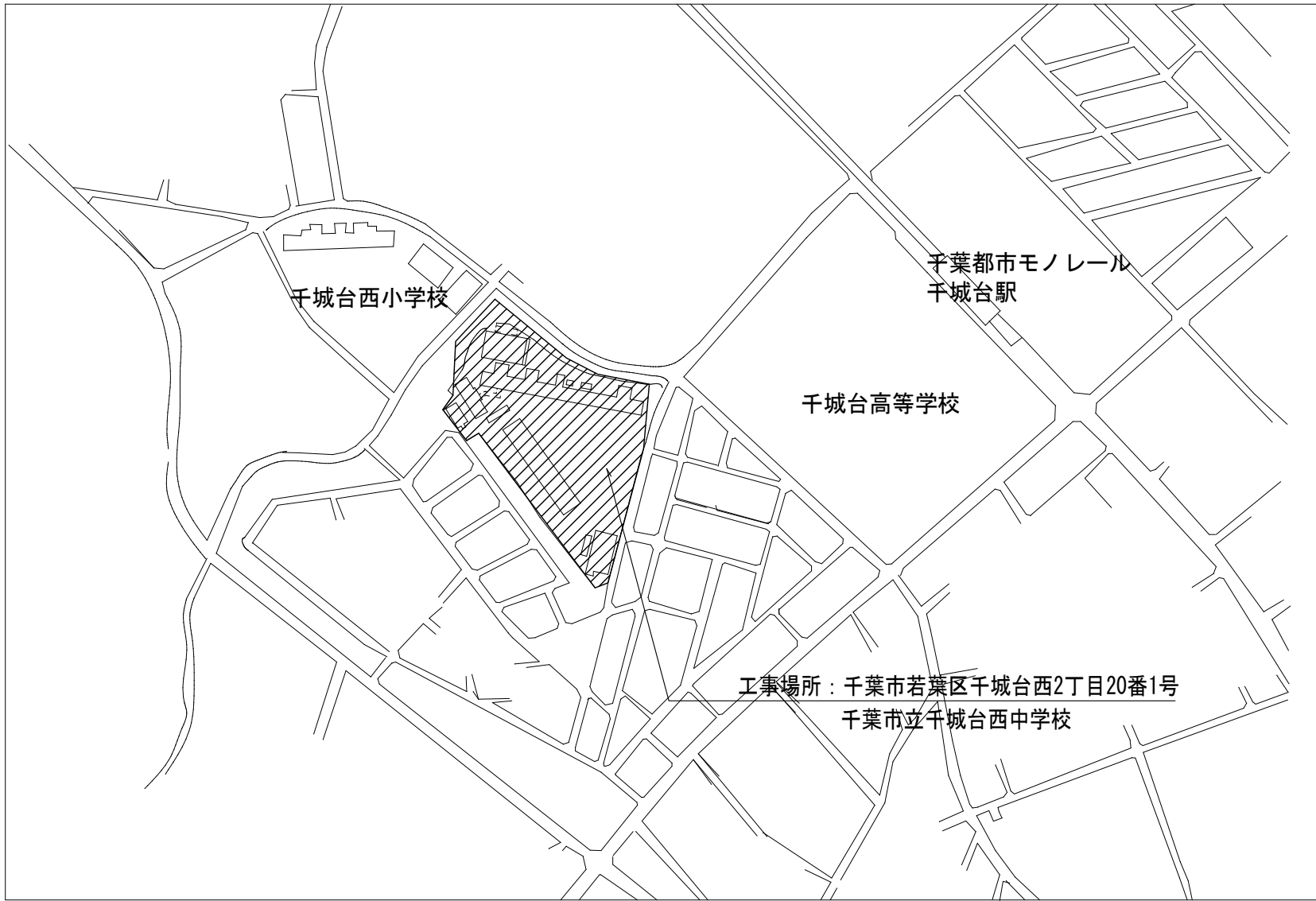
1 階平面図 (2) S=1:100



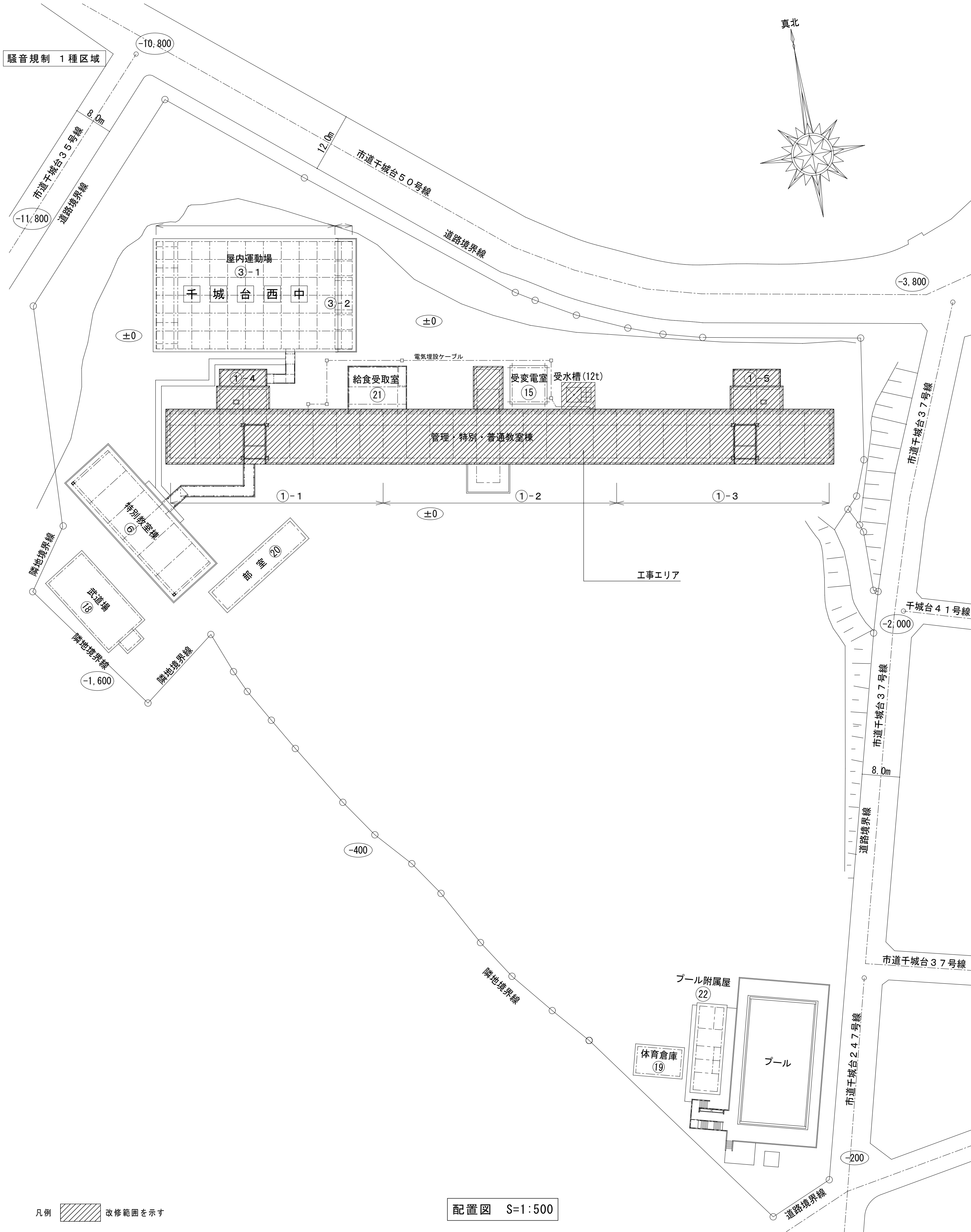
2階平面図(1) S=1:100



3階平面図(1) S=1:100



案内図 S=N/S



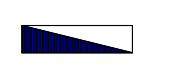
凡例 改修範囲を示す

配置図 S=1:500

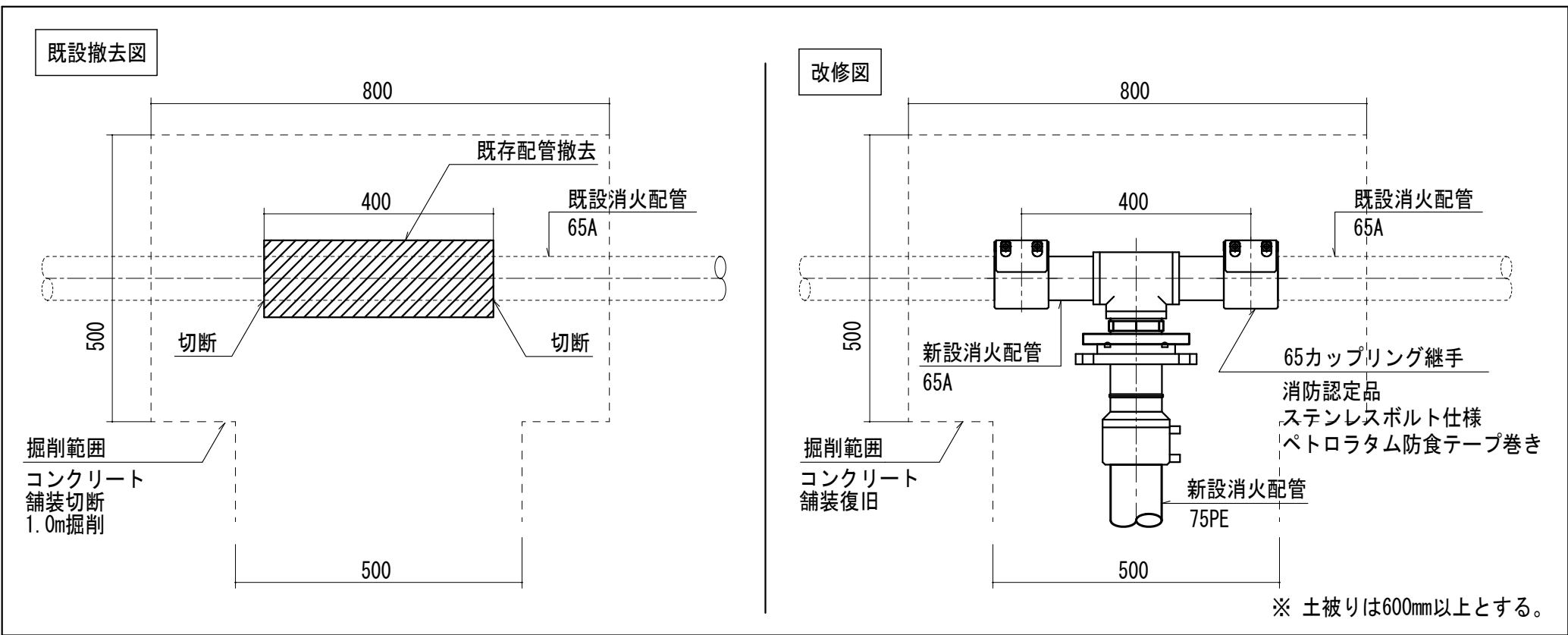
消火設備 機器表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量（参考）		台数	据付位置	備考
			電源	kW			
HB-2B （新設）	屋内消火栓箱	1号消火栓 露出型			3	1～3階廊下	
		1000×750×180D					
		付属品ホース、ホースかけ、ノズル（噴射式）、消火栓弁 その他付属品共					コーナー部にクッション取付のこと （1台2箇所）

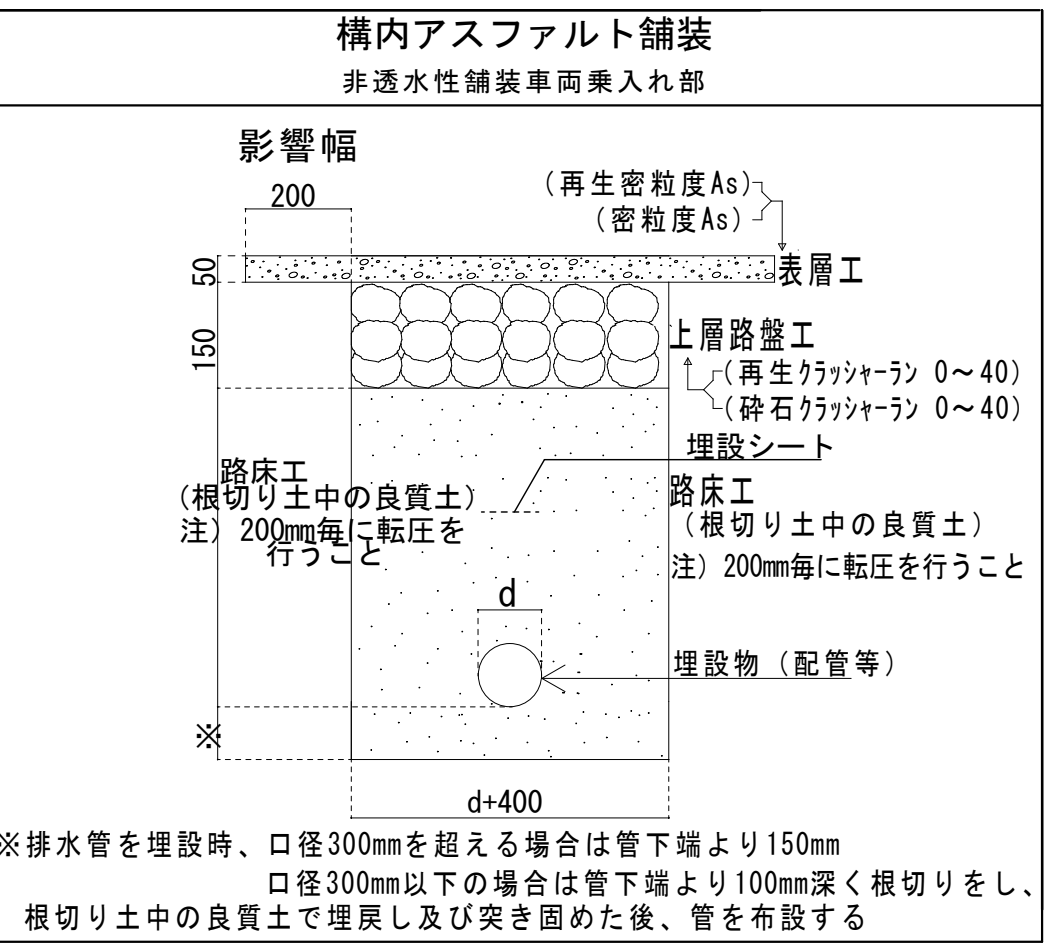
凡例

記 号	名 称	仕 様	規 格	使 用 箇 所	備 考
	消火管（屋内消火栓用）	（地中）消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	WSP 041	埋設	
		（その他）配管用炭素鋼鋼管（白）【屋内】	JIS G 3452	屋内露出	
		配管用炭素鋼鋼管（白）【屋内】	JIS G 3452	屋外露出	
	屋内消火栓	1号消火栓			既設配管
	ABC粉末消火器10型				特記なき消火器は既設を示す
	地中埋設標				
	配管架台	C型支持架台	100Hx50W	立管部分	
		三角ブラケット	300x300	露出横引き部分	

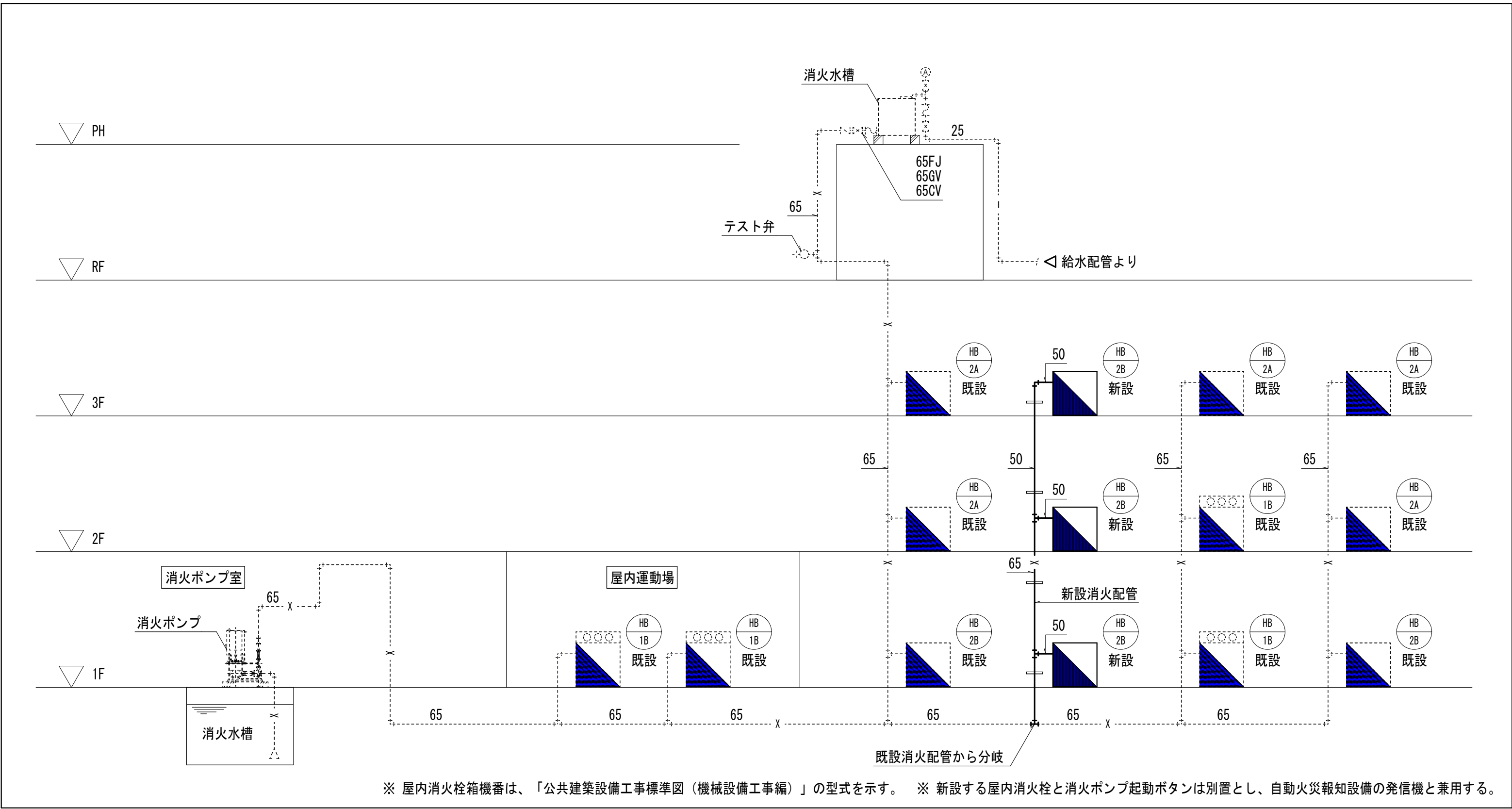
新設管分岐部分詳細図



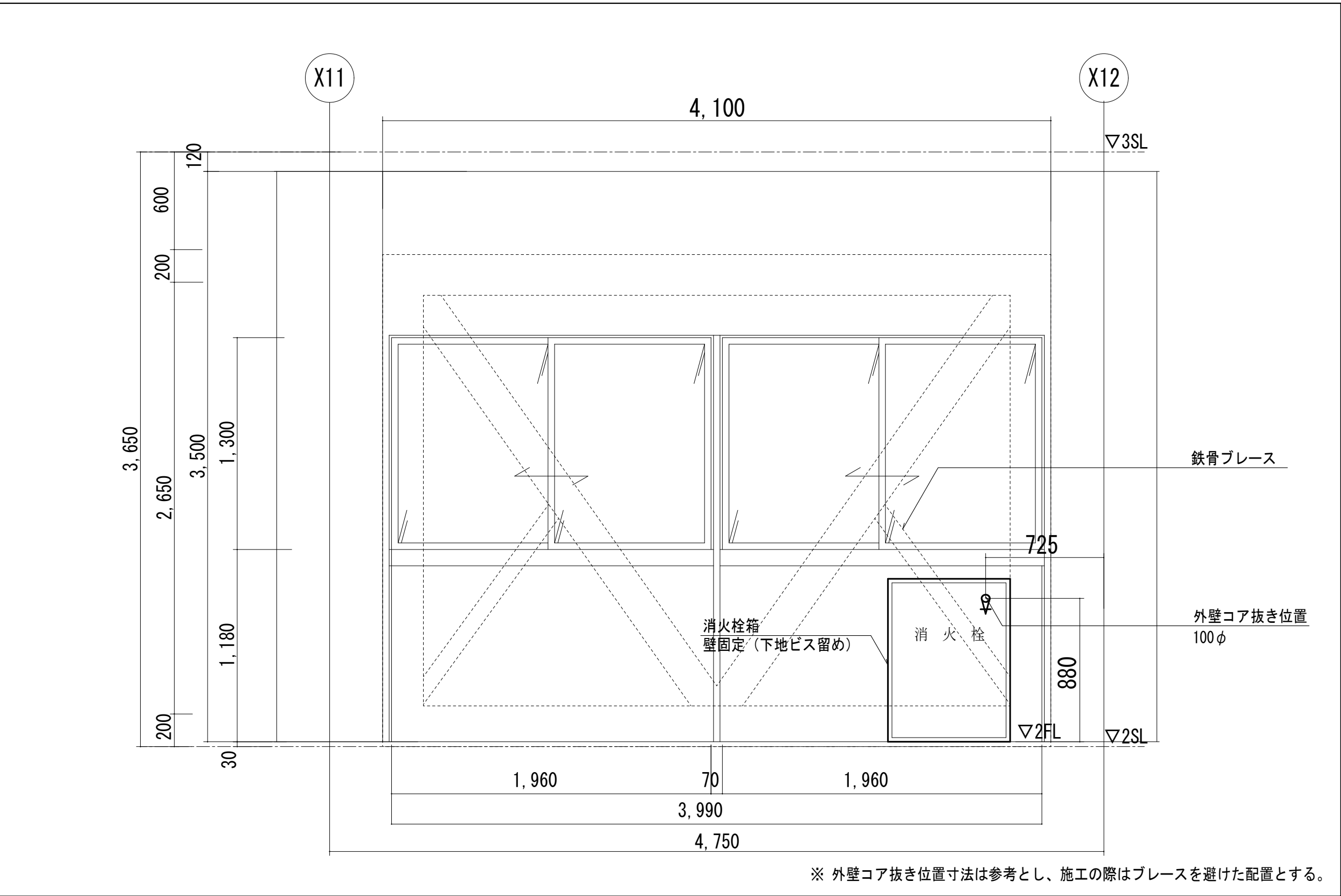
車道舗装断面図



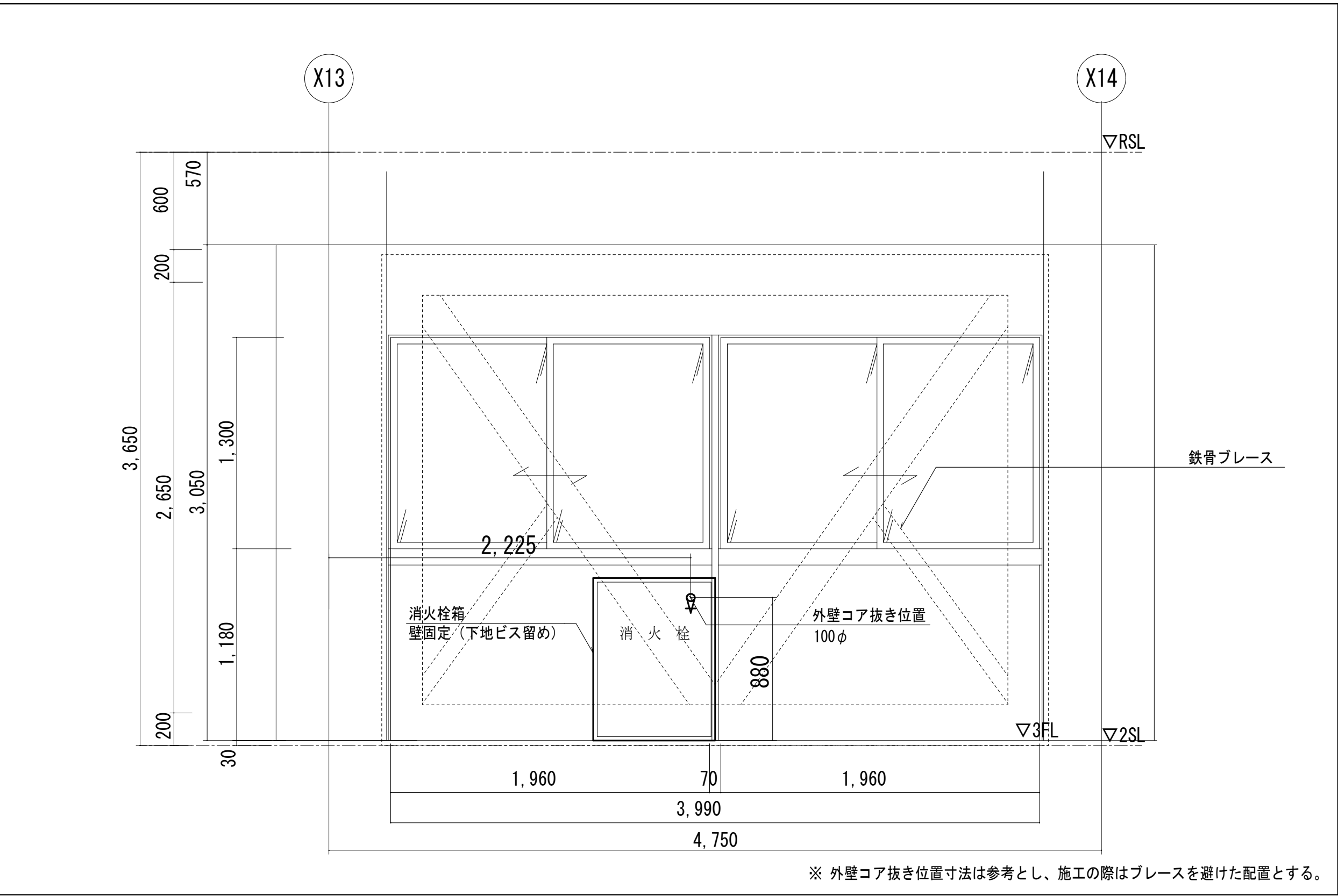
配管系統図

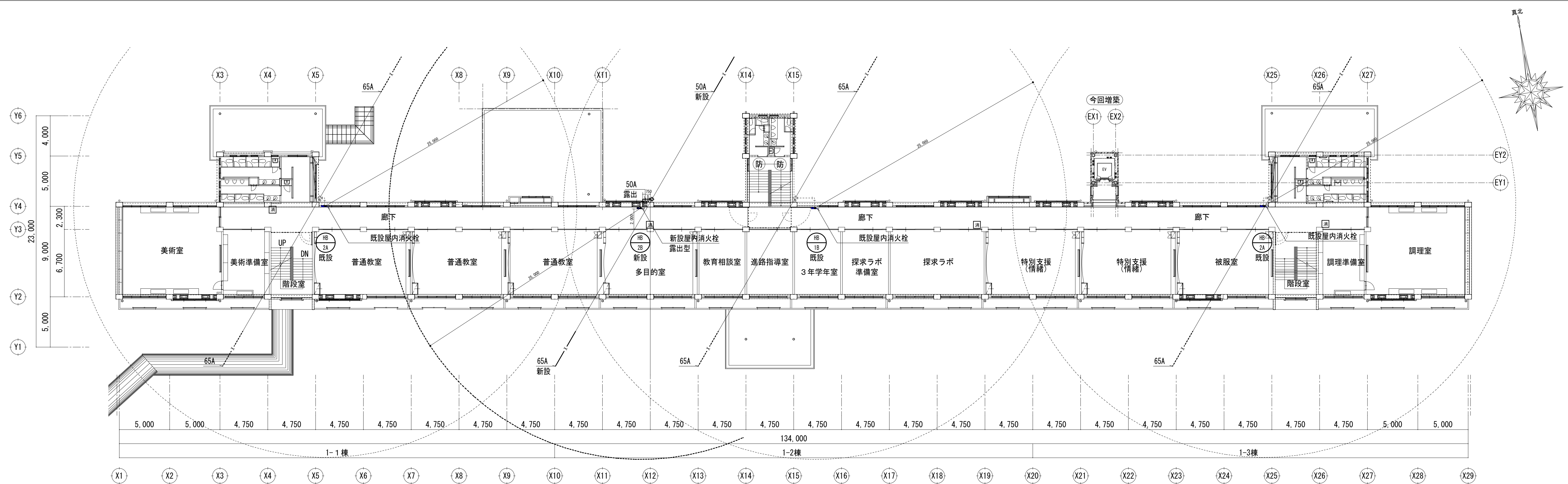


2階建具廻り断面詳細図

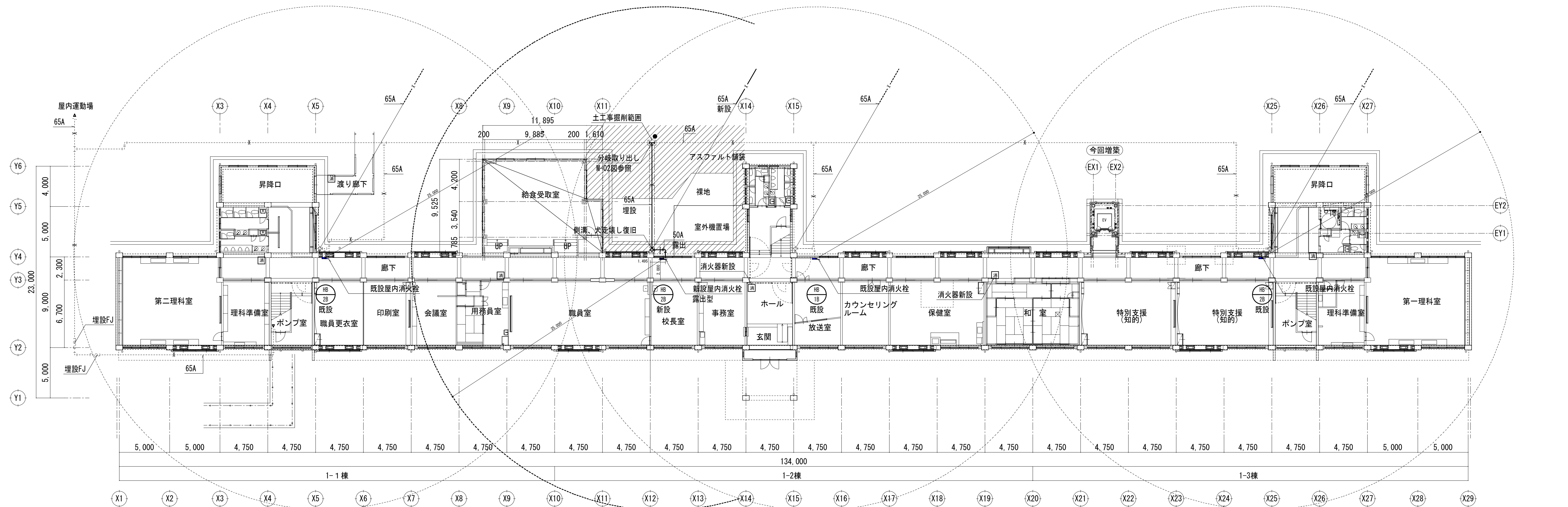


3階建具廻り断面詳細図

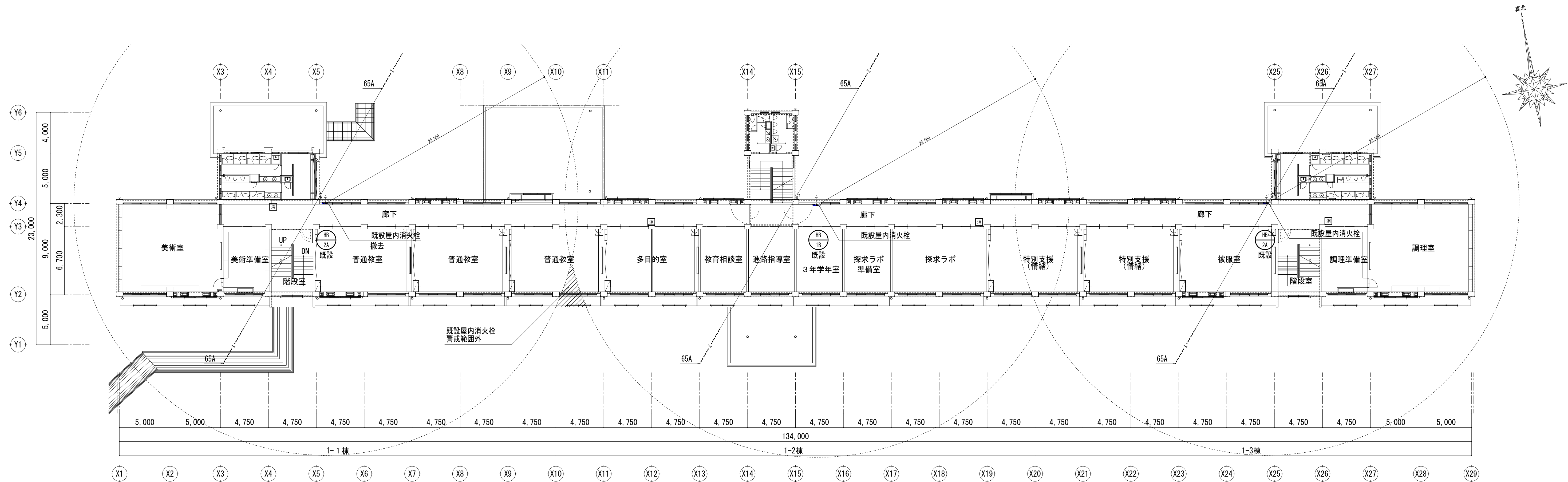




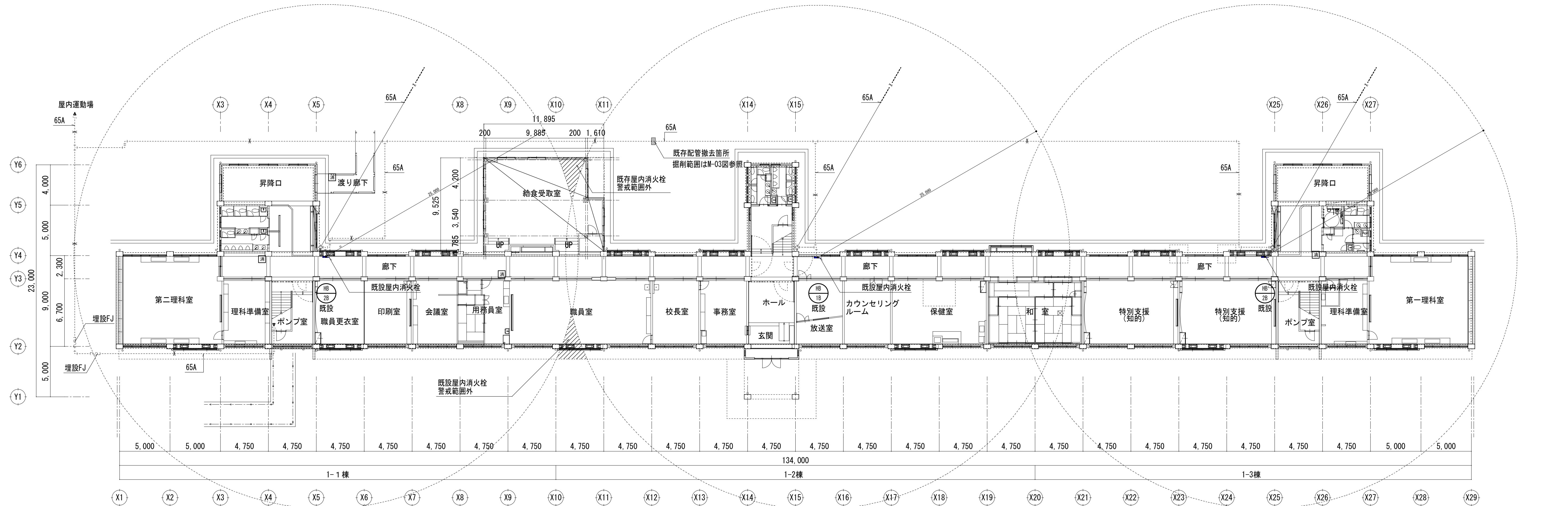
新設 2階平面図 S=1:200



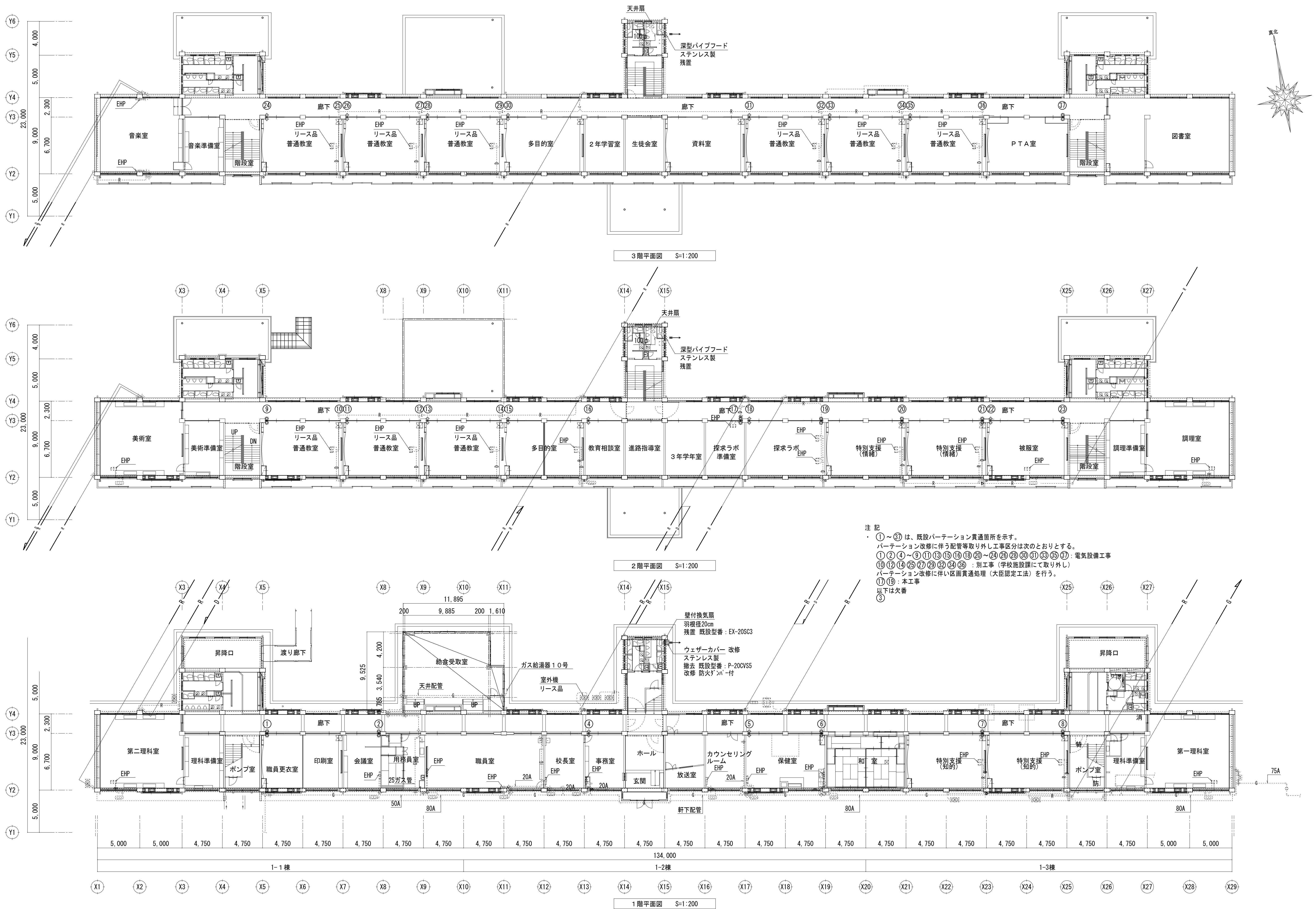
新設 1階平面図 S=1:200

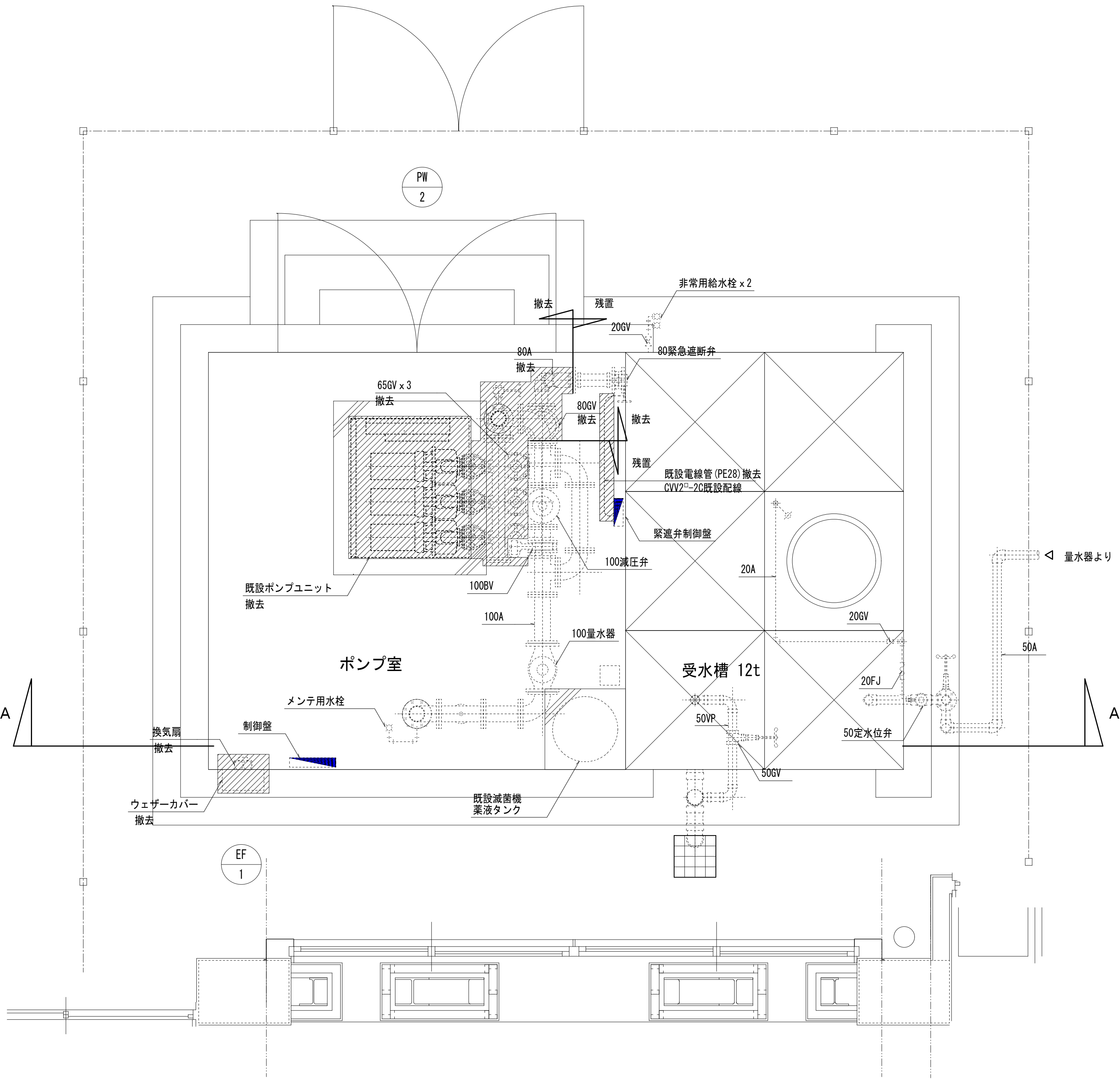


既設 2階平面図 S=1:200



既設 1階平面図 S=1:200





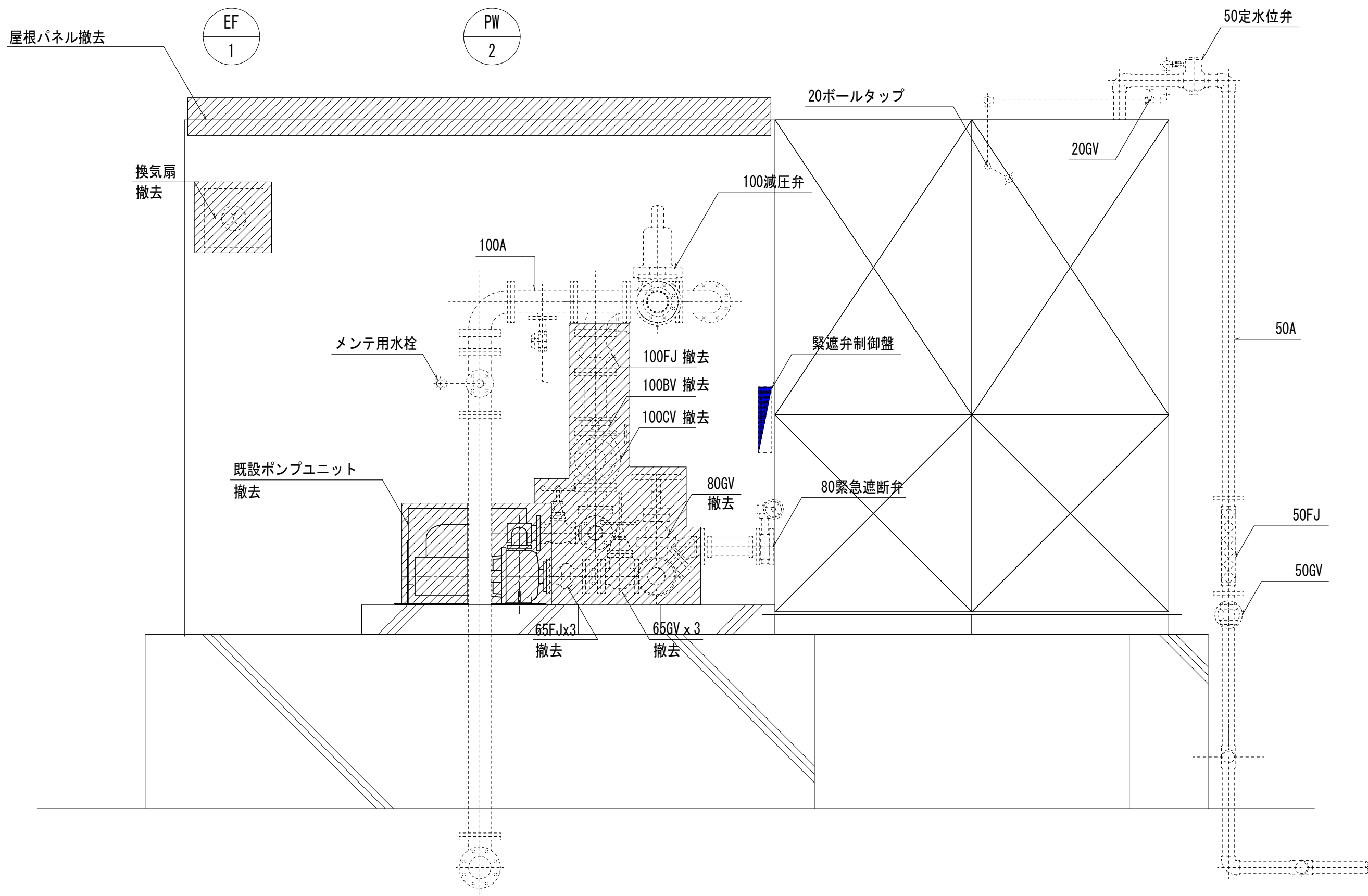
受水槽・ポンプ室 平面図

給水設備 機器表

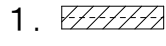
機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量 (参考)		台数	据付位置	備考
			電源	kW			
PW-2 (撤去)	加圧給水ポンプ ユニット	推定末端圧力一定給水ユニット 口径：65A 水量：290L/min 揚程：35m 3台ローテーション2台並列運転	3φ200V	2.2x2	1	ポンプ室	
EF-1 (撤去)	有圧換気扇	低騒音型 250φ 5400MH 温湿度スイッチ付	1φ100V	0.05	1	ポンプ室	

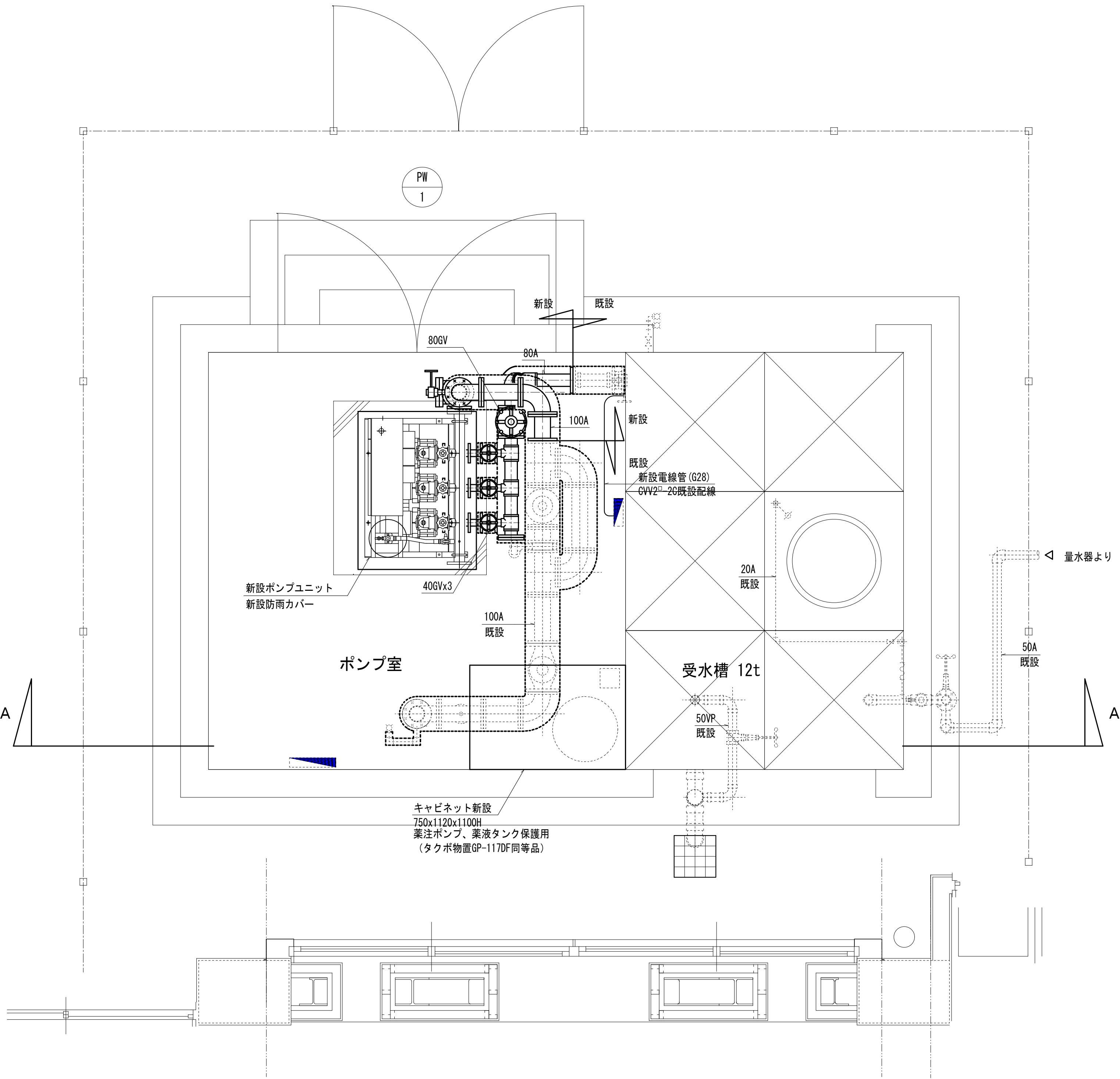
凡例

記 号	名 称	仕 様	規 格	使 用 箇 所	備 考
-----	給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	JWWA K 132	屋外露出	既設配管



受水槽・ポンプ室 A-A断面図

注記
1.  は撤去範囲を示す。



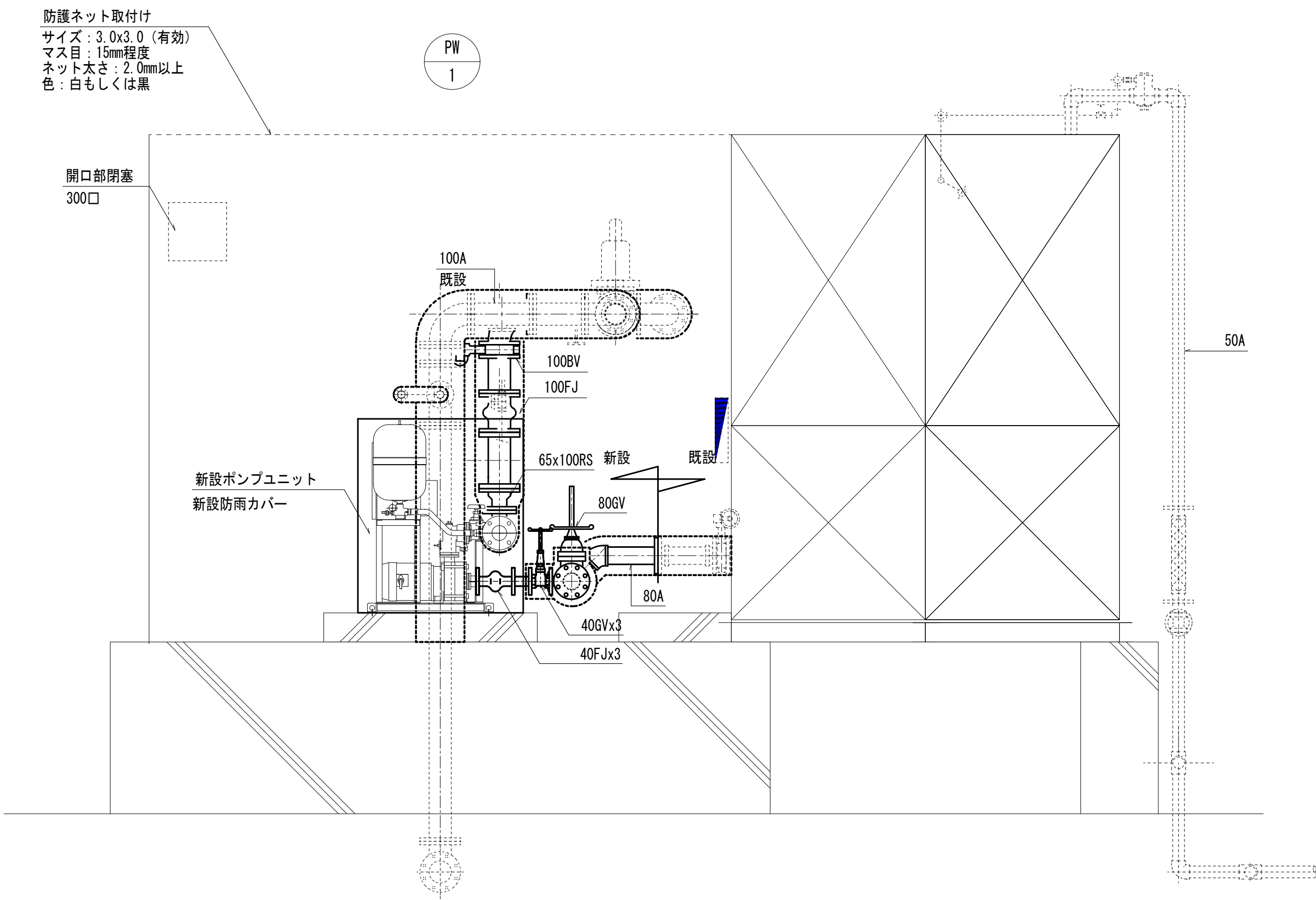
受水槽・ポンプ室 平面図

給水設備 機器表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量 (参考)		台数	据付位置	備考
			電源	kW			
PW-1	加圧給水ポンプユニット	推定末端圧力一定給水ユニット 口径：65A 水量：290L/min 揚程：35m 3台ローテーション2台並列運転 屋外設置用カバー付き	3φ200V	2.2x2	1	ポンプ室 (屋外)	既存コンクリート基礎再使用

凡例

記号	名称	仕様	規格	使用箇所	備考
給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (VB)		JWWA K 116	屋外露出	既設配管
仕切弁	(50A以下) 青銅仕切弁 (65A以上) ライニング仕切弁		JIS 5K (ねじ) JIS 5K (フランジ)	屋外露出 屋外露出	
バタフライ弁	ライニングバタフライ弁		JIS 10K (ウエハー)	屋外露出	
逆止弁	ライニング逆止弁		JIS 10K	屋外露出	
フレキシブルジョイント	合成ゴム製			屋外露出	



受水槽・ポンプ室 A-A断面図

- 注記
- 配管架台は既存再使用とする。
 - はラッキング範囲を示す。
 - 施工の際は、学校運営に影響しないよう留意すること。

エレベータ仕様					
概 略 仕 様	号機名（台数）		No. 1（1台）		
	用途		乗用 車いす仕様		
	積載量（定員）		750 kg（11人）		
	速度		45 m/min		
	制御方式		交流インバータ制御方式		
	操作方式		乗合全自動方式		
	停止ヶ所・出入口方向		（1～3FL）3ヶ所 1方向		
	かご内法（W×D×H）		1400 mm X 1350 mm X 2300 mm		
	出入口寸法（W×H）		800 mm X 2100 mm		
	ドア方式		2枚戸中央開き（電動式）		
	電動機出力		AC－ 3.5 kW（ギヤレス）（参考）		
	電源	動力	三相3線 200 V 50 Hz		
		照明	単相 100 V 50 Hz		
	管制運転	地震時	有（P波＋S波感知器（3段検知）リスタート機能付）		
		火災時	有		
自家発時		無			
浸水時／冠水時		有 全自動形（ビット冠水時（最寄階））			
停電時自動着床装置		有			
耐震クラス		A14			
かご内連絡装置		24V同時通話インターホン			
基本仕様		メーカー標準仕様			
乗 場 仕 様	三方枠		全階	大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア		全階	銅板製単色塗装仕上	
		防犯窓	1FL	網入ガラス（t6.8）（JIS R3204）とフロートガラス（t3.0）（JIS R3202）を合わせたもの・大窓【ドア面と面ー】	
		遮煙	全階	有	
	敷居		全階	硬質アルミ製またはステンレス製	
	乗場インジケータボタン	ボタン	全階	メーカー標準仕様	
		インジケータ	全階	デジタル階床表示式	
		フェースプレート	全階	メーカー標準仕様	
か ご 仕 様	天井照明		LED照明		
	換気装置		ファン		
	リターンパネル		メーカー標準仕様		
	出入口柱		メーカー標準仕様		
	ドア		化粧銅板		
		防犯窓	網入ガラス（t6.8）（JIS R3204）とフロートガラス（t3.0）（JIS R3202）を合わせたもの・大窓【ドア面と面ー】		
	幕板		化粧銅板		
	側板		化粧銅板		
	幅木		ステンレス製ヘアライン仕上		
	床		メーカー標準仕様		
	敷居		硬質アルミ製		
	操作盤	ボタン	メーカー標準仕様		
		インジケータ	メーカー標準仕様		
		フェースプレート	メーカー標準仕様		
	・千葉県福祉のまちづくり条例に準拠				
・バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準に準拠					

特記事項

- ・車いす仕様一式

・かご内鏡付（ステンレス製鏡面）

・かご内手摺付（ステンレス製、2方向）

・非常放送スピーカー付（消防適合品）

・非常呼ボタンガード付

・非常呼ボタン応答灯付

・機械式ドアセフティ（両側）付

・遠隔監視機能用インターフェイス
- ・音声案内装置付

・点字銘板付

・乗場点字注意銘板付

・高調波対策付

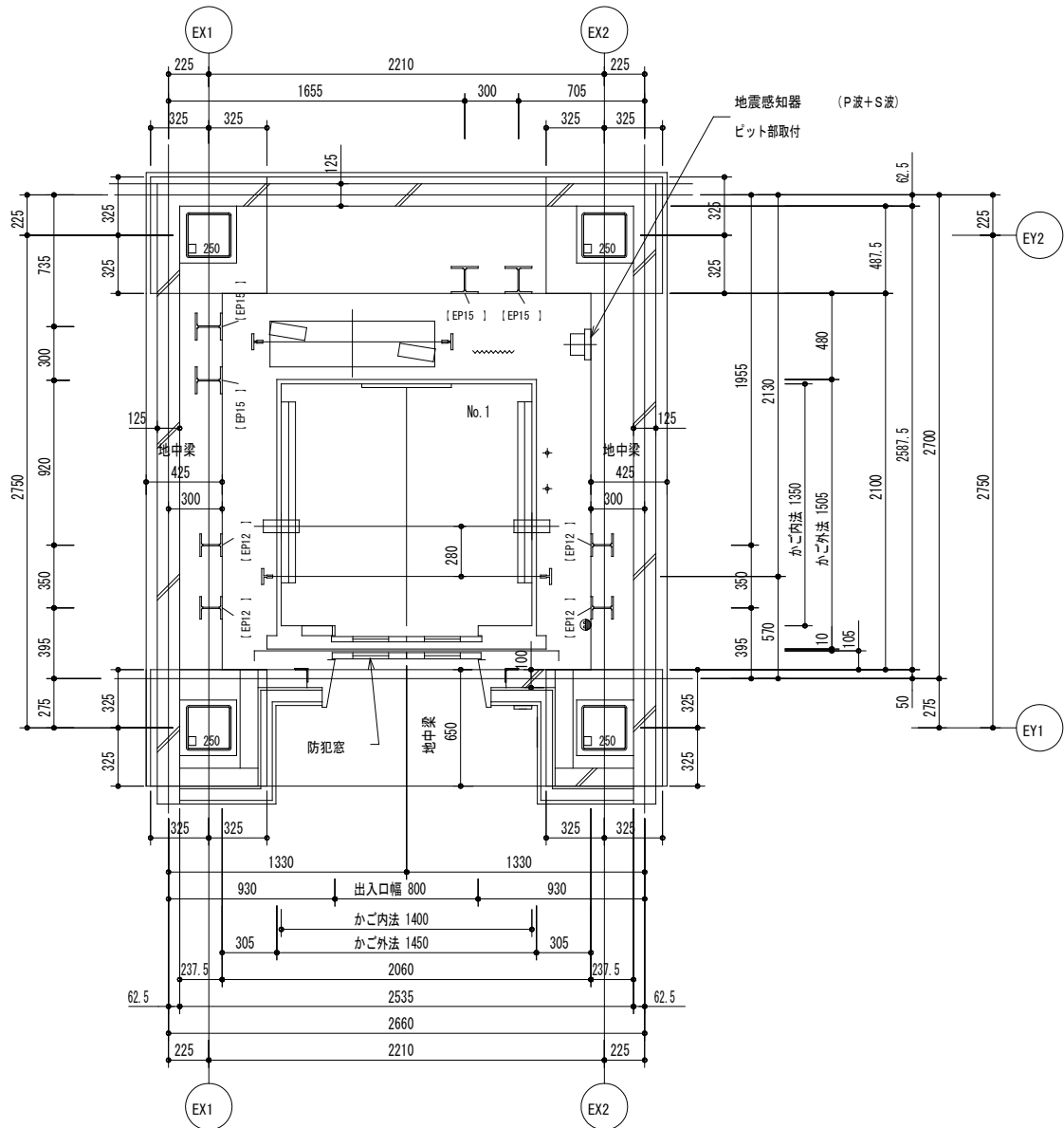
・雷サージ対策

・公共工事標準仕様書

・キックプレート

・外部インターホン（1F職員室）

電源設備				
(1台1回線)				
号機名		No. 1		
電源設備容量	動力	200 V 4 kVA		
	照明	100 V 1.5 kVA		
最大電流		21.3 A		
動力線サイズ (mm ²)		5.5	8	14
最大引込み距離 (m)		76	118	205
建屋側MCCB		30 A		
接地線最小サイズ		2 mm ²		
インターホン用配線		φ 0.9 x 10 本		
電話用配管・配線		φ 19 配管 ・電話線 1 P		
ビットコンセント容量		1 kVA/台		



昇降路平面図（1 F L）

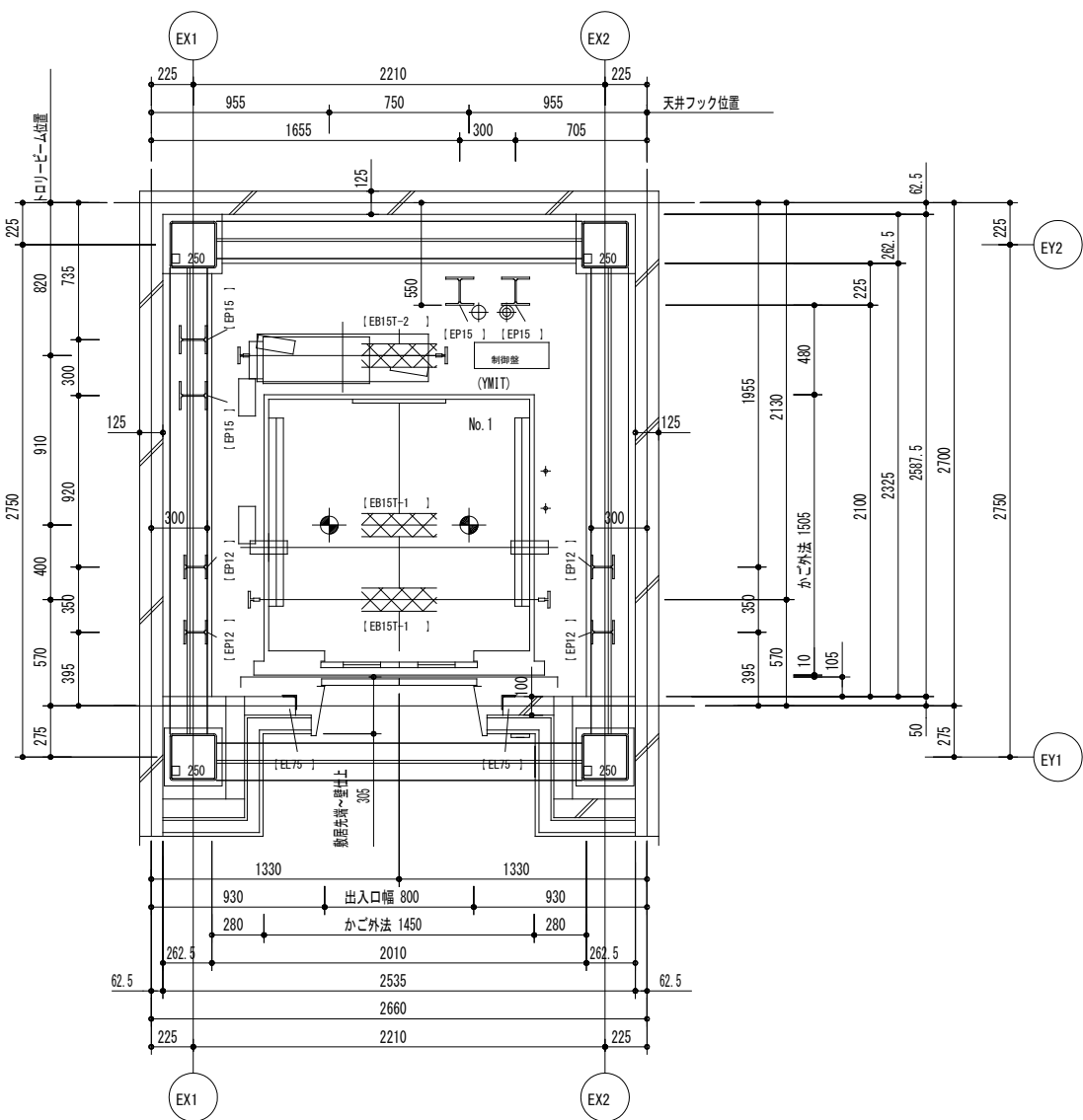
1 : 20

	ピット点検用コンセント	(電気工事)
	T、C保護金網	(エレベータ工事)

鉄骨部材記号表（建築工事）		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL658	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元（荷重9.8kN用）	t12（φ75穴付）
EB15T-2	トロリービーム（荷重9.8kN）	H-125x125x6.5x9
EB15T-1	トロリービーム（荷重19.6kN）	H-125x125x6.5x9

レール反カリスト（地震時作用荷重）		No. 1
	かご側	Px 4.10 kN
	一般階	Py 2.10 kN
	かご側	Px 4.60 kN
	最上階	Py 3.20 kN
	おもり側	Px 6.40 kN
	一般階	Py 3.20 kN
	おもり側	Px 9.60 kN
	最上階	Py 6.50 kN

上記 荷重による柱及び梁のたわみは5mm以下となるよう選定すること。



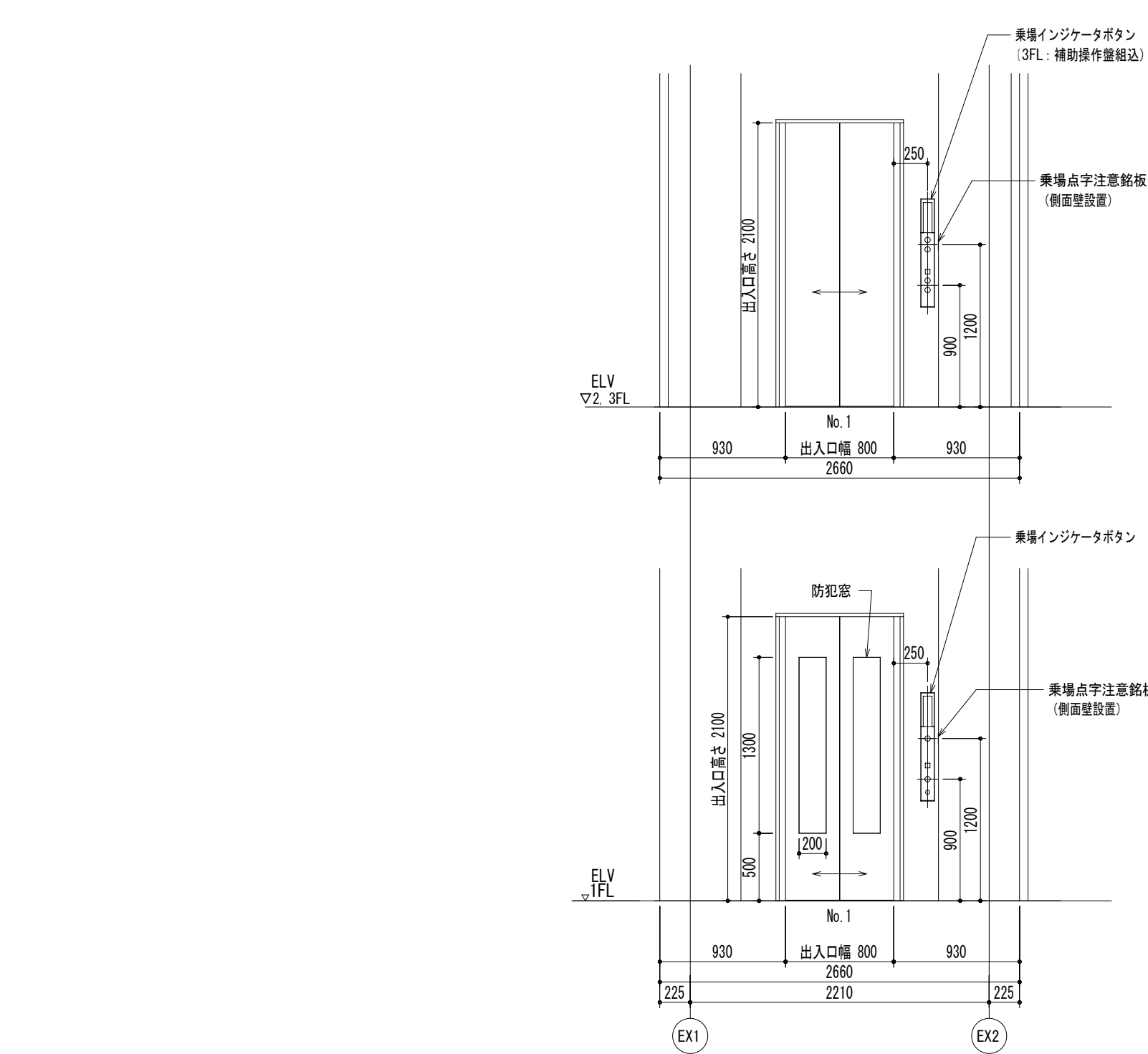
※ 機器等は最上階を示す

昇降路平面図（2、3 F L）

1 : 20

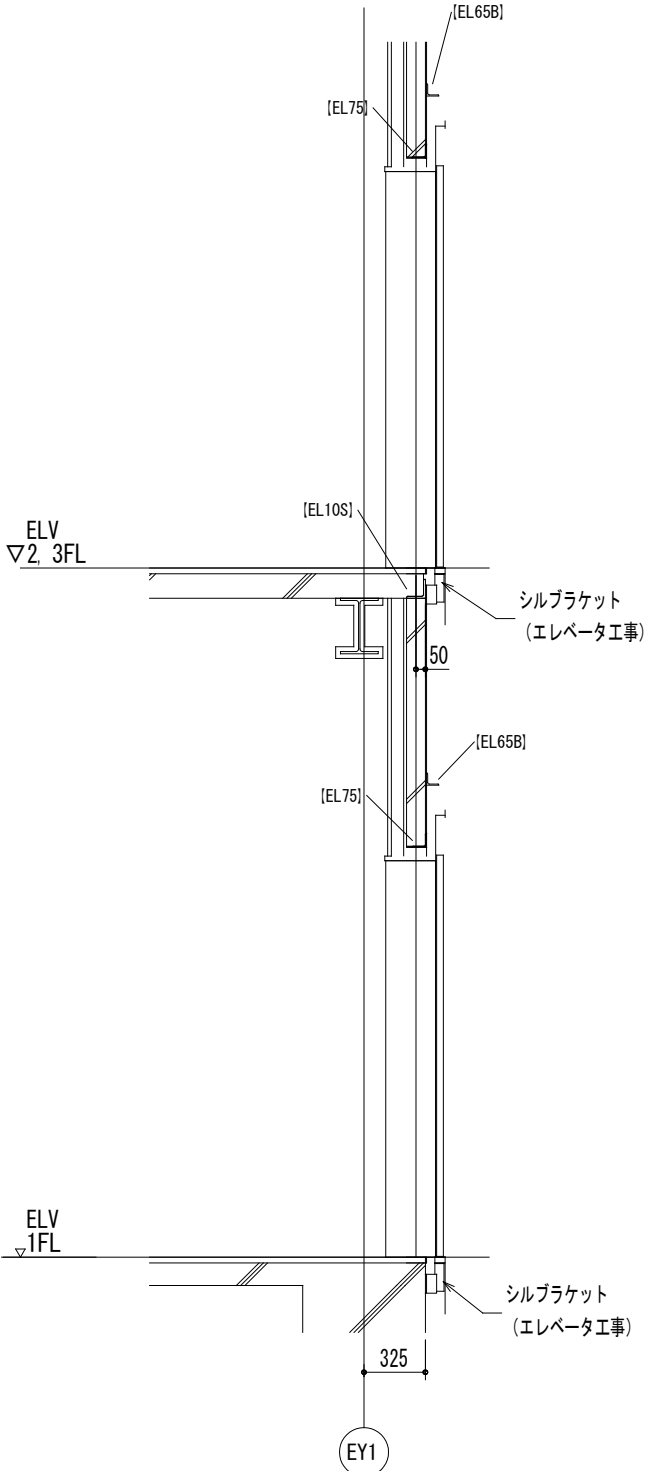
耐火被覆厚：25mm

	吊元フック ・荷重：9.8 kN	(建築工事)
	電源引込み（受電室への接続） ・動力・照明、接地線 最上停止階F Lー 1350 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)
	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階F Lー 650 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)



出入口正面図

1 : 20



断面図

1 : 20

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6. 5x9
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9. 8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T-2	トロリービーム (荷重9. 8kN)	H-125x125x6. 5x9
EB15T-1	トロリービーム (荷重19. 6kN)	H-125x125x6. 5x9

千葉市都市局建築部営繕課

工事名
千葉市立千城台西中学校外部改修外工事

設計年月日
令和 7年 11月 日
特記事項

設計年月日
令和 年 月 日
特記事項

設計年月日
令和 年 月 日
特記事項

図面名
エレベータ設備図 (3) (参考図)

縮尺
A1 1:20
A3 1:40
図面番号

EV-03

1. 5mm以上の銅板製 (電気工事)
リミットスイッチ付 (エレベーター工事)

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能な構造とする

屋外の場合は、防水形点検扉とする。

点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品とすること。

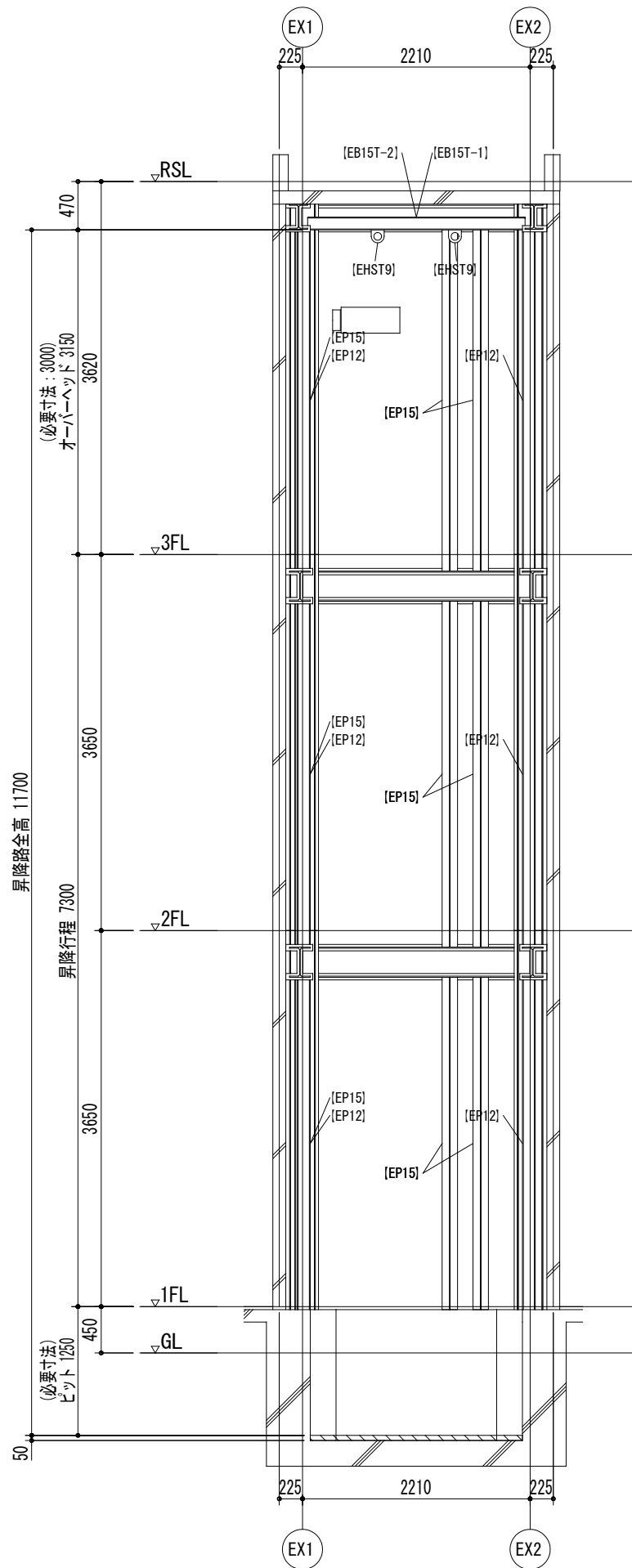
- ・ホーネキ (KUS-1C(W))
- ・能美防災 (FXS J001A-HU)
- ・ニッタン (NID-T-G)
- ・パナソニック (BV95351+BV95381H)

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合がある。

定格速度 (m/min)	出入口間隔 (m)
45	6.0

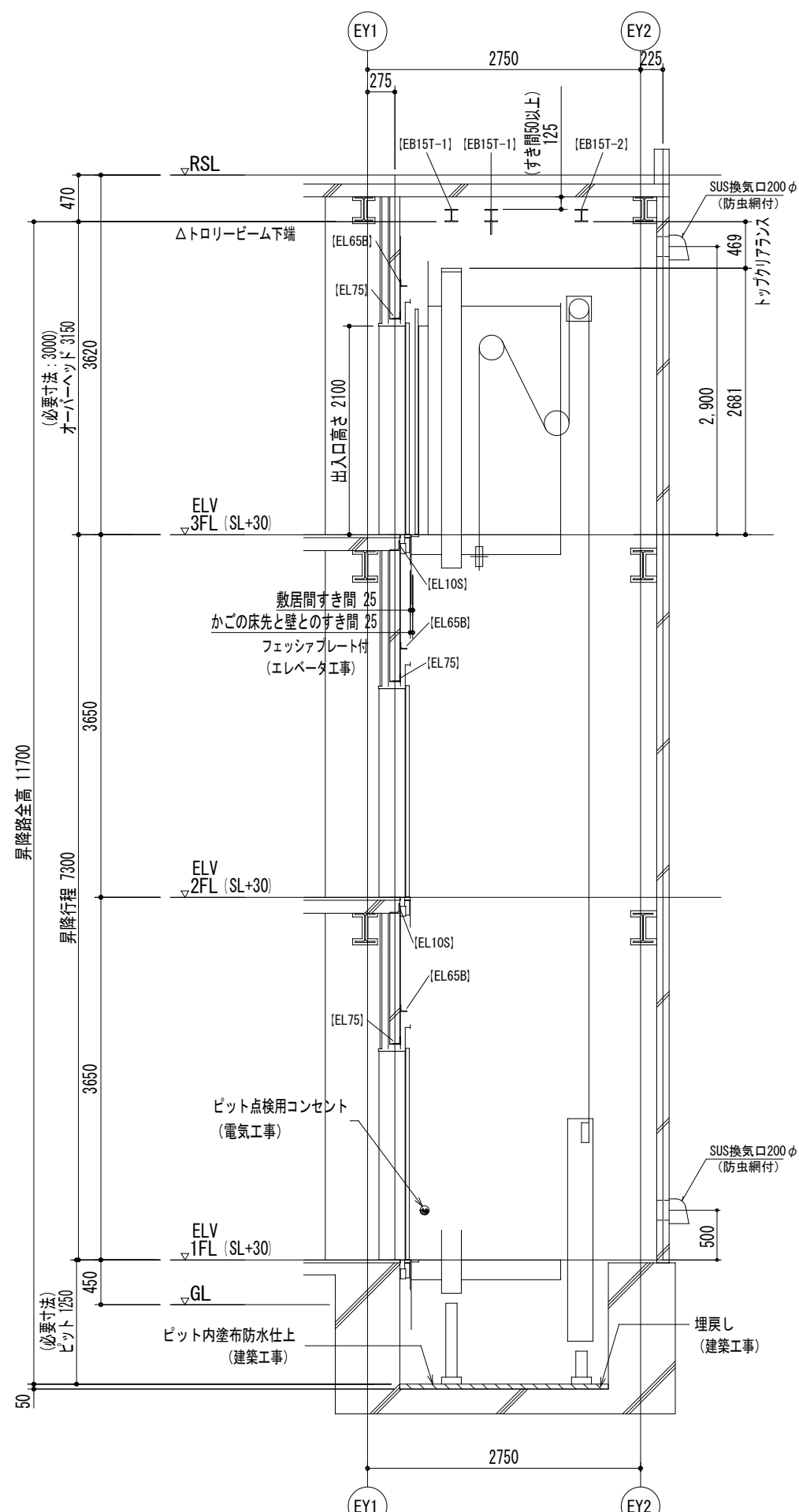
No. 1		
ピット反力	73. 00 kN	
ピット衝撃荷重	かご側	61. 20 kN
	C/W側	48. 10 kN

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6. 5x9
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9. 8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T-2	トローリービーム (荷重9. 8kN)	H-125x125x6. 5x9
EB15T-1	トローリービーム (荷重19. 6kN)	H-125x125x6. 5x9



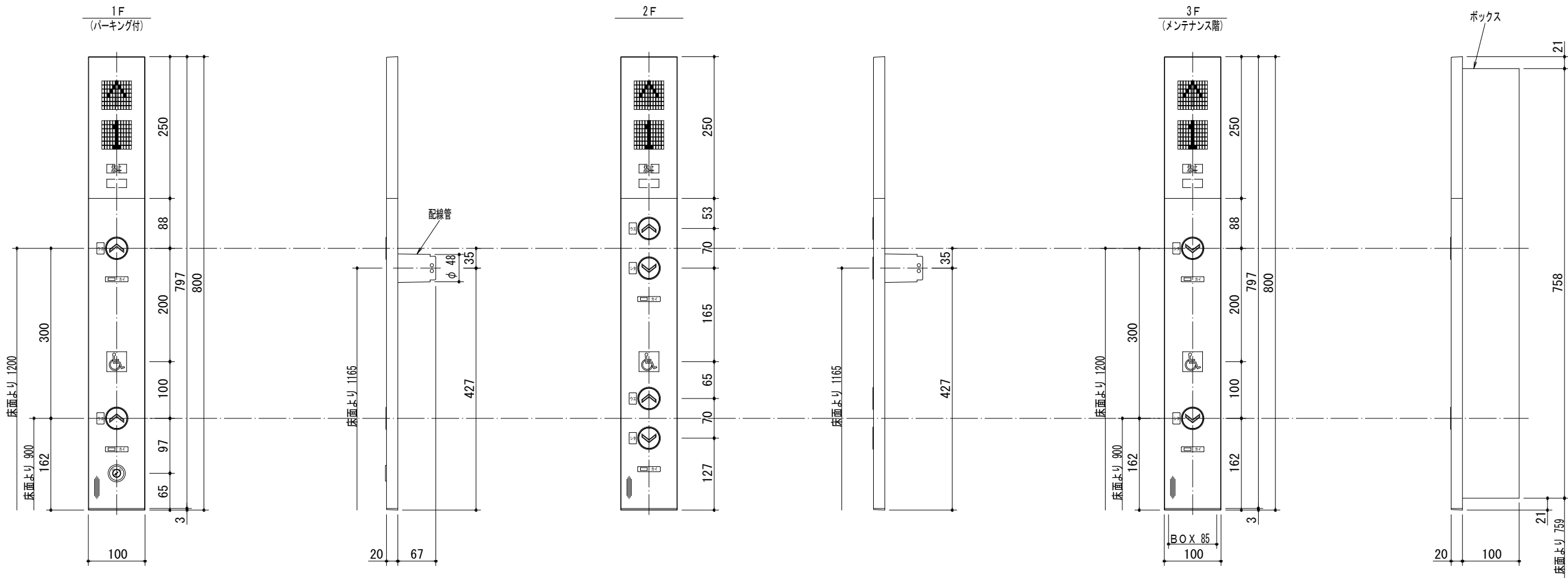
昇降路縦断面図（間口）

1 : 30



昇降路縦断面図

1 : 30

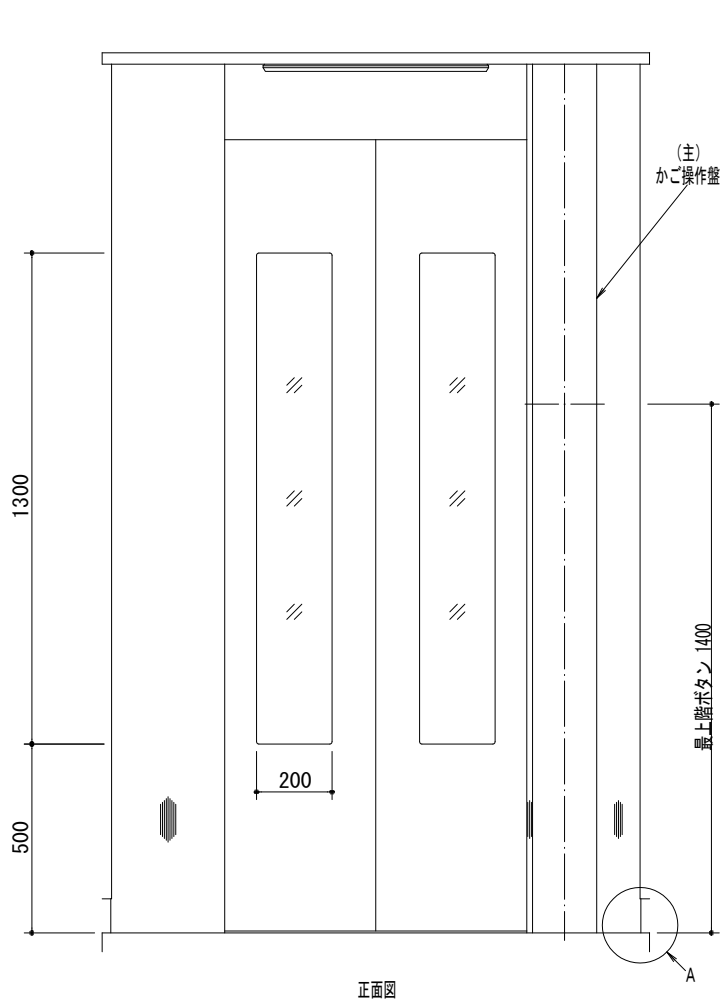


乗場インジケータボタン

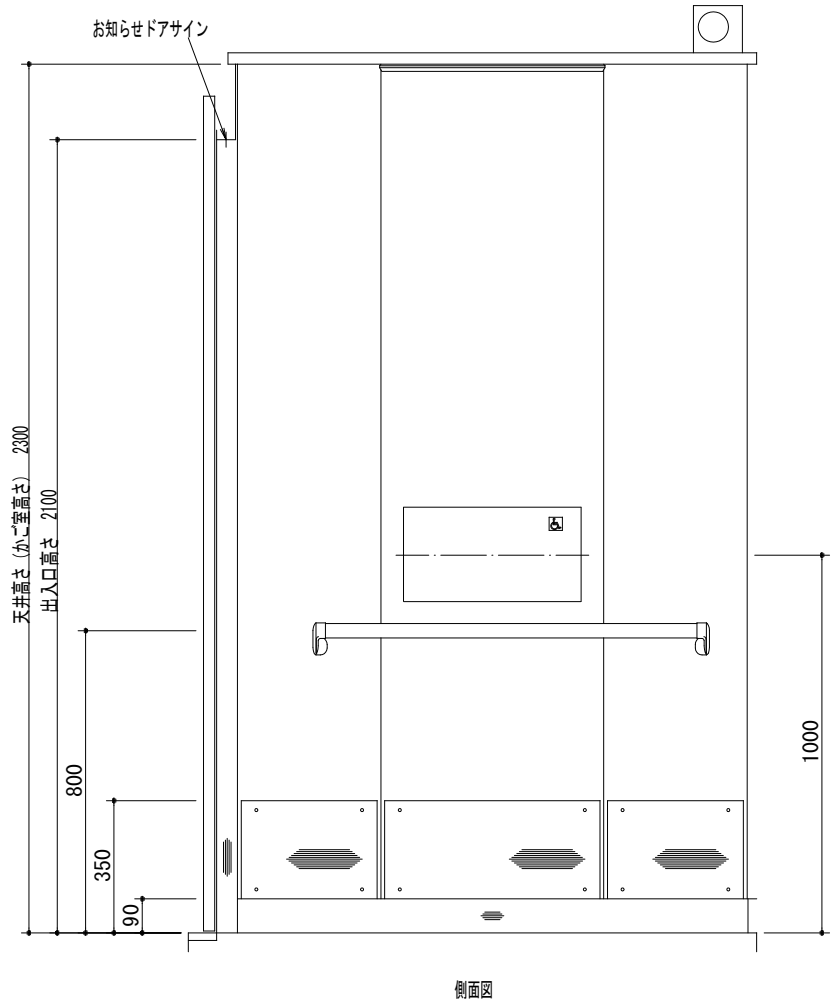
階床名	1 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時 [アンバー色]， [LED、ドット式]
位置灯	点灯時 [アンバー色]， [LEDデジタル、ドット式]
表示灯	点灯時（赤色）， [LED]
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）， 矢印（乳白色）， 枠（白色） 応答時 [アンバー色、矢印点灯]， [LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色）， 絵文字（銀色）
パーキング スイッチ	キースイッチ
点字銘板	ステンレス製

階床名	2 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時 [アンバー色]， [LED、ドット式]
位置灯	点灯時 [アンバー色]， [LEDデジタル、ドット式]
表示灯	点灯時（赤色）， [LED]
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）， 矢印（乳白色）， 枠（白色） 応答時 [アンバー色、矢印点灯]， [LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色）， 絵文字（銀色）
点字銘板	ステンレス製

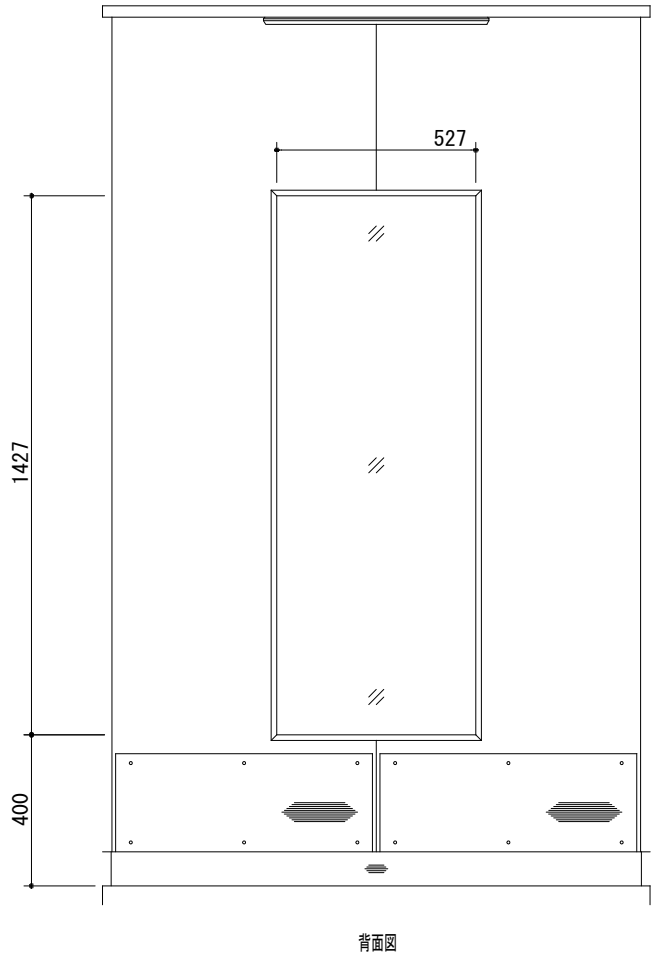
階床名	3 F
プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
下プレート	樹脂製（黒色）
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時 [アンバー色]， [LED、ドット式]
位置灯	点灯時 [アンバー色]， [LEDデジタル、ドット式]
表示灯	点灯時（赤色）， [LED]
呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）， 矢印（乳白色）， 枠（白色） 応答時 [アンバー色、矢印点灯]， [LED]
シンボルマーク	銘板貼付 地色（青色）， 絵文字（銀色）
点字銘板	ステンレス製



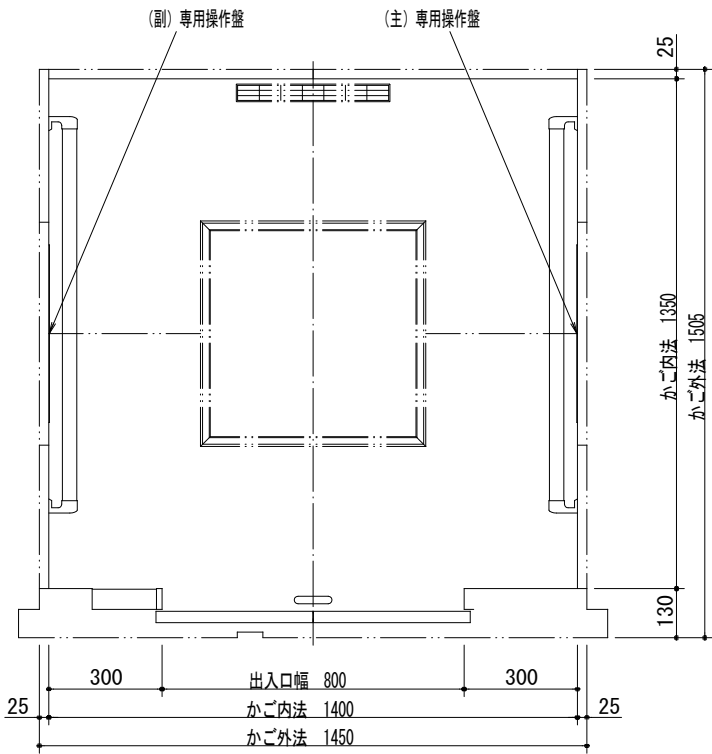
正面図



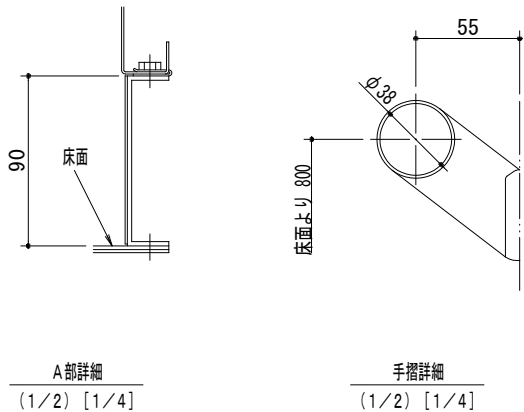
側面図



背面図



平面図



NO. 1
かが室意匠図

天井	〔照明部〕 薄光板LED屋光色照明 〔天井面〕 化粧鋼板
照明	LED
停電灯	LED (兼用)
出入口柱	ステンレス製ヘアライン仕上
リターンパネル	ステンレス製ヘアライン仕上
かが扉	化粧鋼板
防犯窓	網入ガラス (t6. 8) (JIS R3204) とフロートガラス (t3. 0) (JIS R3202) を合わせたもの・大窓 [ドア面と面ー]
側板	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
幅木	ステンレス製ヘアライン仕上
床	非塩ビ系タイル (t2)
敷居	硬質アルミ製
換気方式	横流ファン
鏡	ステンレス
手摺	ステンレス製 端部: 亜鉛ダイカストニッケルメッキサンドブラスト仕上
荷摺	ステンレス製ヘアライン仕上 (t1. 5)
お知らせドアサイン	樹脂製 (乳白色), 点灯時 (赤色点滅)
備考	・イオン発生器付 ・2D多光軸ドアセフティ付 ・機械式ドアセフティ (両側) 付 ・お知らせドアセンサー付 ・お知らせドアビーム付 ・BGMスピーカー付 ・音声案内装置付

(主) かが操作盤	
表示部	樹脂製（スモーク）、液晶式
定格文字	文字（白色）
連絡装置	インターホン（同時通話式）
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（赤色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点滅〕 呼出中〔絵文字点灯〕、〔LED〕
非常呼ボタンガード	ステンレス製ヘアライン仕上（縦方向ヘアライン）、絵文字（赤色）
非常呼ボタン銘板	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、文字（乳白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、文字点灯〕、〔LED〕
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（緑色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔LED〕
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔LED〕
点字銘板	ステンレス製
上部プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
ハーフミラープレート	広角ミラー 樹脂鏡面仕上
操作プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
スイッチボックスプレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
説明文	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
下部プレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）
(主・副) 専用操作盤	
表示部	樹脂製（スモーク）
方向灯	点灯時（アンバー色）、〔LED、ドット式〕
位置灯	点灯時（アンバー色）、〔LEDデジタル、ドット式〕
連絡装置	インターホン（同時通話式） ※（主）側のみ
非常呼ボタン	抗菌仕様 樹脂製（赤色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点滅〕 呼出中〔絵文字点灯〕、〔LED〕
非常呼ボタンガード	ステンレス製ヘアライン仕上（縦方向ヘアライン）、絵文字（赤色）
非常呼ボタン銘板	銘板貼付、地色（銀色）、文字（黒色）
戸開ボタン	抗菌仕様 樹脂製（緑色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔LED〕
戸閉ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、絵文字（乳白色）、文字（白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、絵文字点灯〕、〔LED〕
行先階ボタン	抗菌仕様 樹脂製（黒色）、文字（乳白色）、枠（白色） 応答時〔アンバー色、文字点灯〕、〔LED〕
点字銘板	ステンレス製
シンボルマーク	銘板貼付、地色（青色）、絵文字（銀色）
フェースプレート	ステンレス製ヘアライン仕上（長手方向ヘアライン）

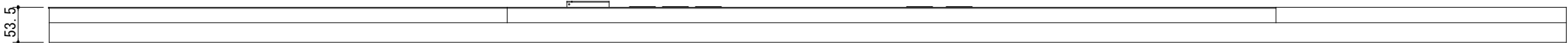
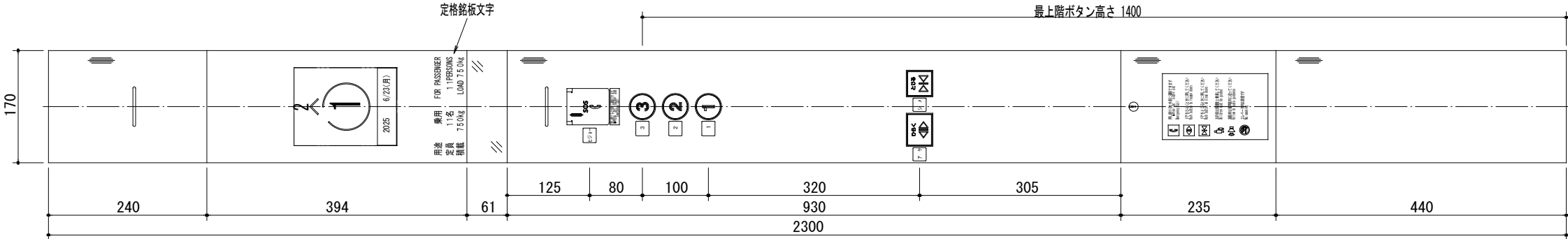
1. 実際の板下文字とは、図形文字の為若干異なる。
2. 文字詳細は、文字書体集での確認による。

用途乗用FOR PASSENGER

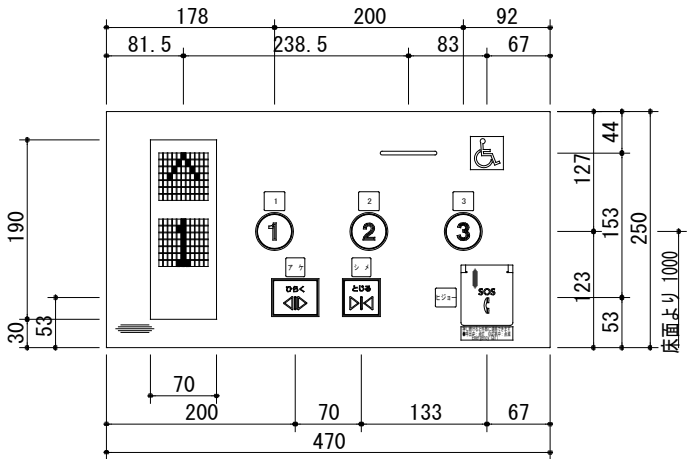
定員11名11PERSONS

積載750kgLOAD 750kg

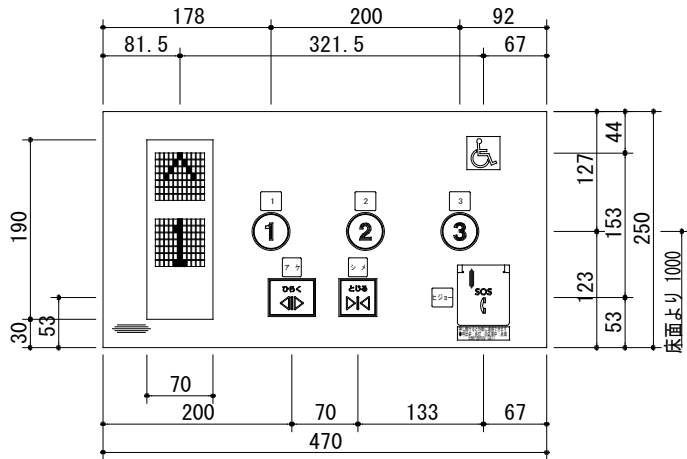
定格銘板文字



(主) かが操作盤



(主) 専用操作盤



(副) 専用操作盤